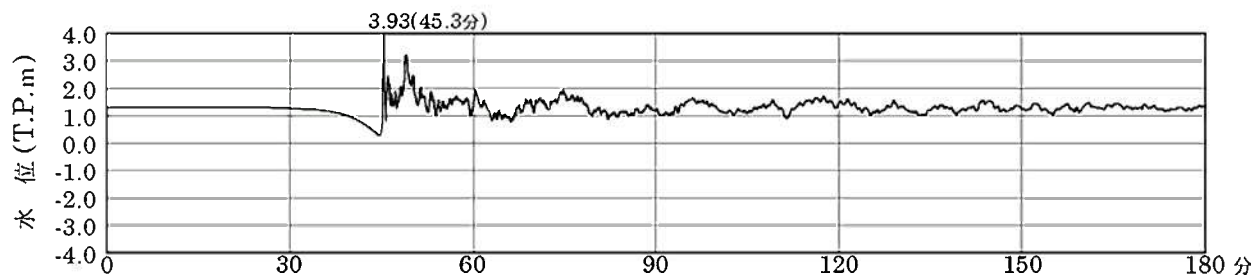


【水位上昇側】

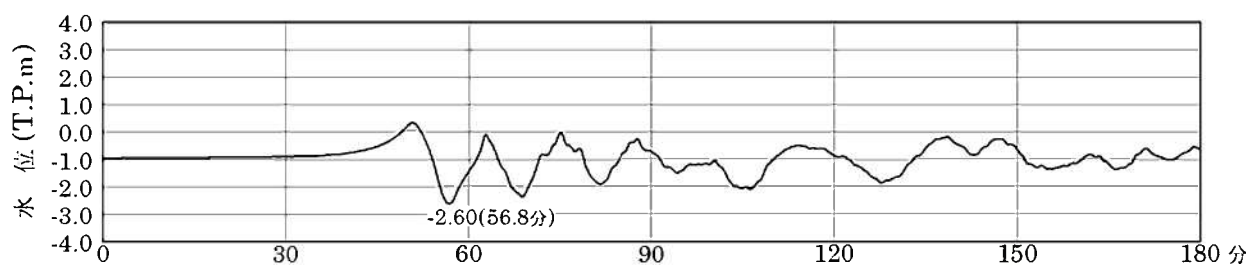
対馬南西沖断層群と宇久島北西沖断層群の運動



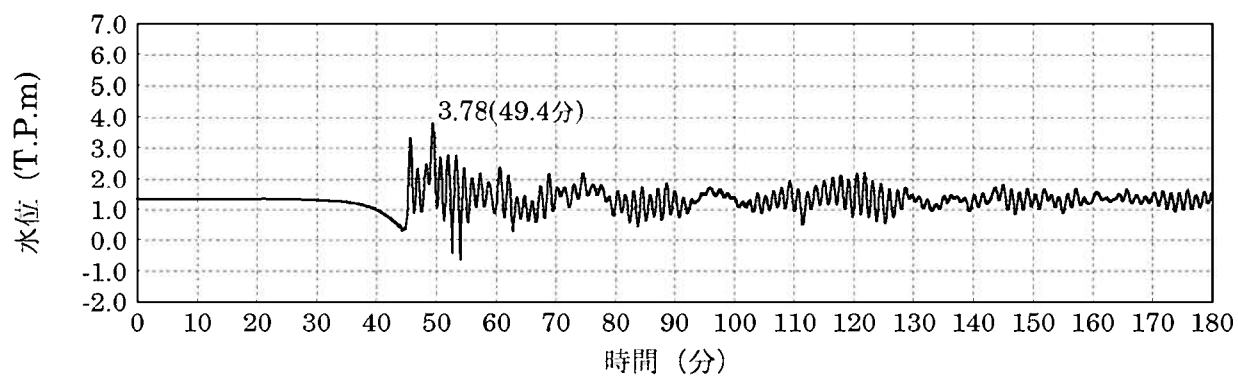
第1.2-10図(3) 基準津波の取水ピット前面位置での時刻歴波形
(朔望平均満潮位を考慮)

【水位下降側】

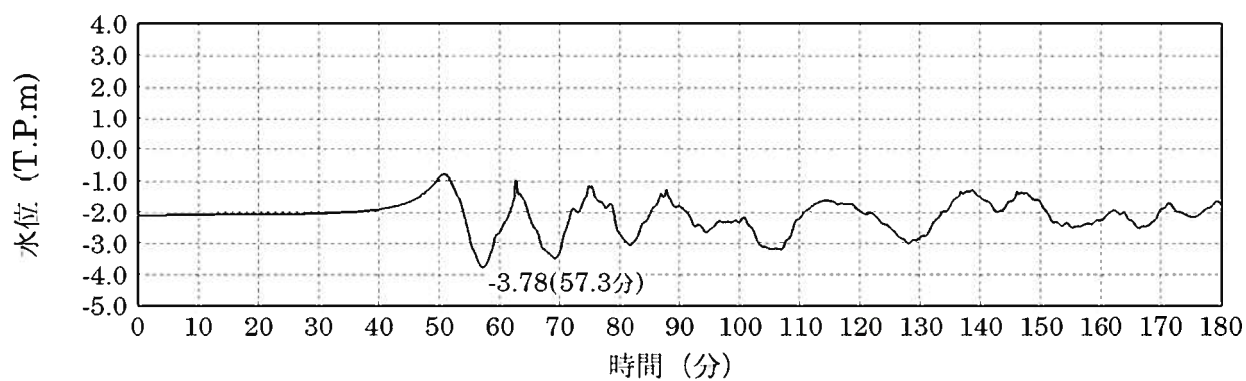
西山断層帯



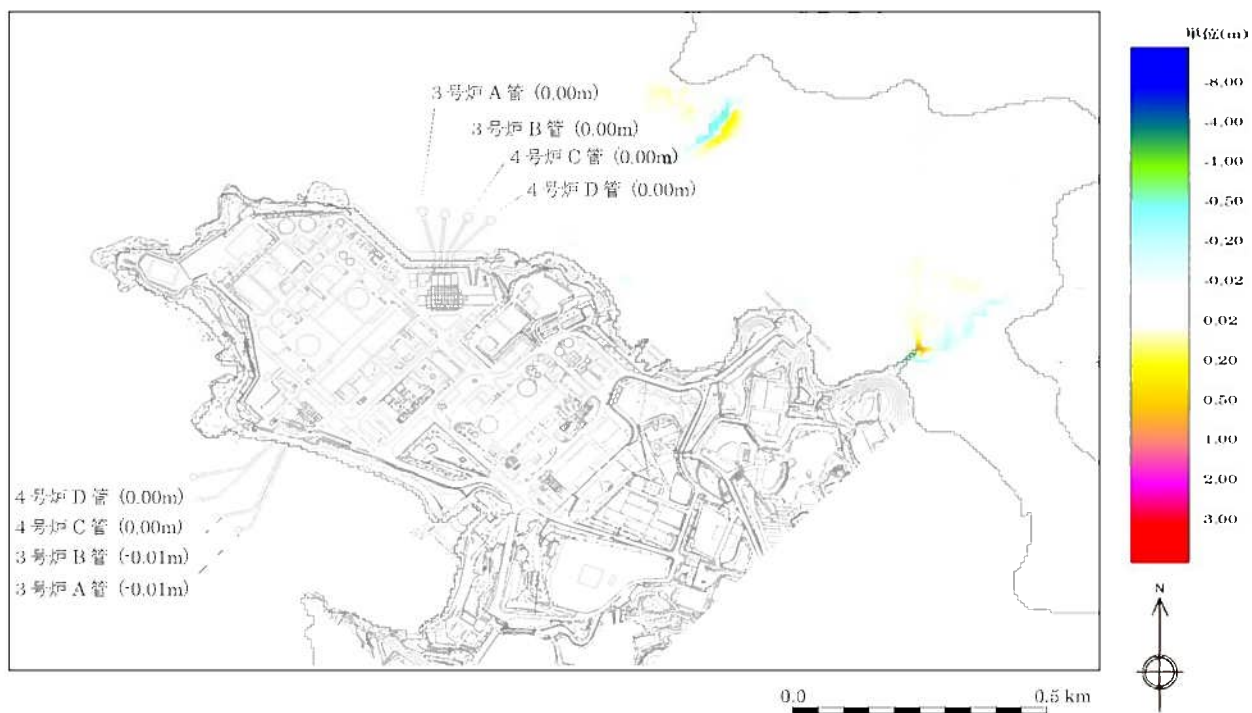
第1.2-10図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均干潮位を考慮)



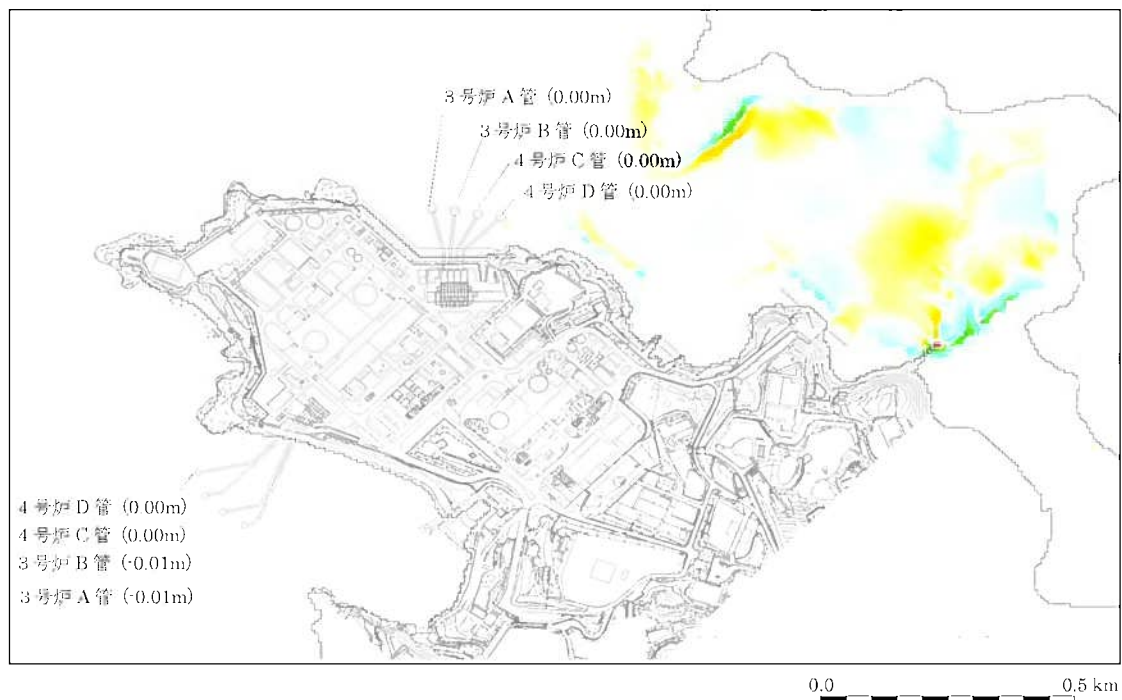
第1.2-12図(1) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位上昇側、朔望平均満潮位を考慮)



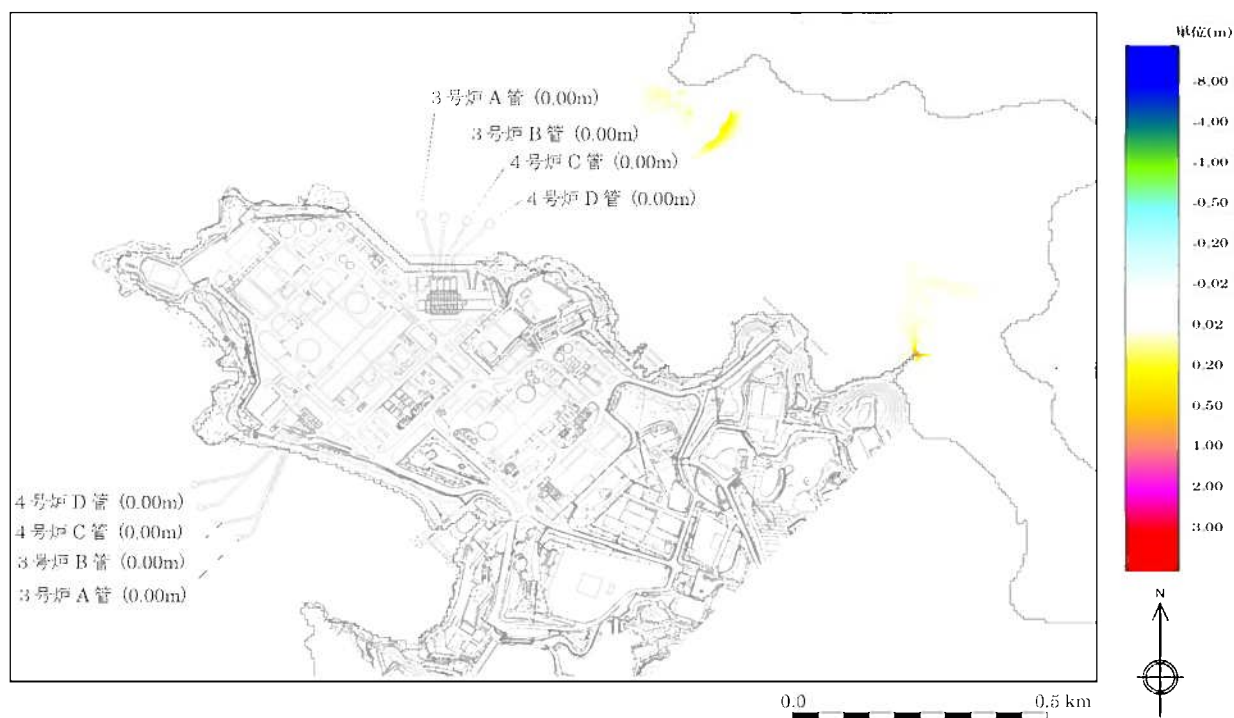
第1.2-12図(2) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位下降側、朔望平均干潮位を考慮)



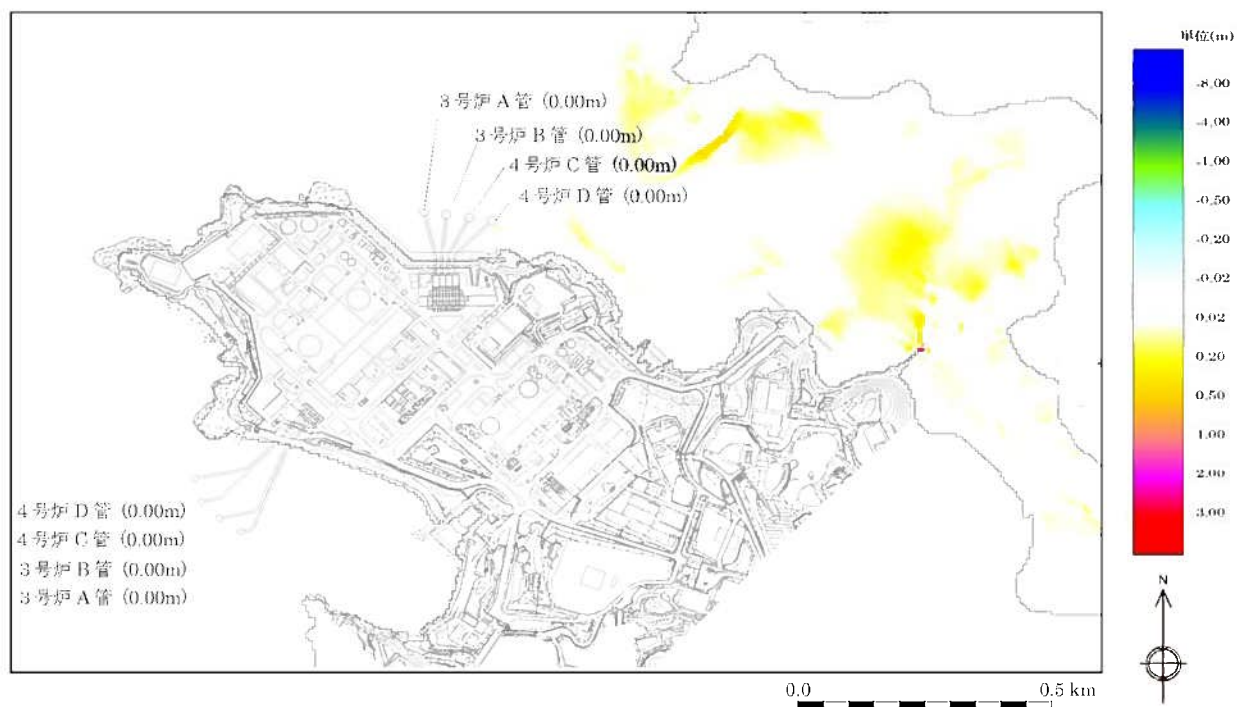
第1.2-13図(1) 砂移動による最終地形変化量(水位上昇側)



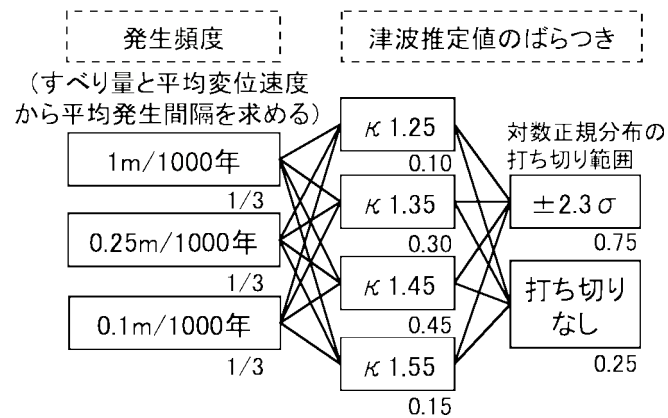
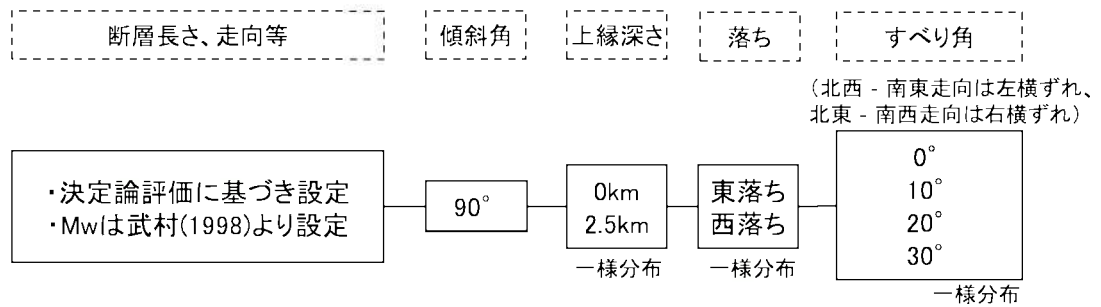
第1.2-13図(2) 砂移動による最終地形変化量(水位下降側)



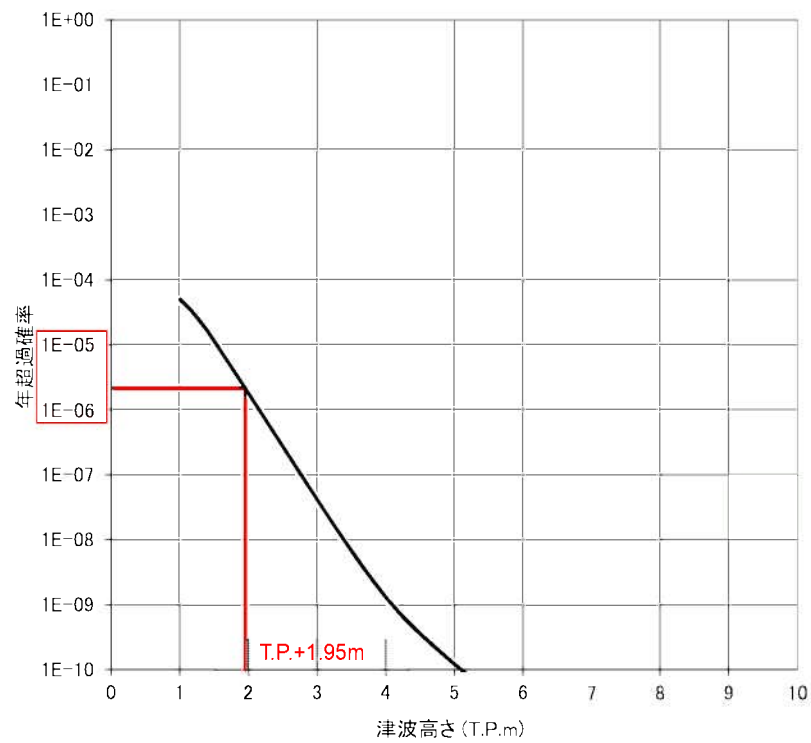
第1.2-13図(3) 砂移動による最大堆積厚(水位上昇側)



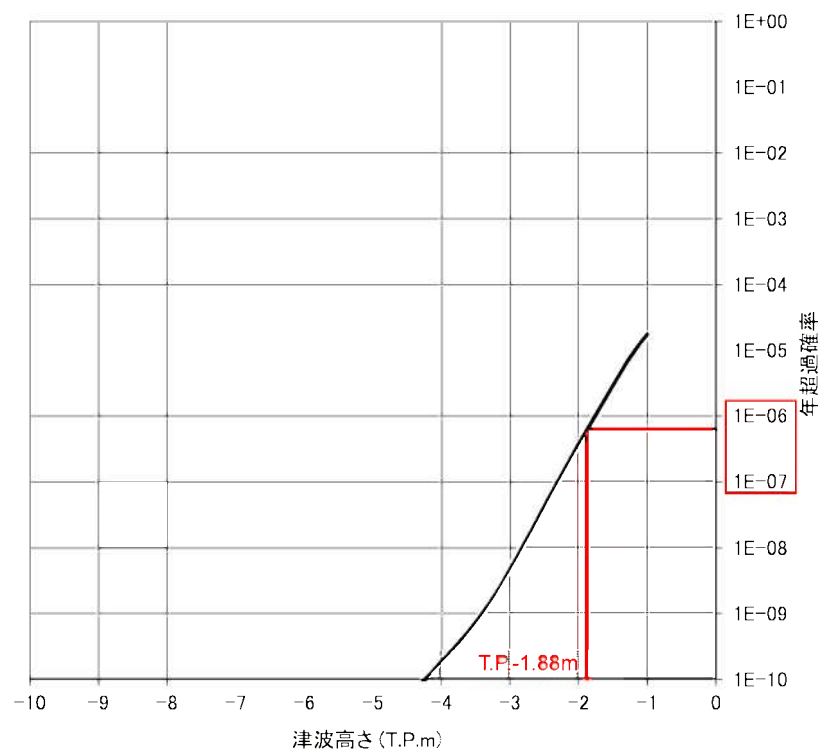
第1.2-13図(4) 砂移動による最大堆積厚(水位下降側)



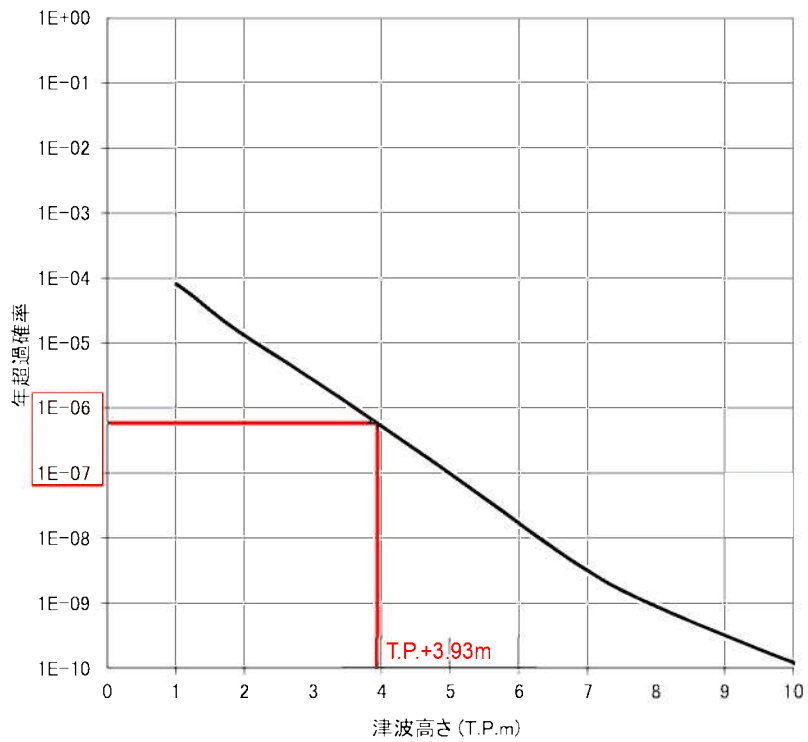
第1.2-14図 ロジックツリー(海域活断層による地殻内地震)



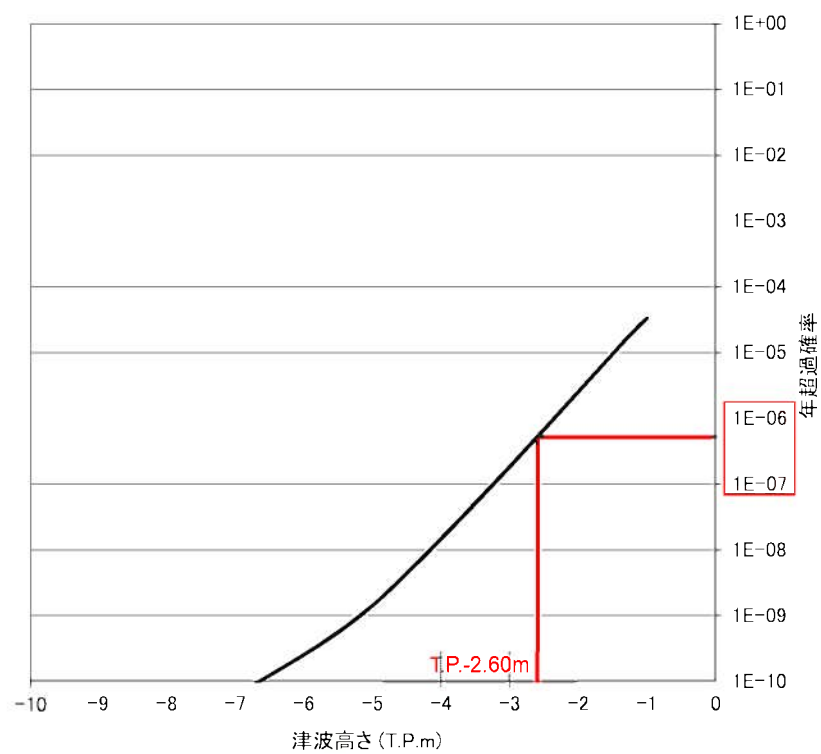
第1.2-15図(1) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



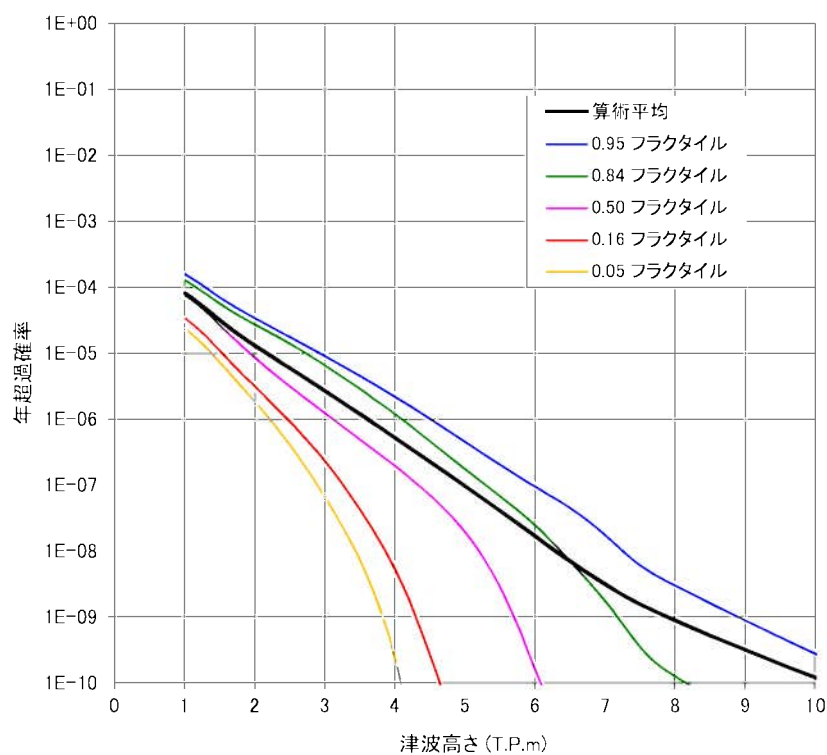
第1.2-15図(2) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



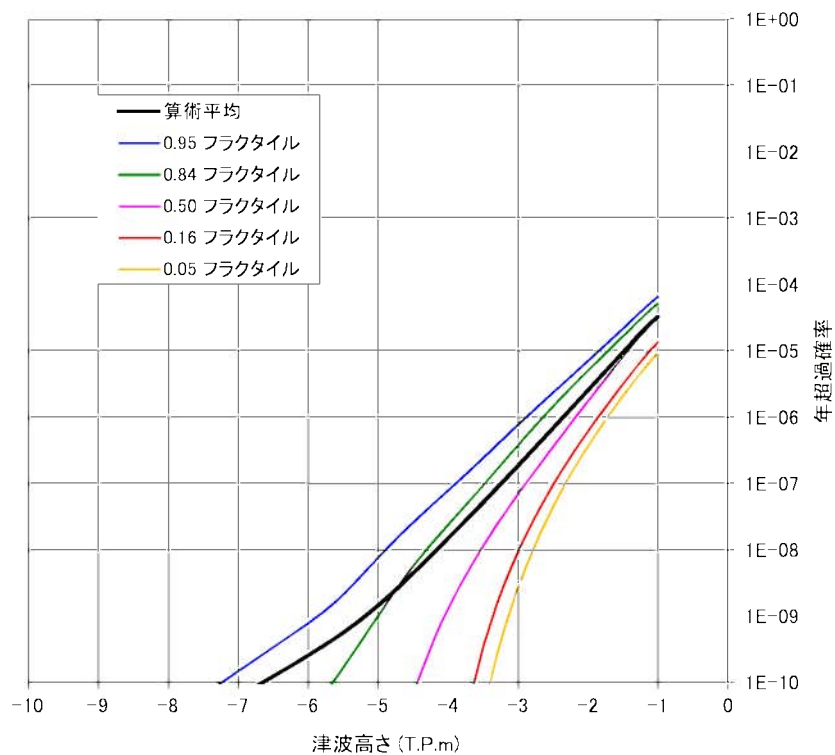
第1.2-15図(3) 取水ピット前面位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



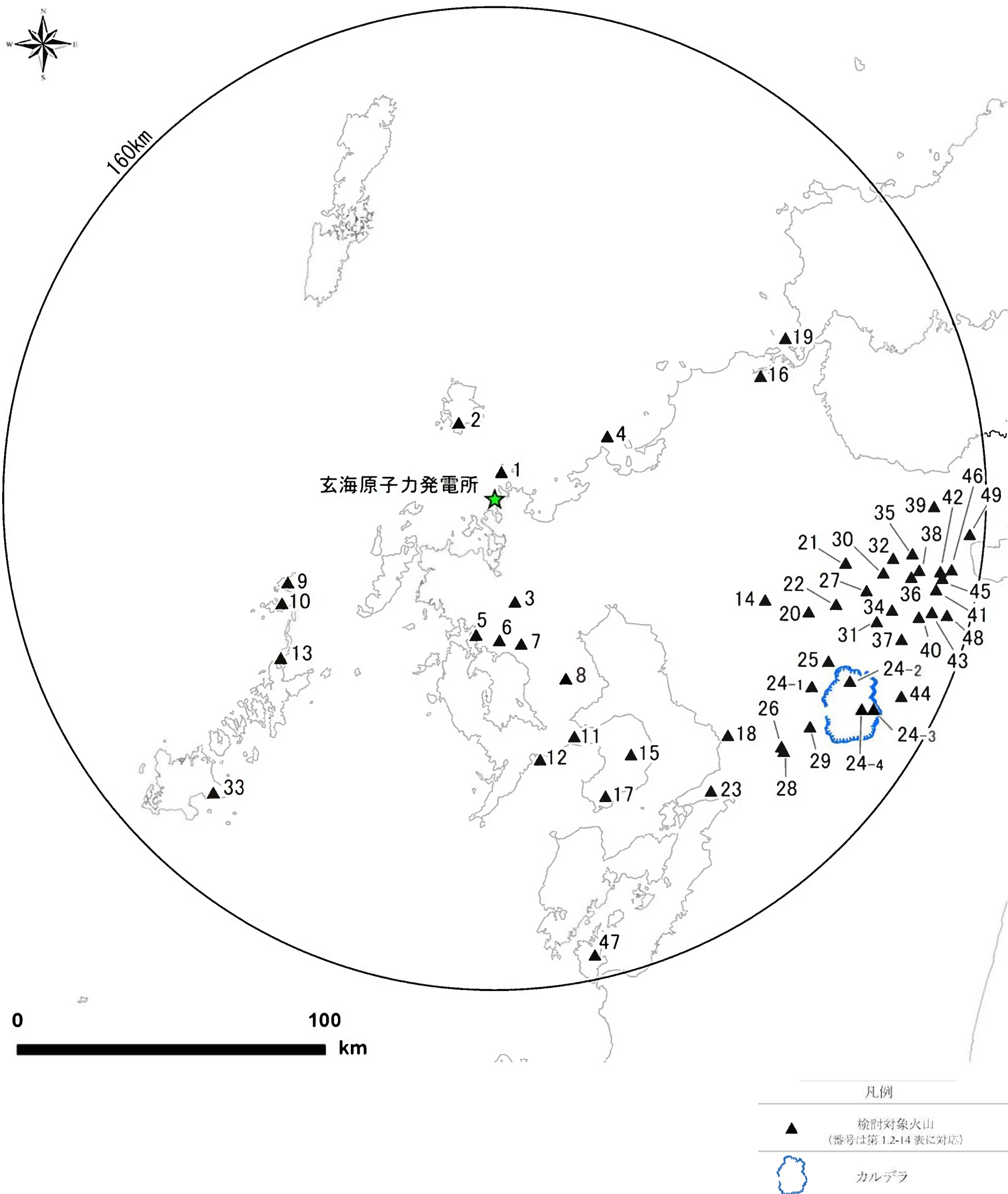
第1.2-15図(4) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



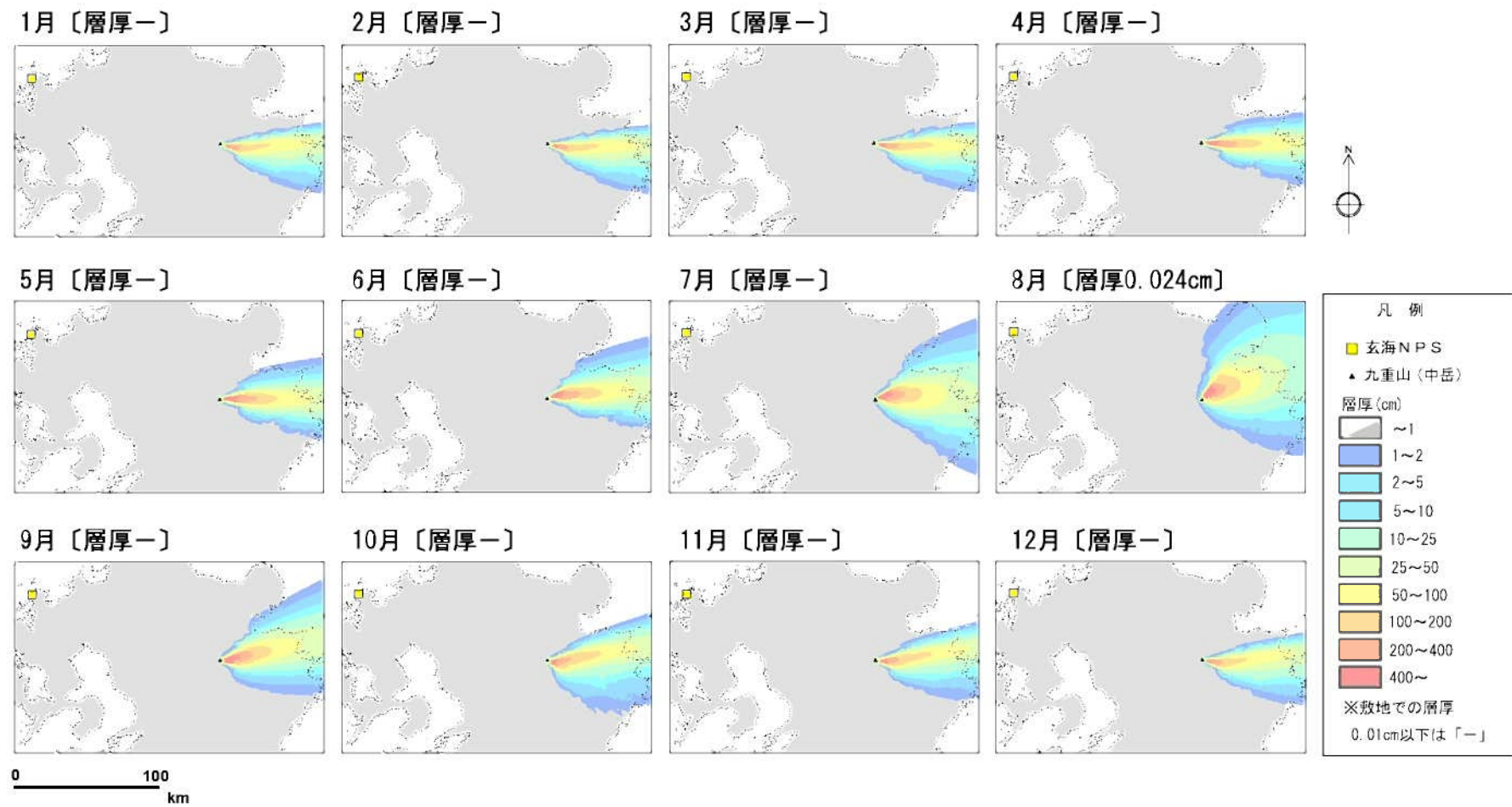
第1.2-16図(1) 取水ピット前面位置における水位と年超過確率の関係(フラクタイル曲線)(水位上昇側)



第1.2-16図(2) 取水口位置における水位と年超過確率の関係(フラクタイル曲線)(水位下降側)

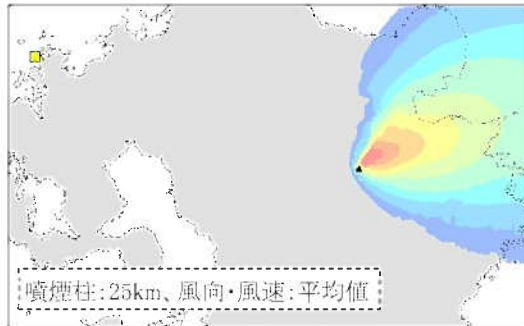


第1.2-17図 地理的領域の検討対象火山の位置

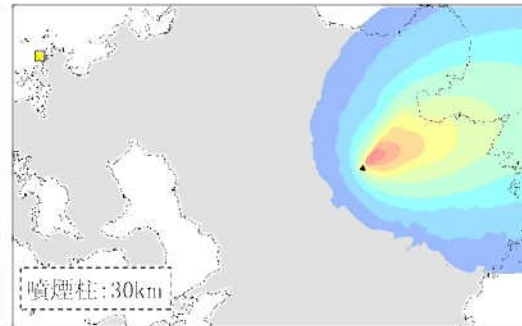


第1.2-18図(1) 九重第1噴火の数値シミュレーション結果

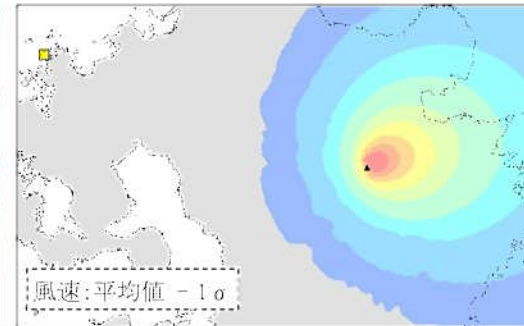
基本ケース〔層厚0.024cm〕



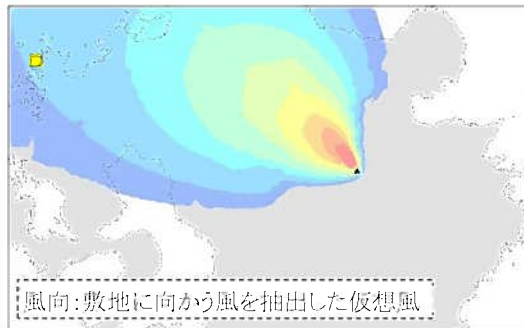
噴煙柱高さの不確かさ①〔層厚0.081cm〕



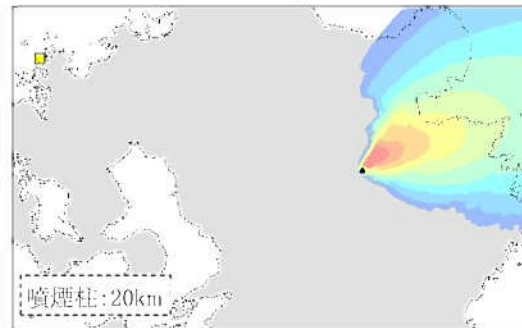
風速の不確かさ①〔層厚0.15cm〕



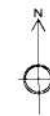
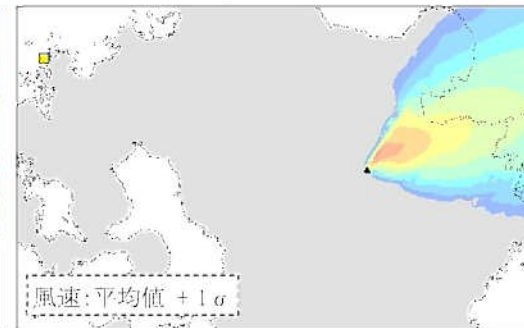
風向の不確かさ〔層厚2.2cm〕



噴煙柱高さの不確かさ②〔層厚0.024cm〕



風速の不確かさ②〔層厚0.0044cm〕

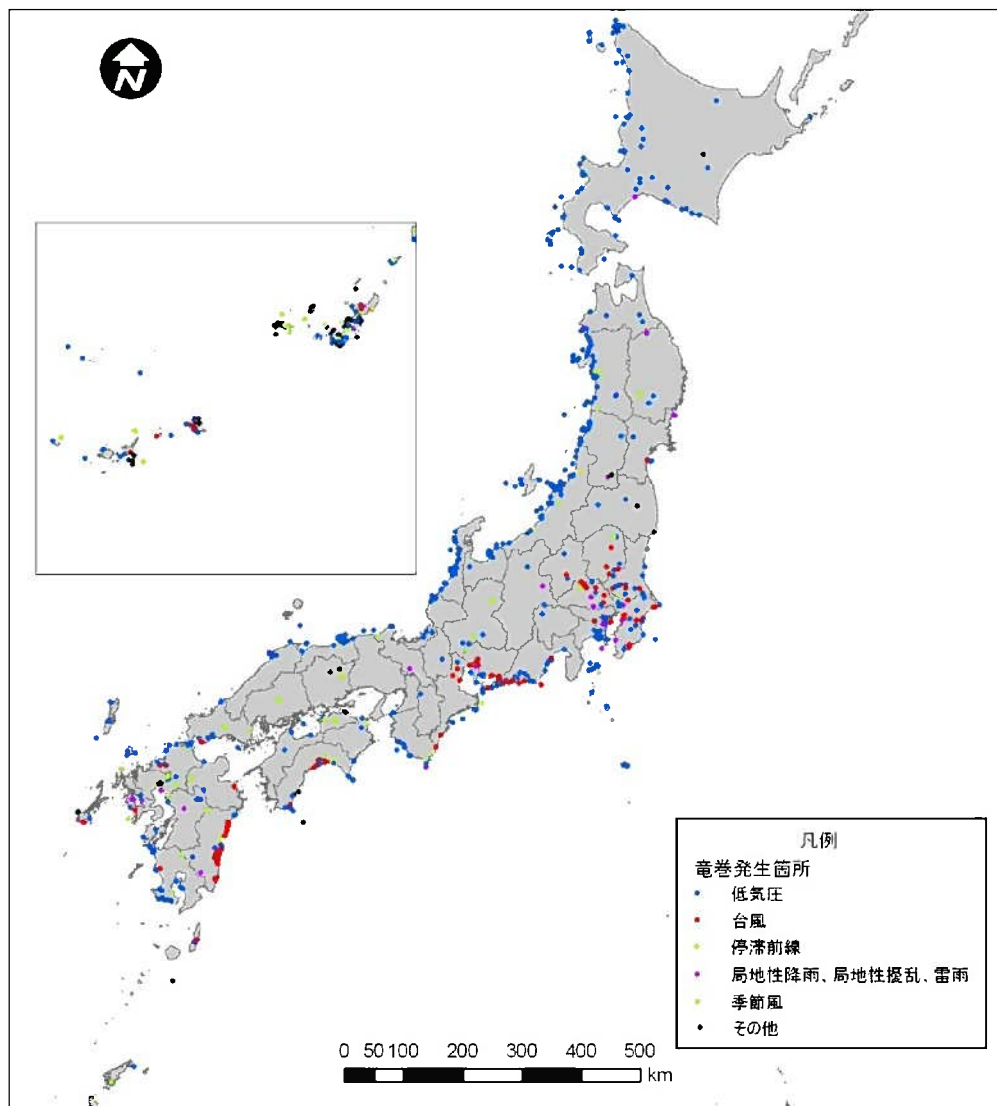


凡 例

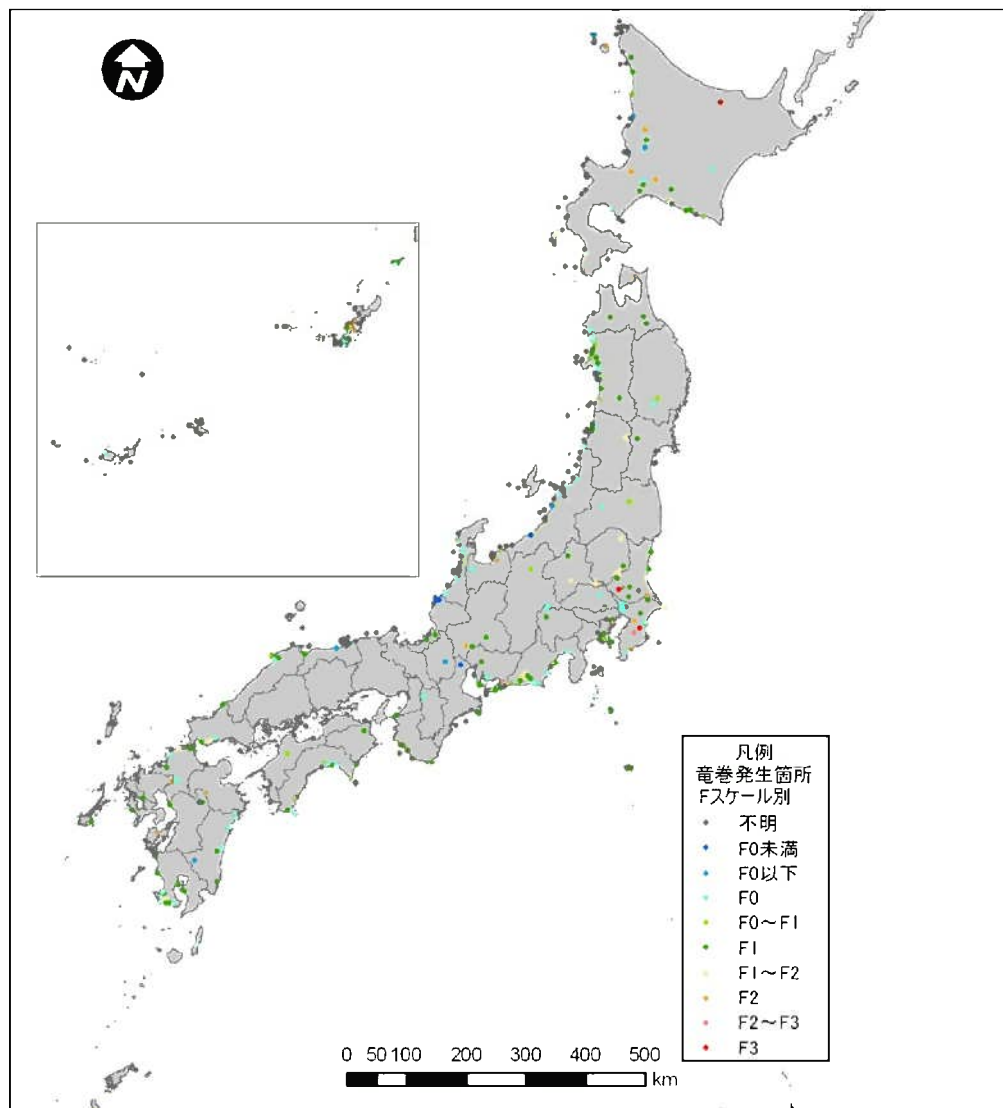
- 玄海 N P S
- ▲ 九重山 (中岳)
- 層厚 (cm)
- ~1
- 1~2
- 2~5
- 5~10
- 10~25
- 25~50
- 50~100
- 100~200
- 200~400
- 400~

0 100

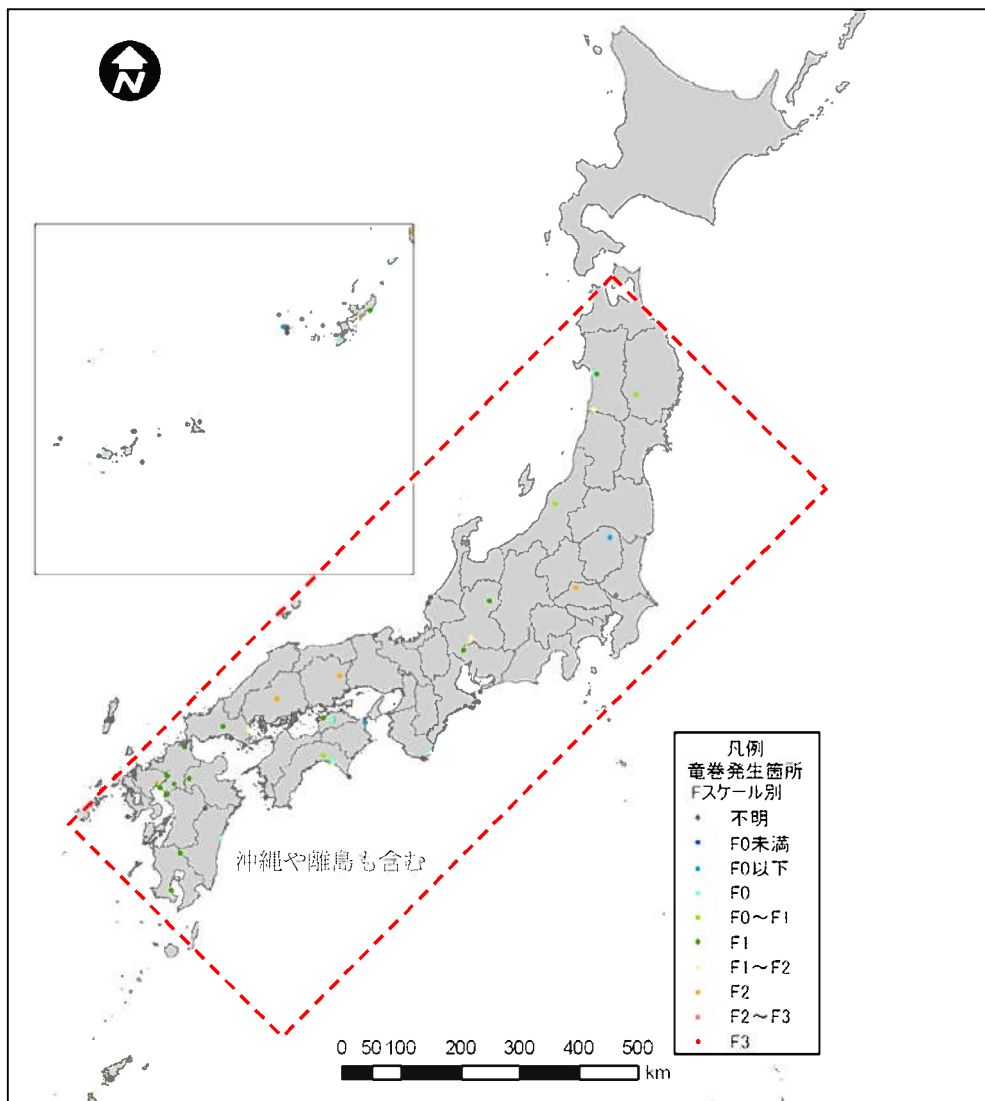
第1.2-18図(2) 数値シミュレーション結果(不確かさの考慮)



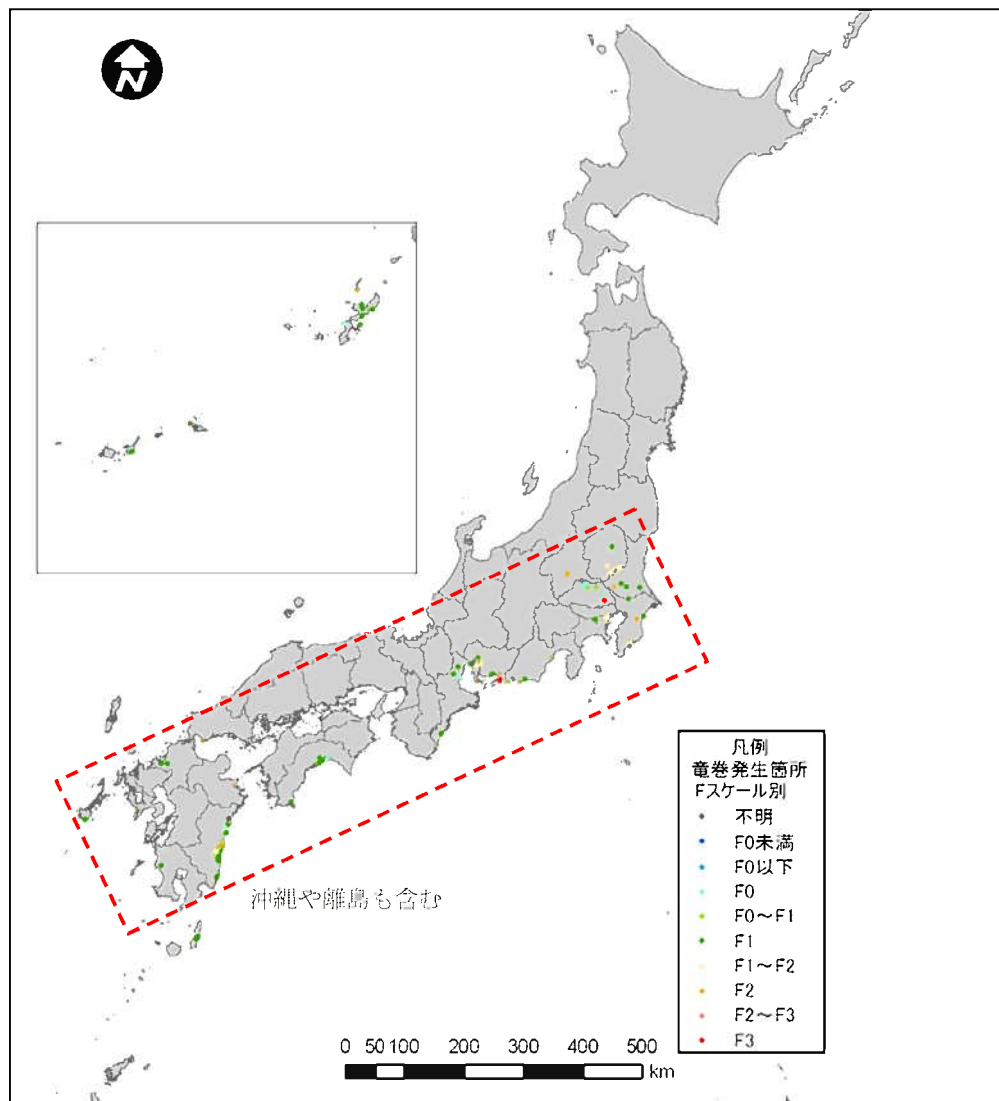
第1.2-19図 気象要因別の竜巻発生位置



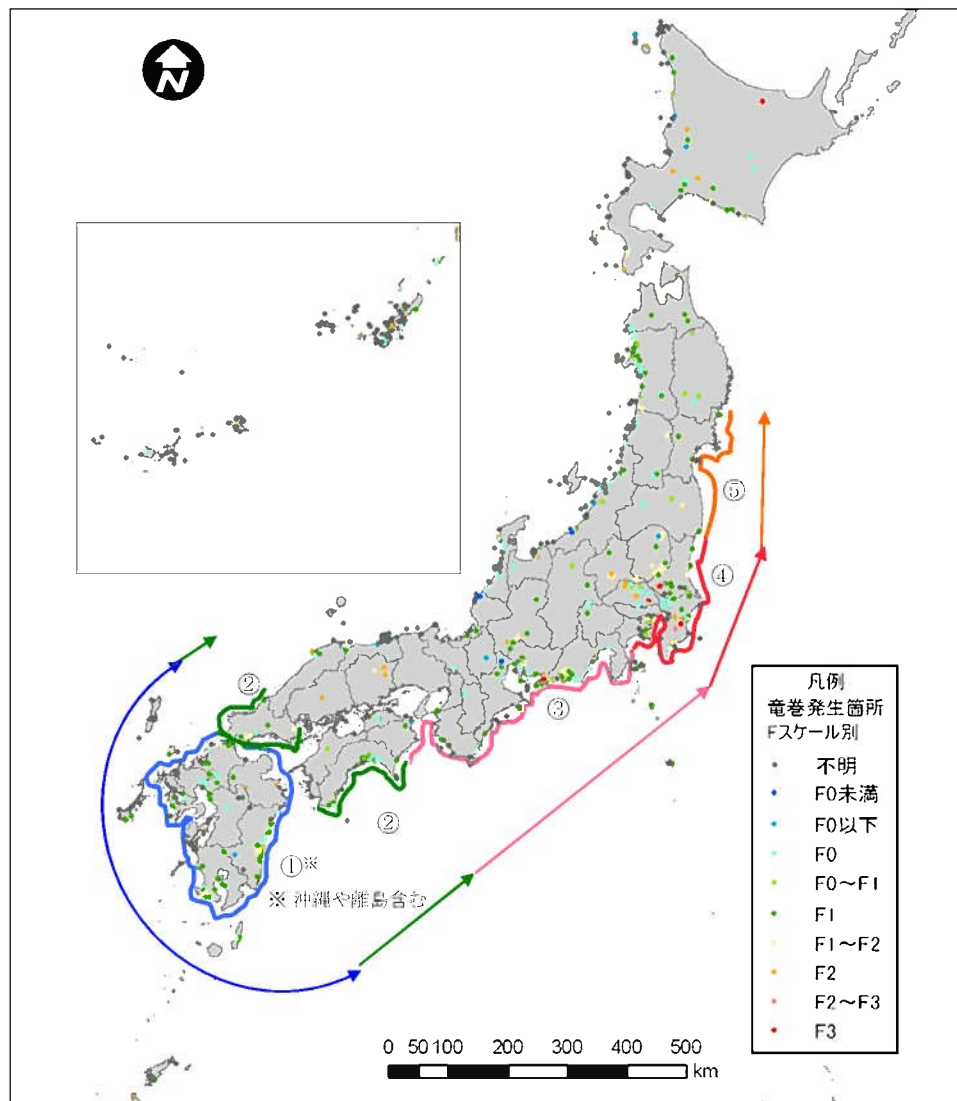
第1.2-20図 竜巻発生位置(低気圧起因)



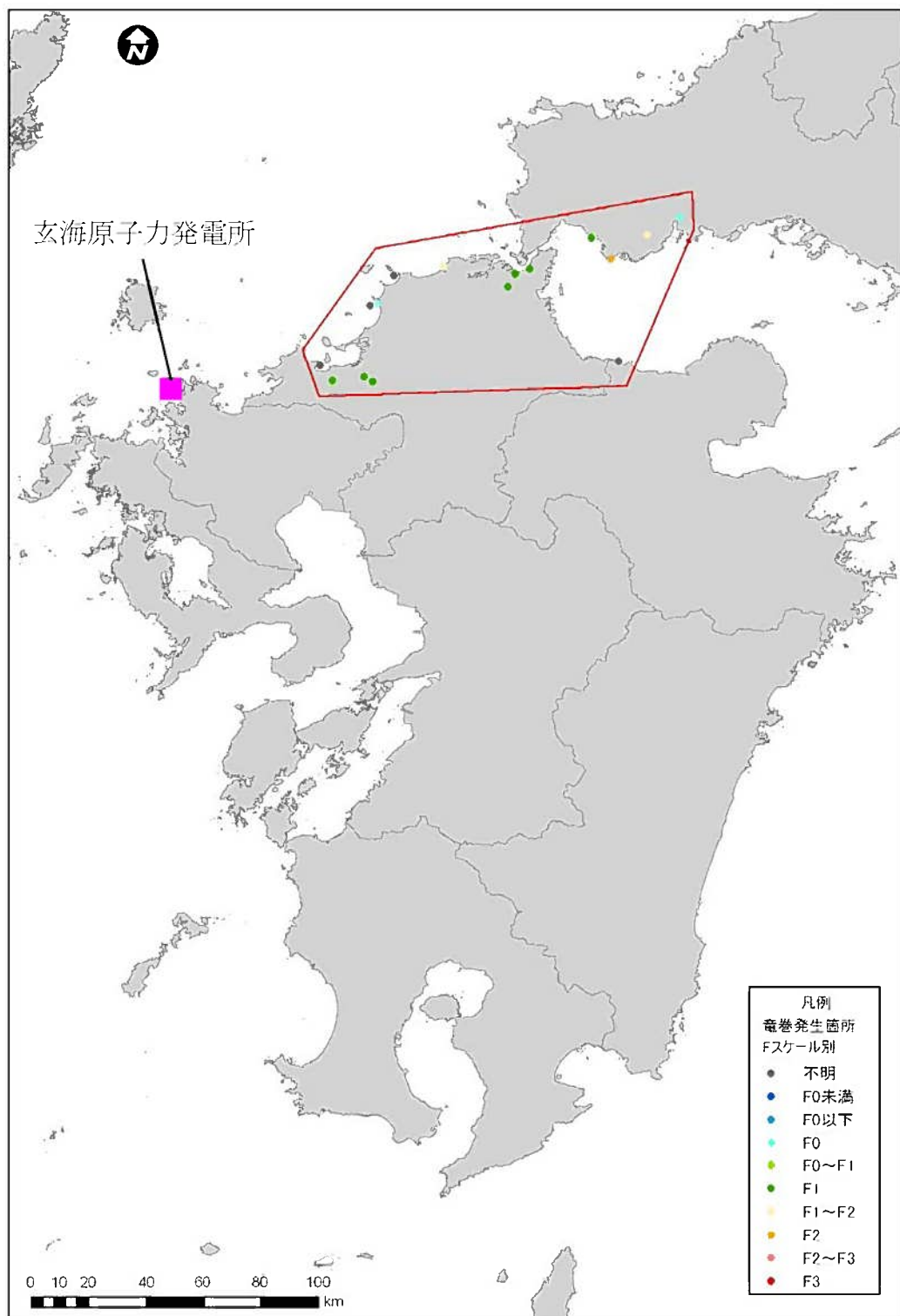
第1.2-21図 竜巻発生位置(停滞前線起因)



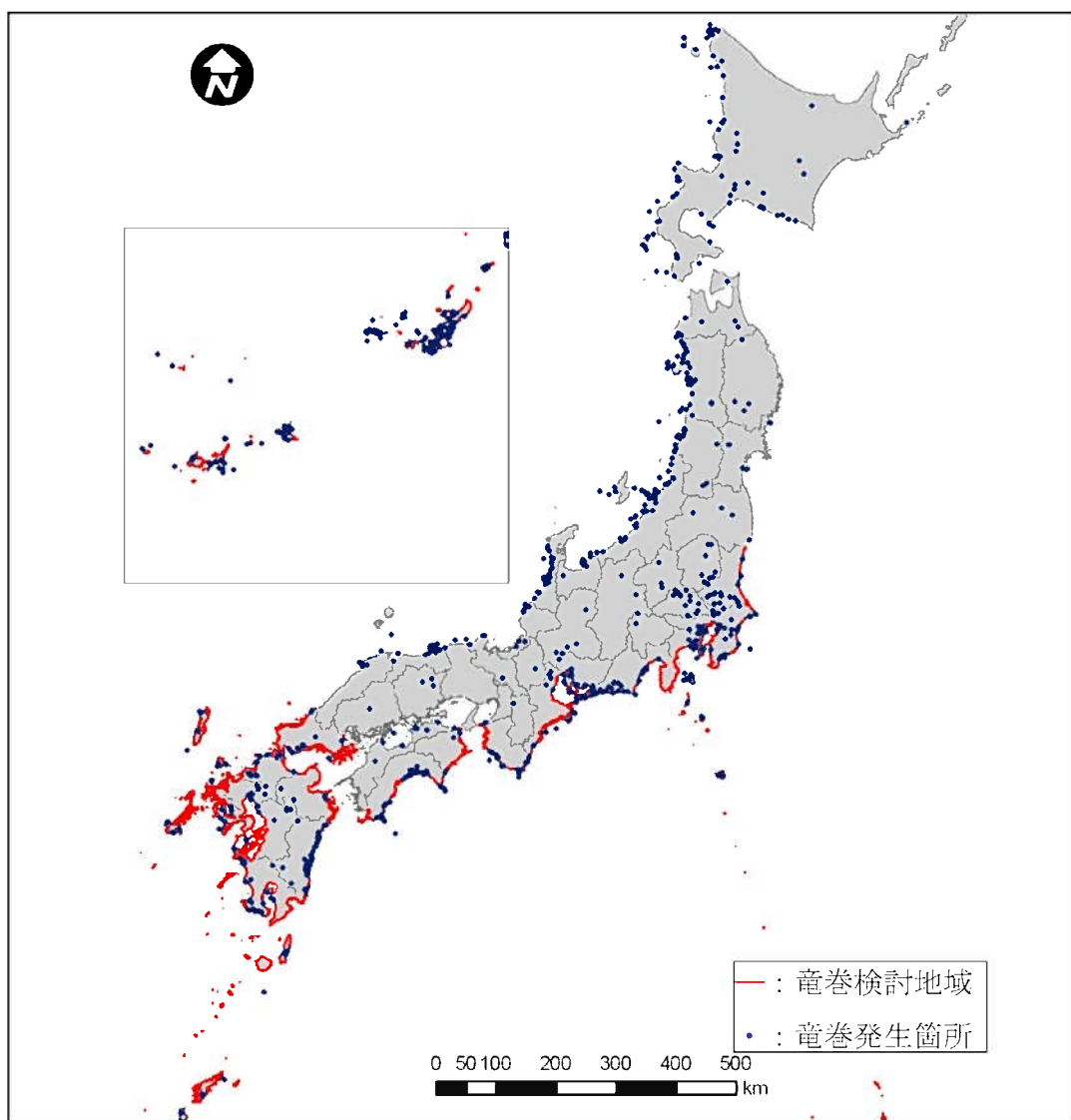
第1.2-22図 竜巻発生位置(台風起因)



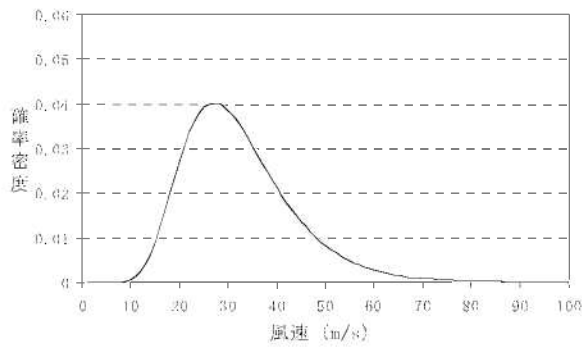
第1.2-23図 Fスケール別の竜巻発生位置



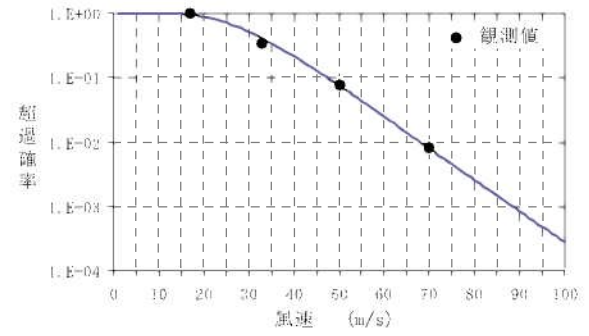
第1.2-24図 集中地域⑧におけるFスケール別竜巻発生位置



第1.2-25図 竜巻検討地域

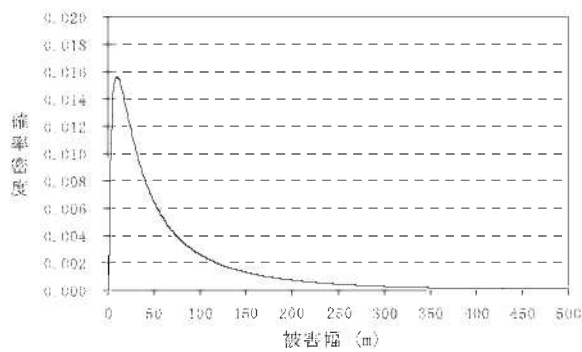


確率密度分布

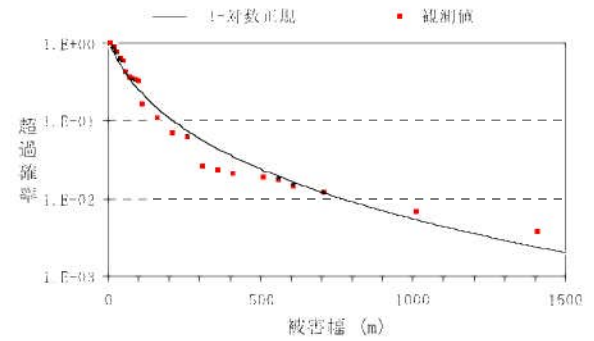


超過確率

第1.2-26図 風速の確率密度分布と超過確率

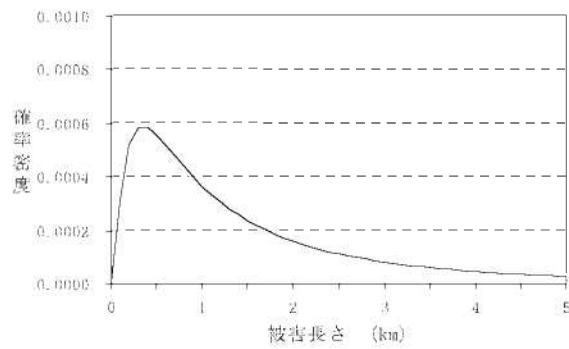


確率密度分布

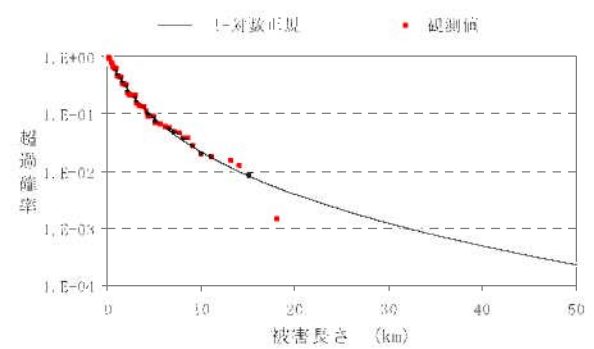


超過確率

第1.2-27図 被害幅の確率密度分布と超過確率

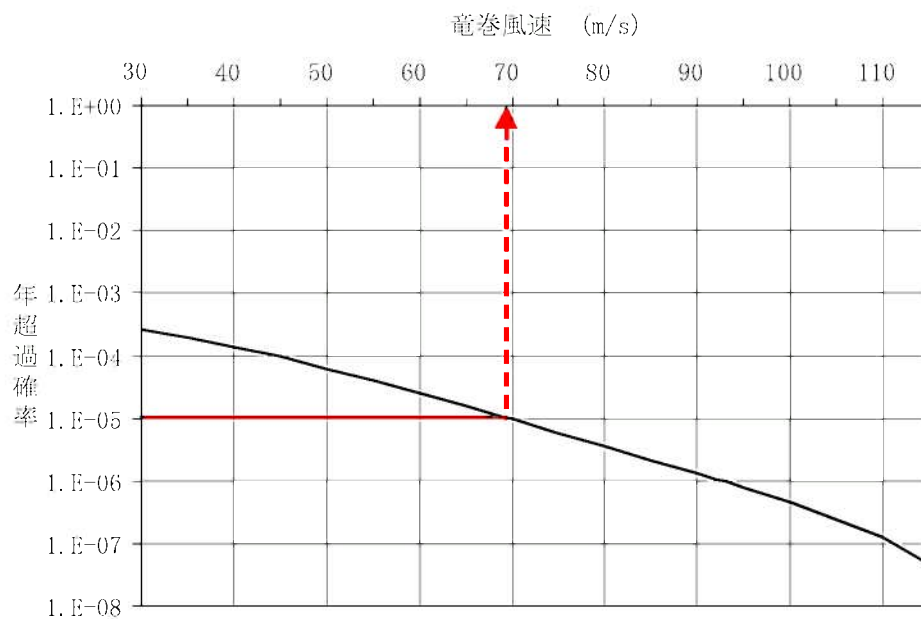


確率密度分布

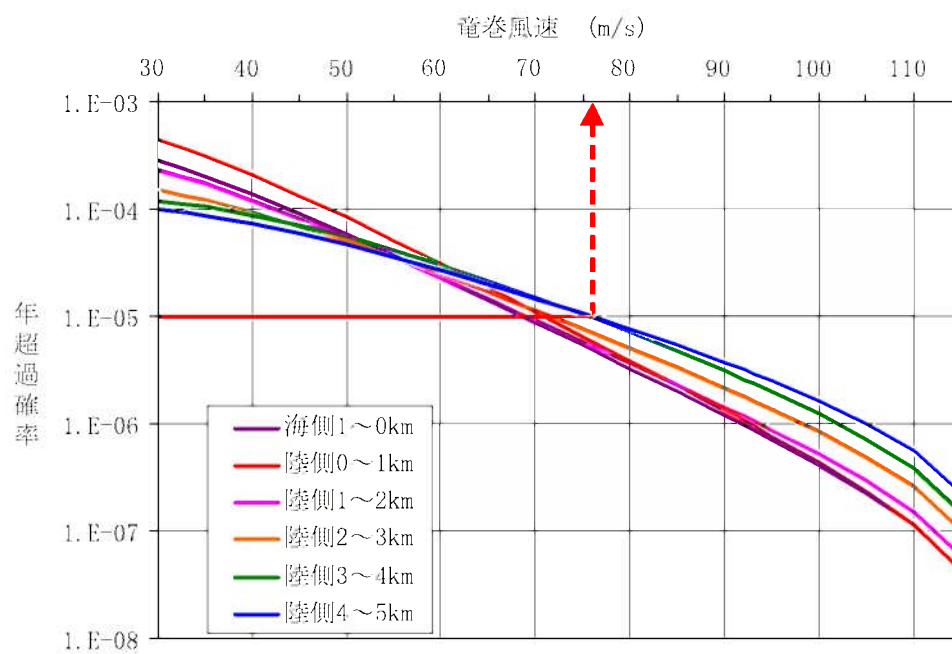


超過確率

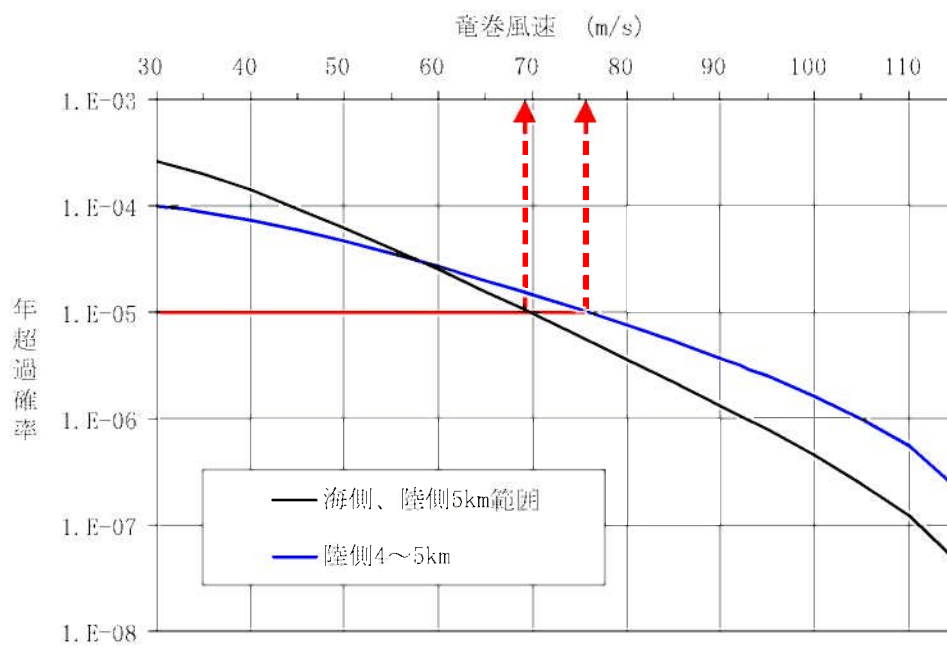
第1.2-28図 被害長さの確率密度分布と超過確率



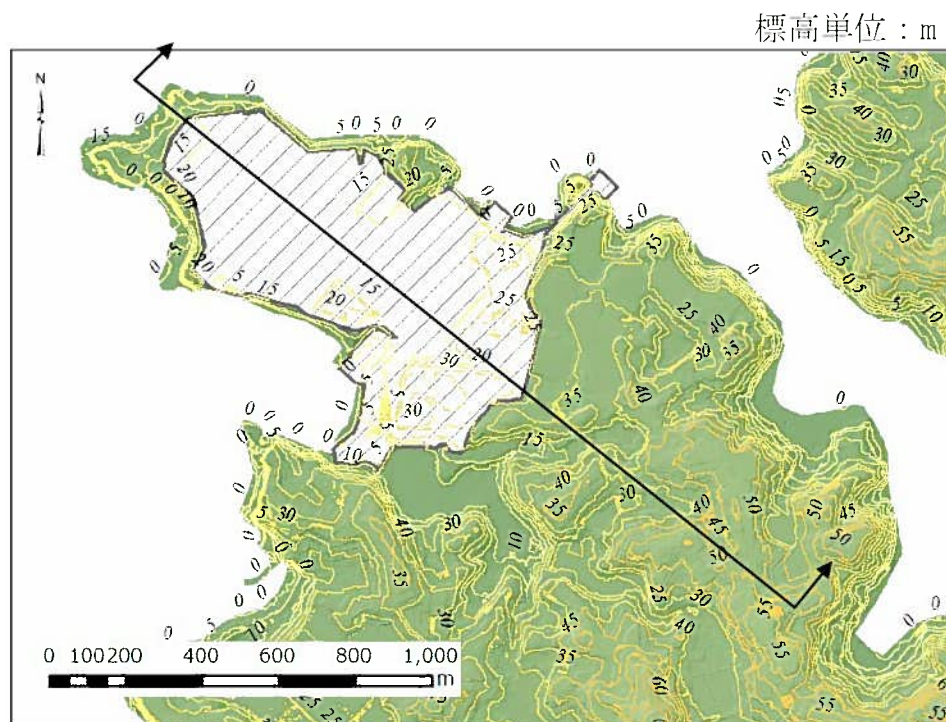
第1.2-30図 竜巻最大風速のハザード曲線(海側、陸側5km範囲)



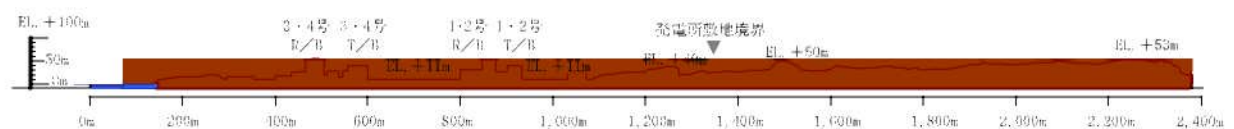
第1.2-31図 竜巻最大風速のハザード曲線(1km範囲)



第1.2-32図 竜巻最大風速のハザード曲線

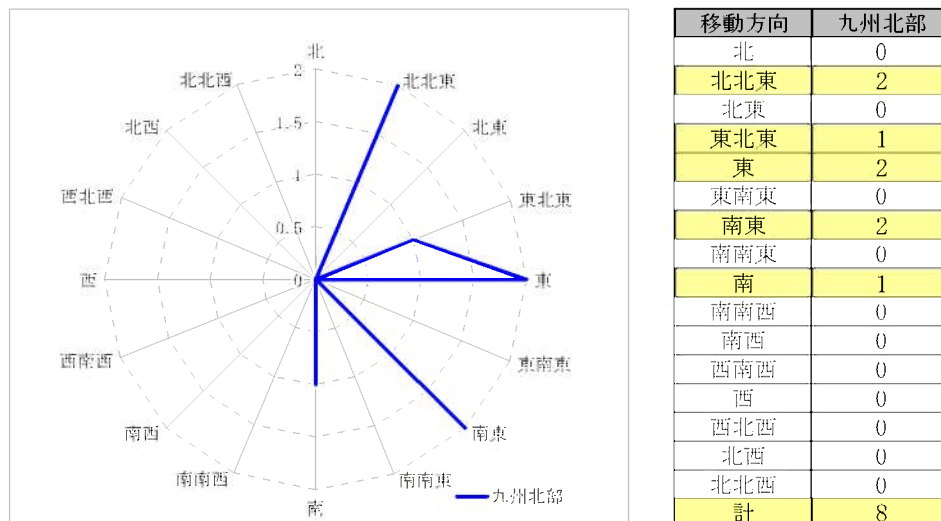


発電所周辺平面図



発電所周辺断面図

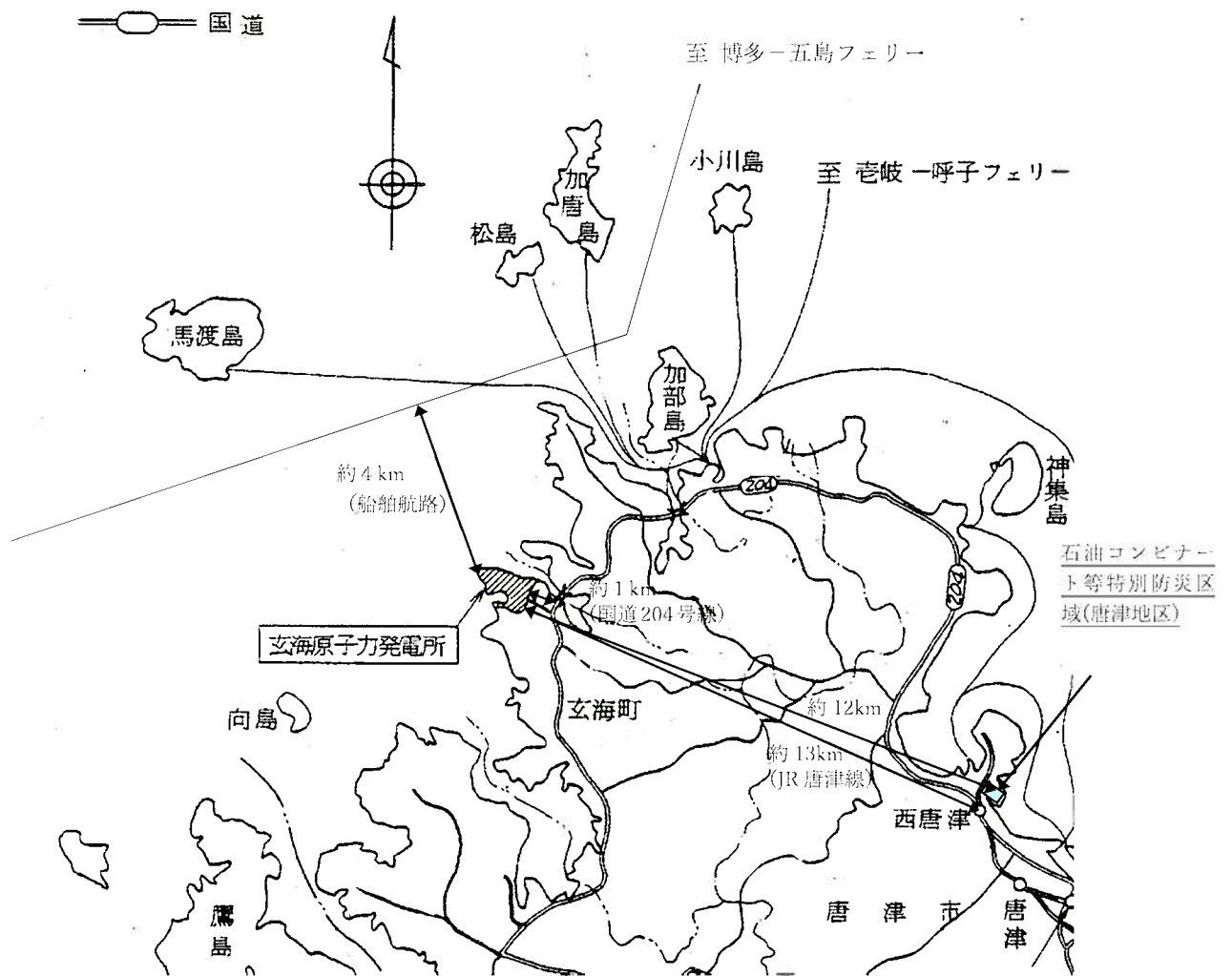
第1.2-33図 玄海原子力発電所敷地周辺の地形



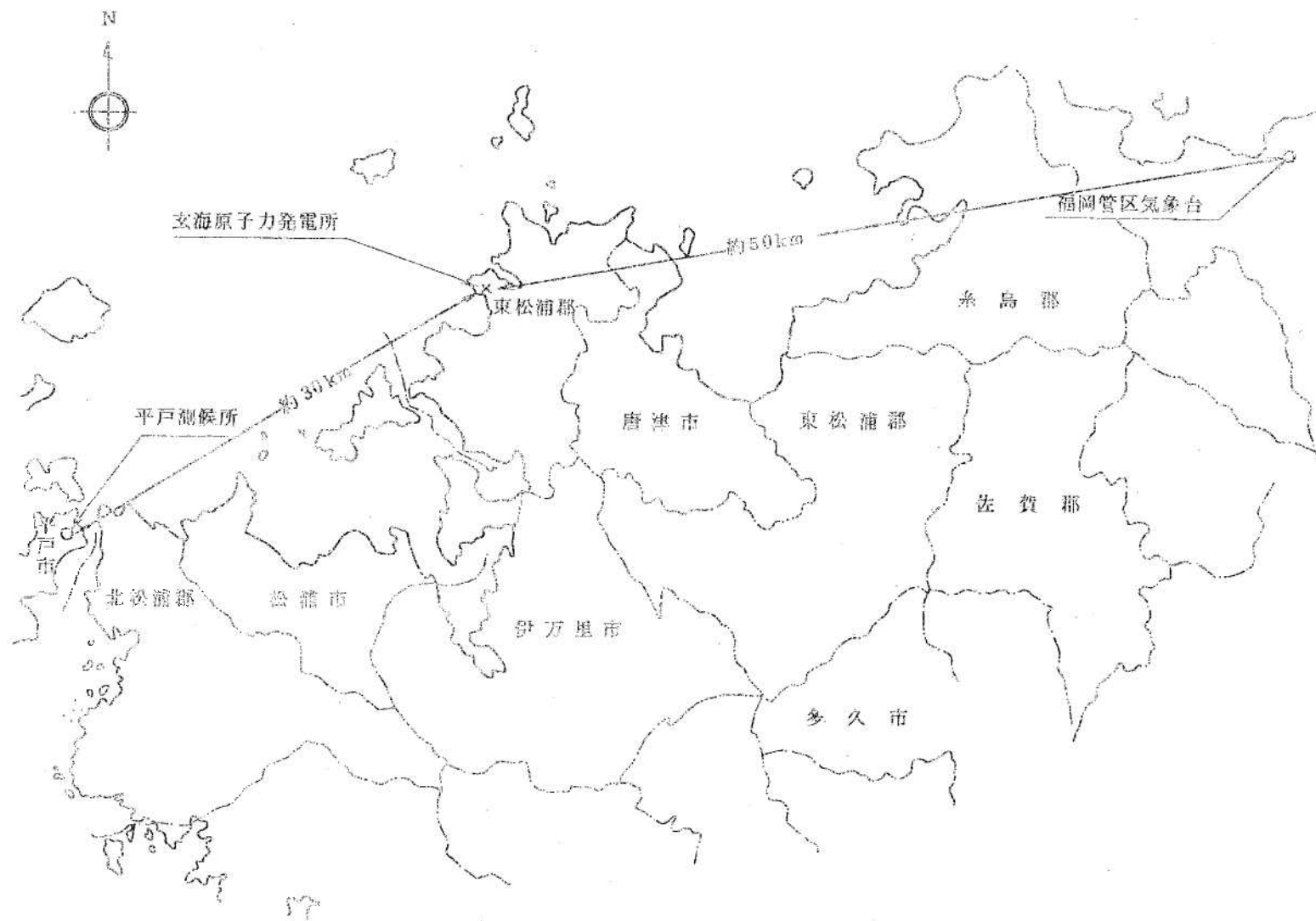
第1.2-34図 九州北部で過去に発生した竜巻の移動方向



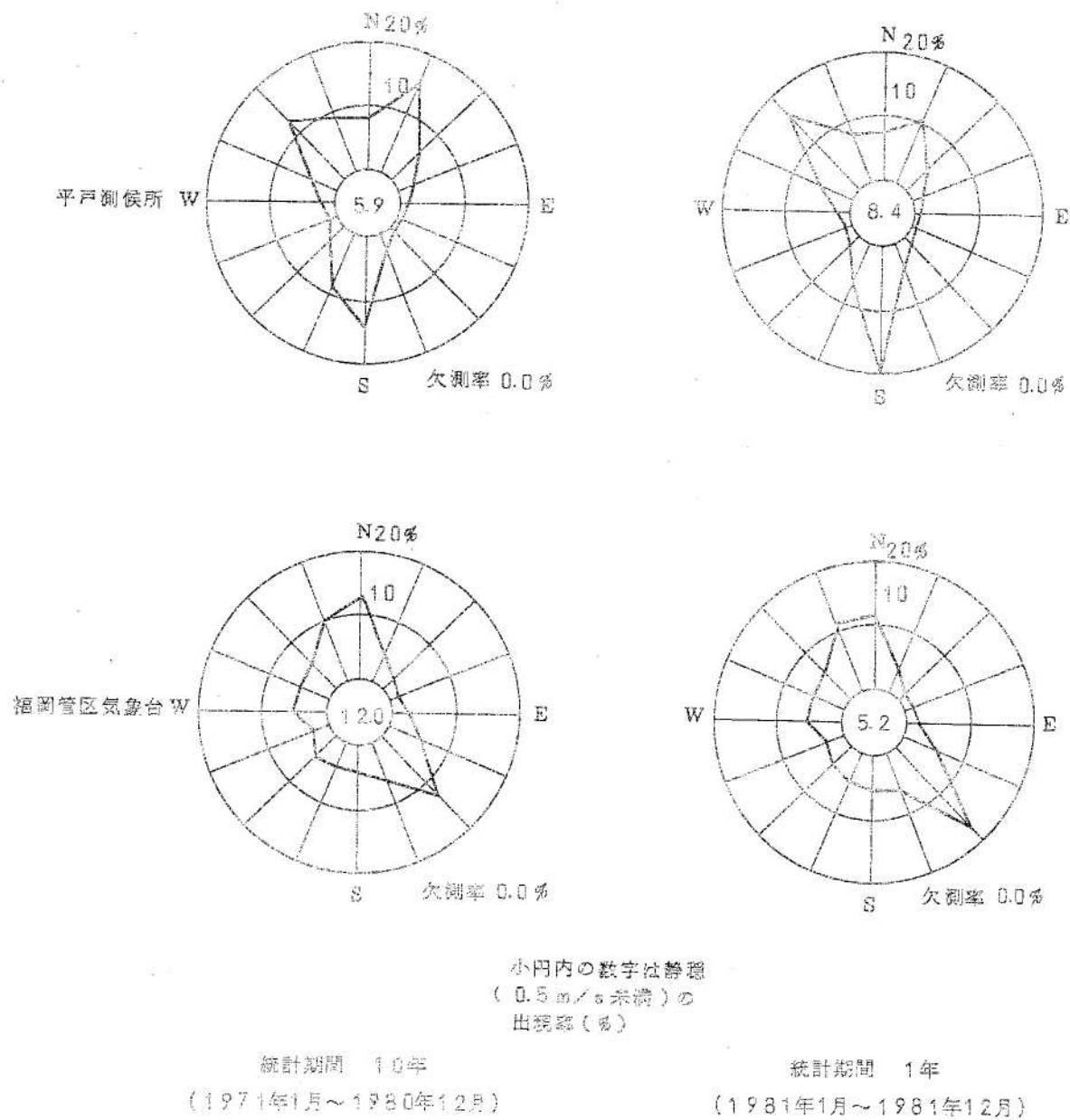
第1.2-35図 玄海原子力発電所の位置と竜巻の移動方向



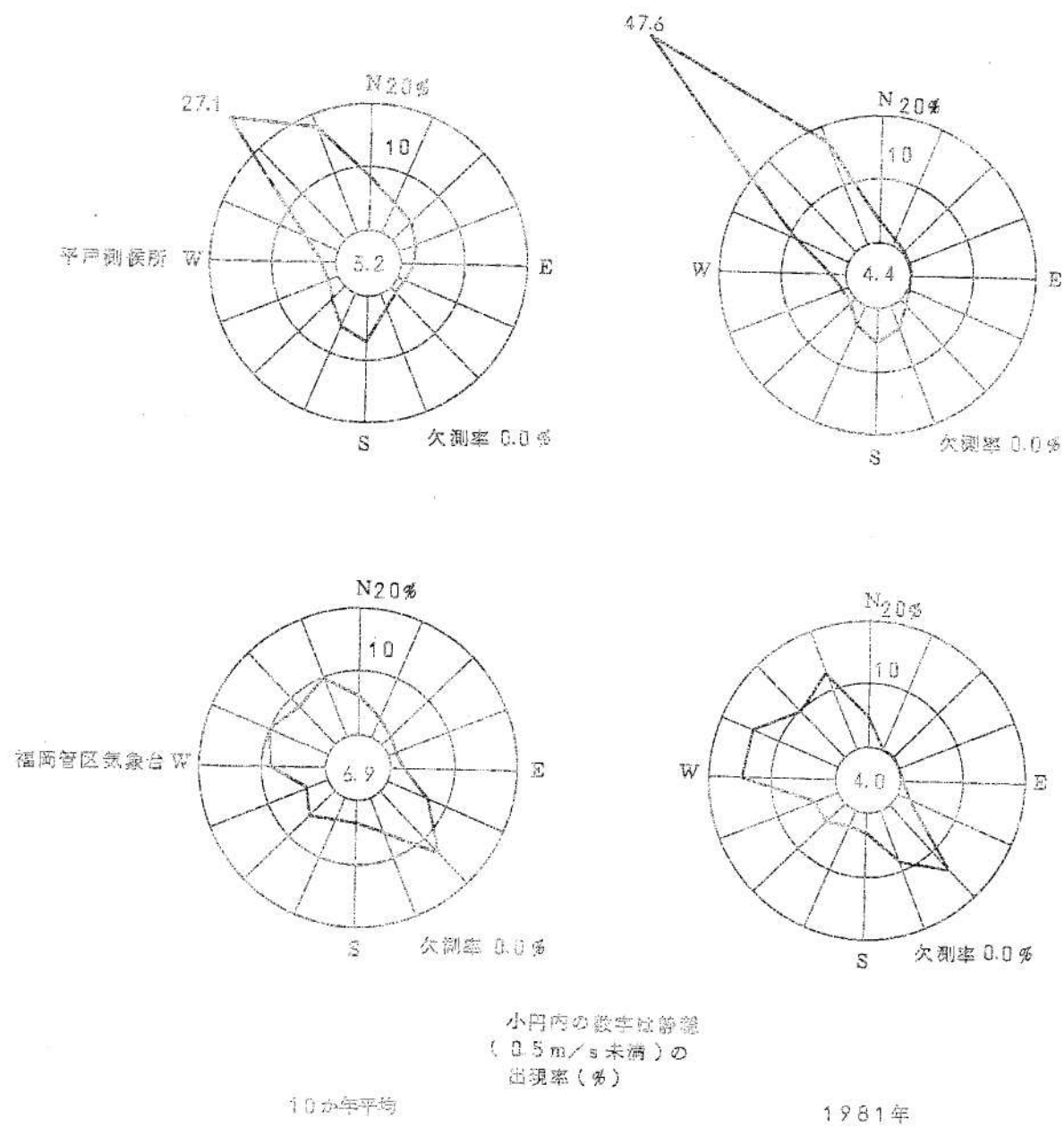
第1.2-36図 鉄道、主要道路及び海上航路



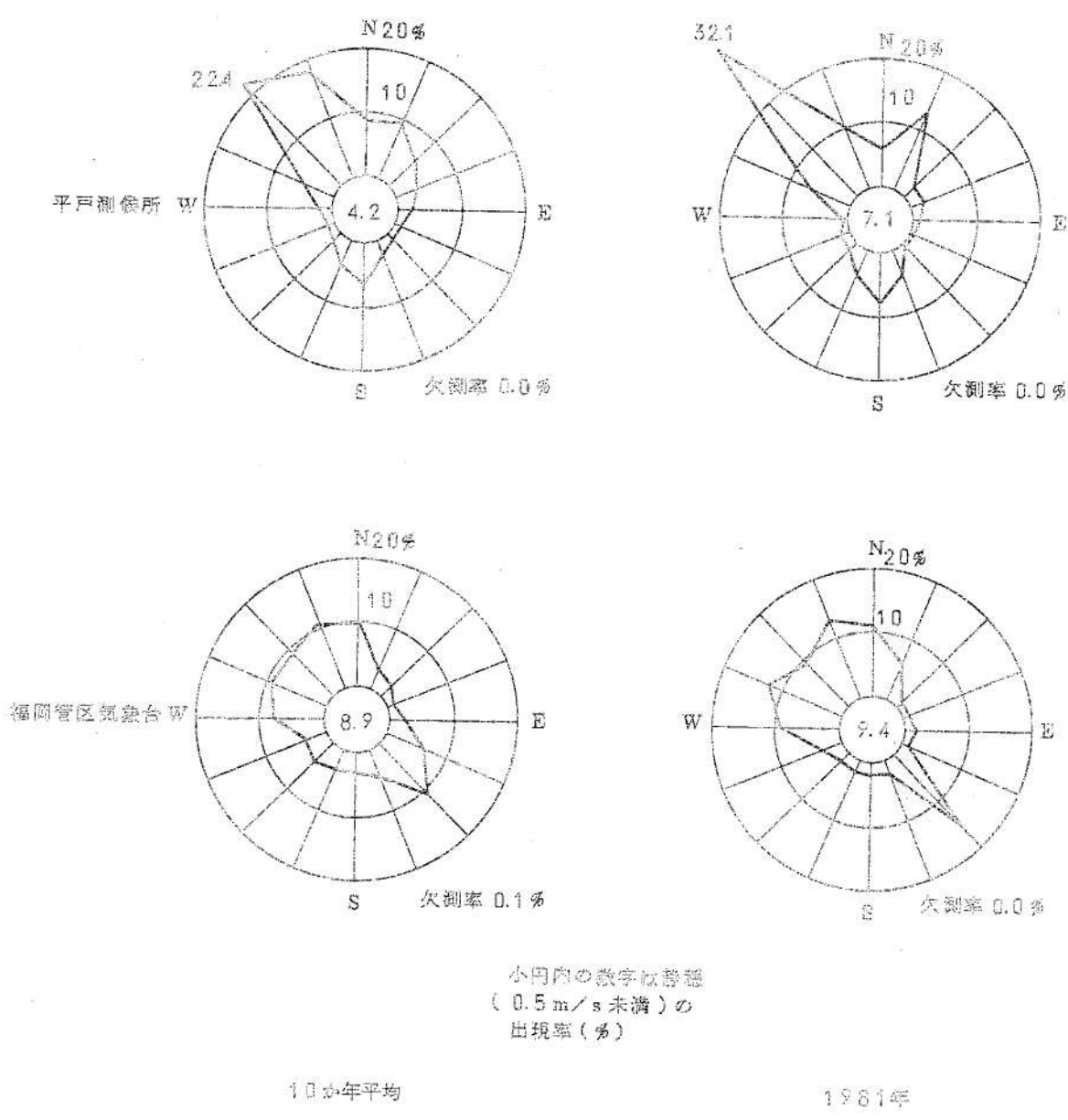
第1.2-38図 気象官署の位置図



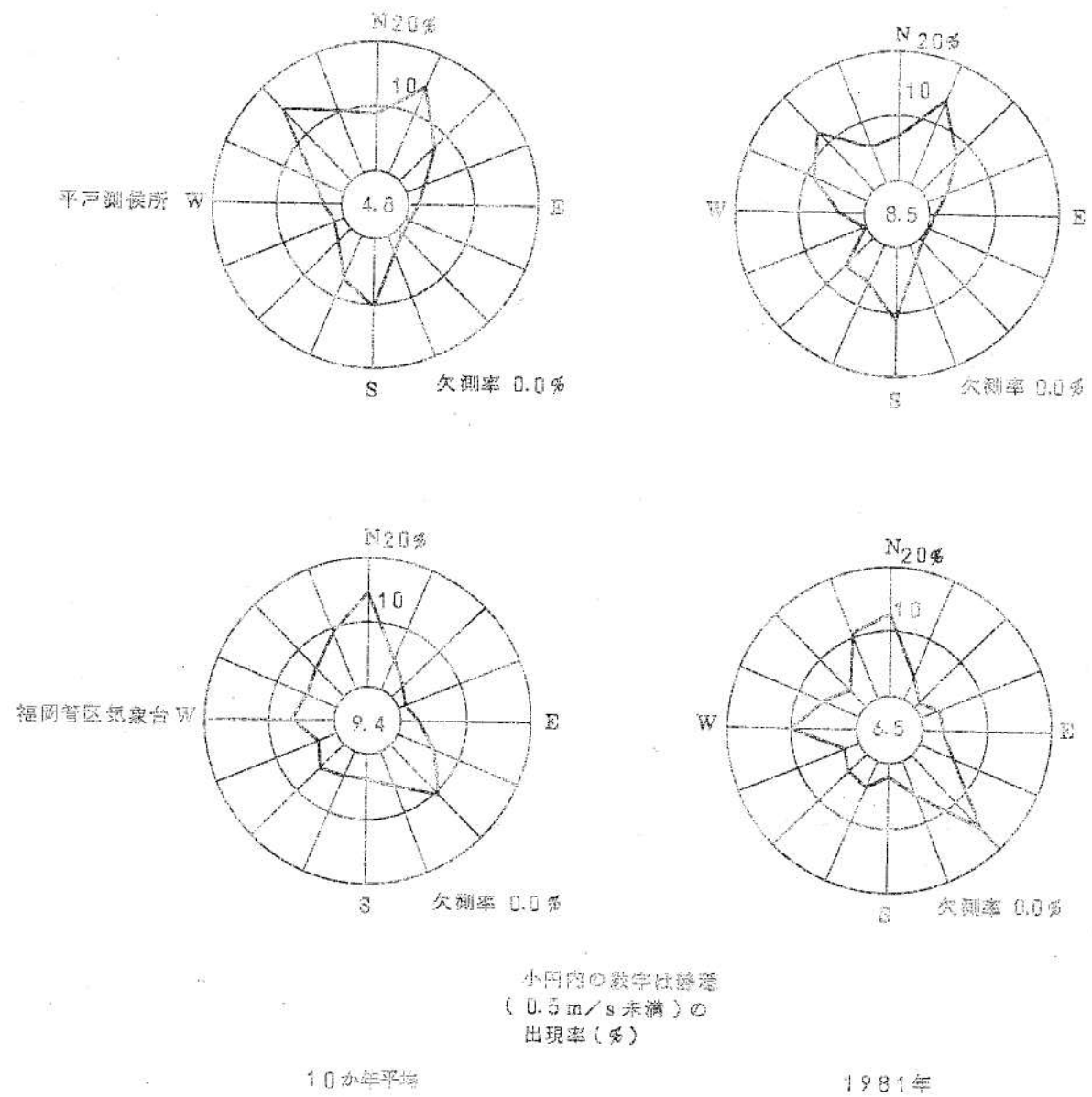
第1.2-39図 気象官署の風配図(全年)



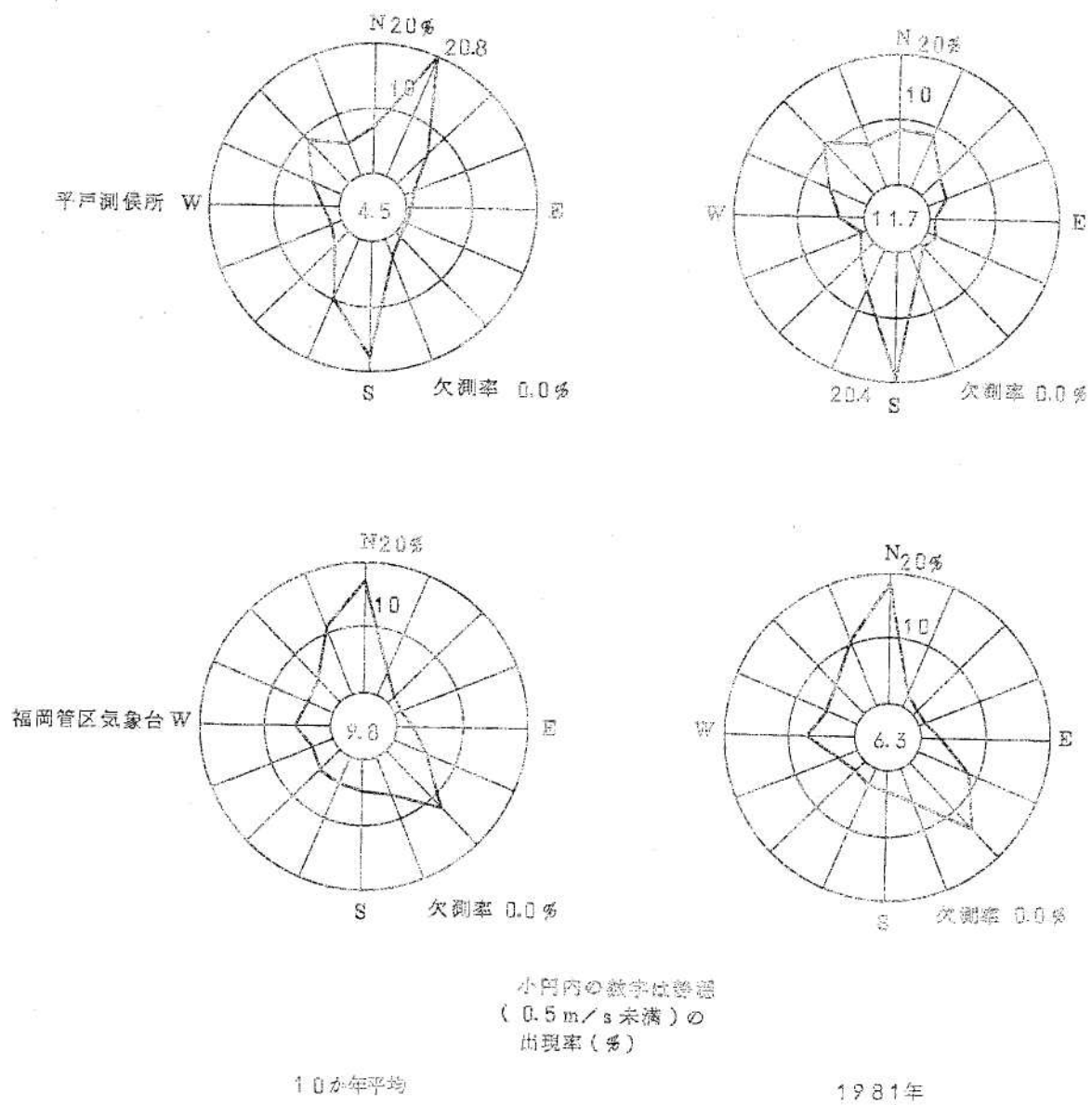
第1.2-40図(1) 気象官署の風配図(1月)



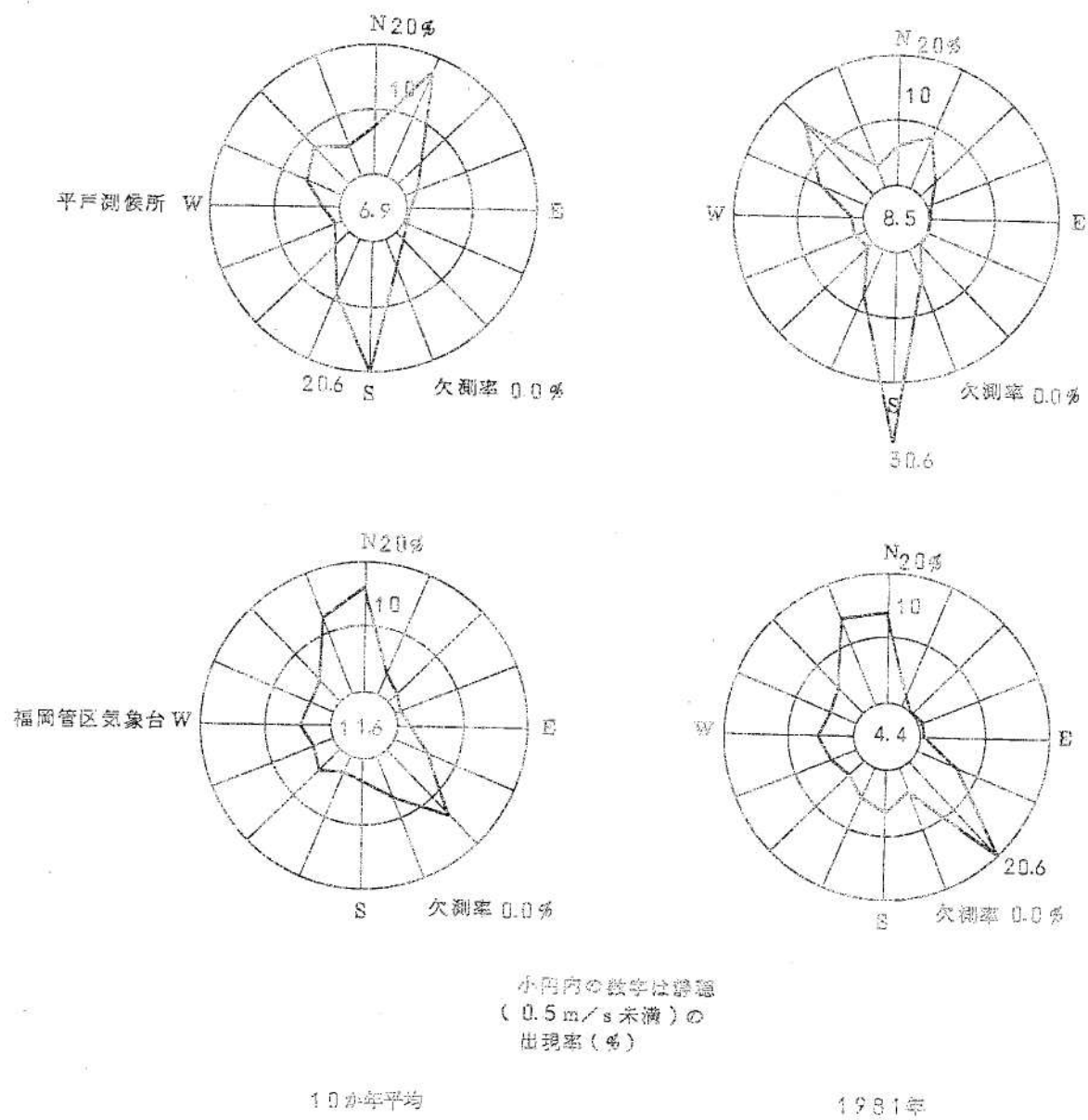
第1.2-40図(2) 気象官署の風配図(2月)



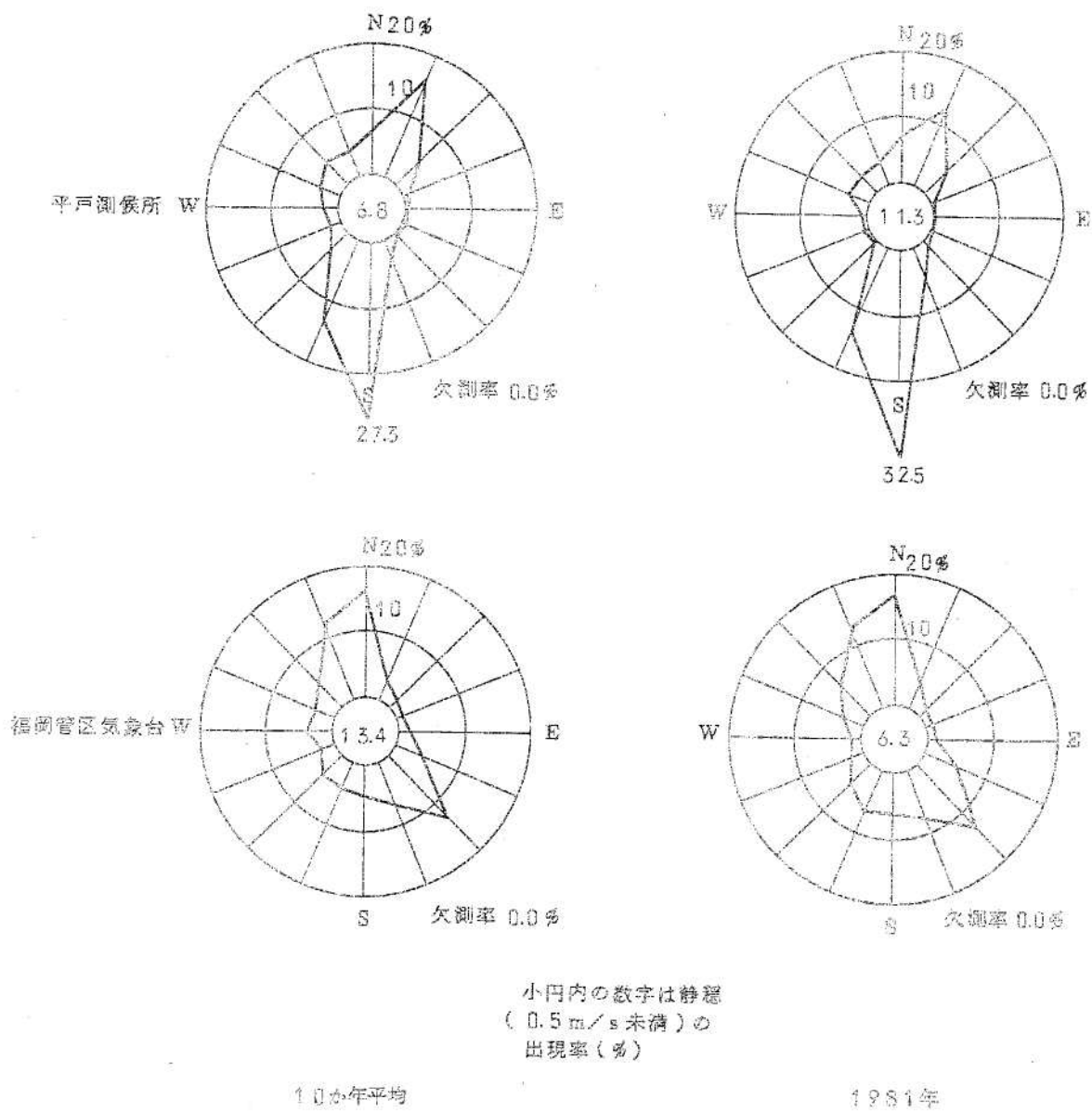
第1.2-40図(3) 気象官署の風配図(3月)



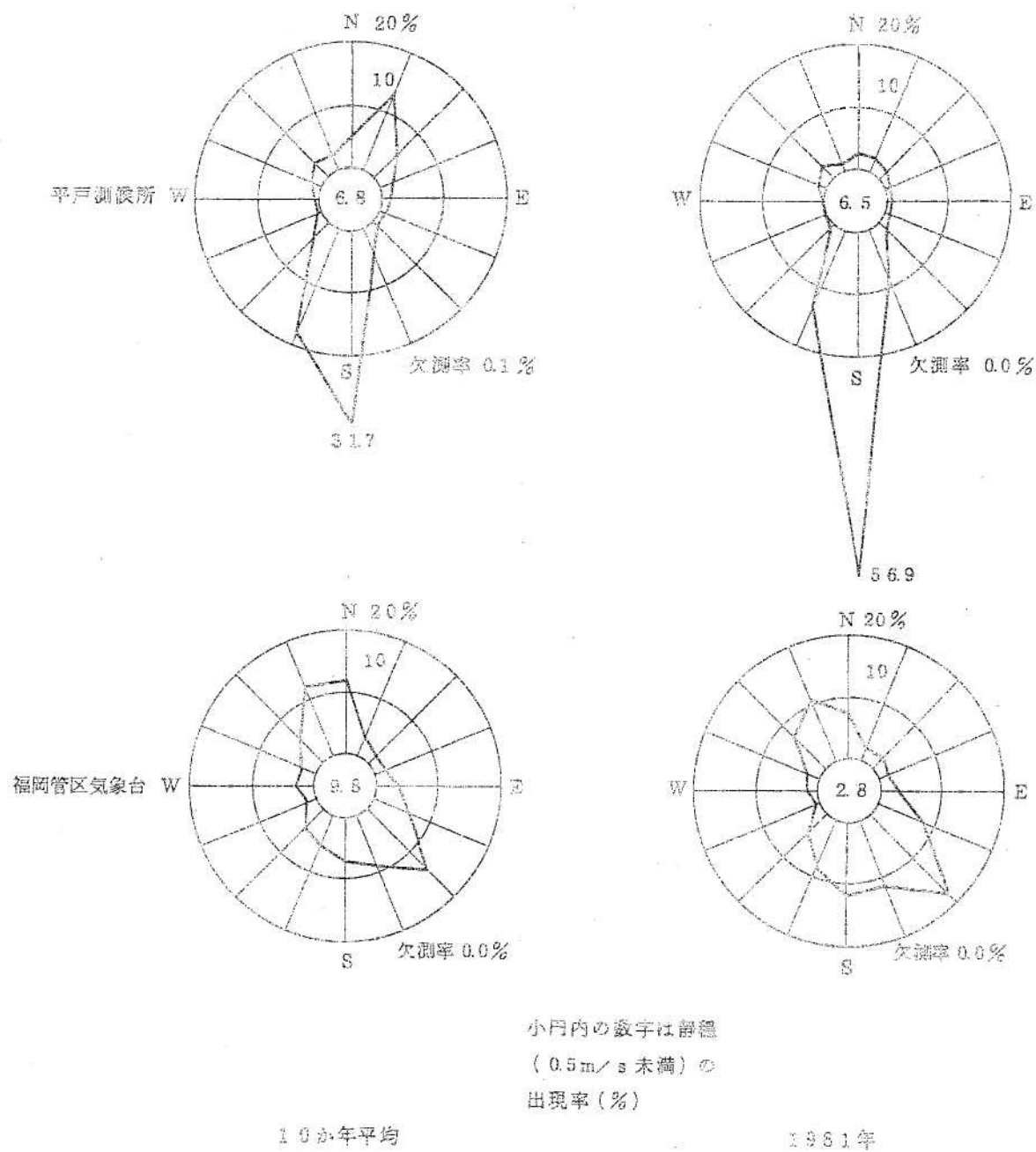
第1.2-40図(4) 気象官署の風配図(4月)



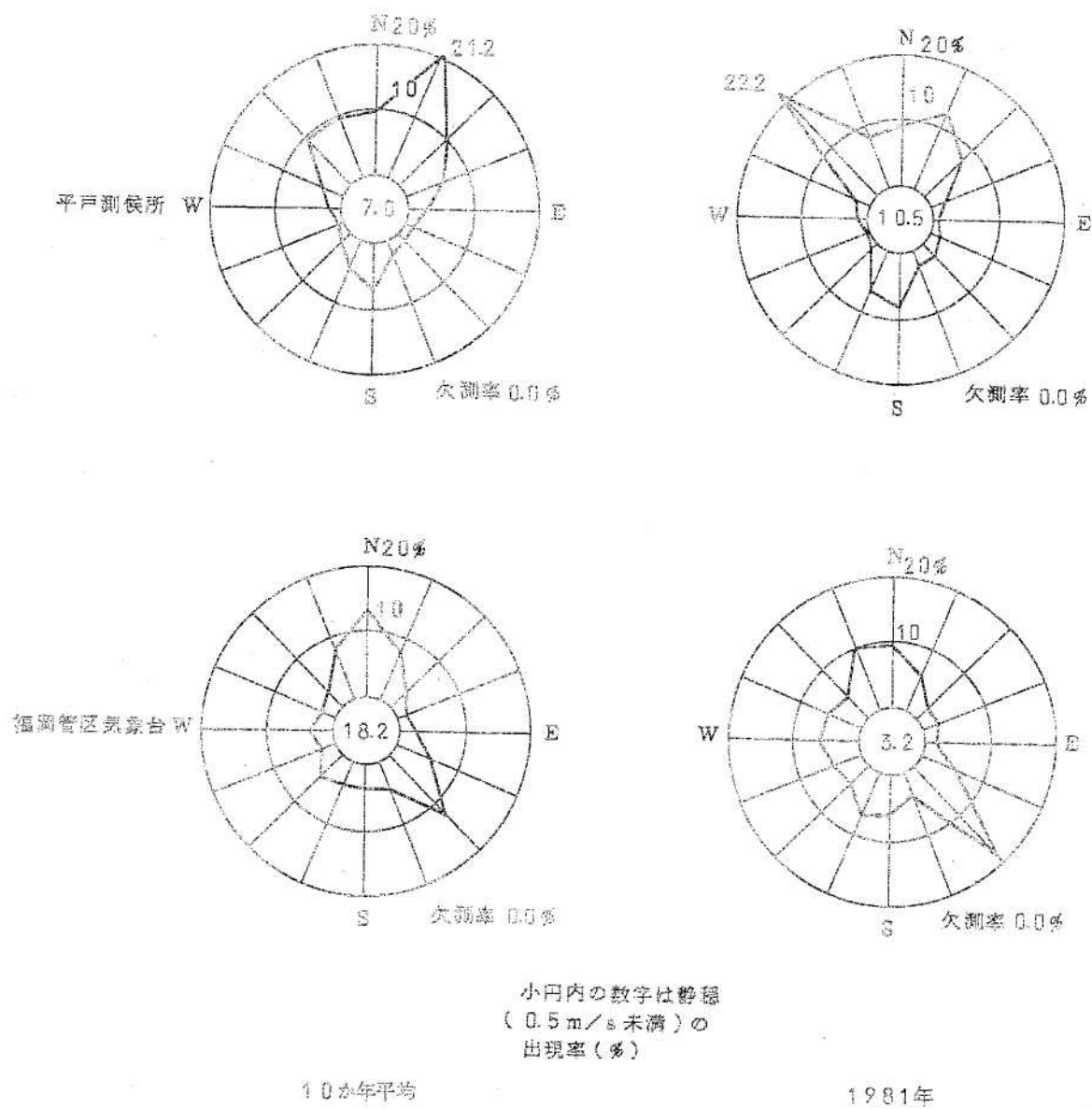
第1.2-40図(5) 気象官署の風配図(5月)



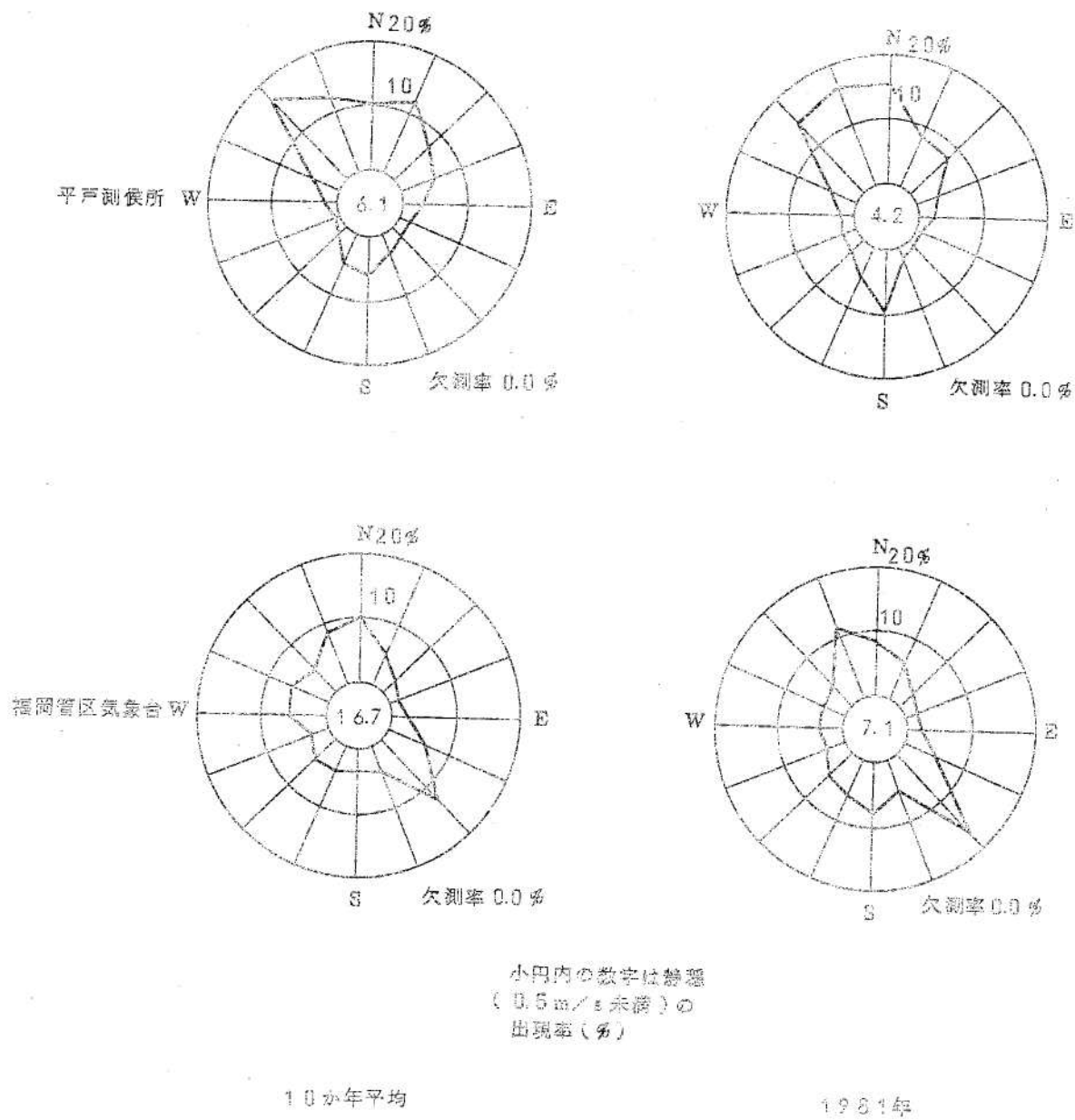
第1.2-40図(6) 気象官署の風配図(6月)



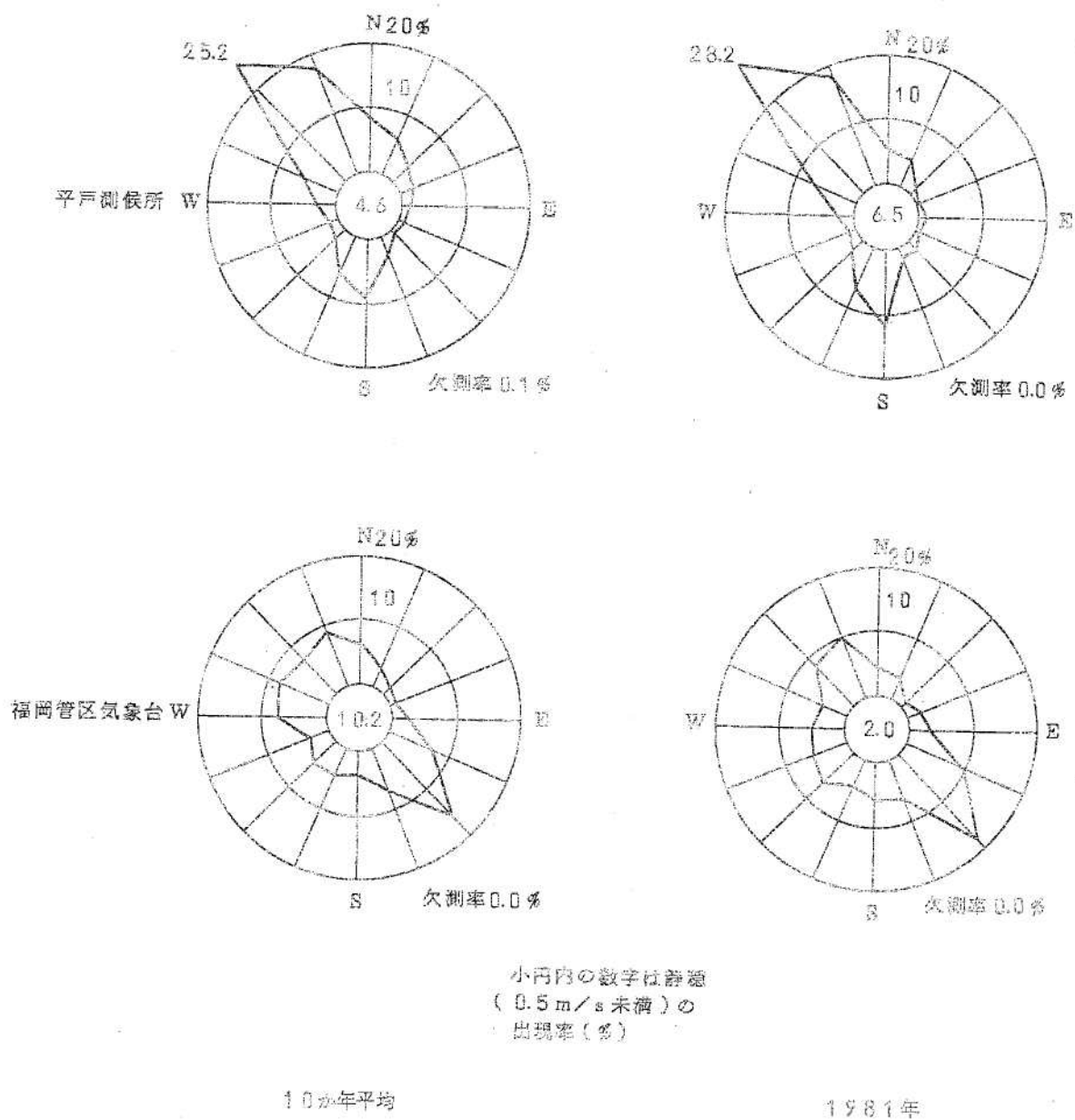
第1.2-40図(7) 気象官署の風配図(7月)



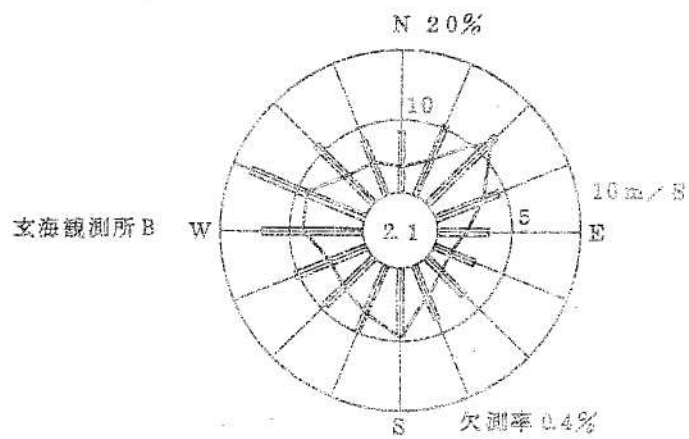
第1.2-40図(10) 気象官署の風配図(10月)



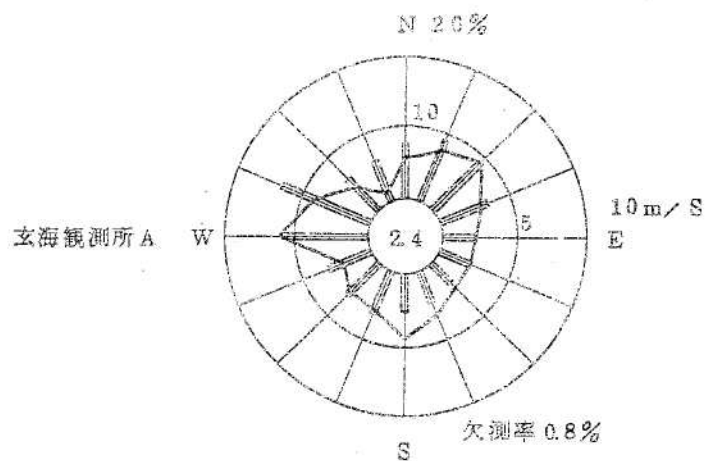
第1.2-40図(11) 気象官署の風配図(11月)



第1.2-40図(12) 気象官署の風配図(12月)

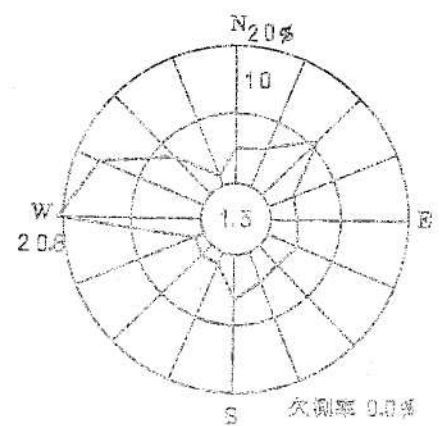
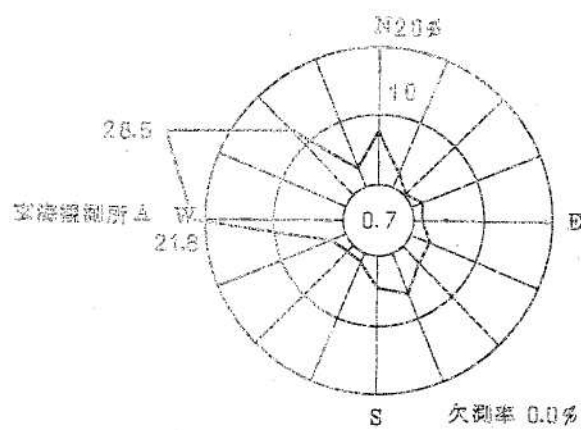
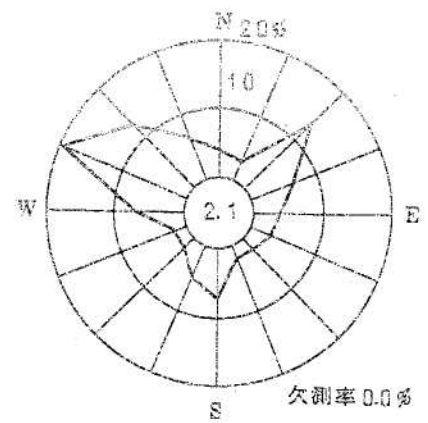
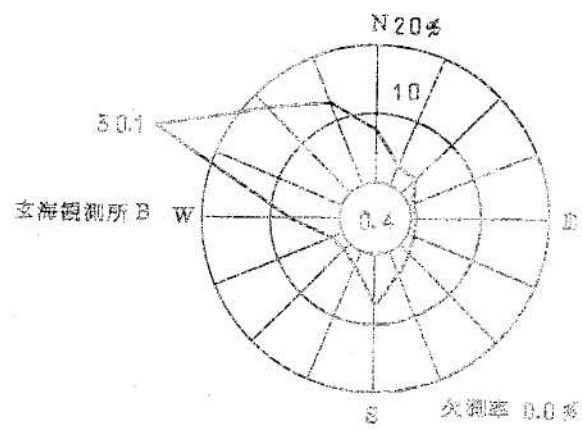


小円内の数字は総観
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)



— 風向出現度数(%)
□ 平均風速(m/s)
統計期間 1年
(1981年1月～1981年12月)

第1.2-42図 全年の風配図

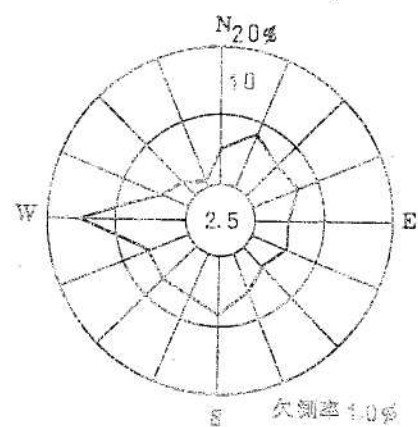
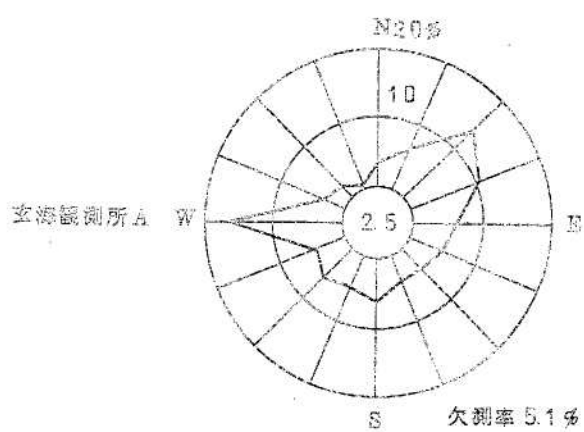
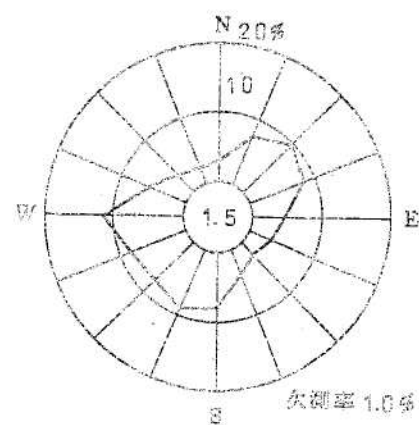
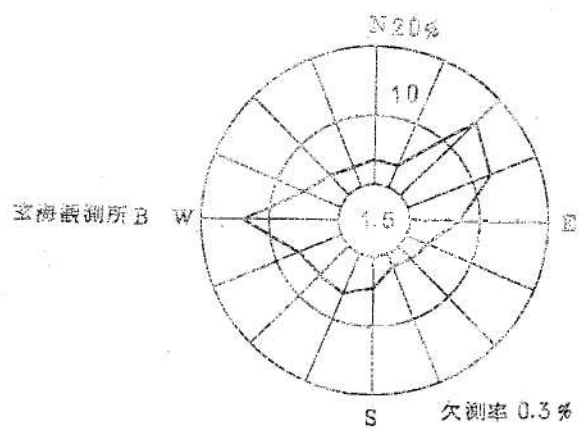


1981年1月

2月

小円内の数字は静速
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

第1.2-43図(1) 月別風配図

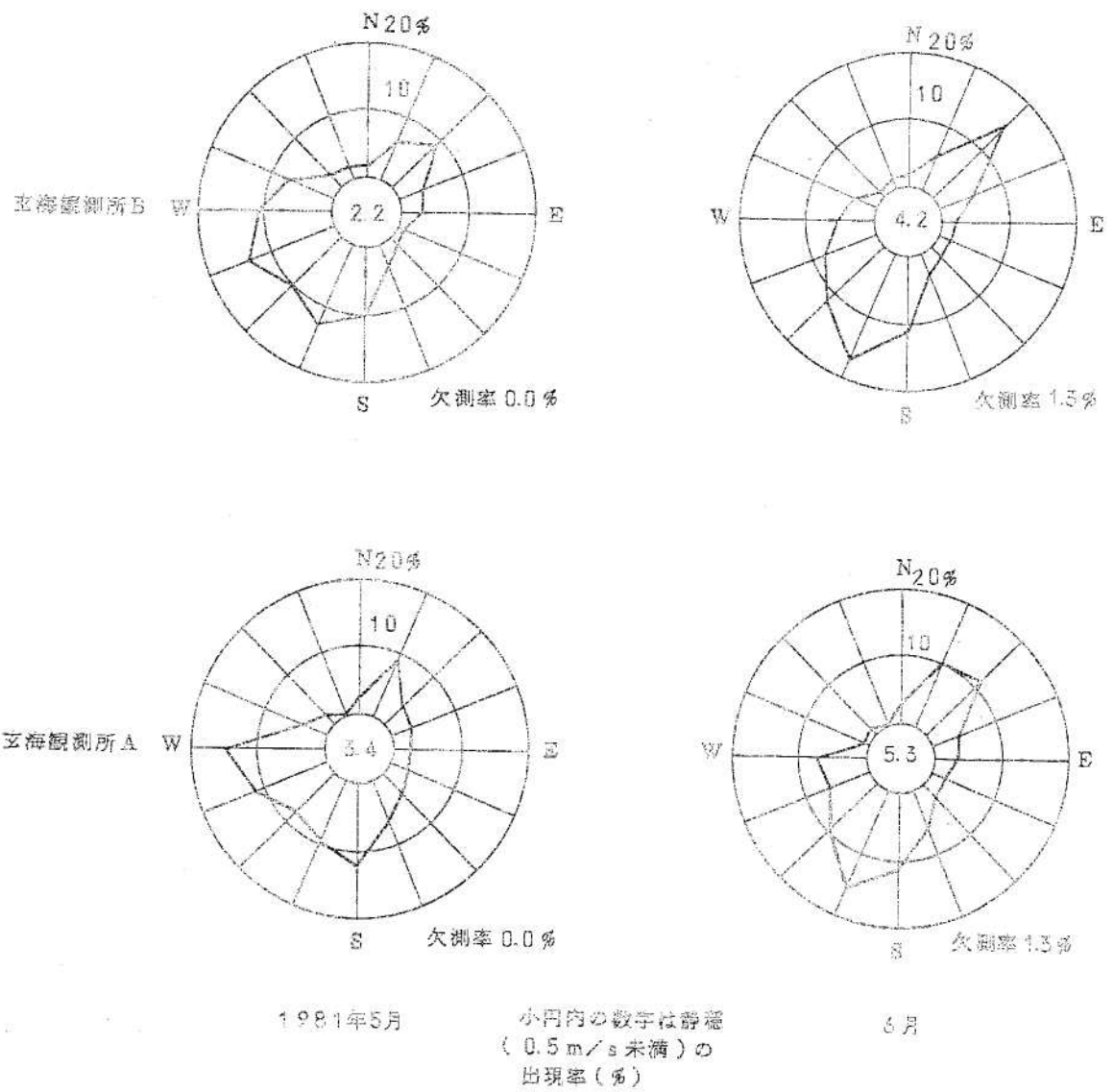


1981年3月

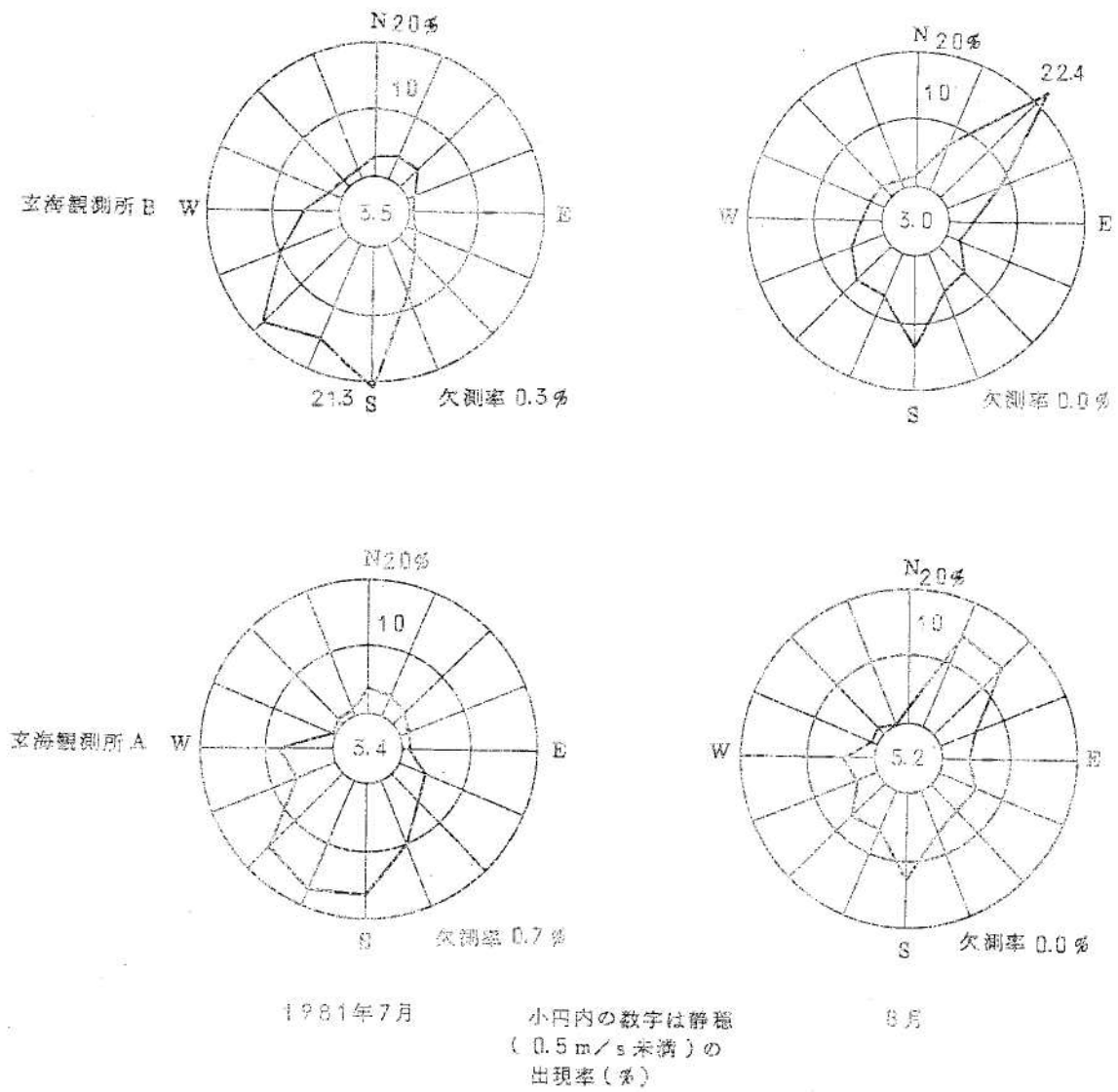
小円内の数字は算値
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

4月

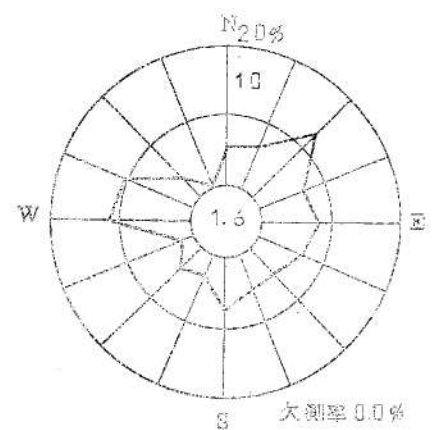
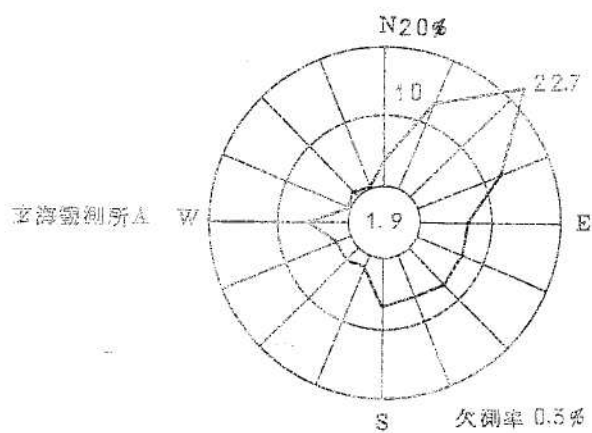
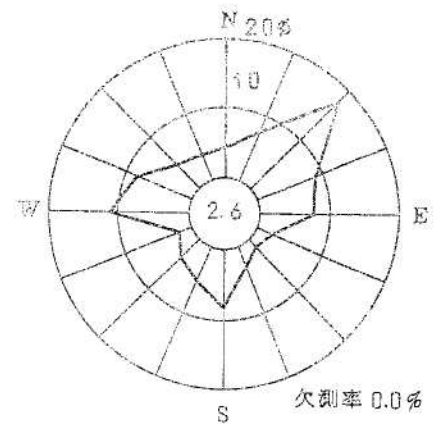
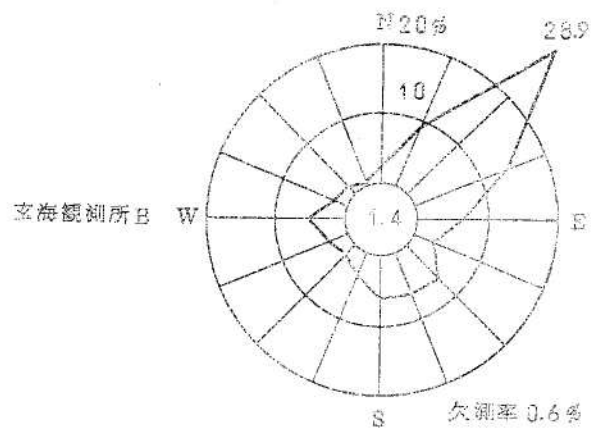
第1.2-43図(2) 月別風配図



第1.2-43図(3) 月別風配図



第1.2-43図(4) 月別風配図

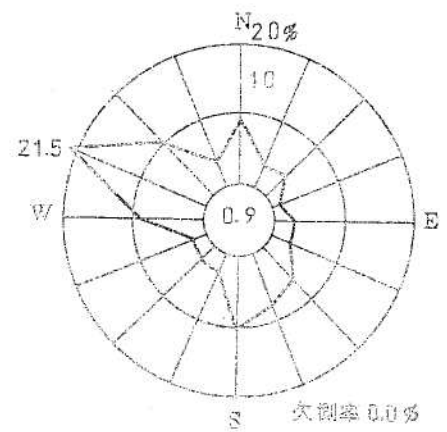
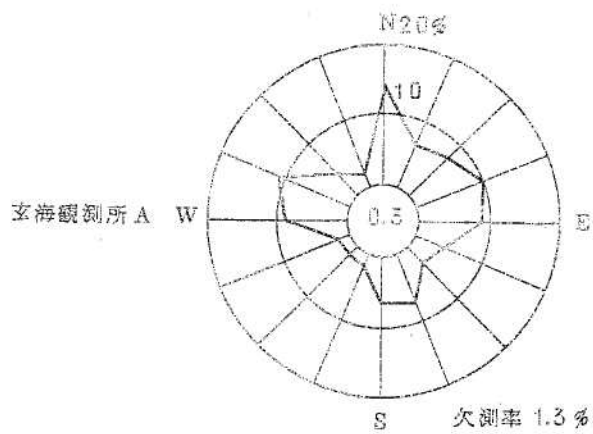
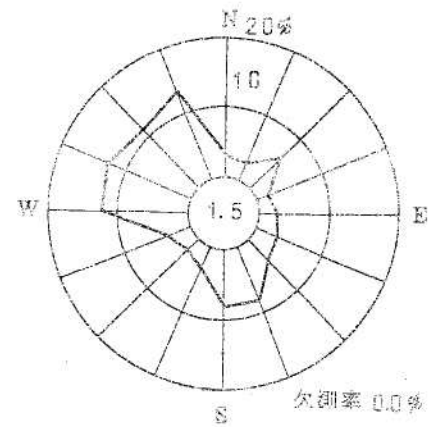
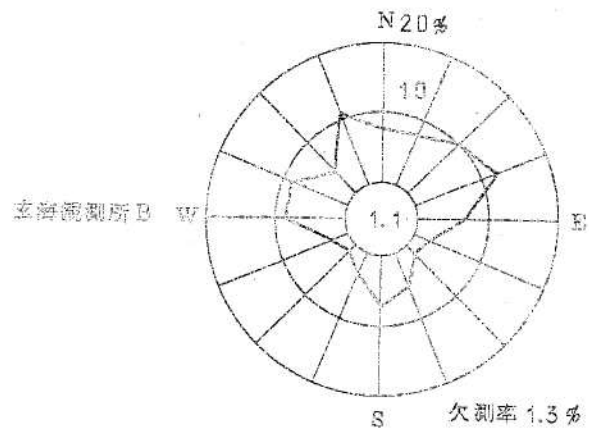


1981年9月

小円内の数字は許容
(0.5 m/s未満)の
出現率(%)

10月

第1.2-43図(5) 月別風配図

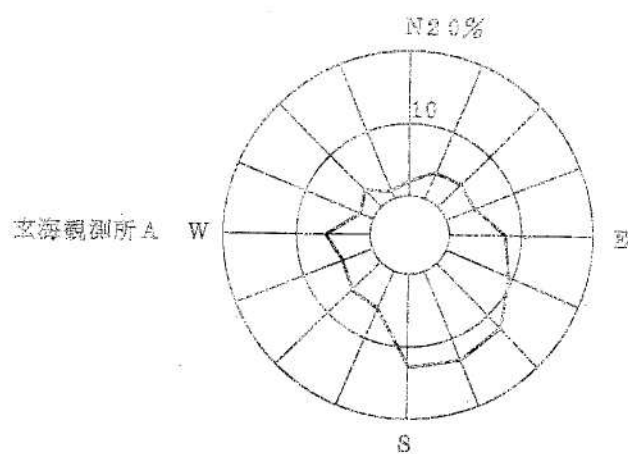
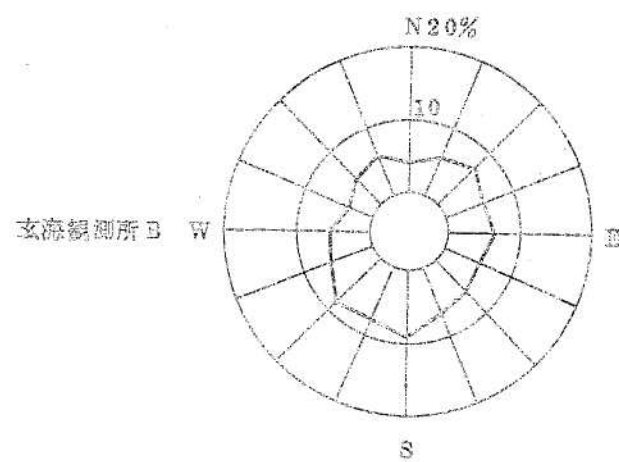


1981年11月

小円内の数字は静穏
(0.5 m/s 未満) の
出現率 (%)

12月

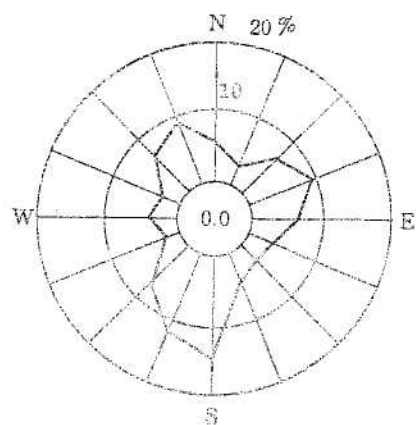
第1.2-43図(6) 月別風配図



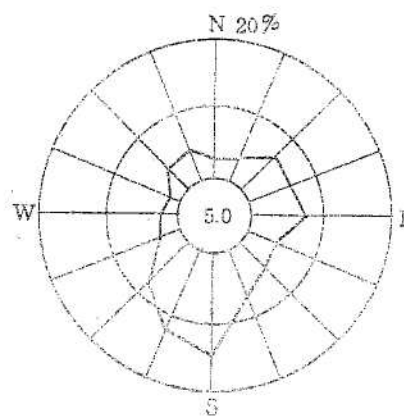
統計期間1981年1月～1981年12月

第1.2-44図 低風速時(0.5～2.0m/s)の風配図(全年)

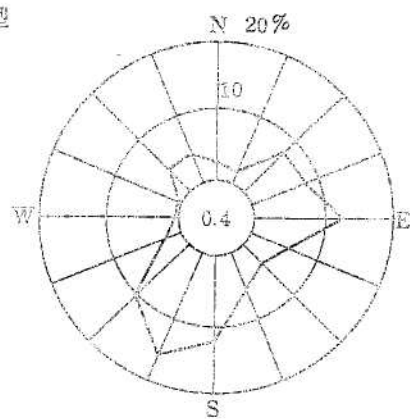
E 型



(E+F+G)型



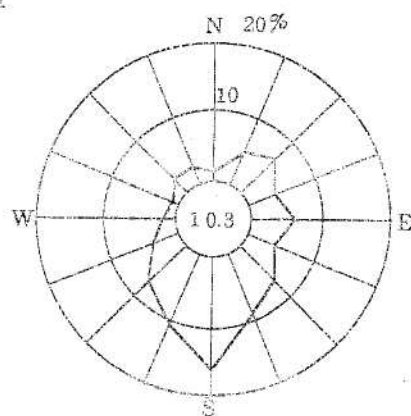
F 型



大気安定度	出現頻度 (%)
E	6.4
F	5.5
G	10.6
E+F+G	22.5

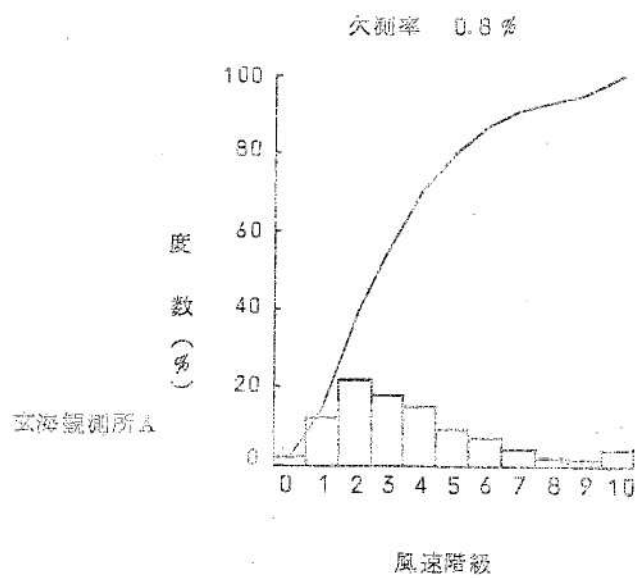
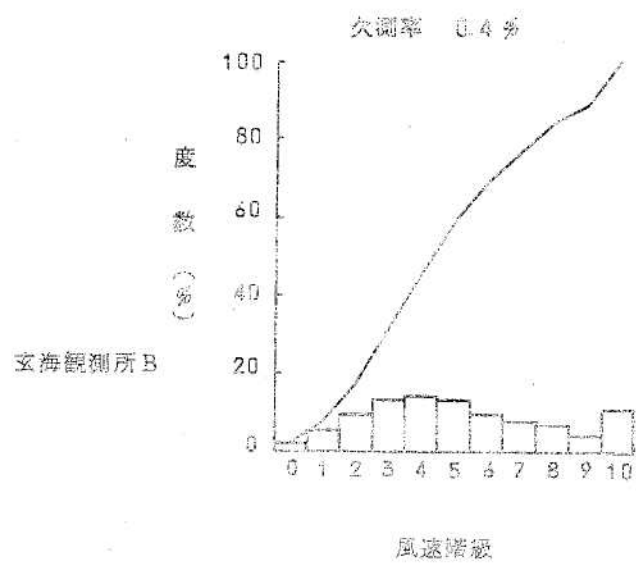
統計期間 1年
(1981年1月～
1981年12月)

G 型



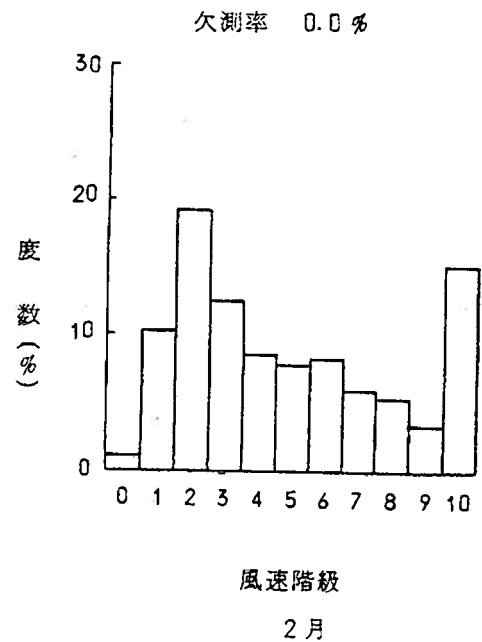
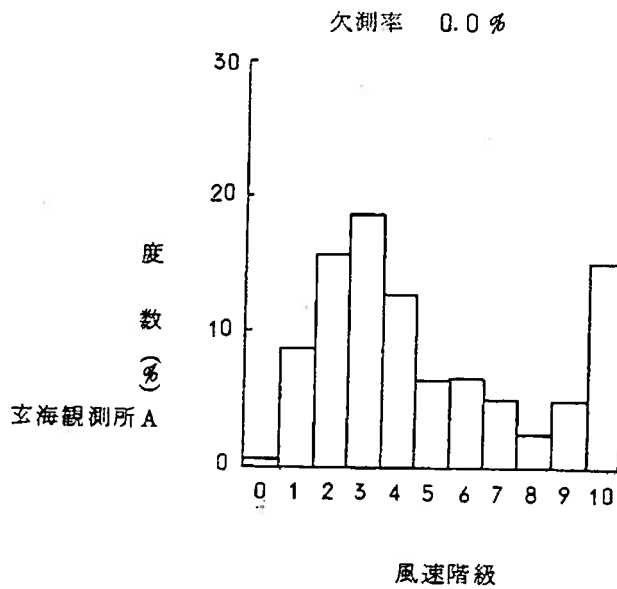
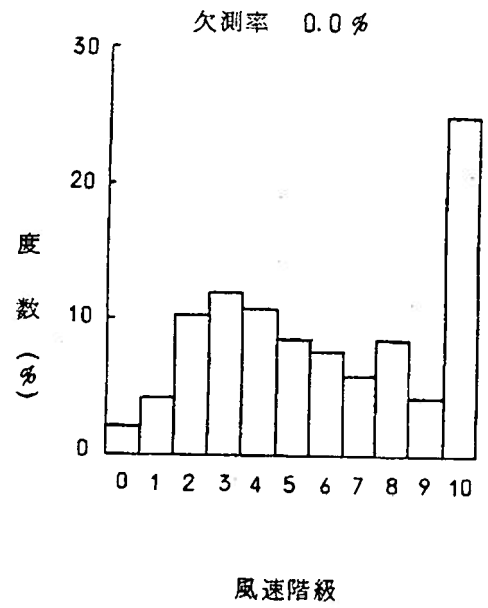
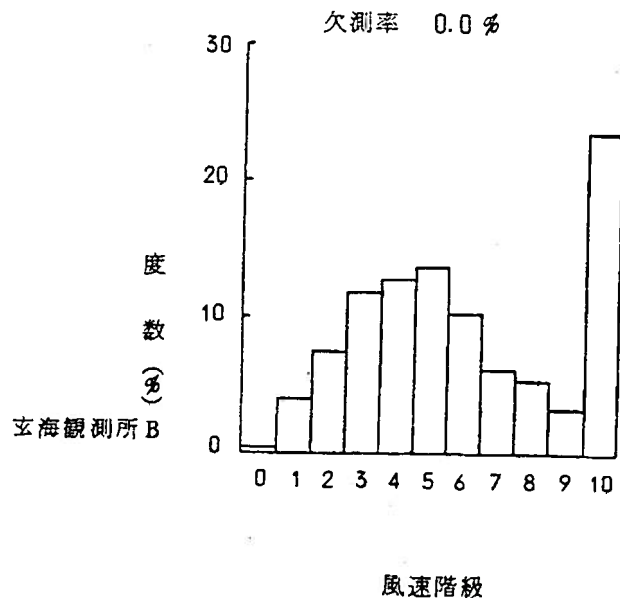
- 注) 1. 安定度は玄海観測所Aの風速によって算出し、風向別の分類は玄海観測所Bの風向風速による。
2. 小円内の数字は各大気安定度型の出現に対する静穏(0.5m/s未満)の出現率

第1.2-45図 大気安定度E、F、G型時の風配図(全年)

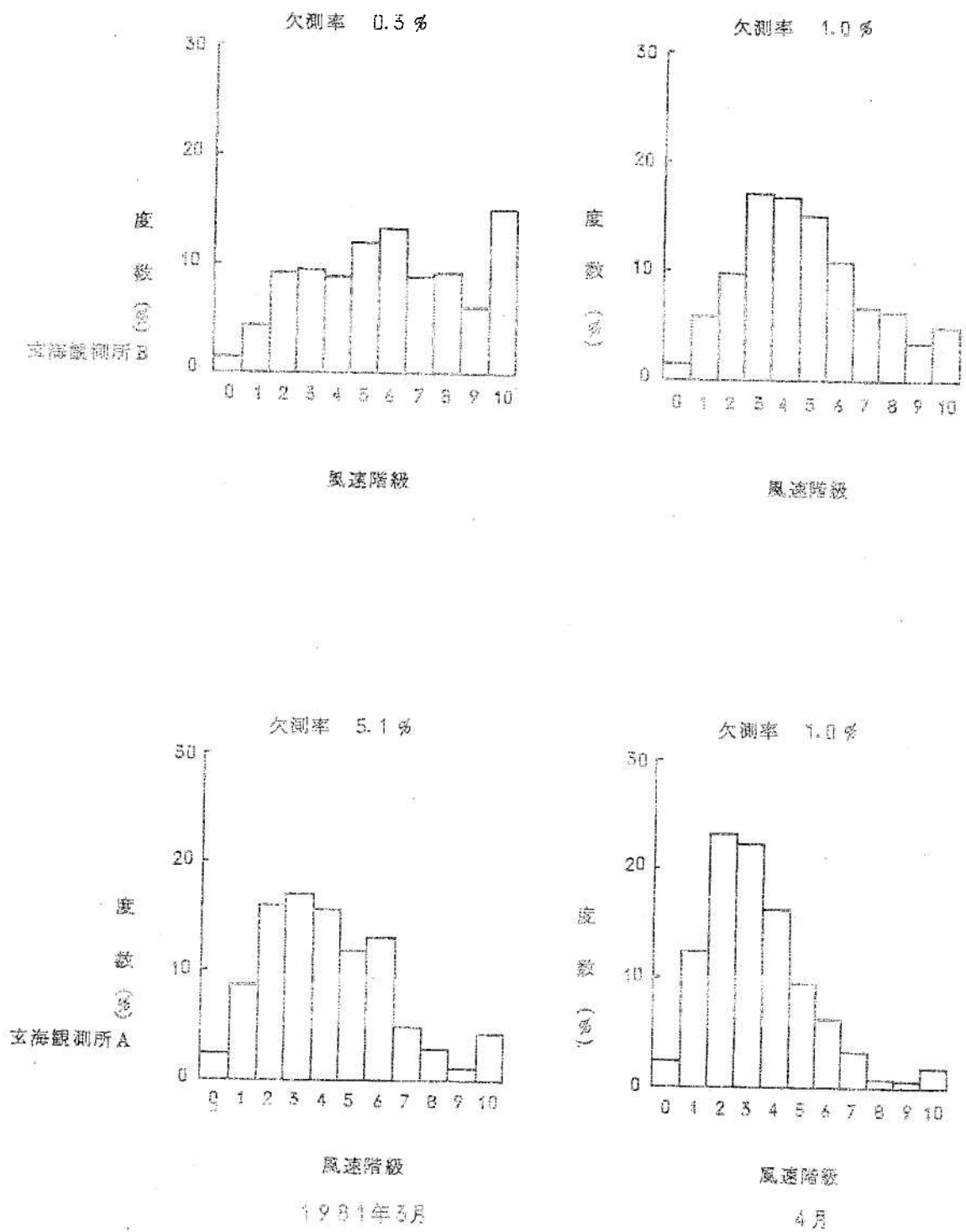


統計期間 1年
(1981年1月~1981年12月)

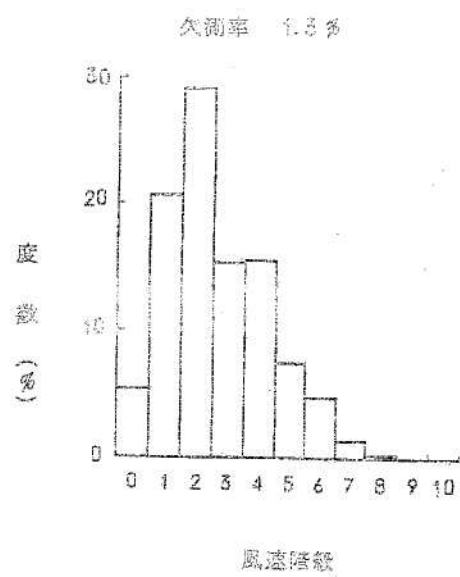
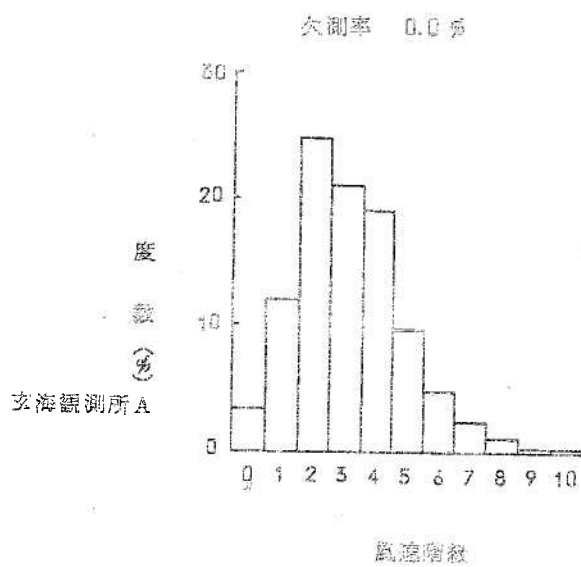
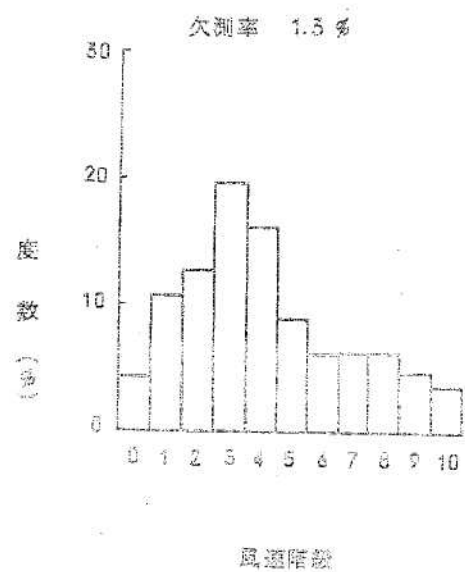
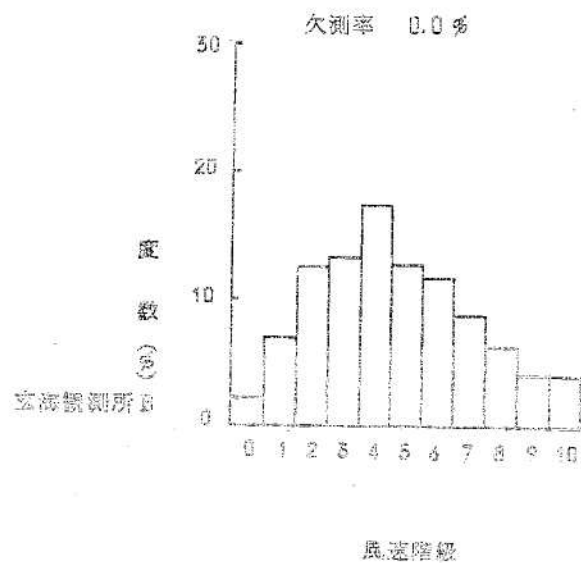
第1.2-46図 風速階級別出現度数分布及び累積度数分布(全年)



第1.2-47図(1) 月別の風速階級別出現度数分布



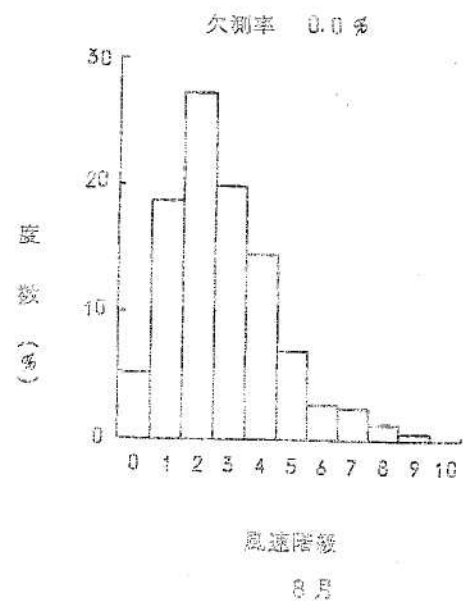
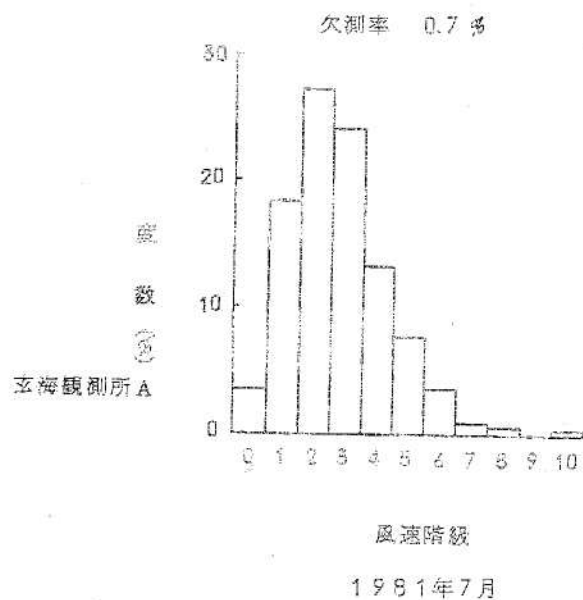
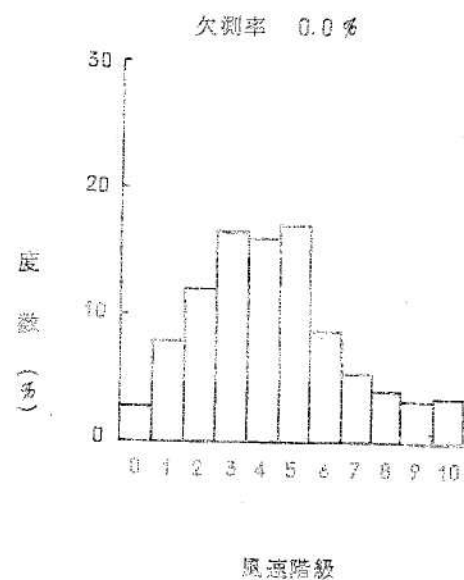
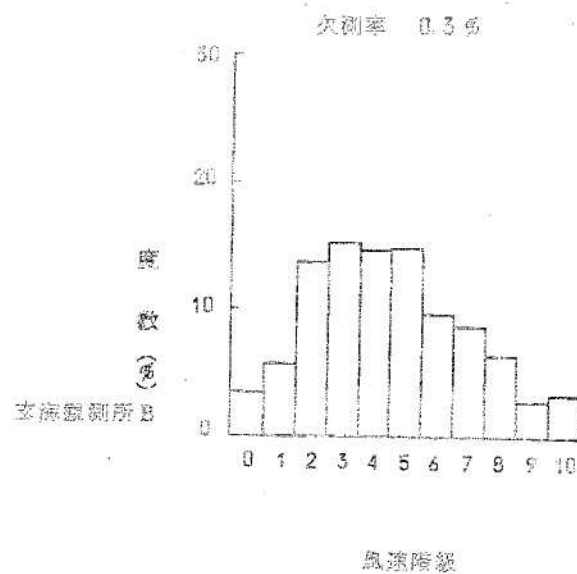
第1.2-47図(2) 月別の風速階級別出現度数分布



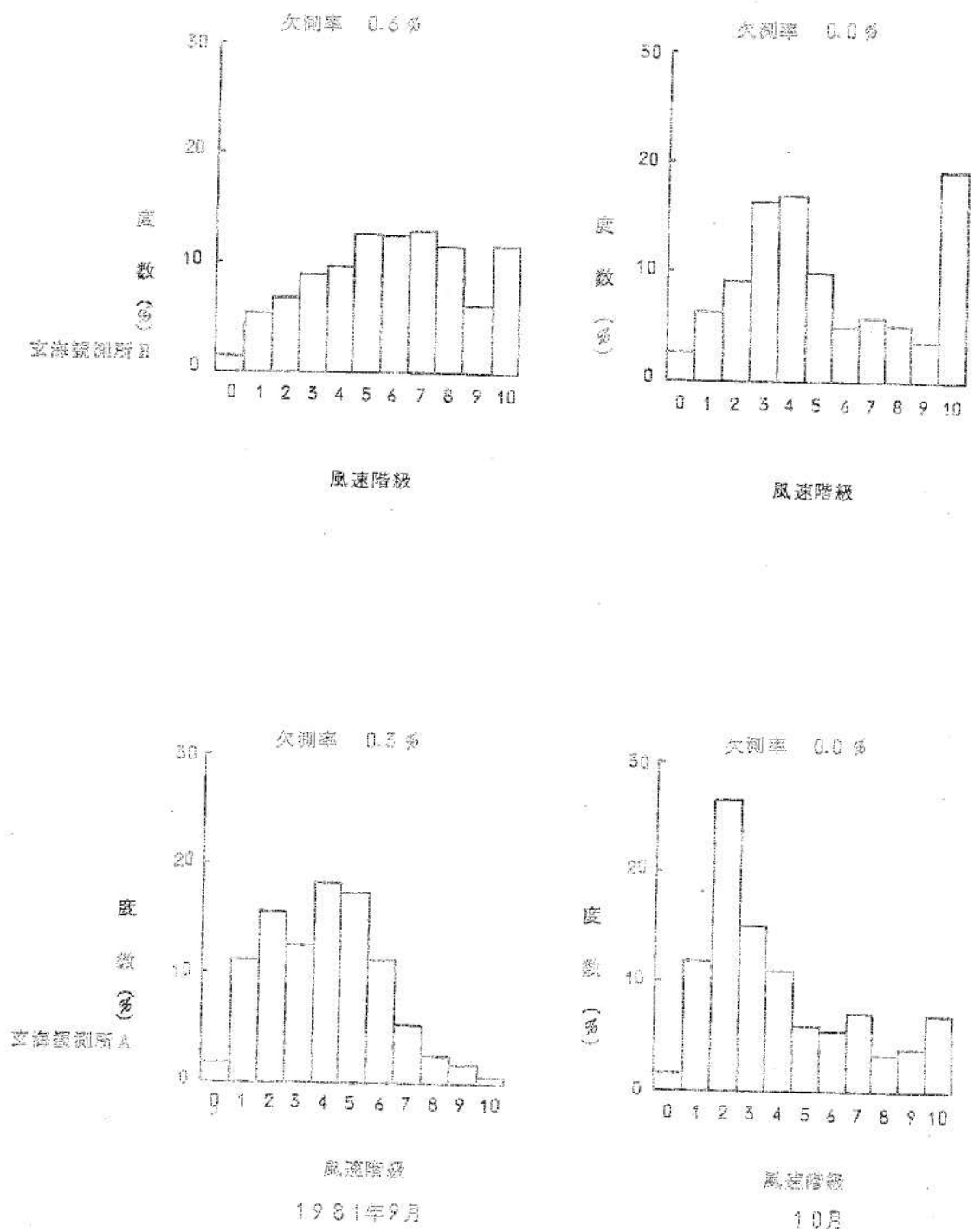
1981年5月

6月

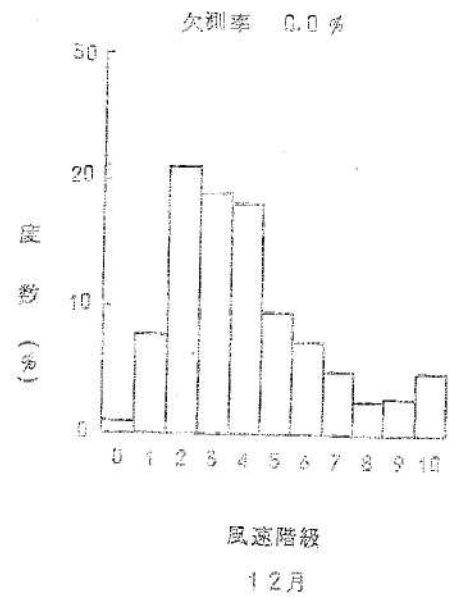
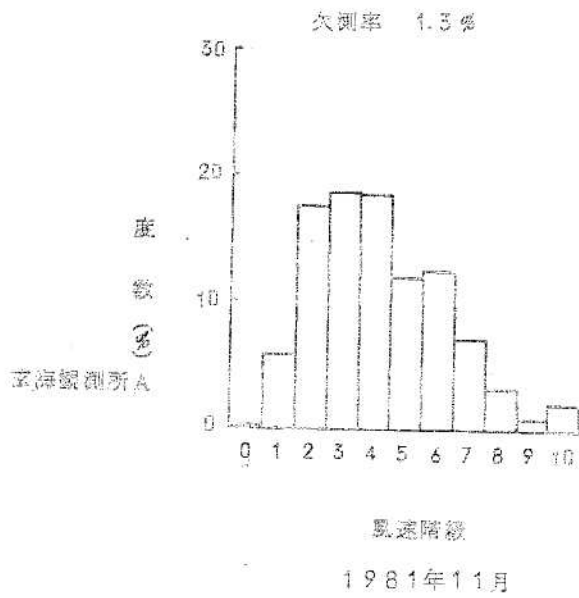
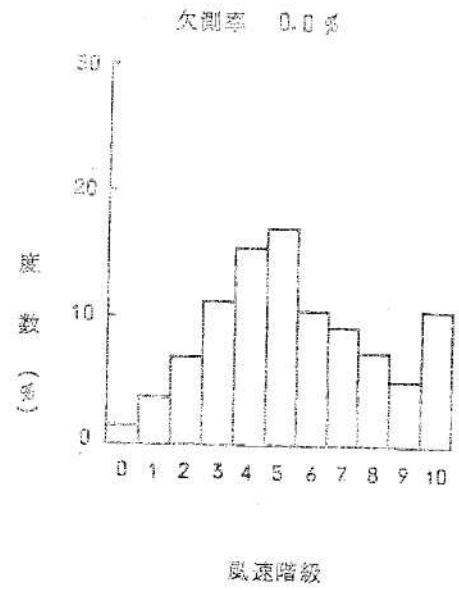
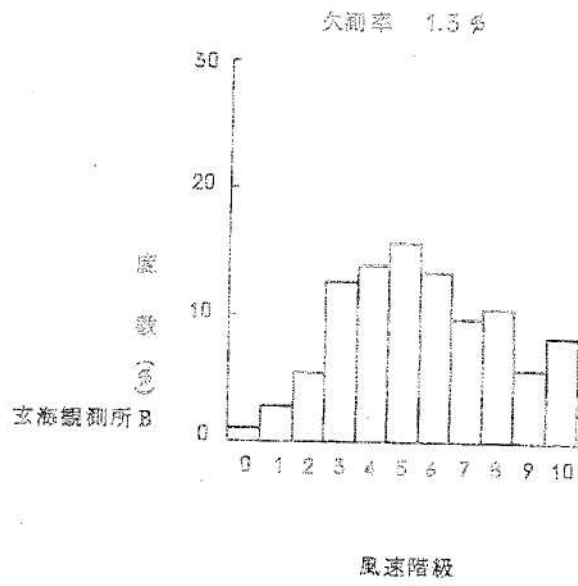
第1.2-47図(3) 月別の風速階級別出現度数分布



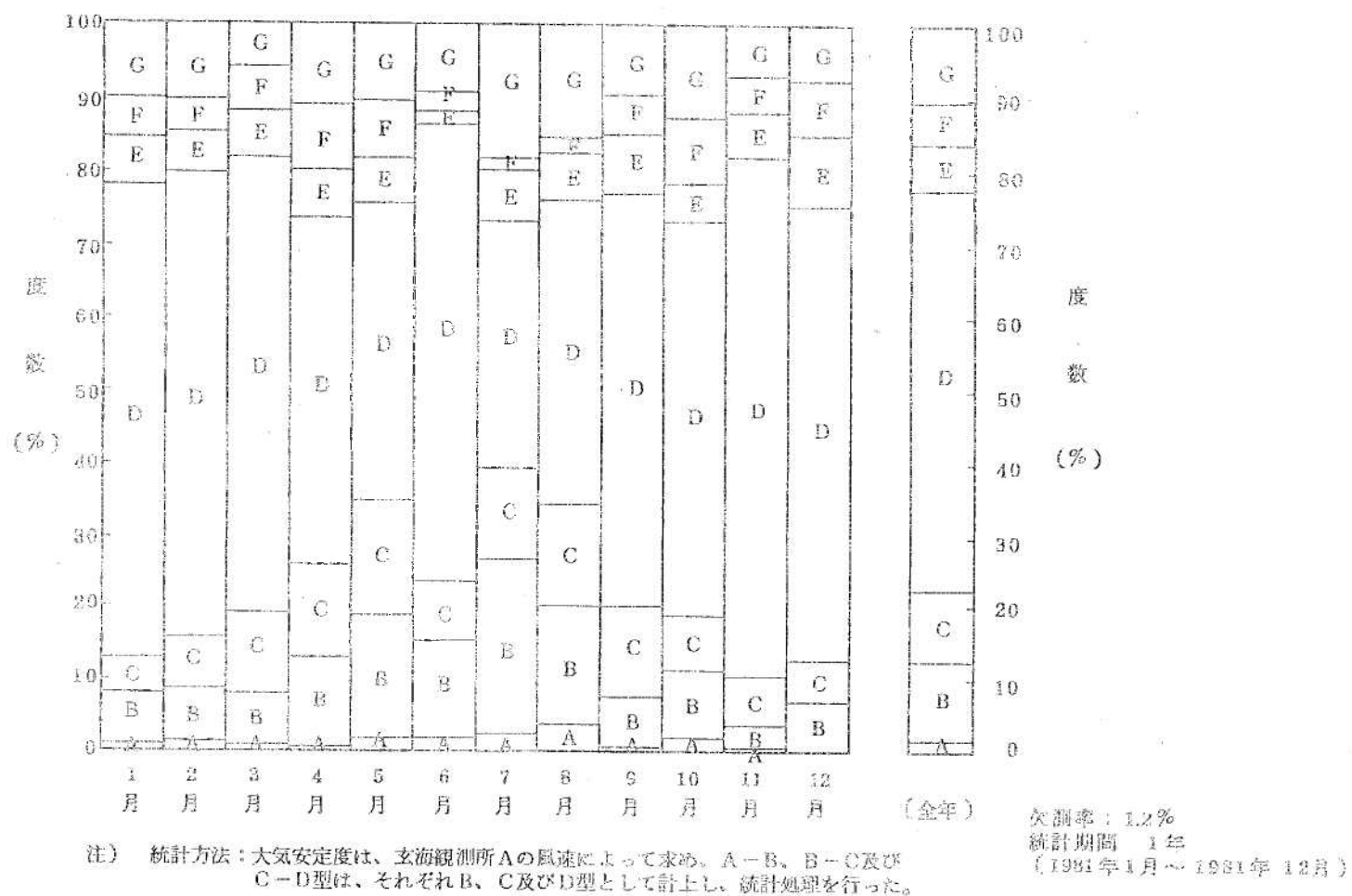
第1.2-47図(4) 月別の風速階級別出現度数分布



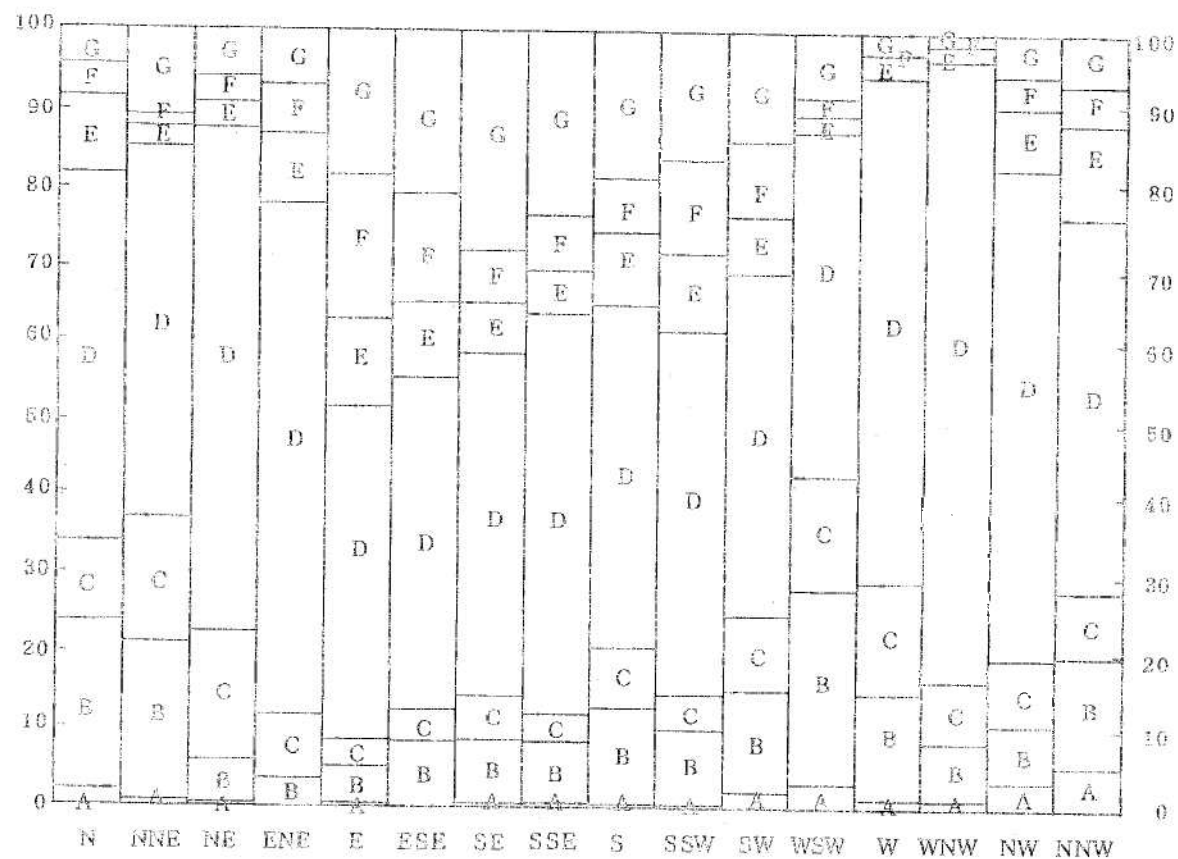
第1.2-47図(5) 月別の風速階級別出現度数分布



第1.2-47図(6) 月別の風速階級別出現度数分布



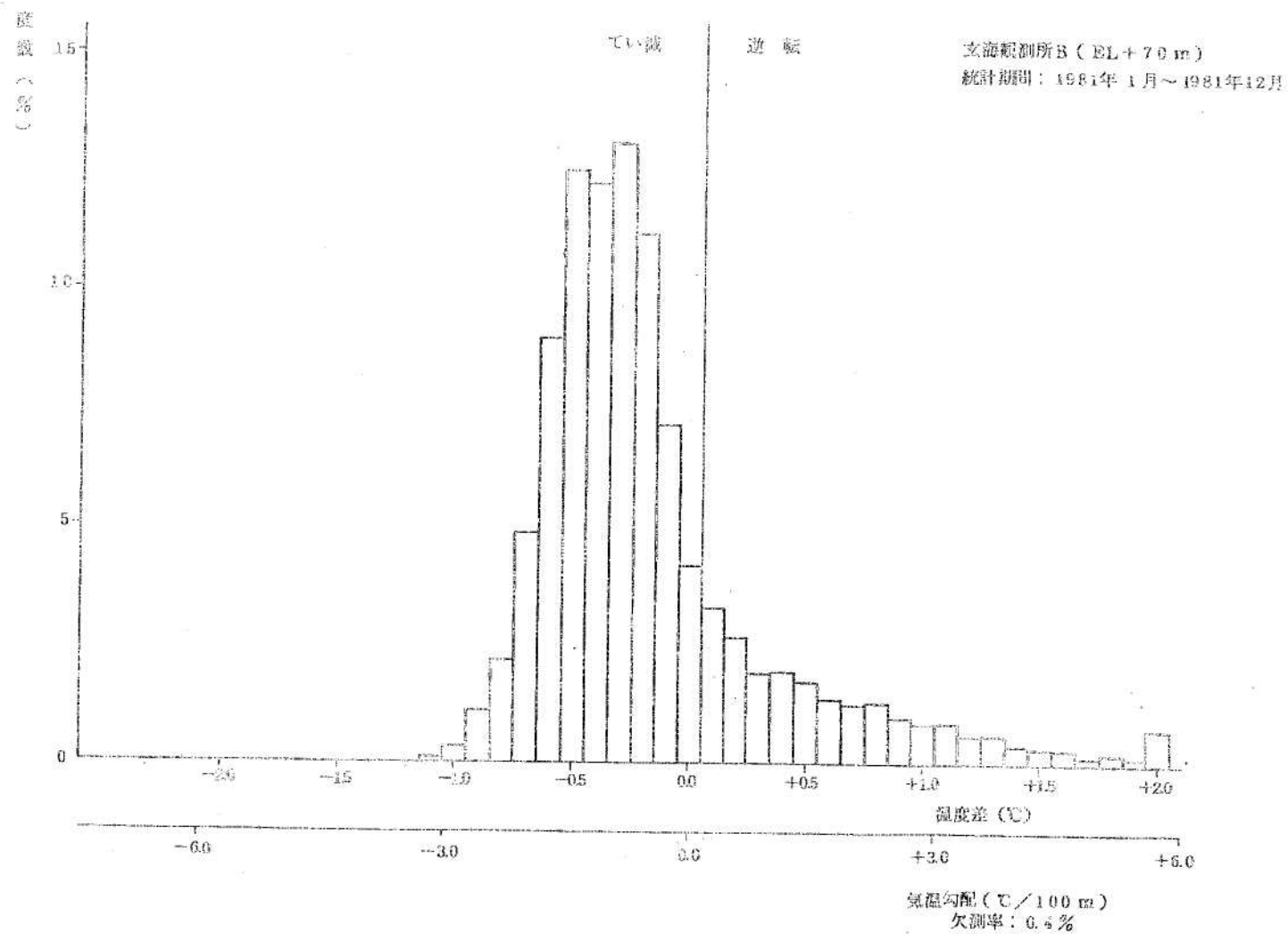
第1.2-48図 全年及び月別の大気安定度出現度数



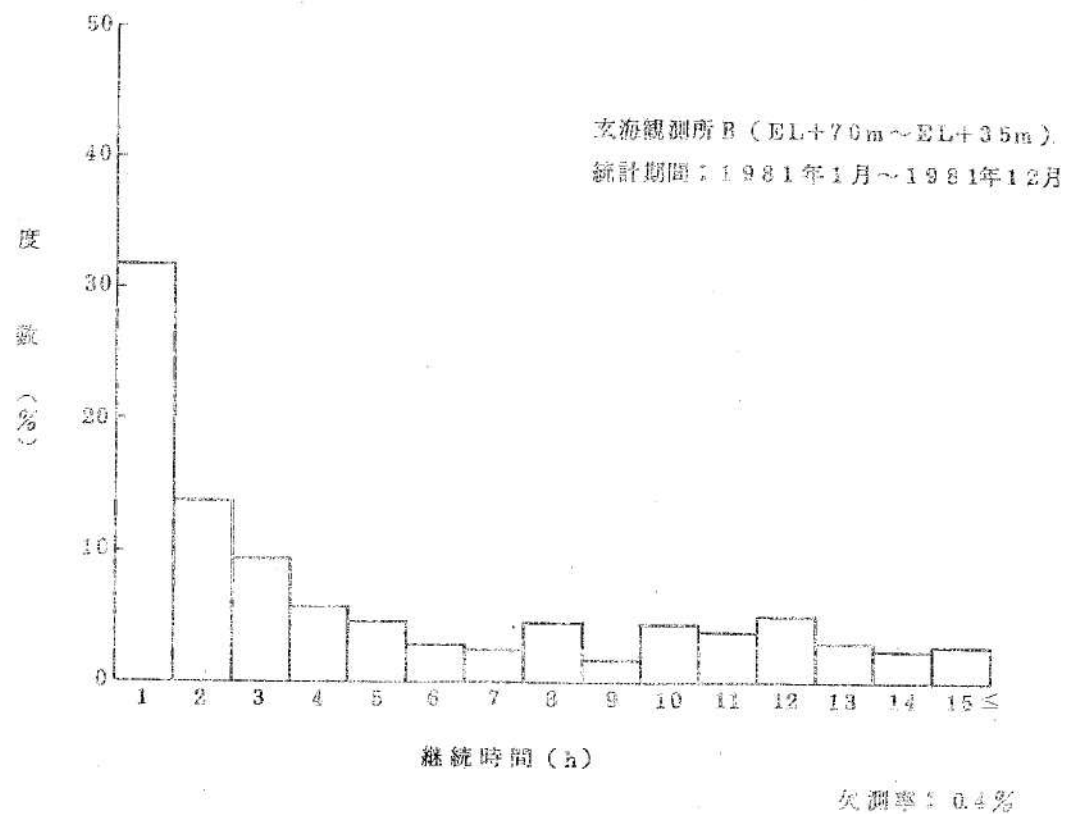
注) 統計方法: 大気安定度は、玄海観測所Aの風速によって求め、A-B、B-C及びC-D型は、それぞれB、C及びD型として計上し、玄海観測所Bの風向によって分類した。
 0.5 m/s未満の大気安定度出現回数は玄海観測所Bにおける0.5 m/s～2.0 m/sの風向出現率にしたがって各方位に配分した。

欠測率: 1.3%
 統計期間 1年
 (1981年1月～1981年12月)

第1.2-49図 風向別の大気安定度出現度数

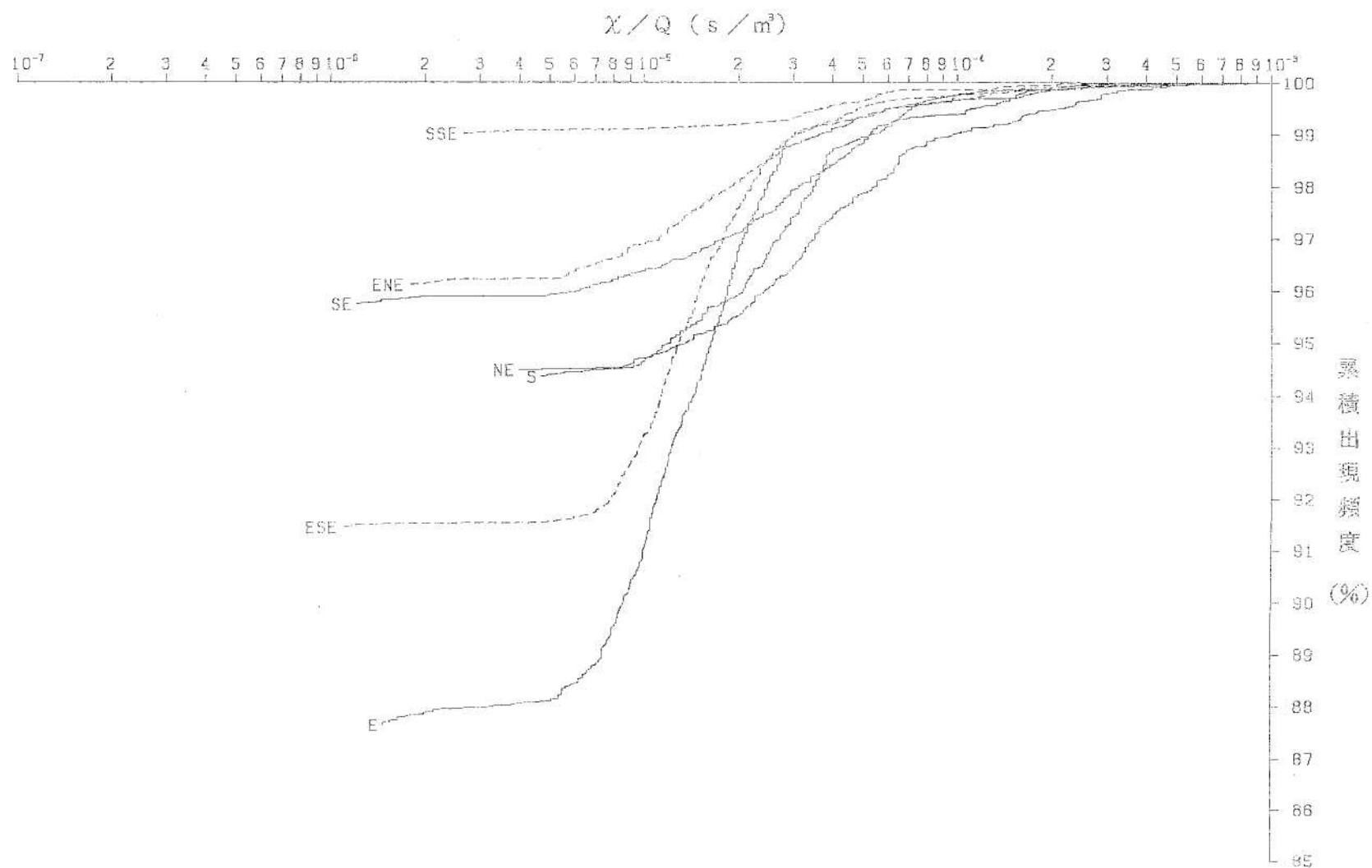


第1.2-50図 温度差別出現度数(全年)

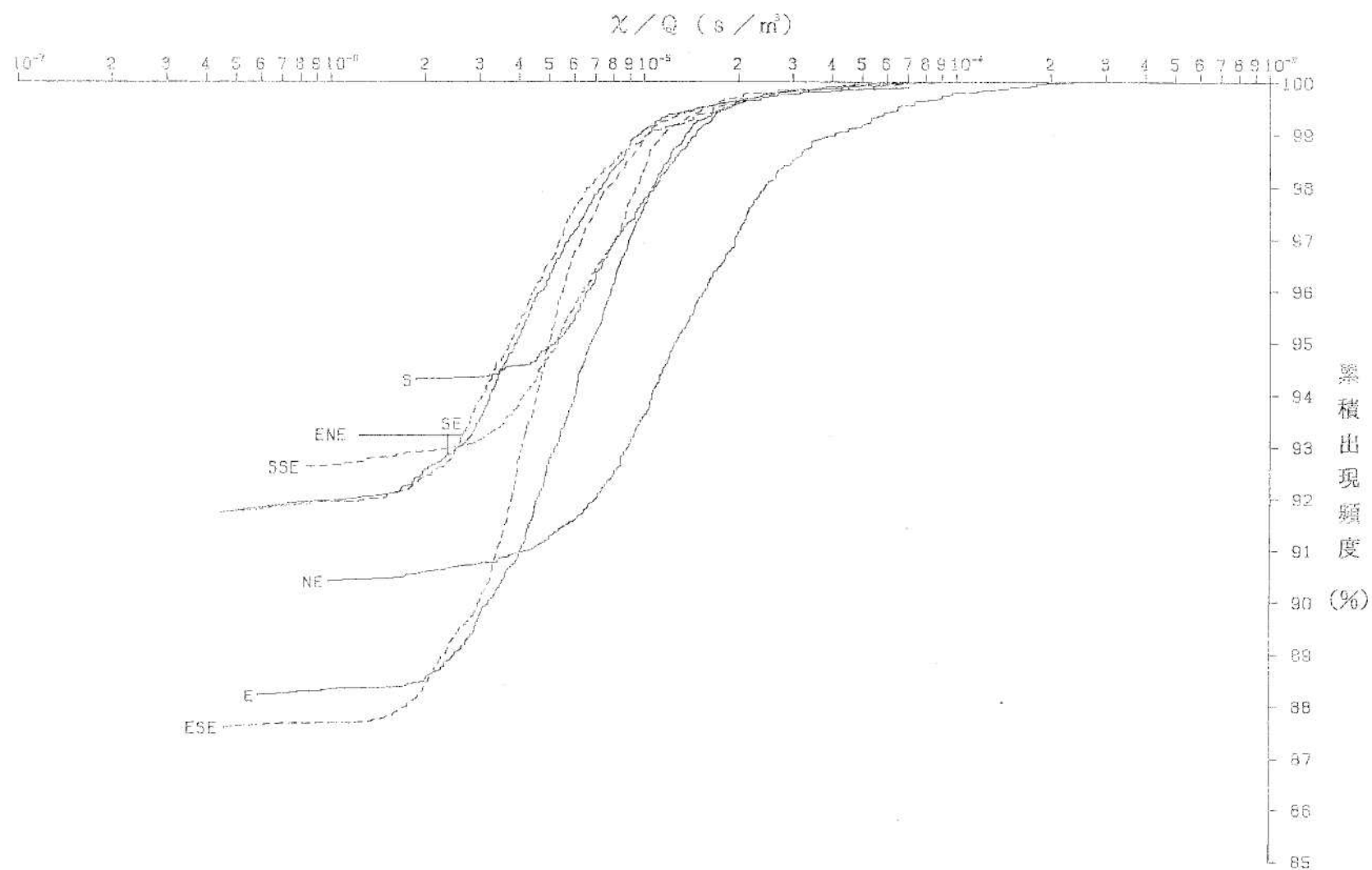


注) 逆転継続時間別の出現回数の合計に対する各継続時間の出現回数の割合を求め、図示したものである。

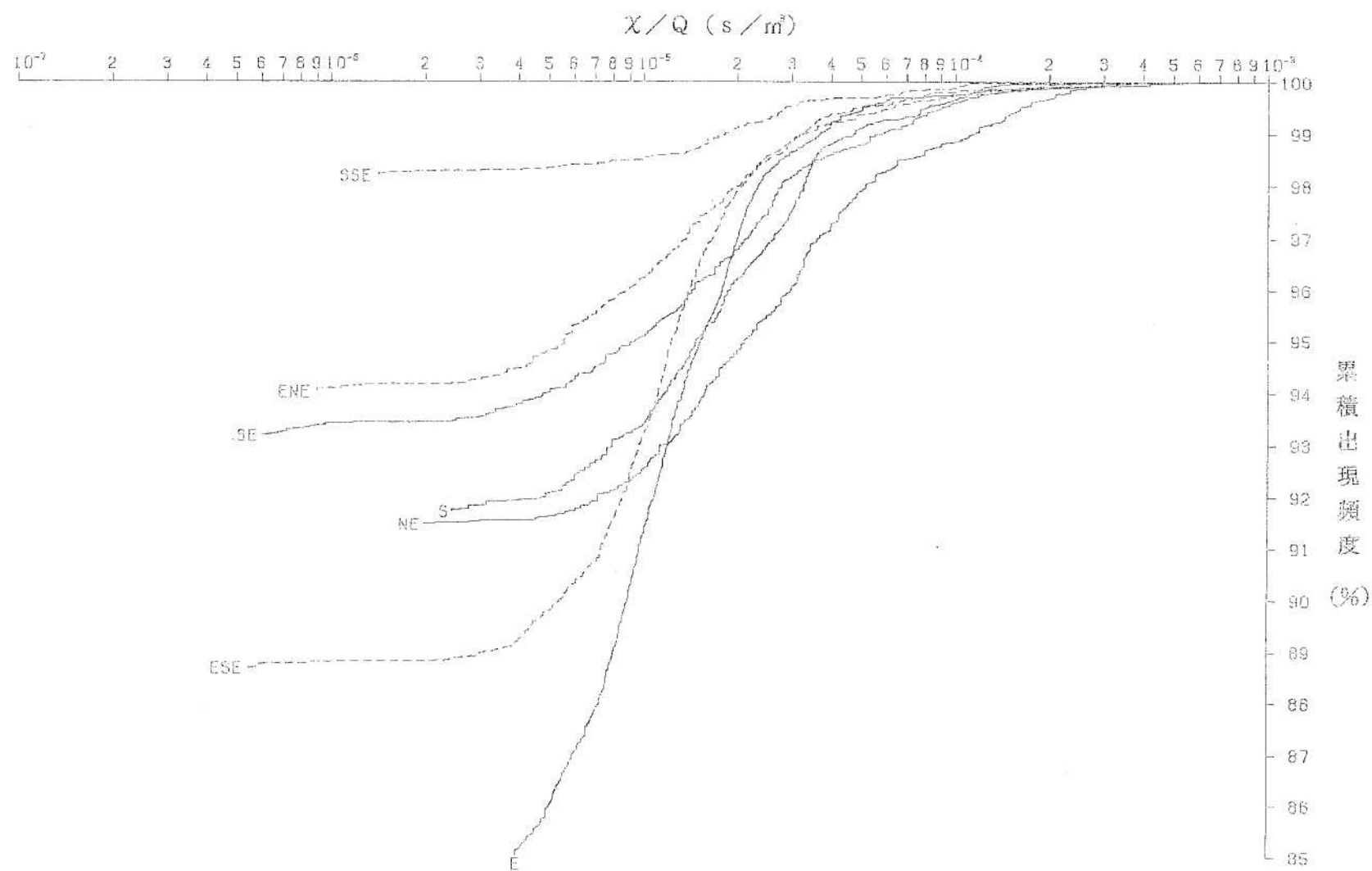
第1.2-51図 逆転現象継続時間の出現度数(全年)



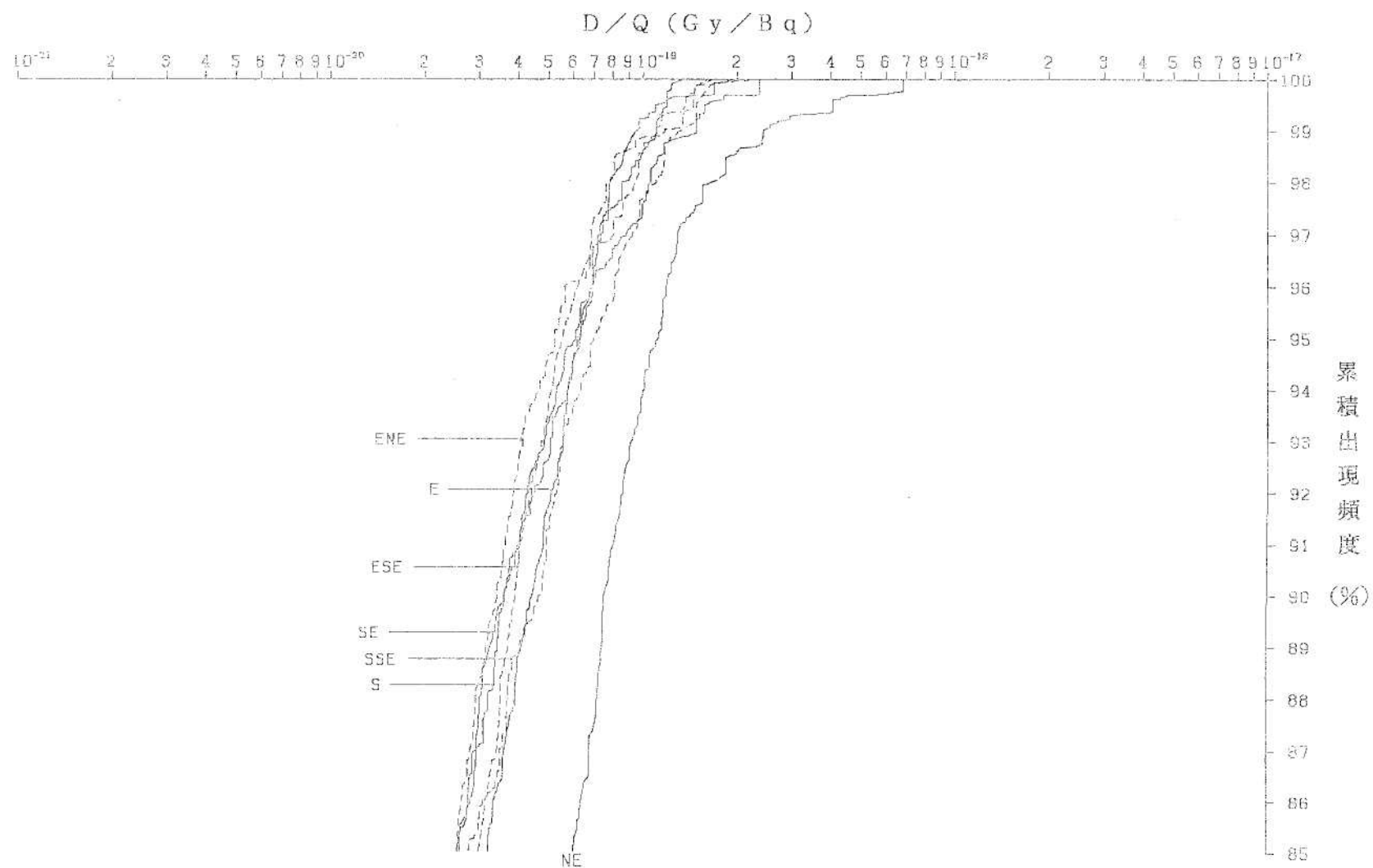
第1.2-52図(1) 方位別相対濃度(X/Q)の累積出現頻度
 [蒸気発生器伝熱管破損(事故時並びに重大事故及び仮想事故時)
 燃料集合体の落下]



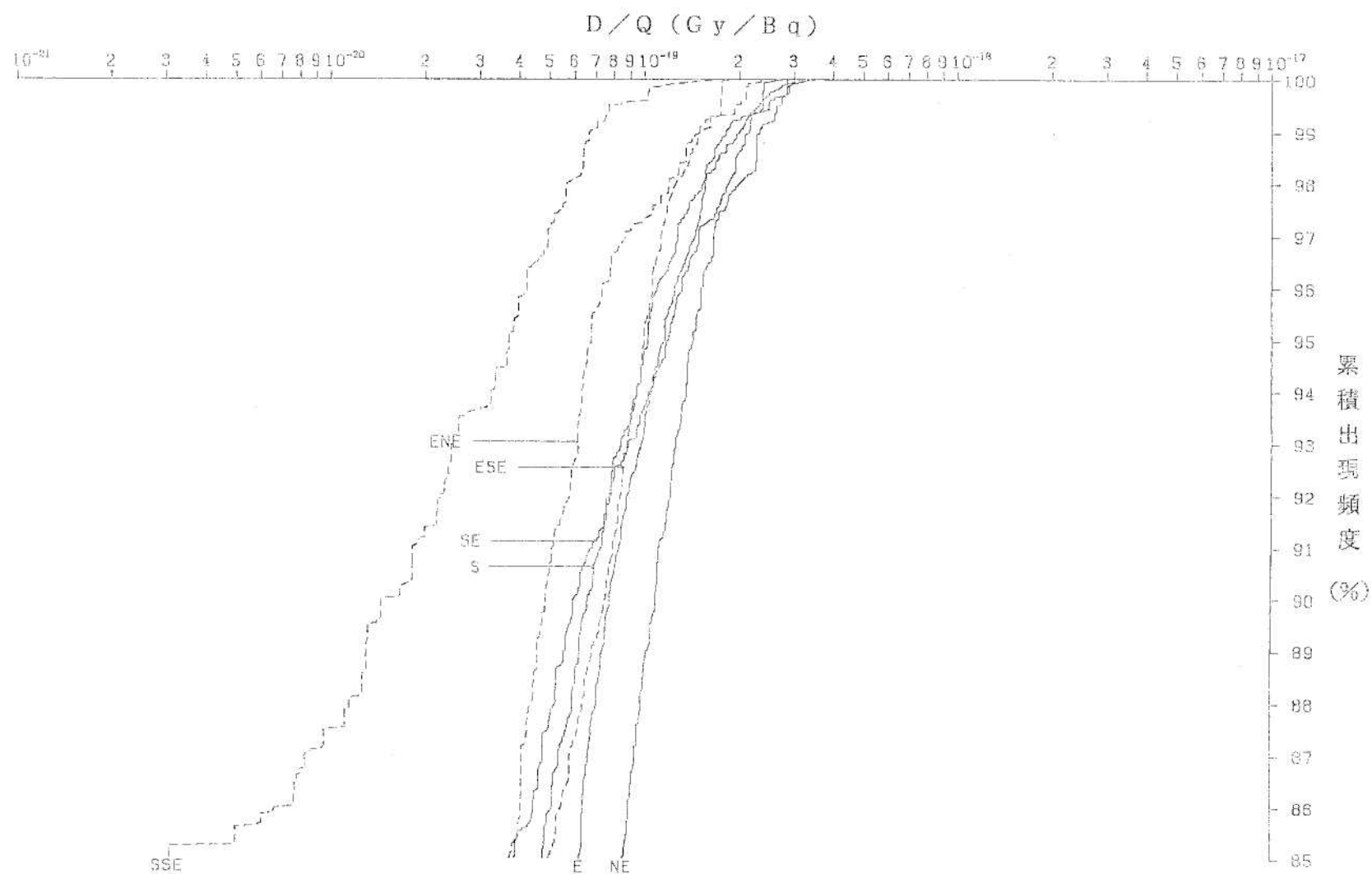
第1.2-52図(2) 方位別相対濃度(X/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、排気筒放出分]



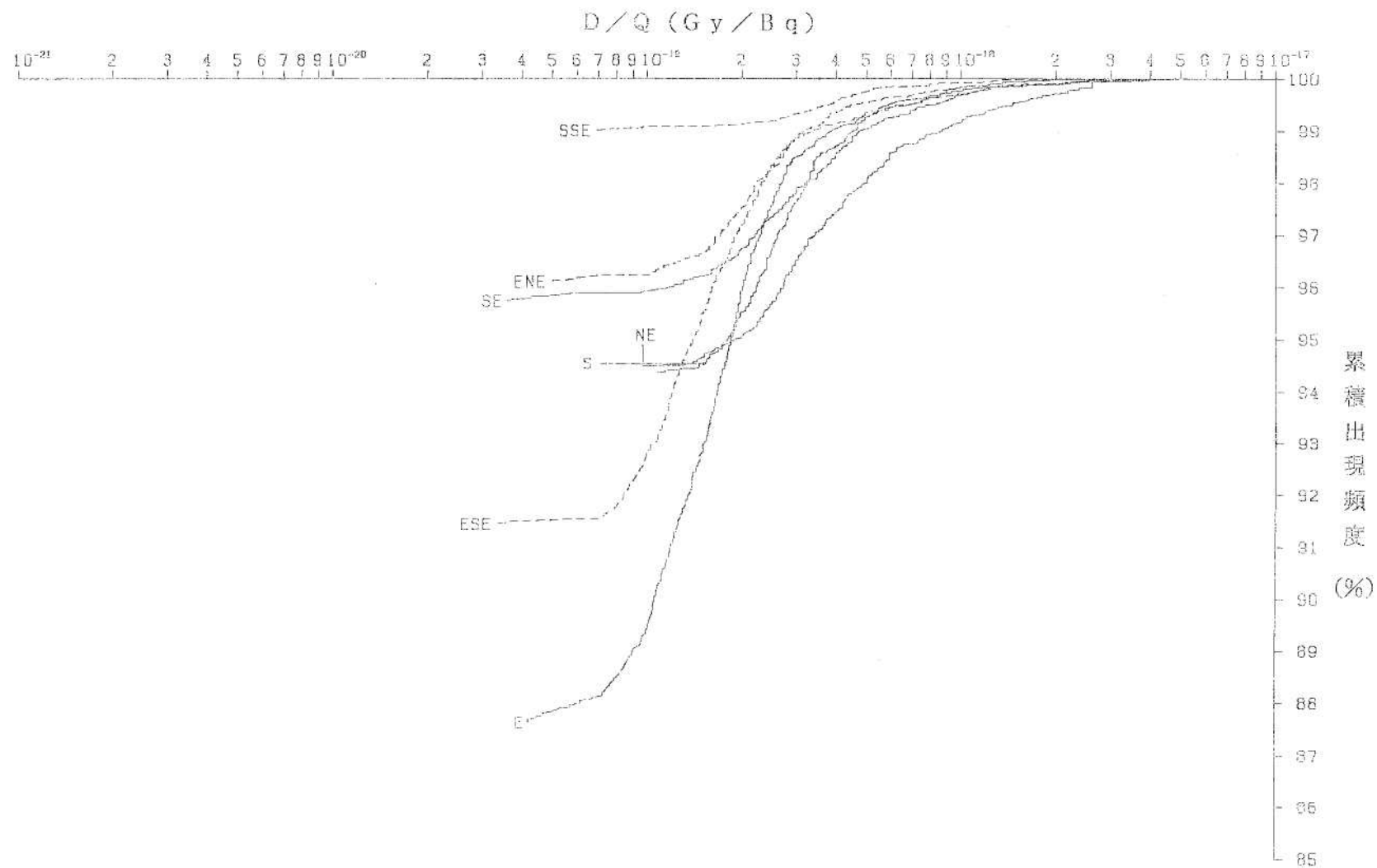
第1.2-52図(3) 方位別相対濃度(X/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、地上放出分]



第1.2-52図(4) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)、排気筒放出分]

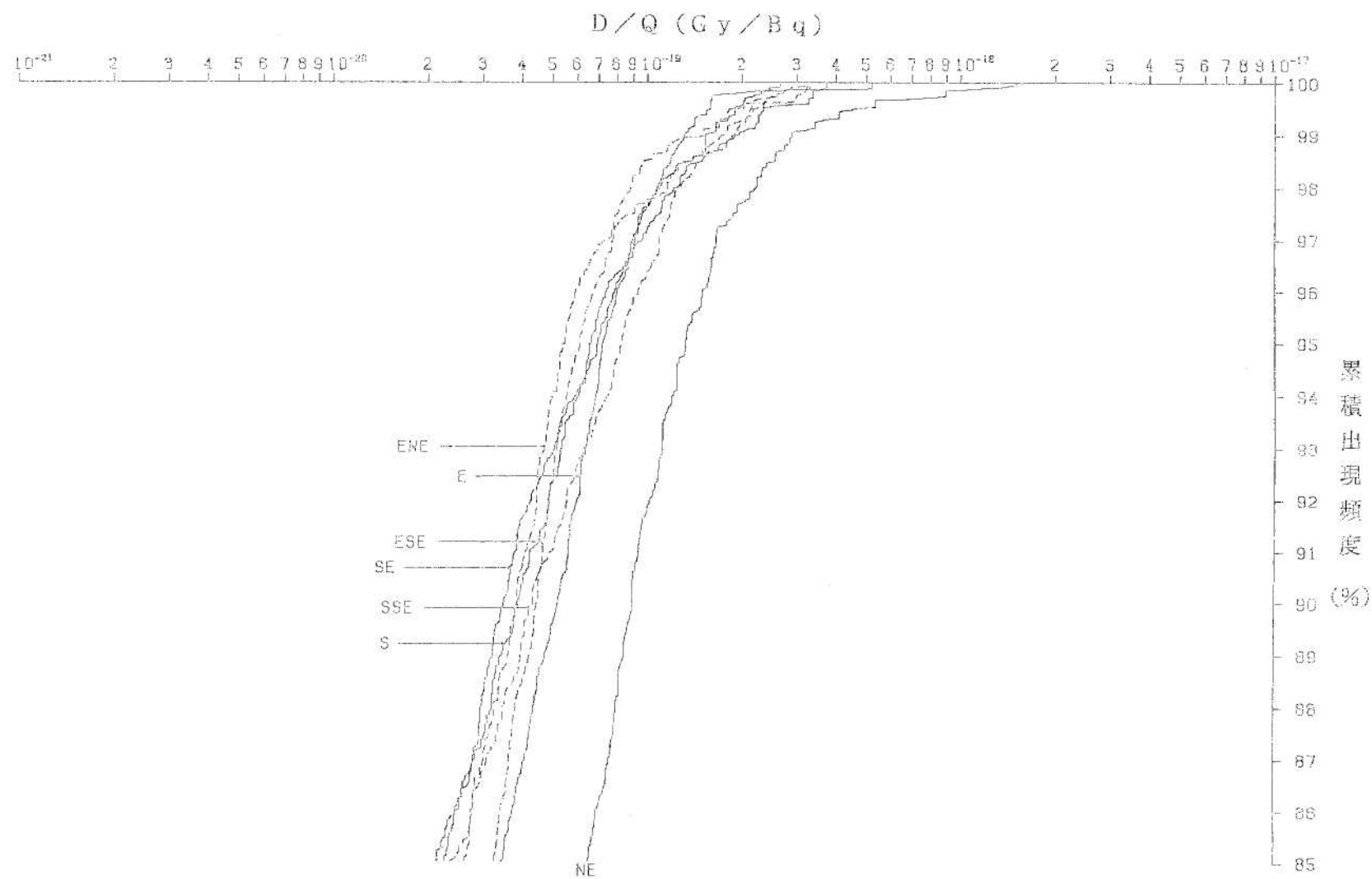


第1.2-52図(5) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)、地上放出分]

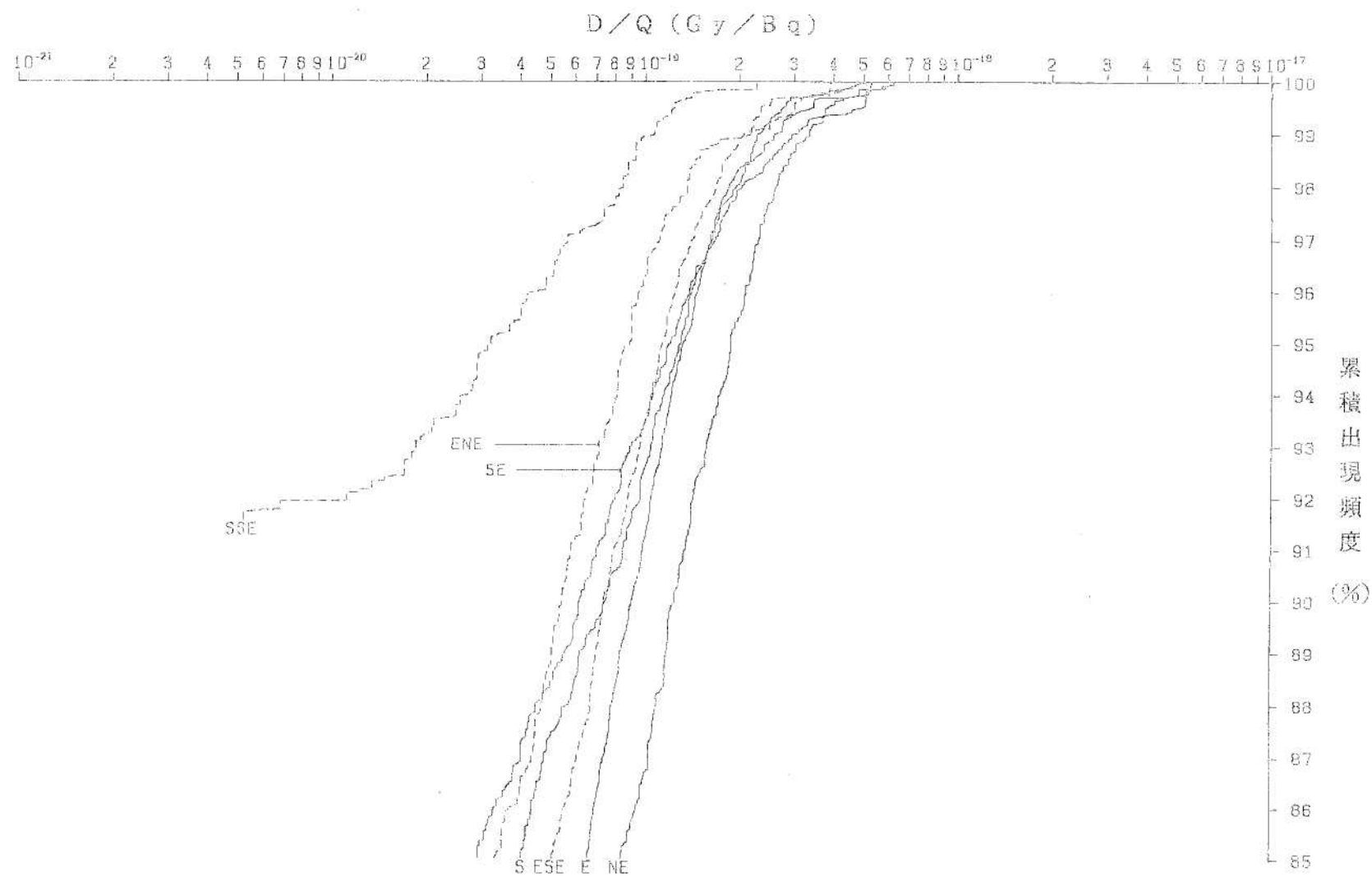


第1.2-52図(6) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度

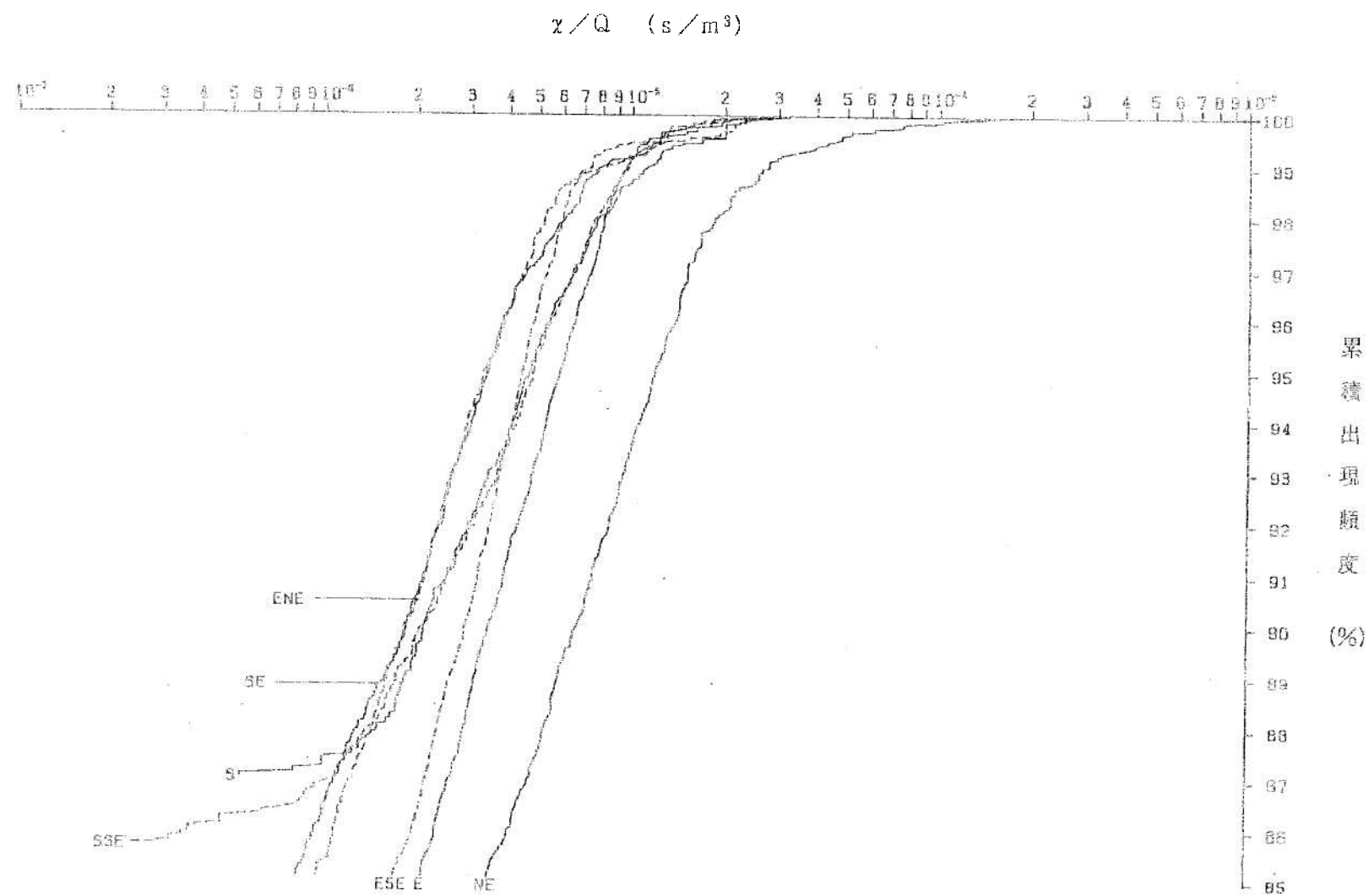
蒸気発生器伝熱管破損(事故時並びに重大事故及び仮想事故時)
 燃料集合体の落下
 放射性気体廃棄物処理施設の破損



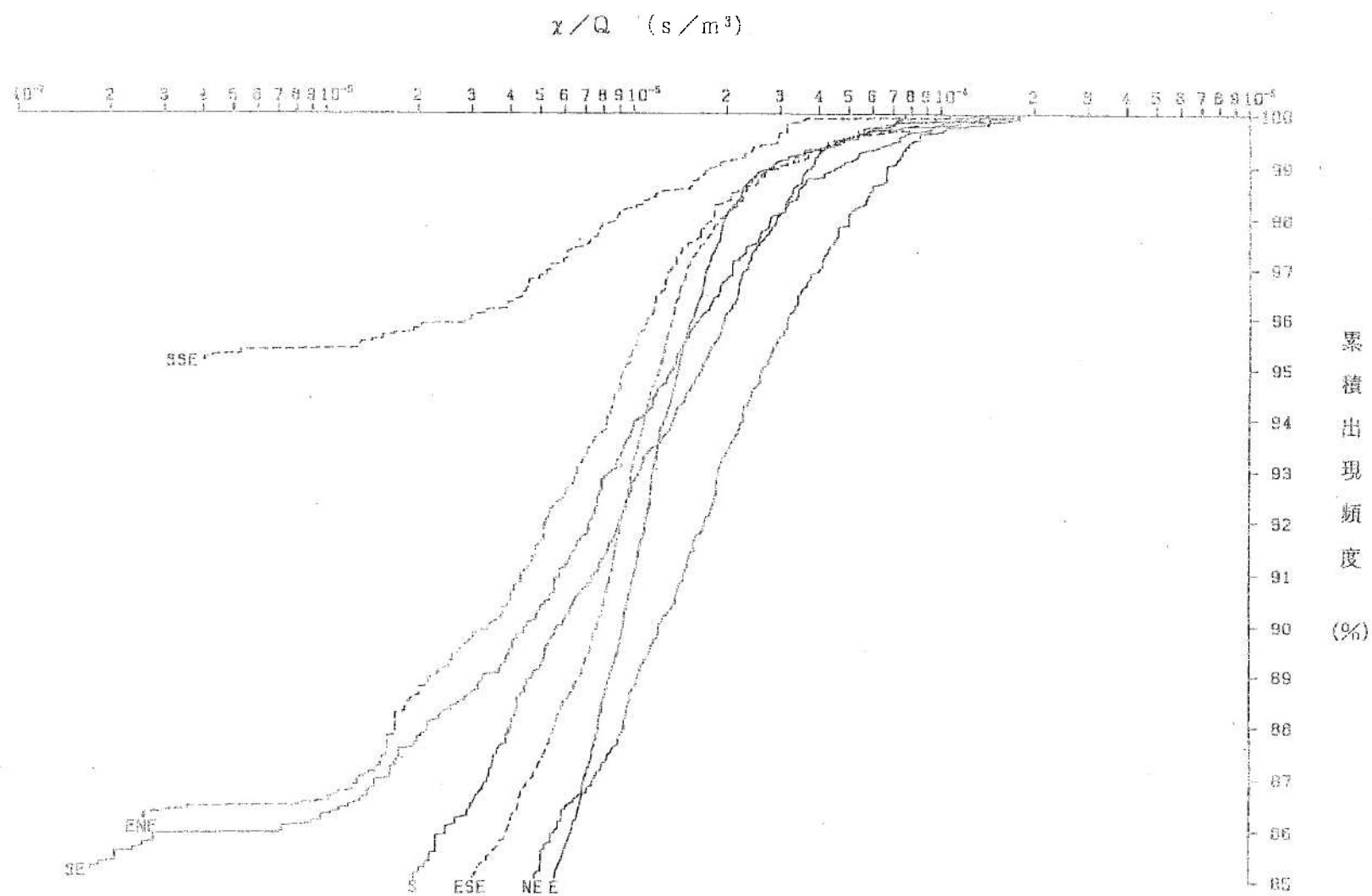
第1.2-52図(7) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、排気筒放出分]



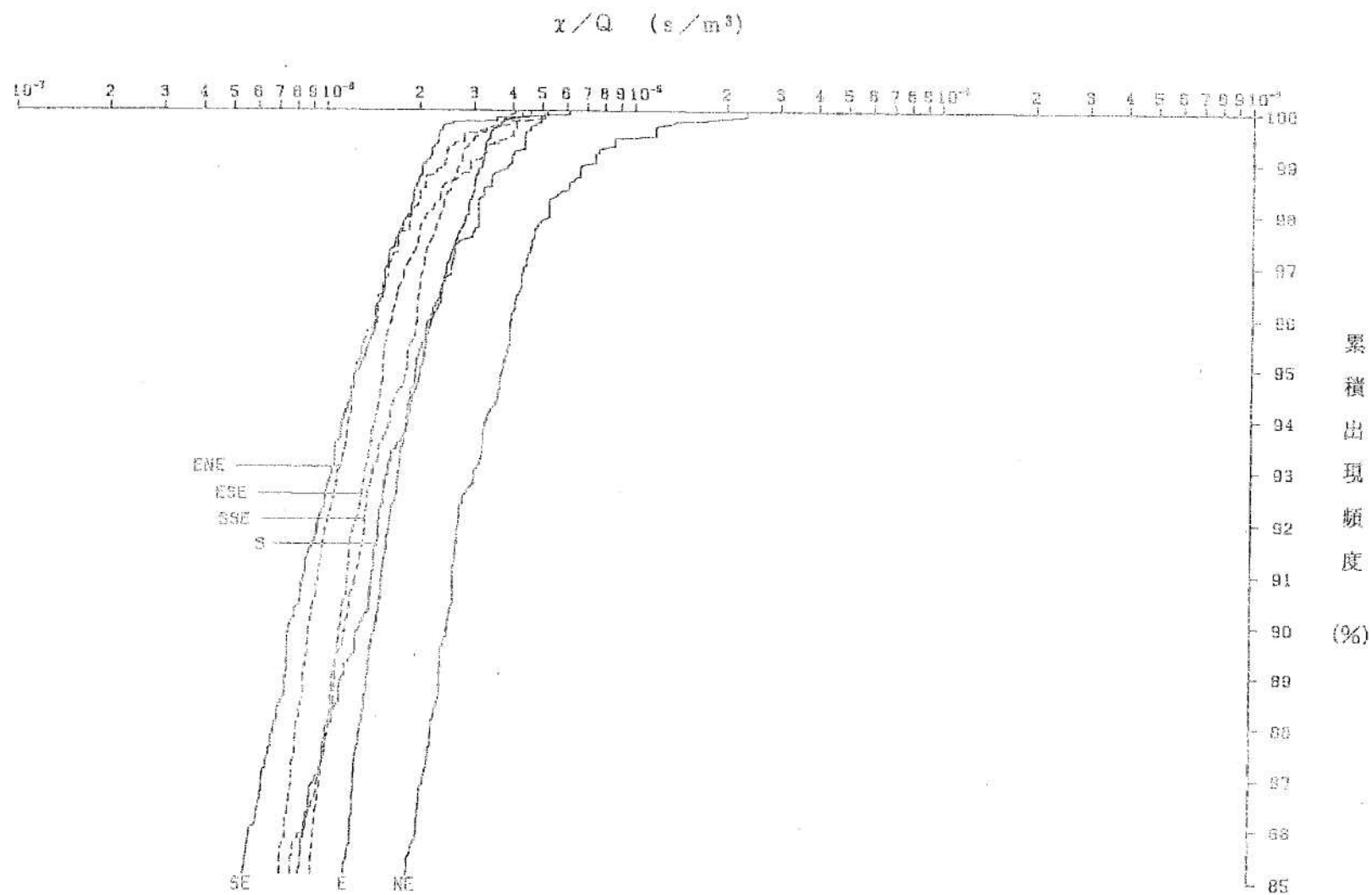
第1.2-52図(8) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し、地上放出分]



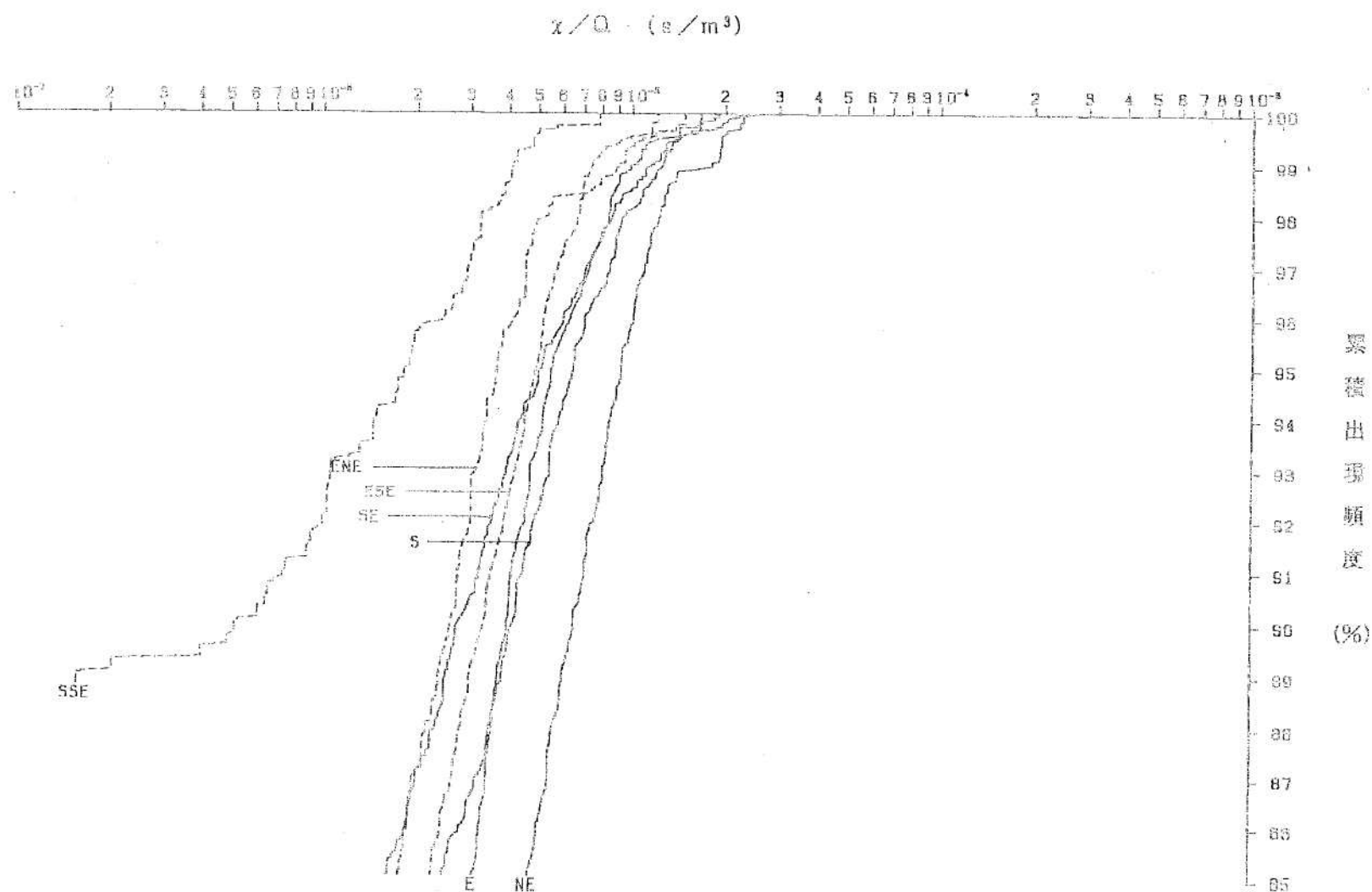
第1.2-52図(9) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(事故時)、排気筒放出分]



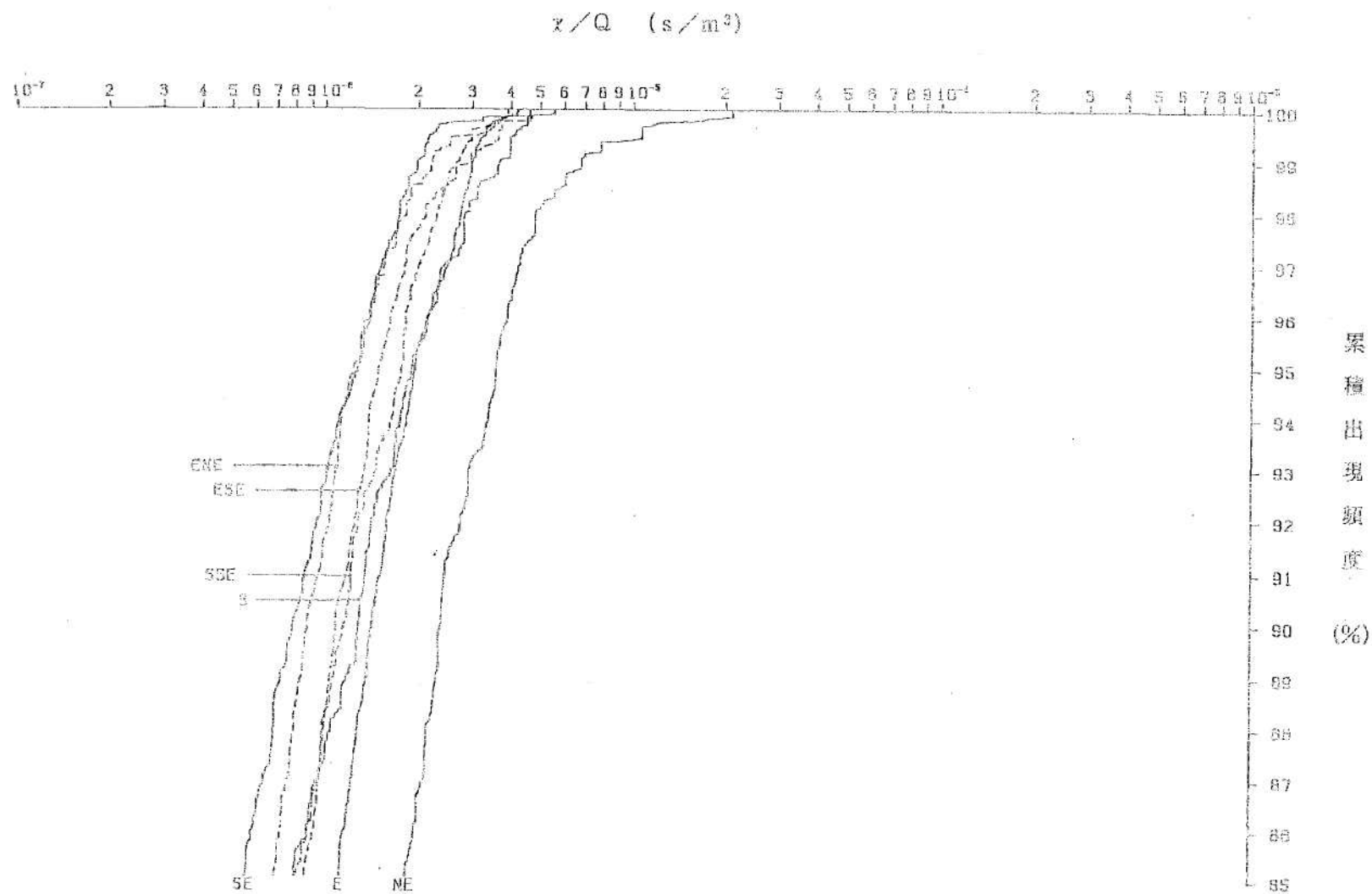
第1.2-52図(10) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
[原子炉冷却材喪失(事故時)、地上放出分]



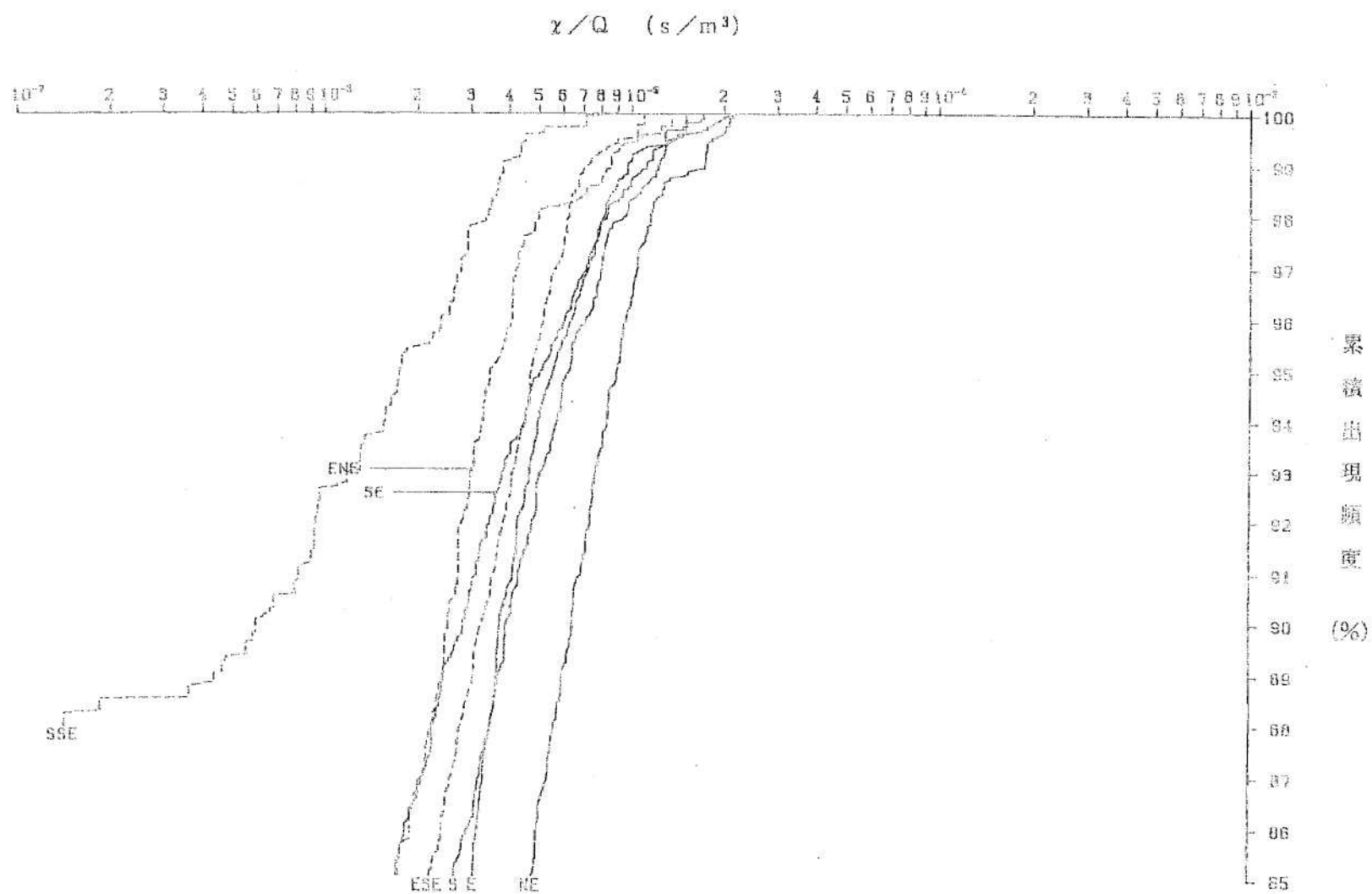
第1.2-52図(11) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(重大事故時)、排気筒放出分]



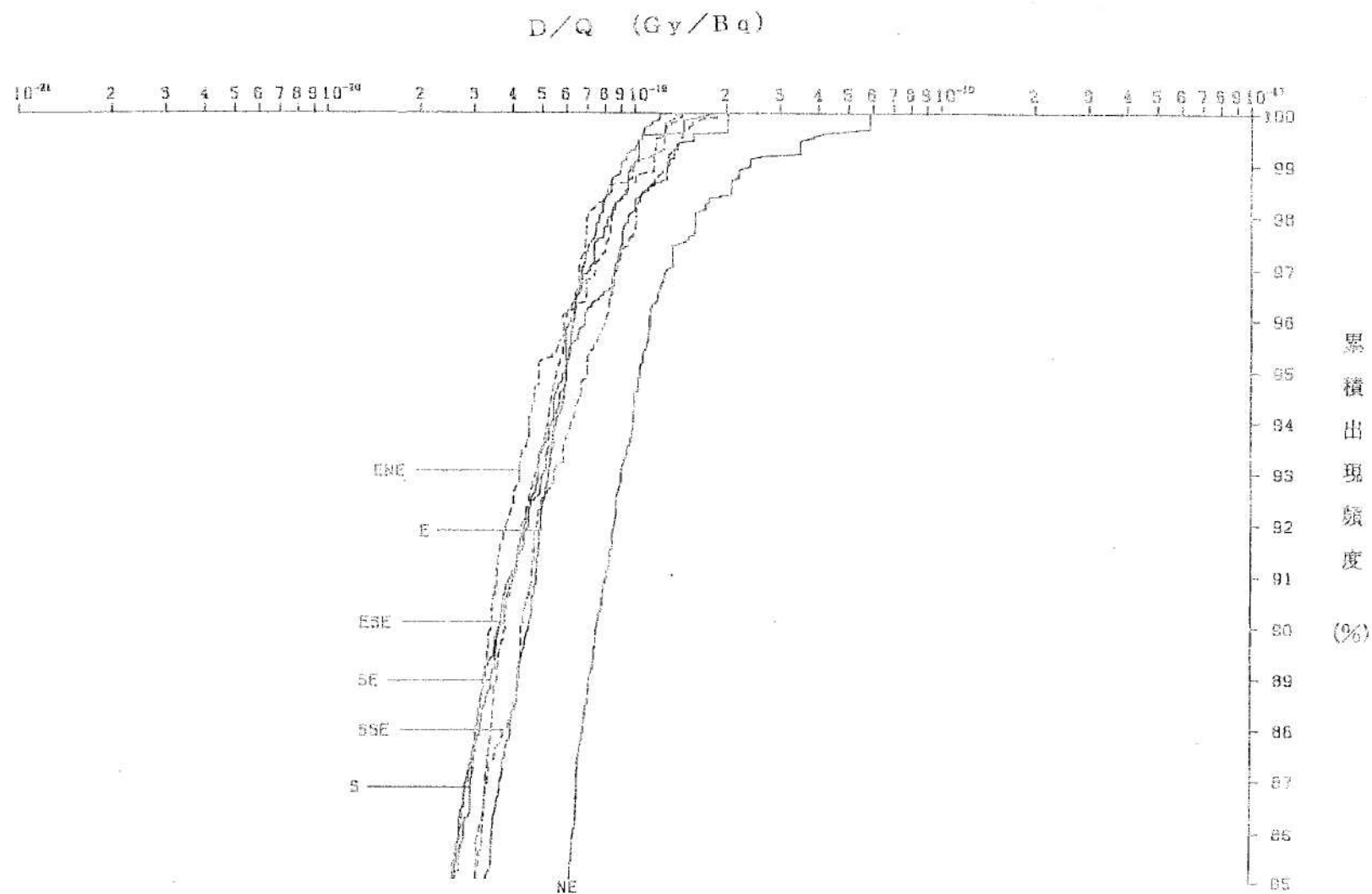
第1.2-52図(12) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(重大事故時)、地上放出分]



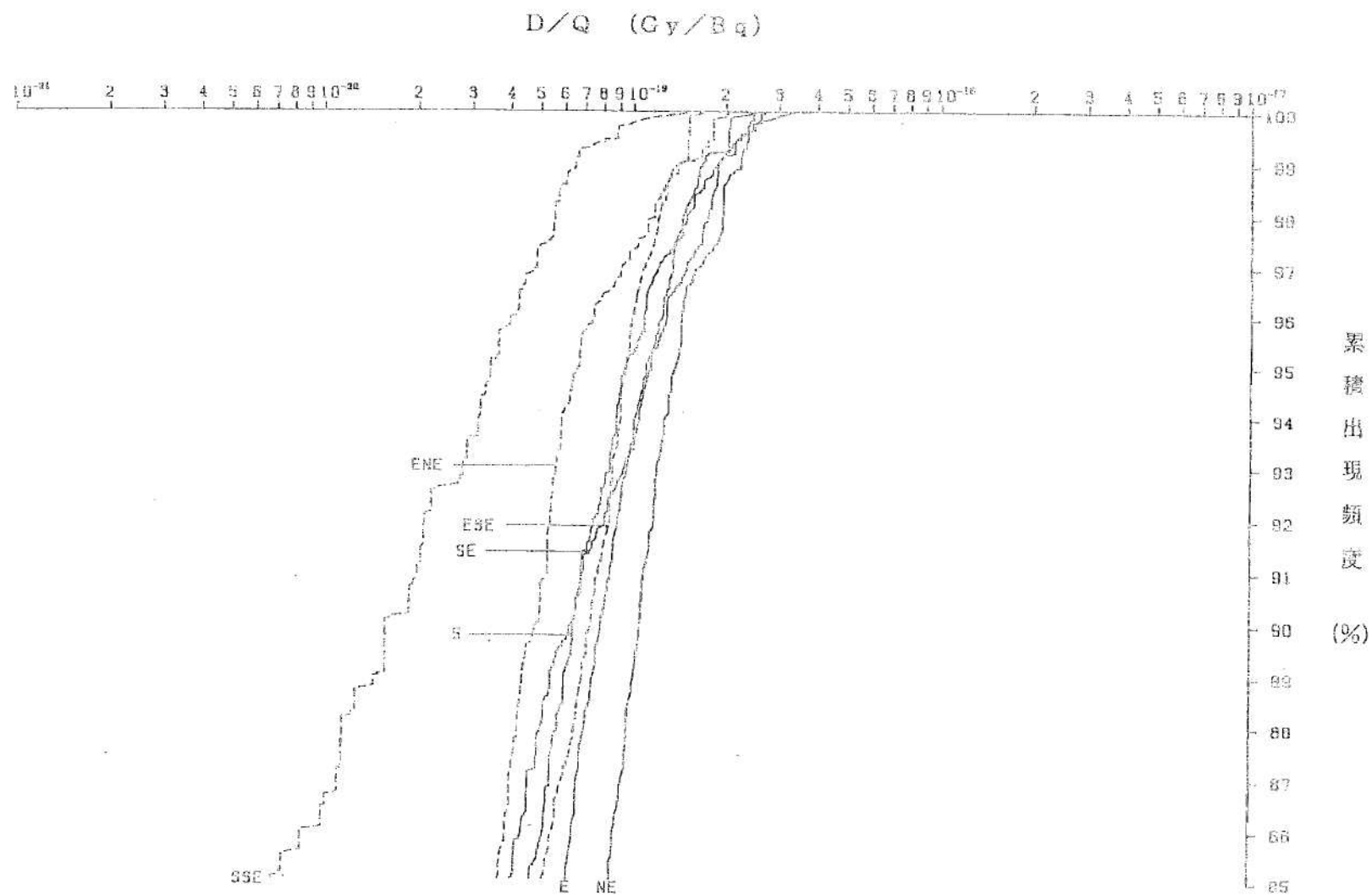
第1.2-52図(13) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(仮想事故時)、排気筒放出分]



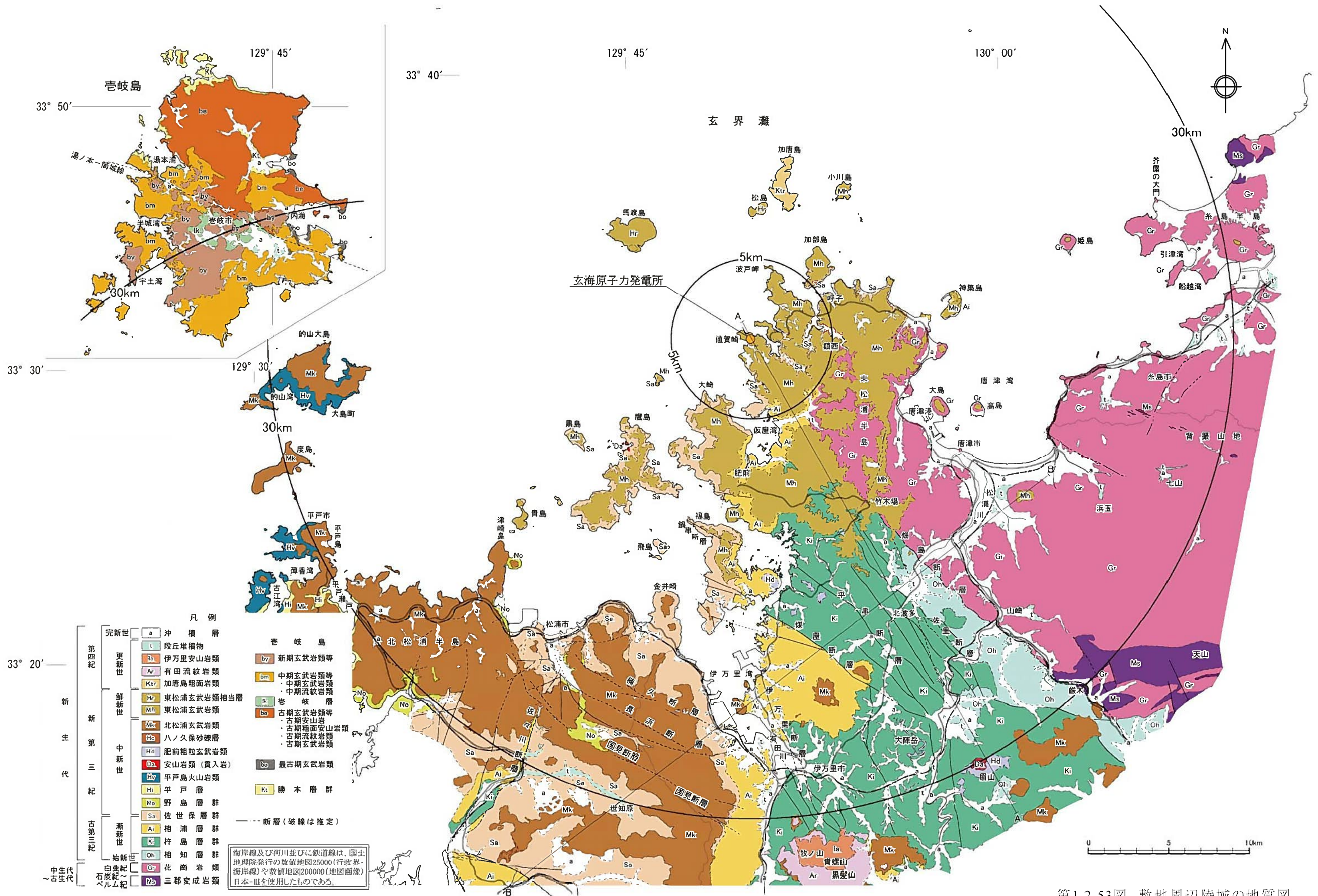
第1.2-52図(14) 方位別相対濃度(x/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(仮想事故時)、地上放出分]



第1.2-52図(15) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)、排気筒放出分]

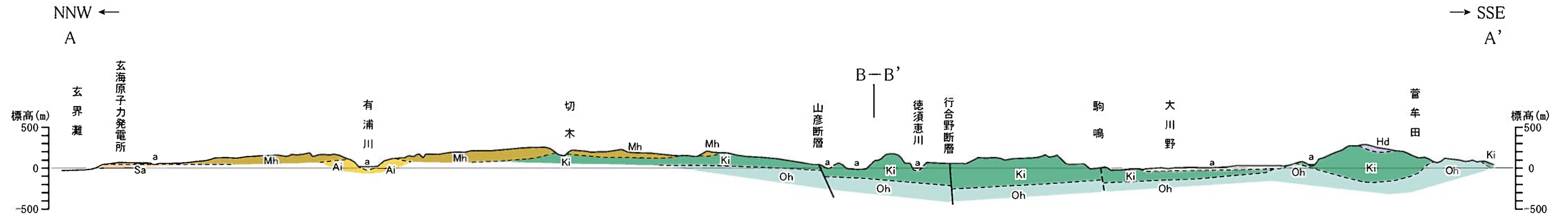


第1.2-52図(16) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度(3号炉)
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)、地上放出分]

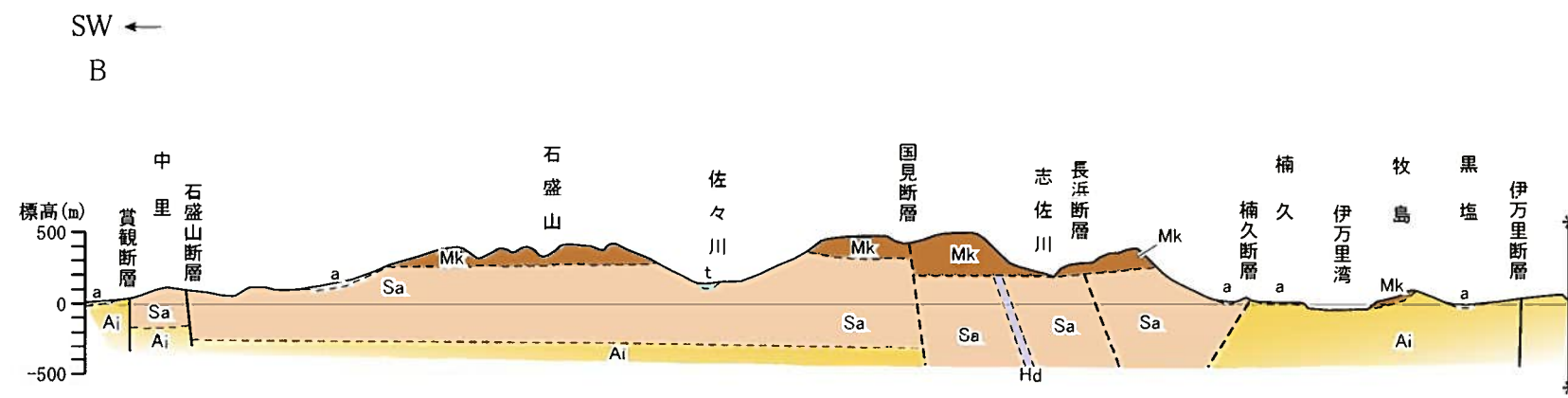


第1.2-53図 敷地周辺陸域の地質図

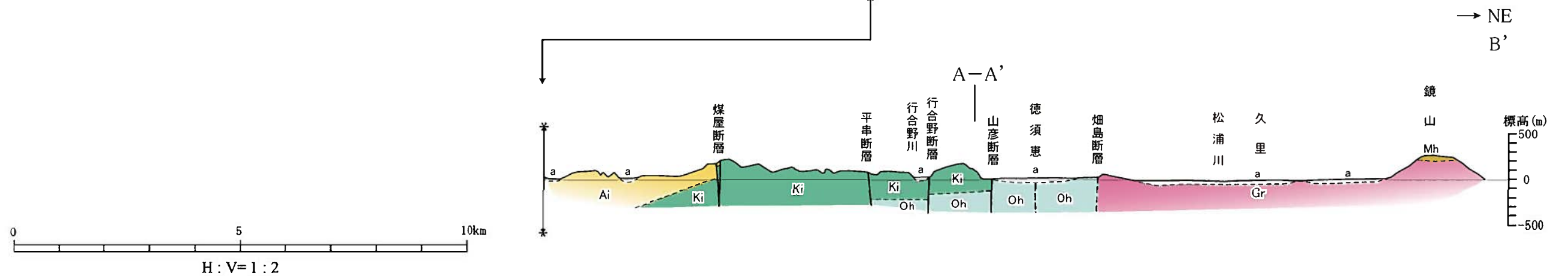
【A-A'断面図】

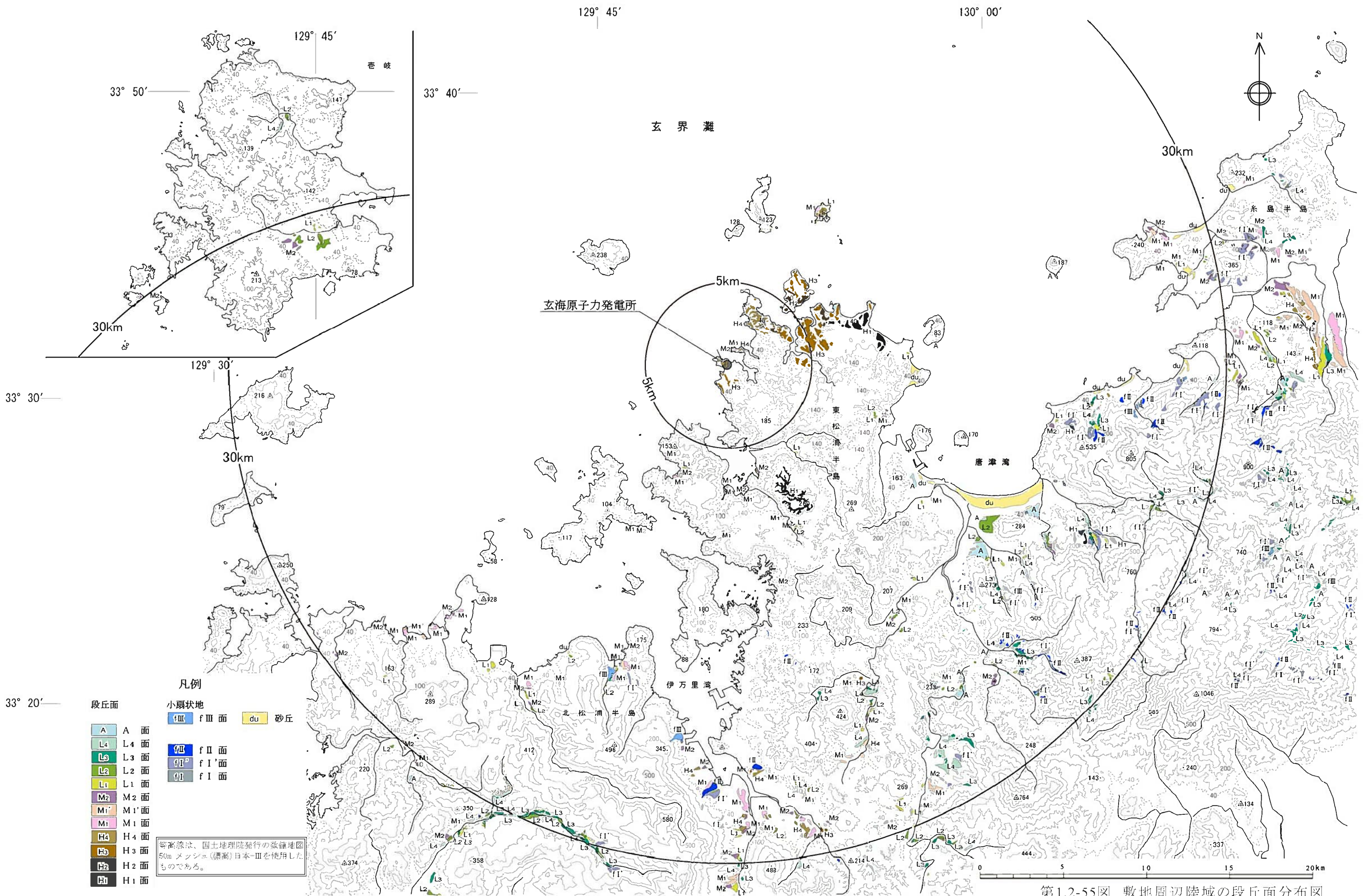


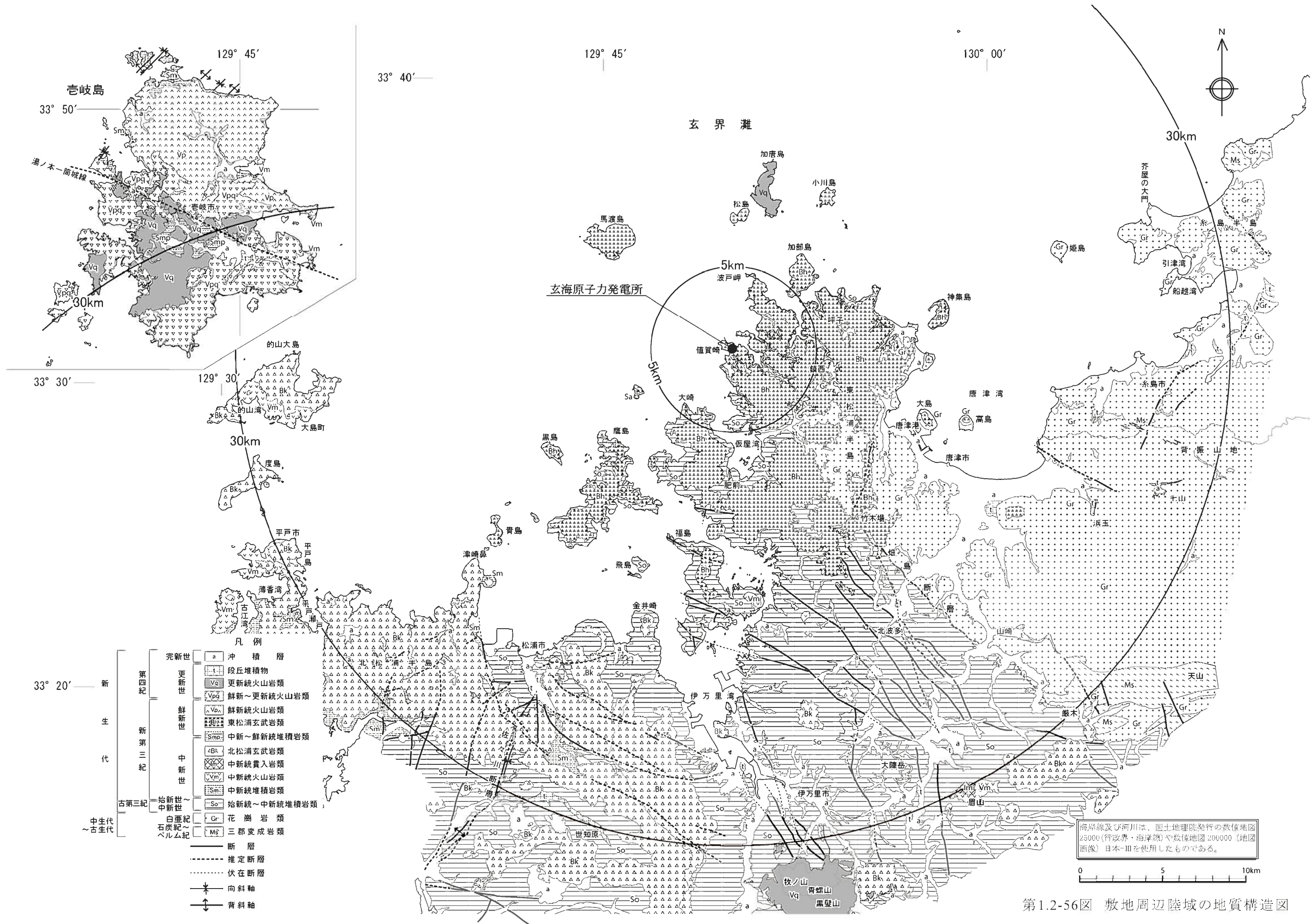
【B-B'断面図】



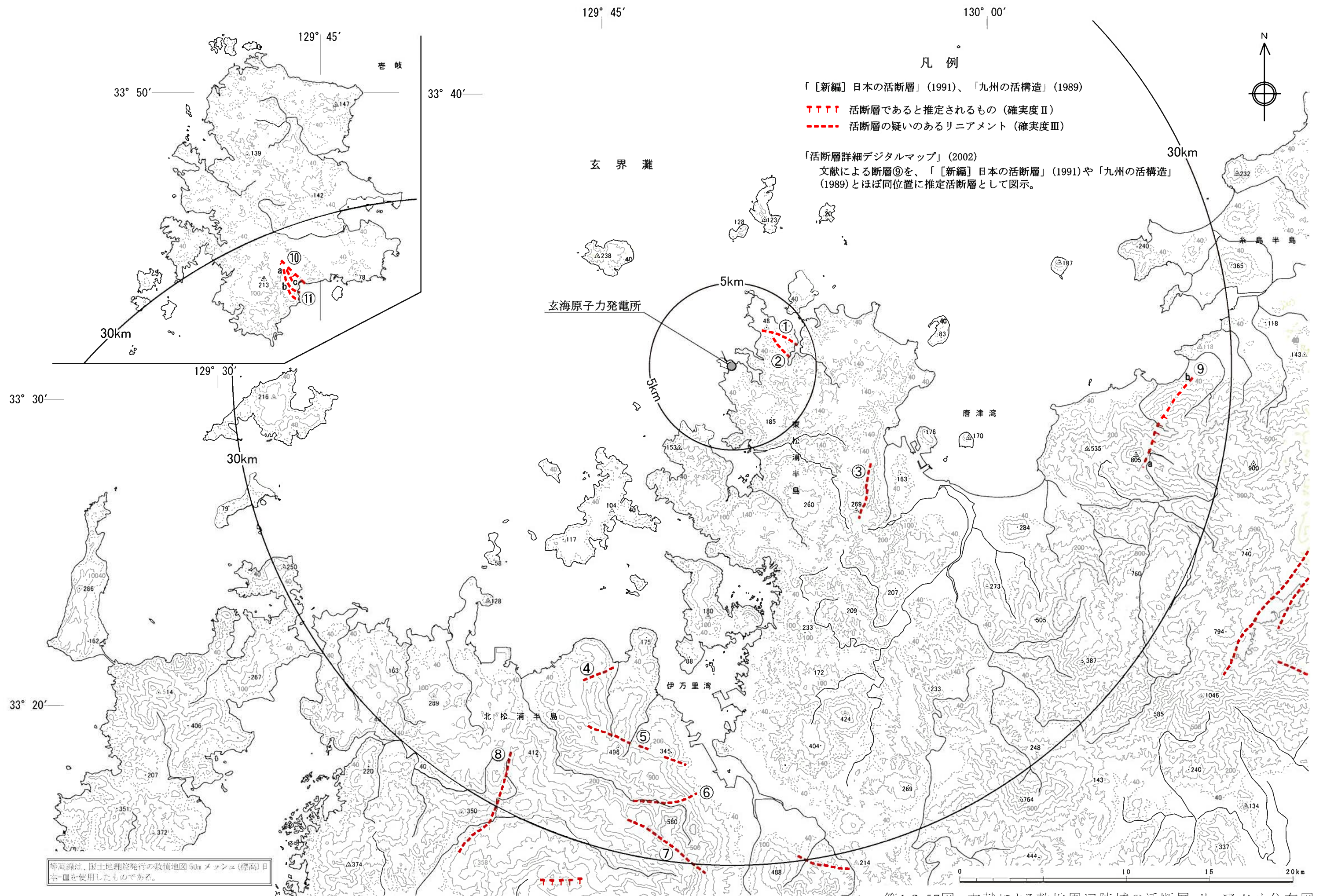
- 凡 例
- | | | |
|------|----|-----------|
| 第四紀 | a | 沖 積 層 |
| | t | 段 丘 堆 積 物 |
| 新第三紀 | Mh | 東松浦玄武岩類 |
| | Mk | 北松浦玄武岩類 |
| | Hd | 肥前粗粒玄武岩類 |
| 古第三紀 | Sa | 佐世保層群 |
| | Ai | 相 浦 層 群 |
| | Ki | 杵 島 層 群 |
| | Oh | 相 知 層 群 |
| 白亜紀 | Gr | 花 崗 岩 類 |
- - - 断 層 (破線は推定)
 - - - 地質境界 (破線は推定)



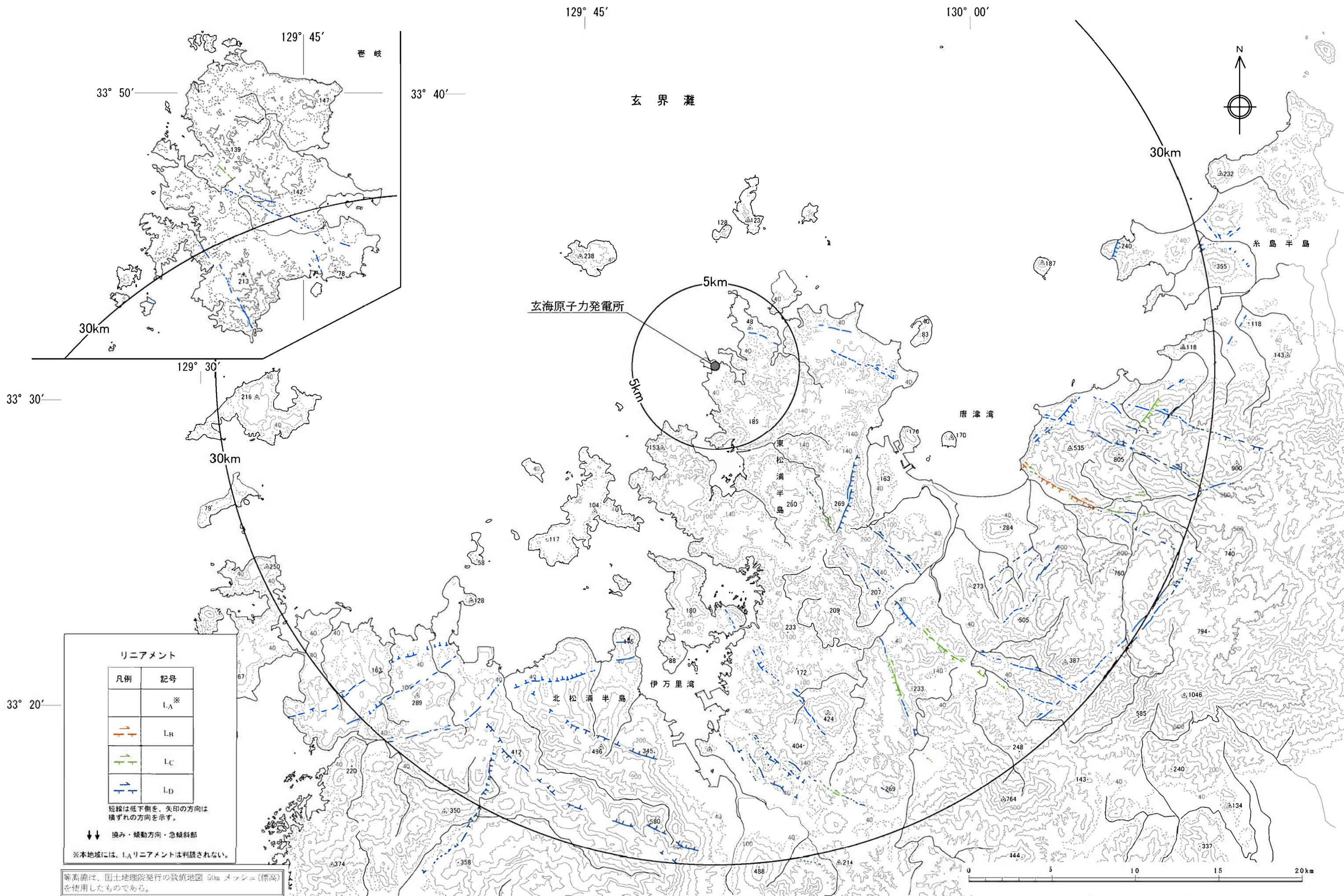




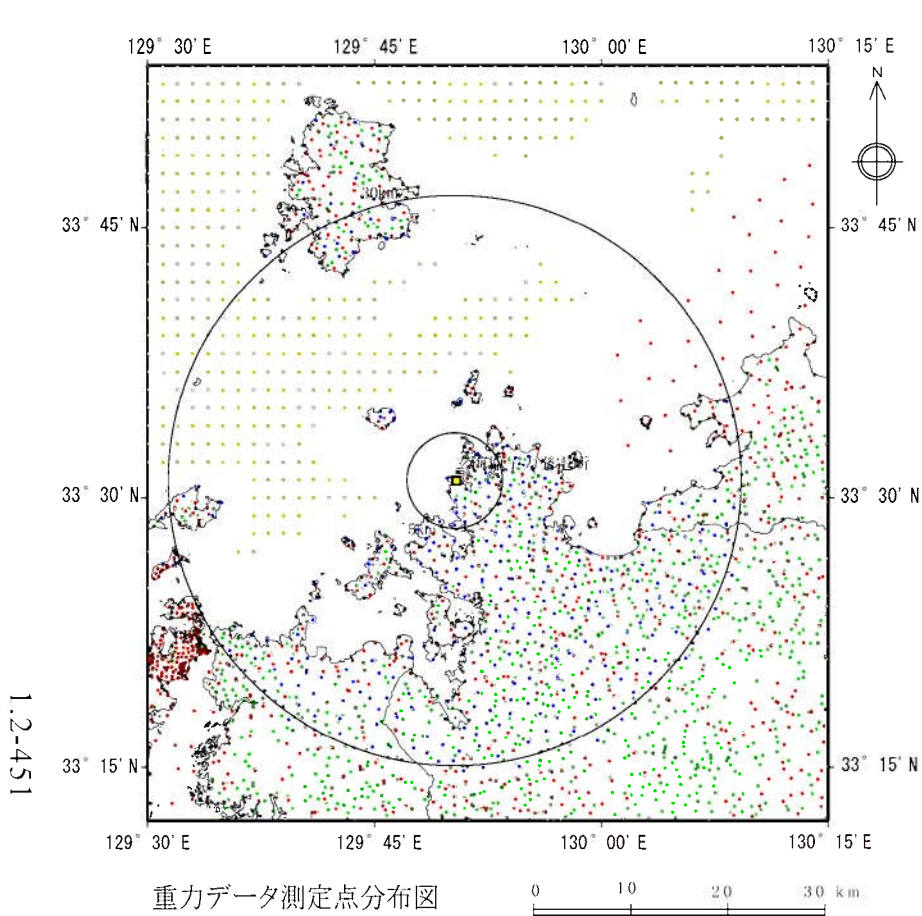
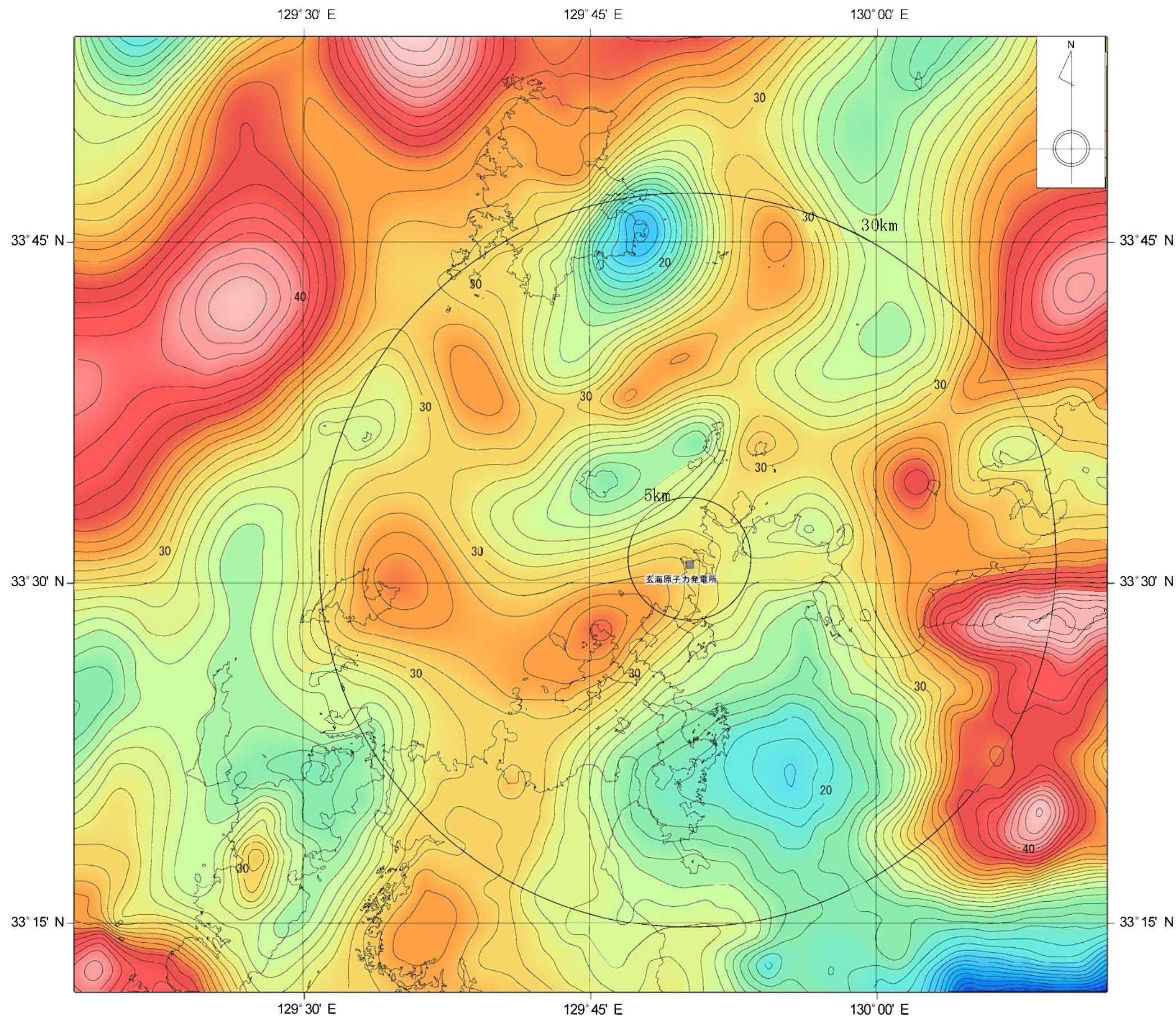
第1.2-56図 敷地周辺陸域の地質構造図



第1.2-57図 文献による敷地周辺陸域の活断層・リニアメント分布図

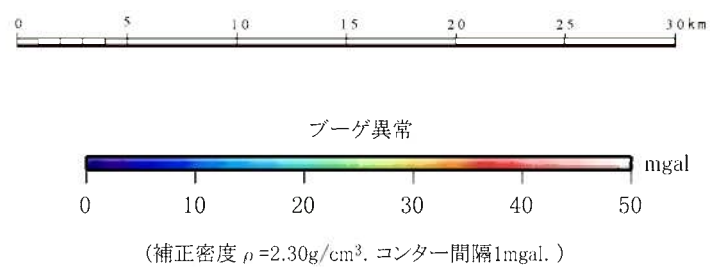


第1.2-58図 敷地周辺陸域のリニアメント分布図



重力データ測定点分布凡例

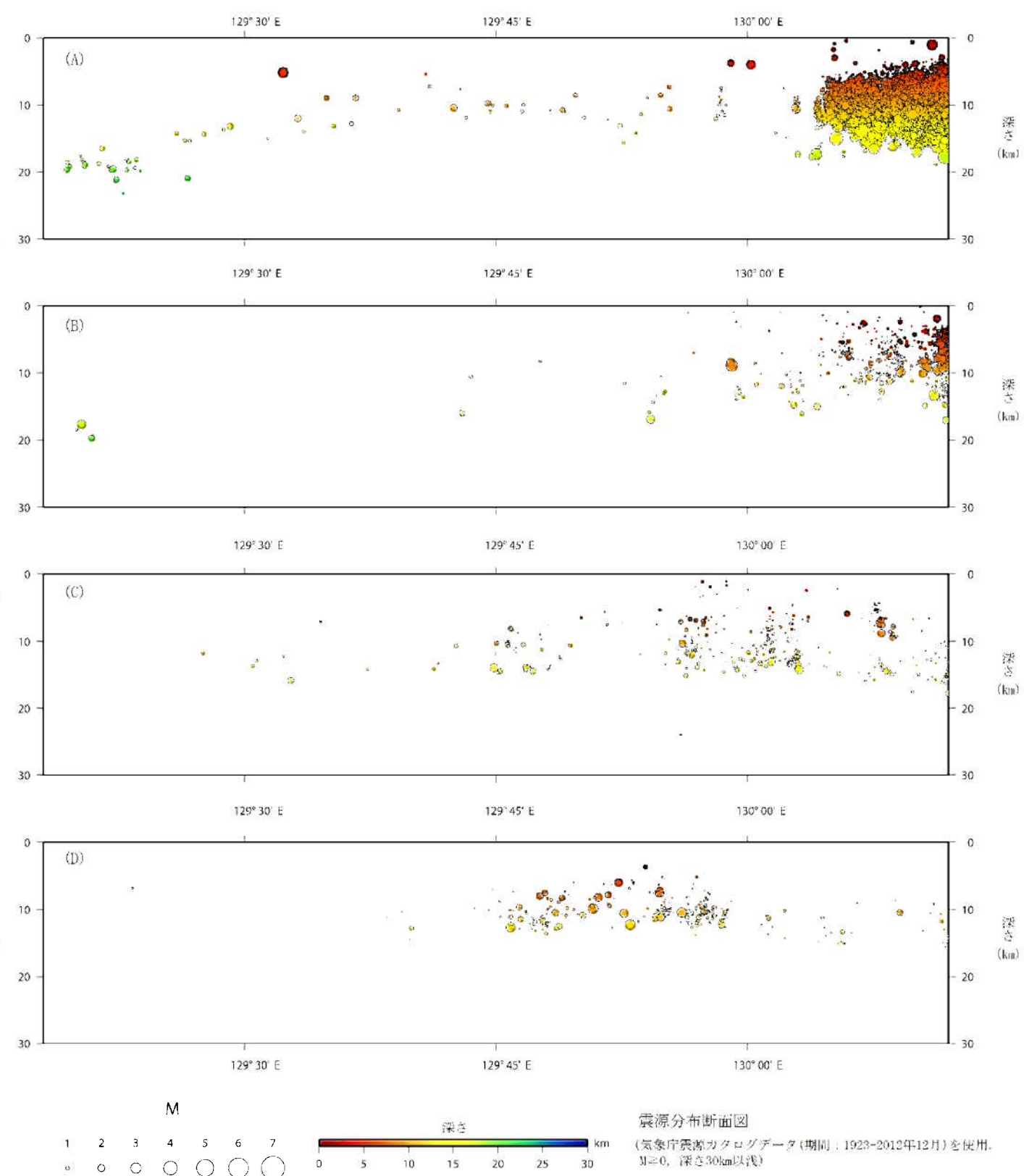
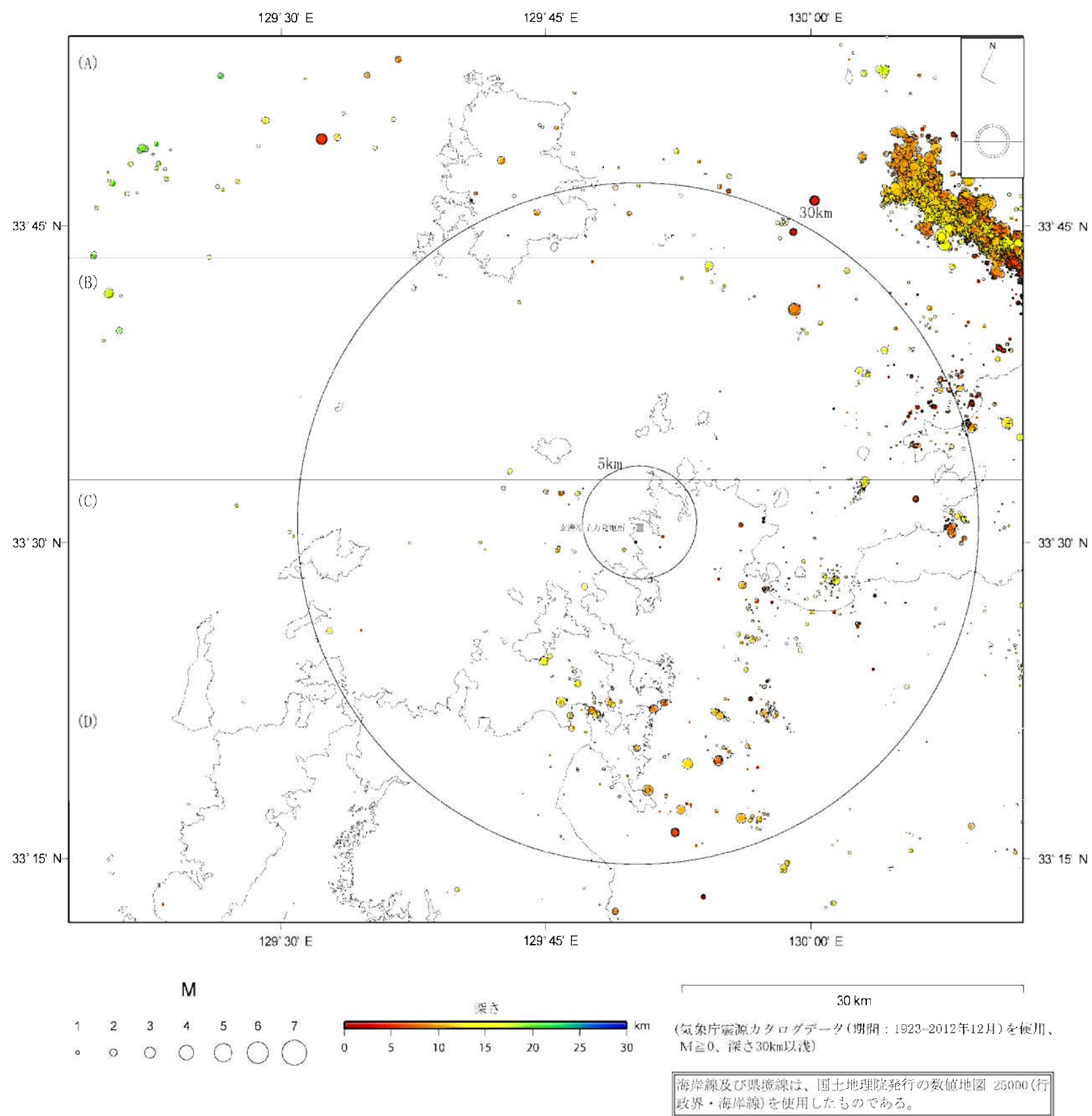
- 九州電力株式会社
- Sandwell and Smith(1997)及び笹原・矢沼・矢吹(2006)
- 地質調査総合センター
- Yamamoto et al. (2011)



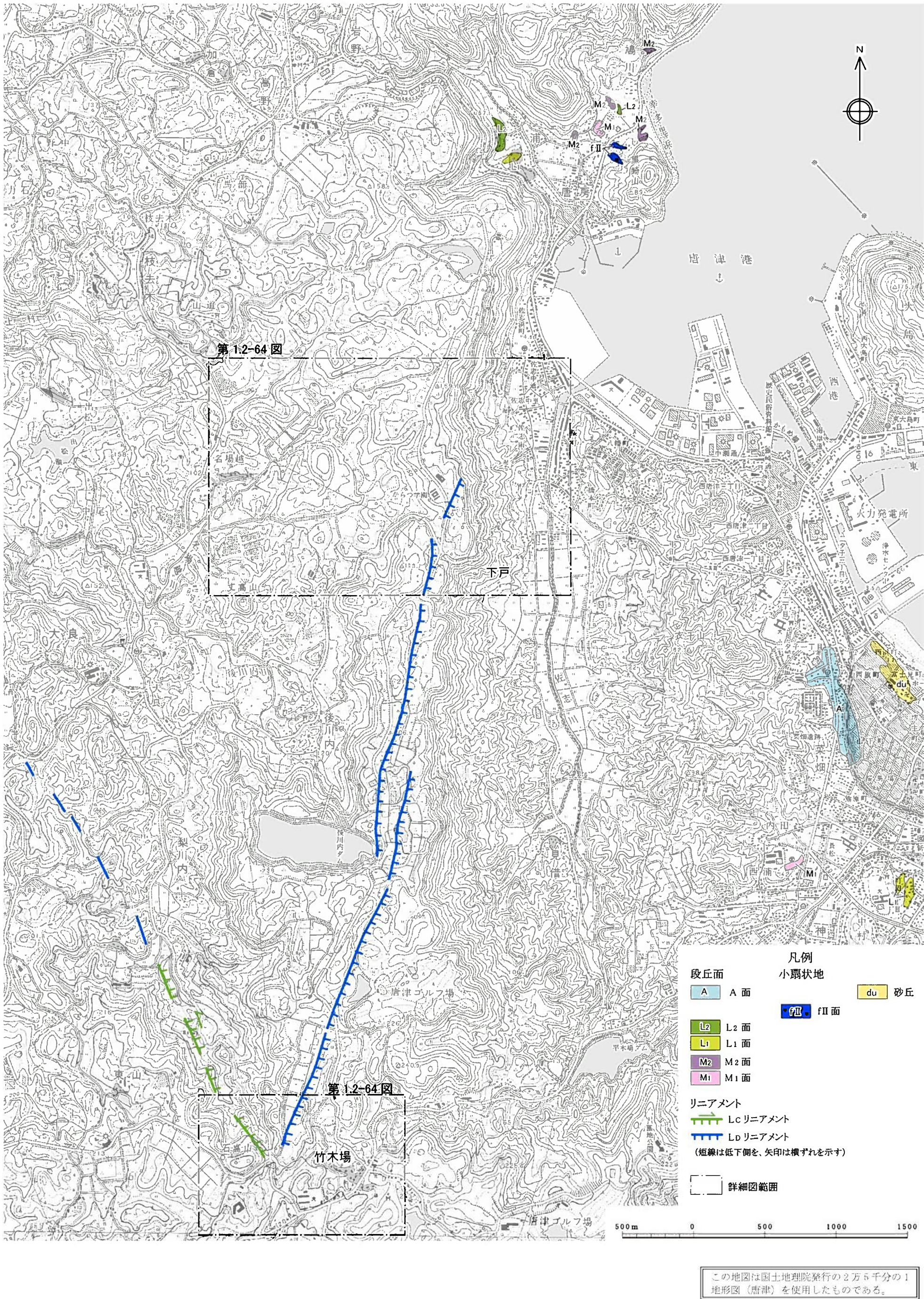
重力異常図は、陸域については、地質調査総合センター編(2013)「日本重力データベース DVD版」、Yamamoto et al.(2011)Gravity Database of Japan (CD-ROM)及び九州電力株式会社、海域については、Sandwell and Smith(1997)及び笹原・矢沼・矢吹(2006)による重力データを使用。

海岸線及び県境線は、国土地理院発行の数値地図25000(行政界・海岸線)を使用したものである。

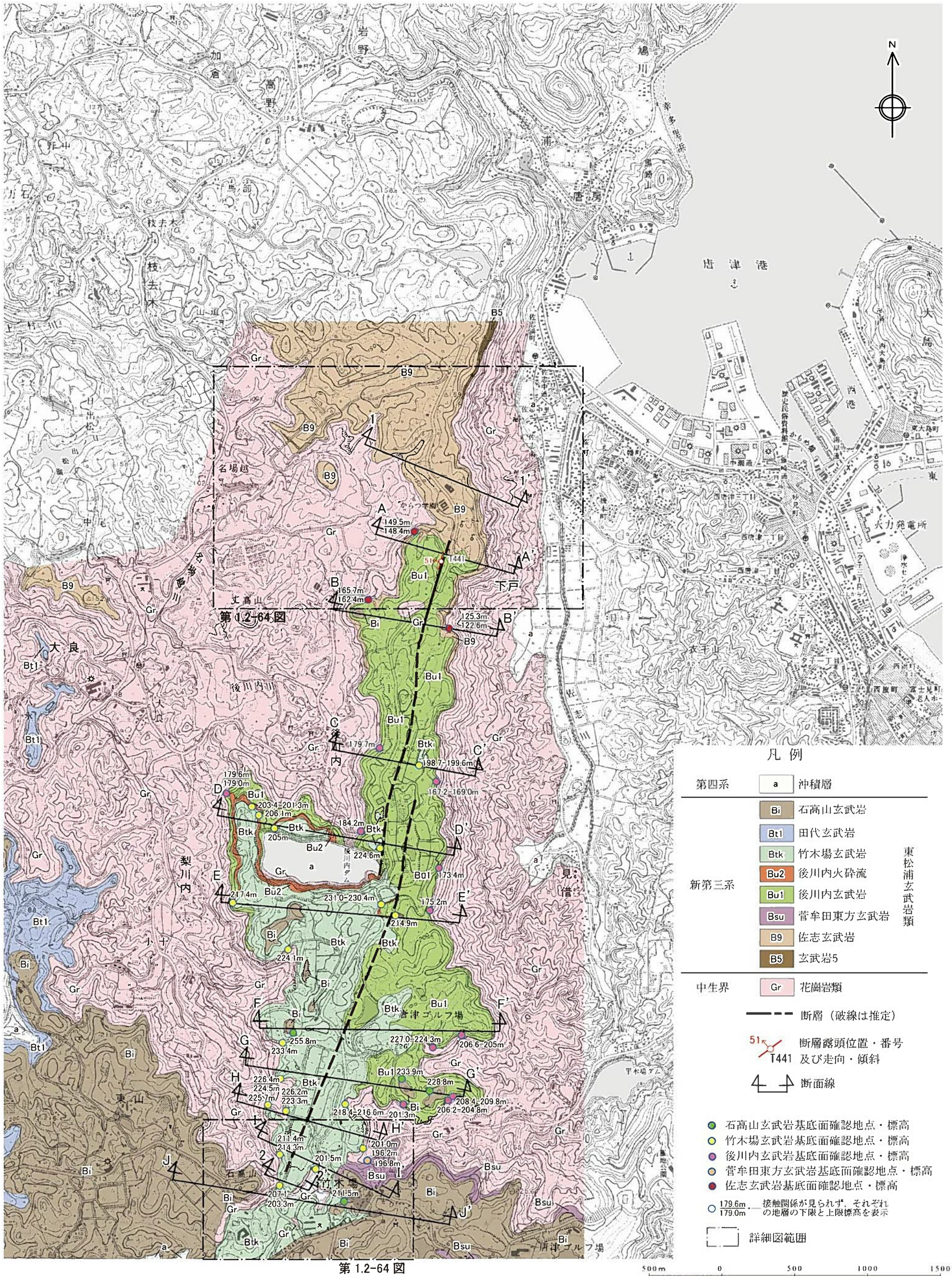
第1.2-59図 敷地周辺の重力異常図



第1.2-60図 敷地周辺の微小地震分布図

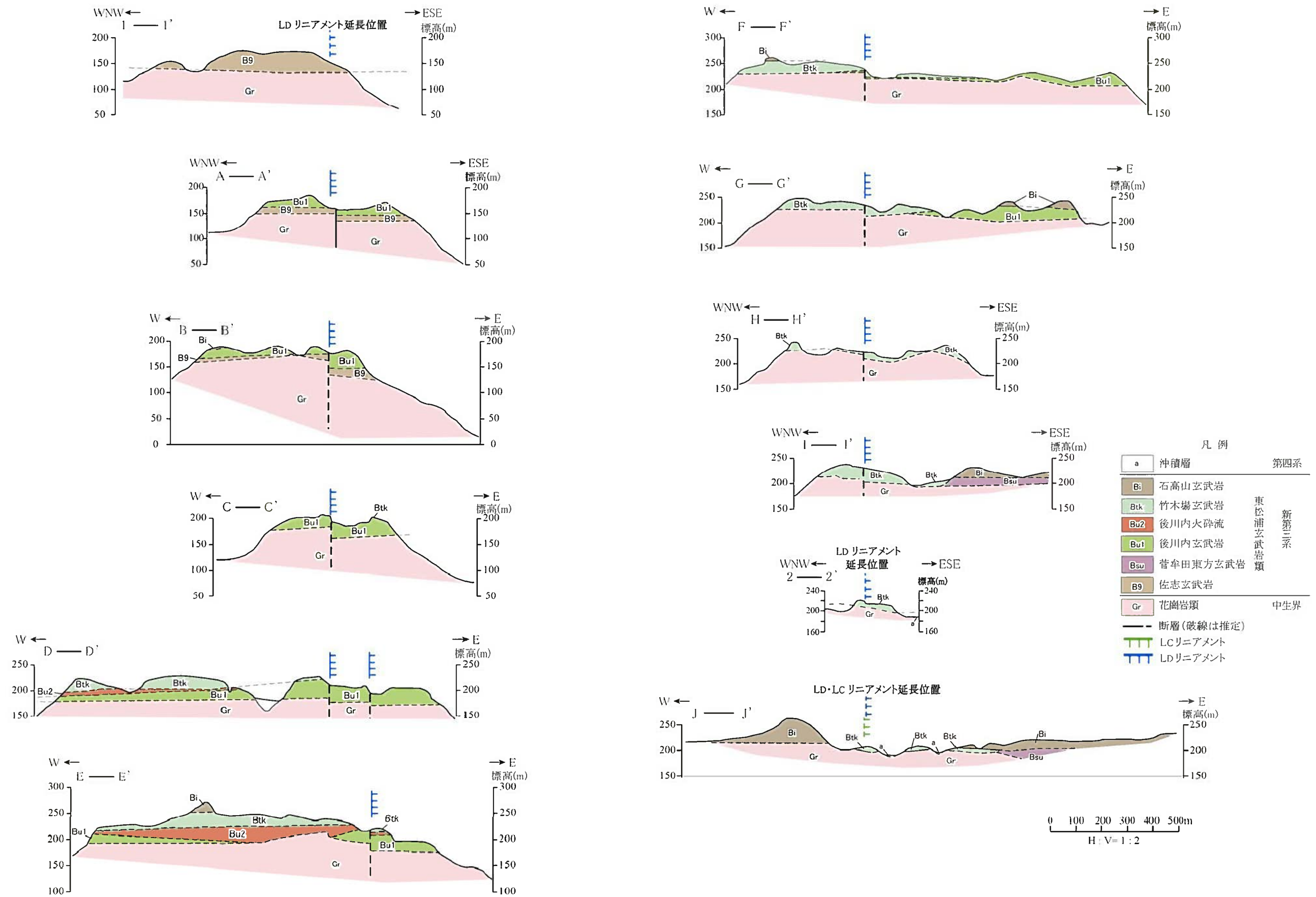


第1.2-61図 竹木場断層周辺の空中写真判読図

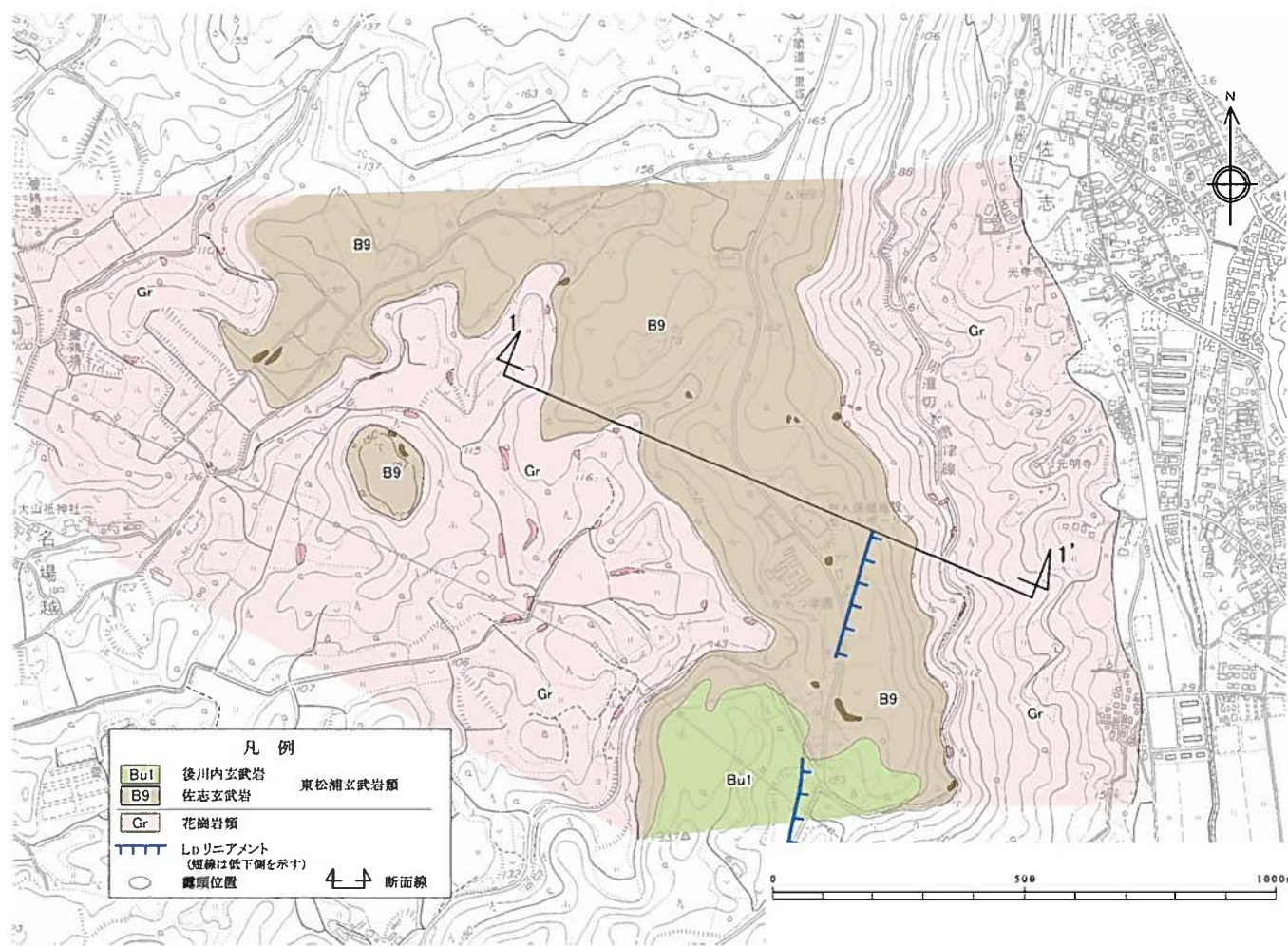


この地図は国土院発行の2万5千分の1
地形図(唐津)を使用したものである。

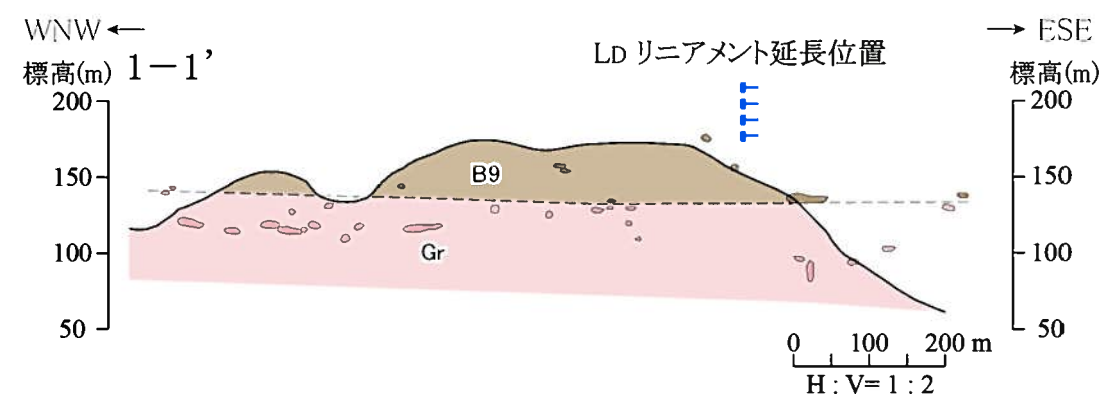
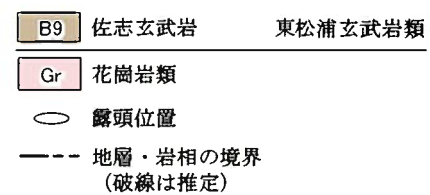
第1.2-62図 竹木場断層周辺の地質図



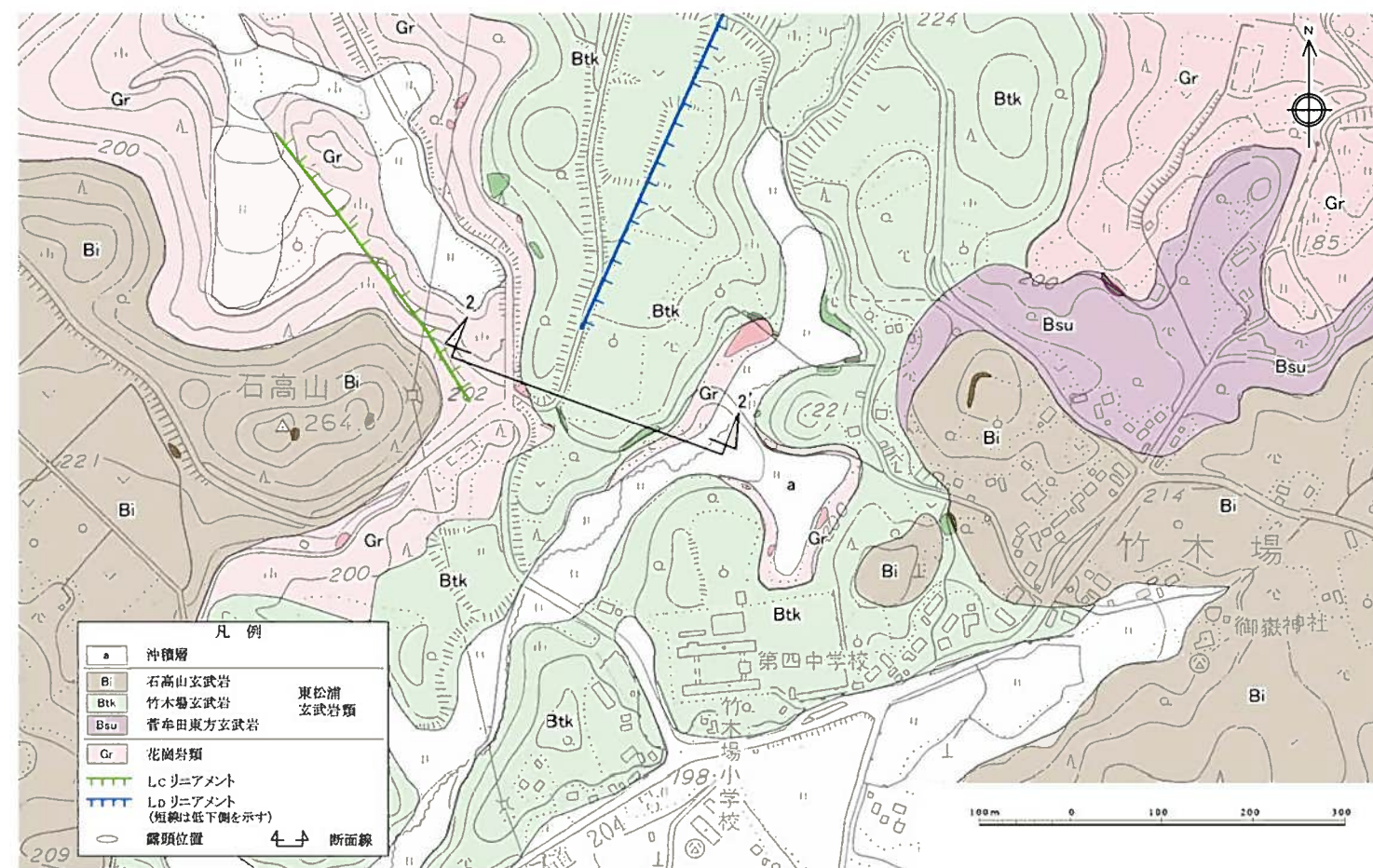
第1.2-63図 竹木場断層周辺の地質断面図



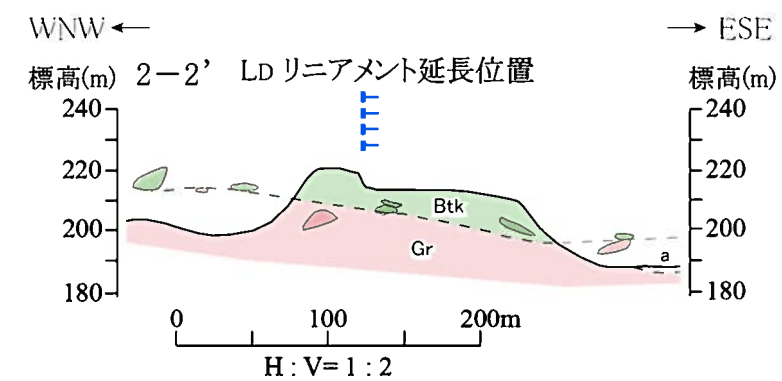
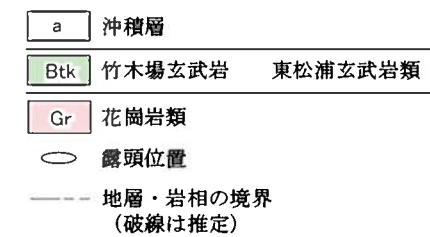
凡例



唐津市下戸付近

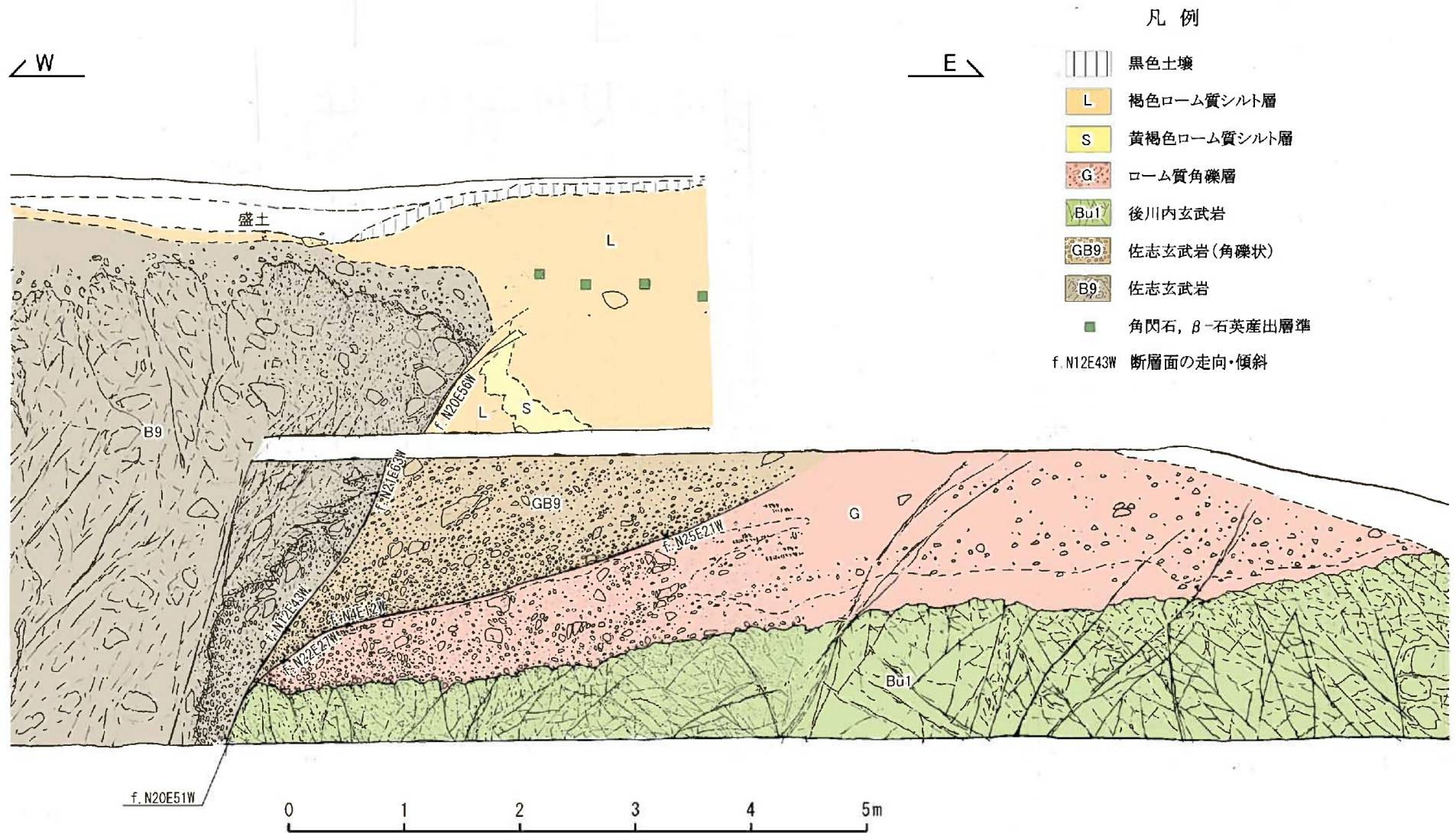


凡例

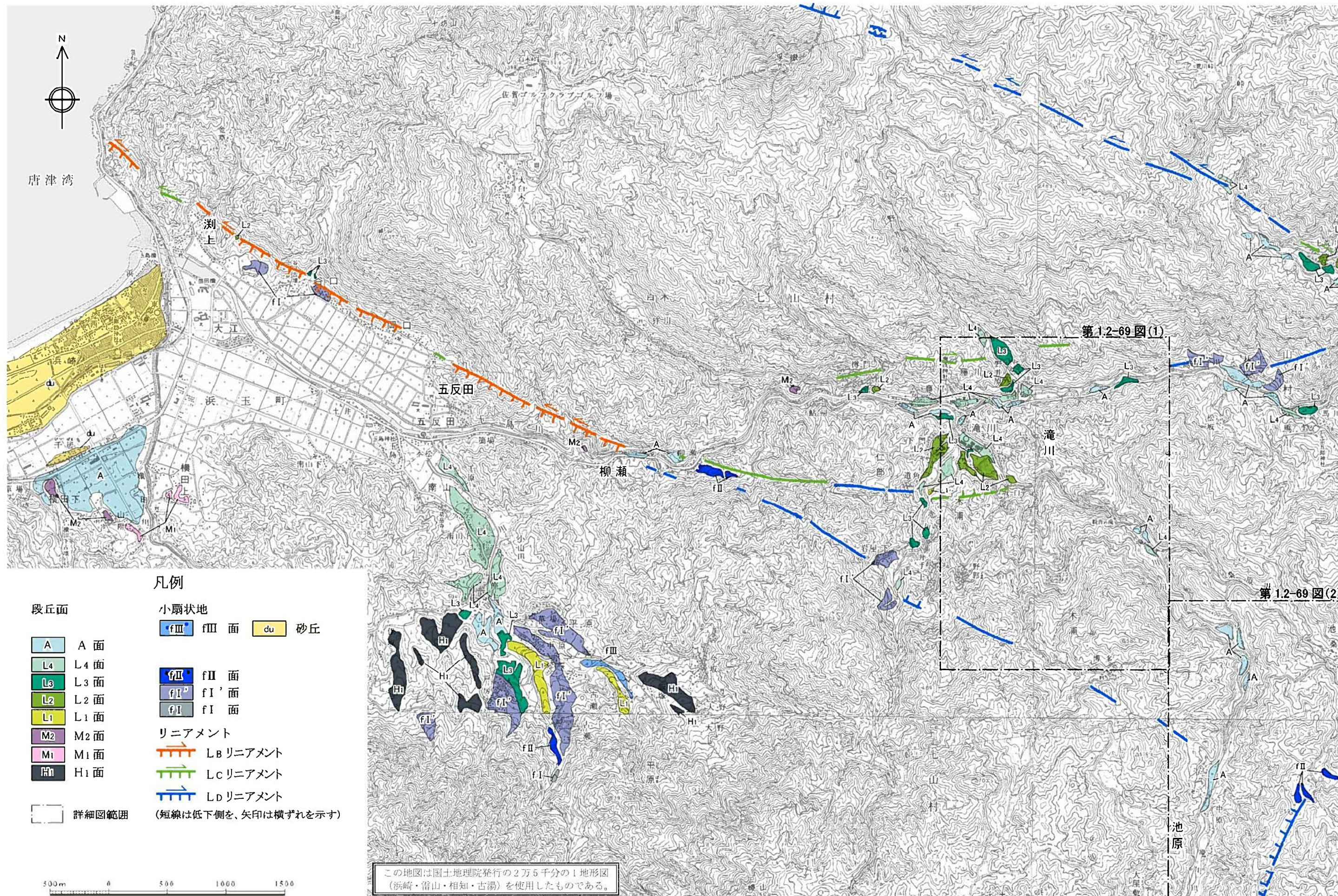


唐津市竹木場付近

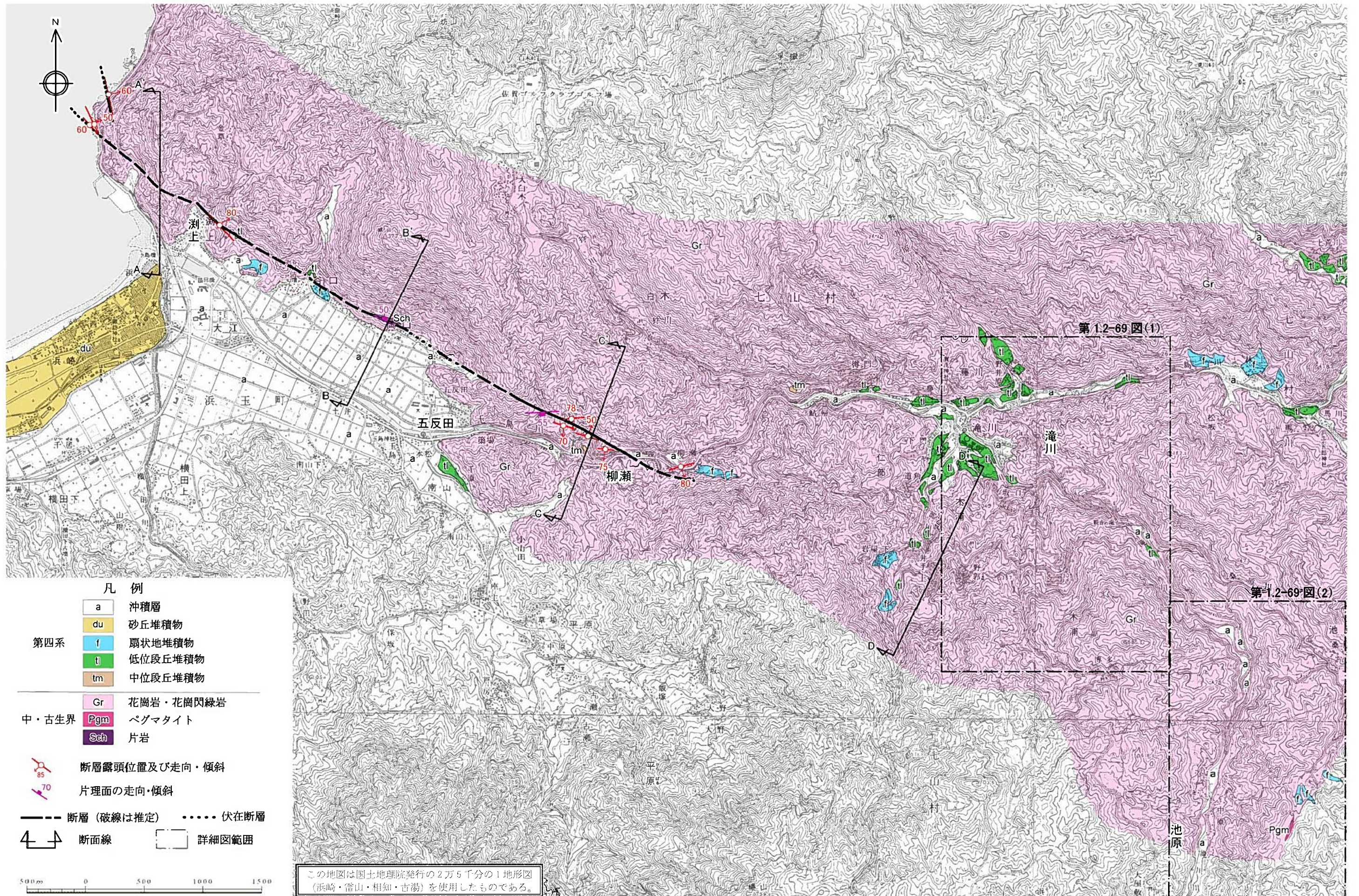
第1.2-64図 唐津市下戸付近及び竹木場付近のルートマップ・地質断面図



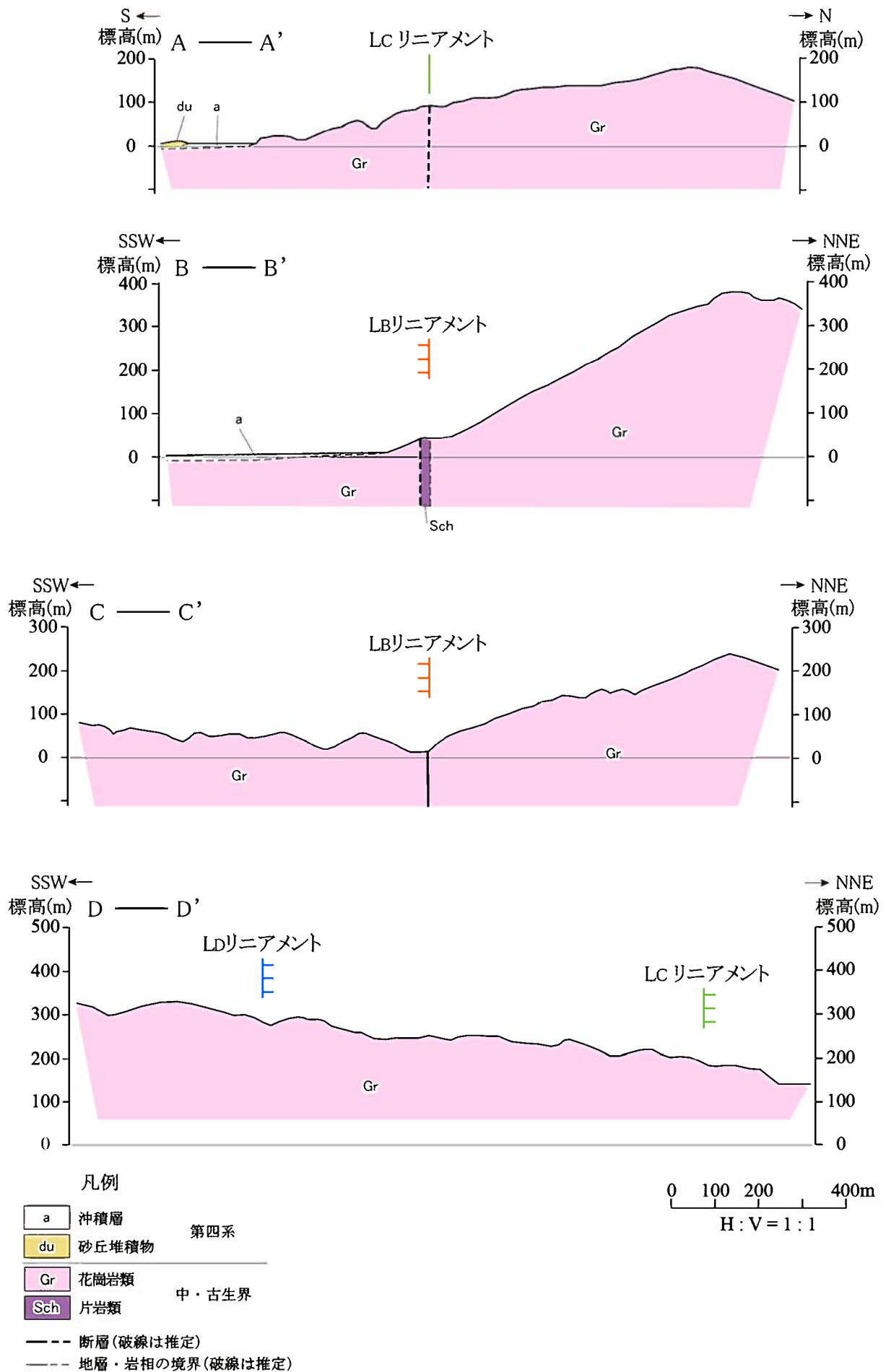
第1.2-65図 露頭スケッチ (Loc.T441、唐津市下戸西)



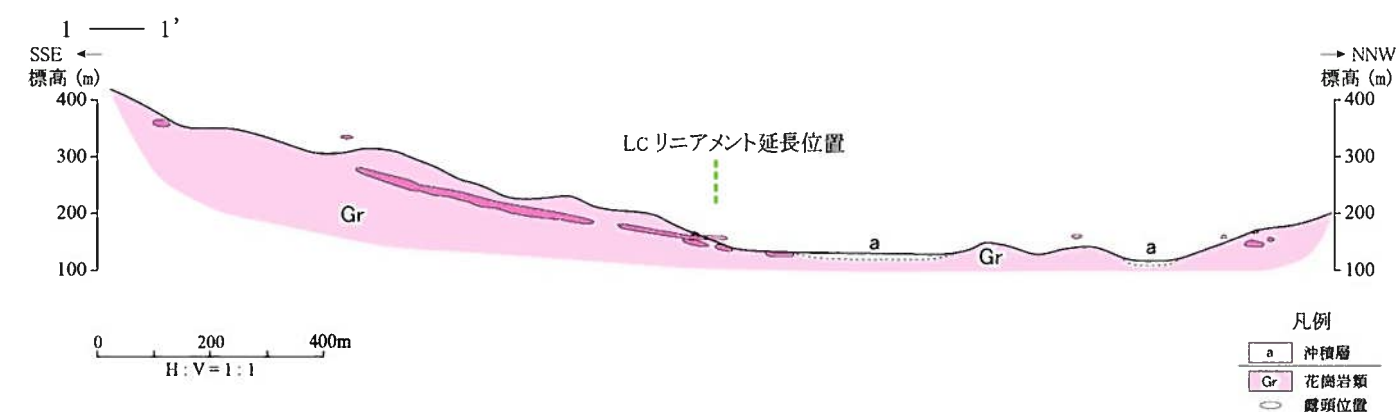
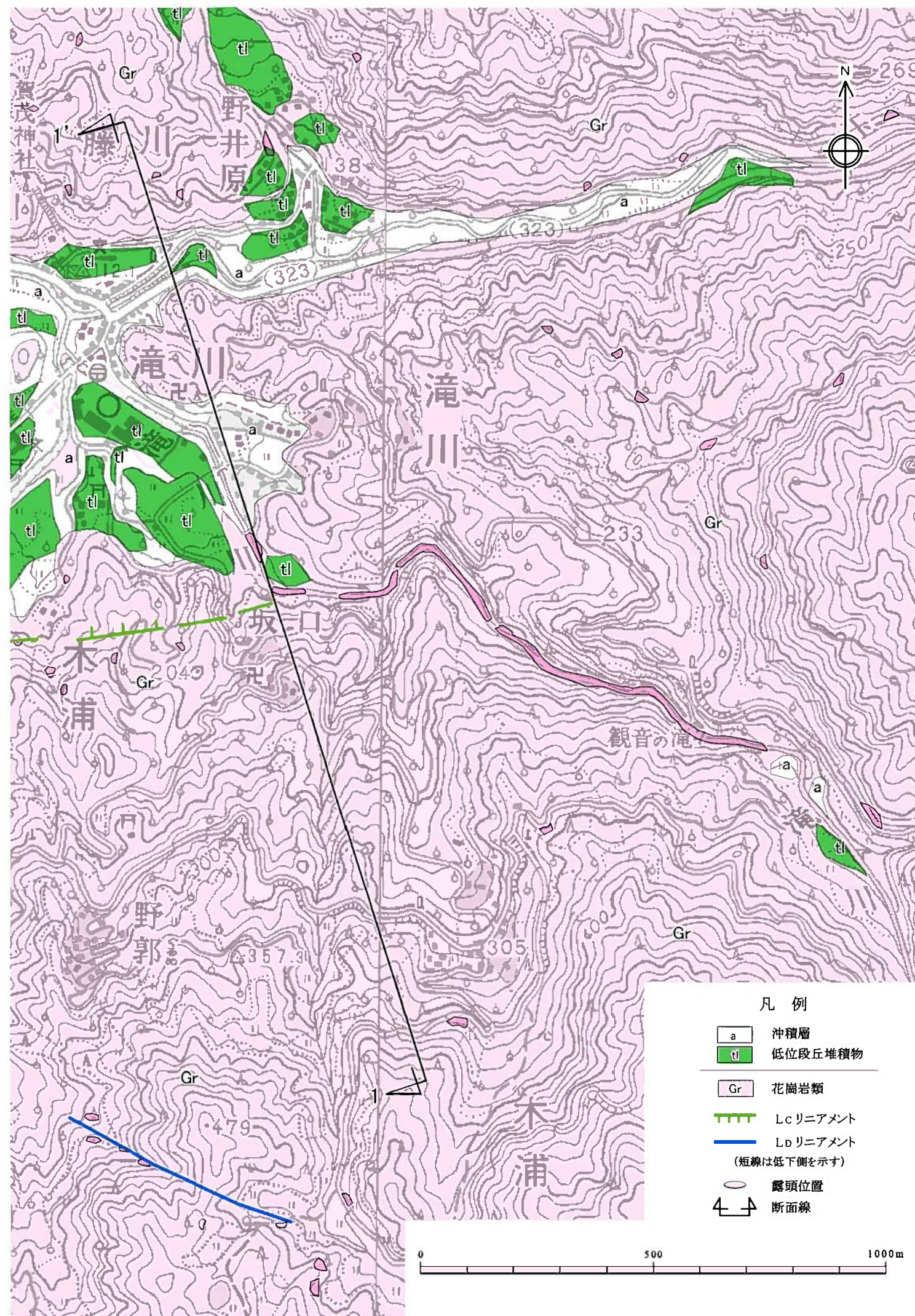
第1.2-66図 城山南断層周辺の空中写真判読図



第1.2-67図 城山南断層周辺の地質図

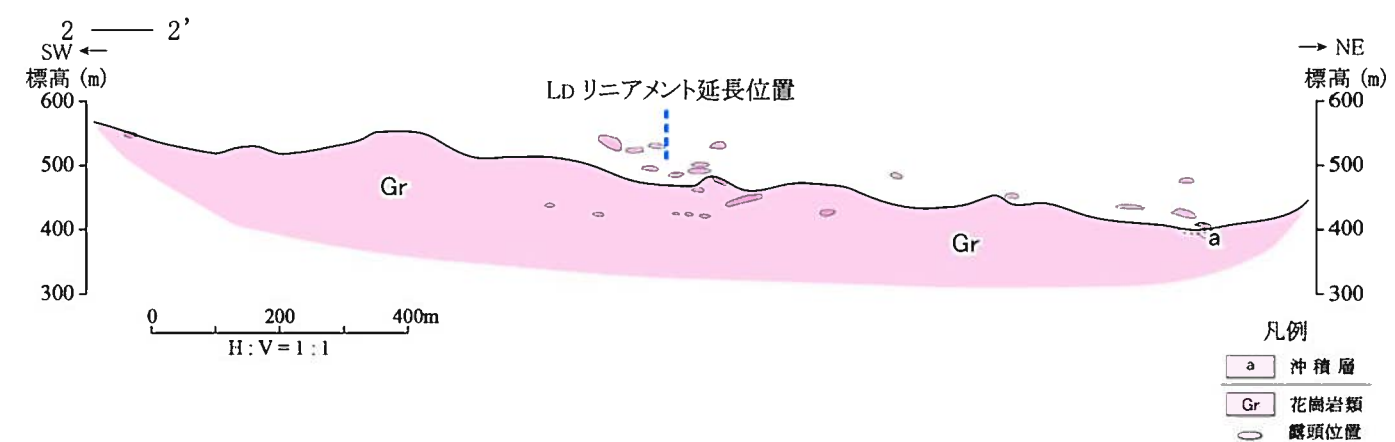
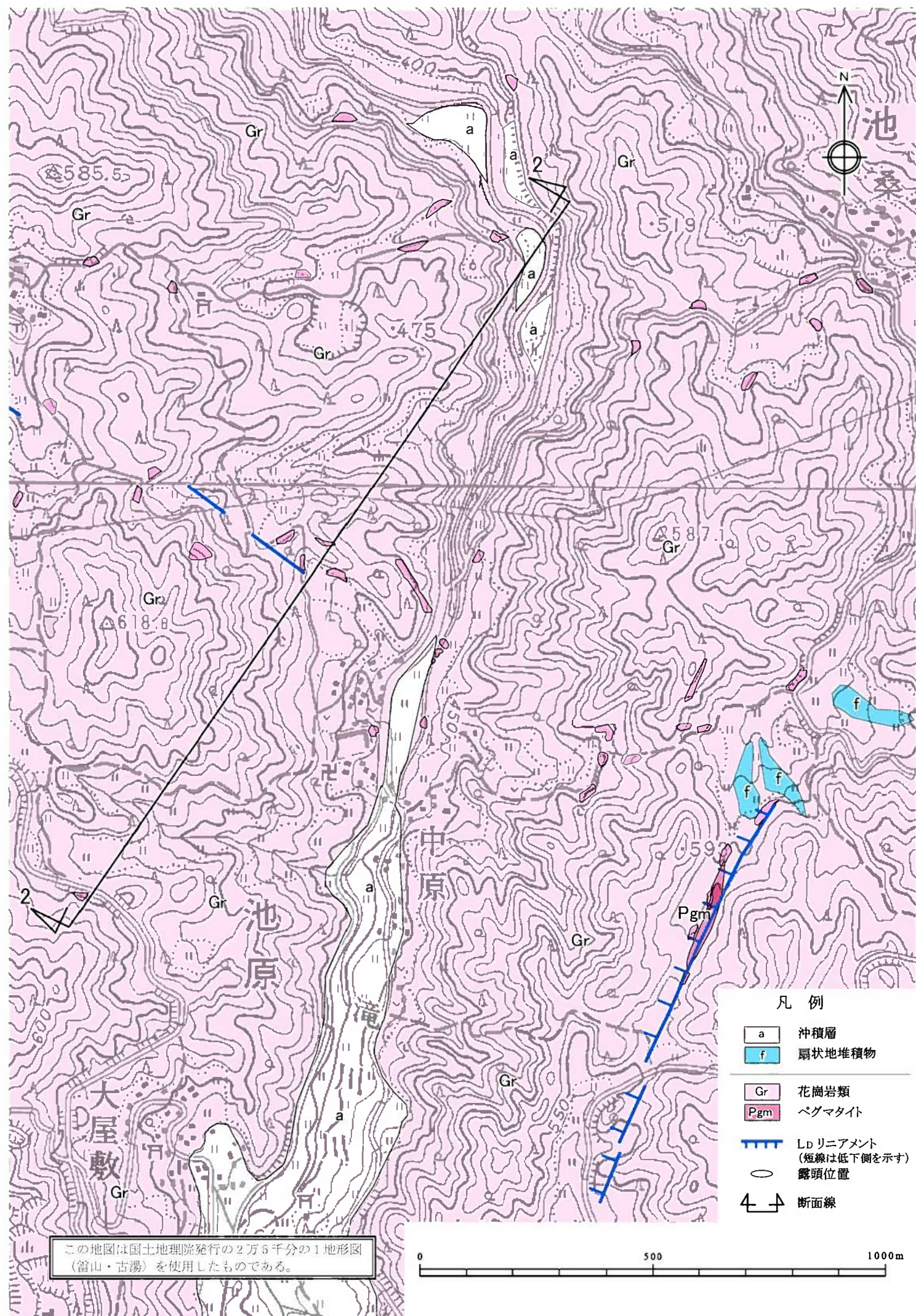


第1.2-68図 城山南断層周辺の地質断面図

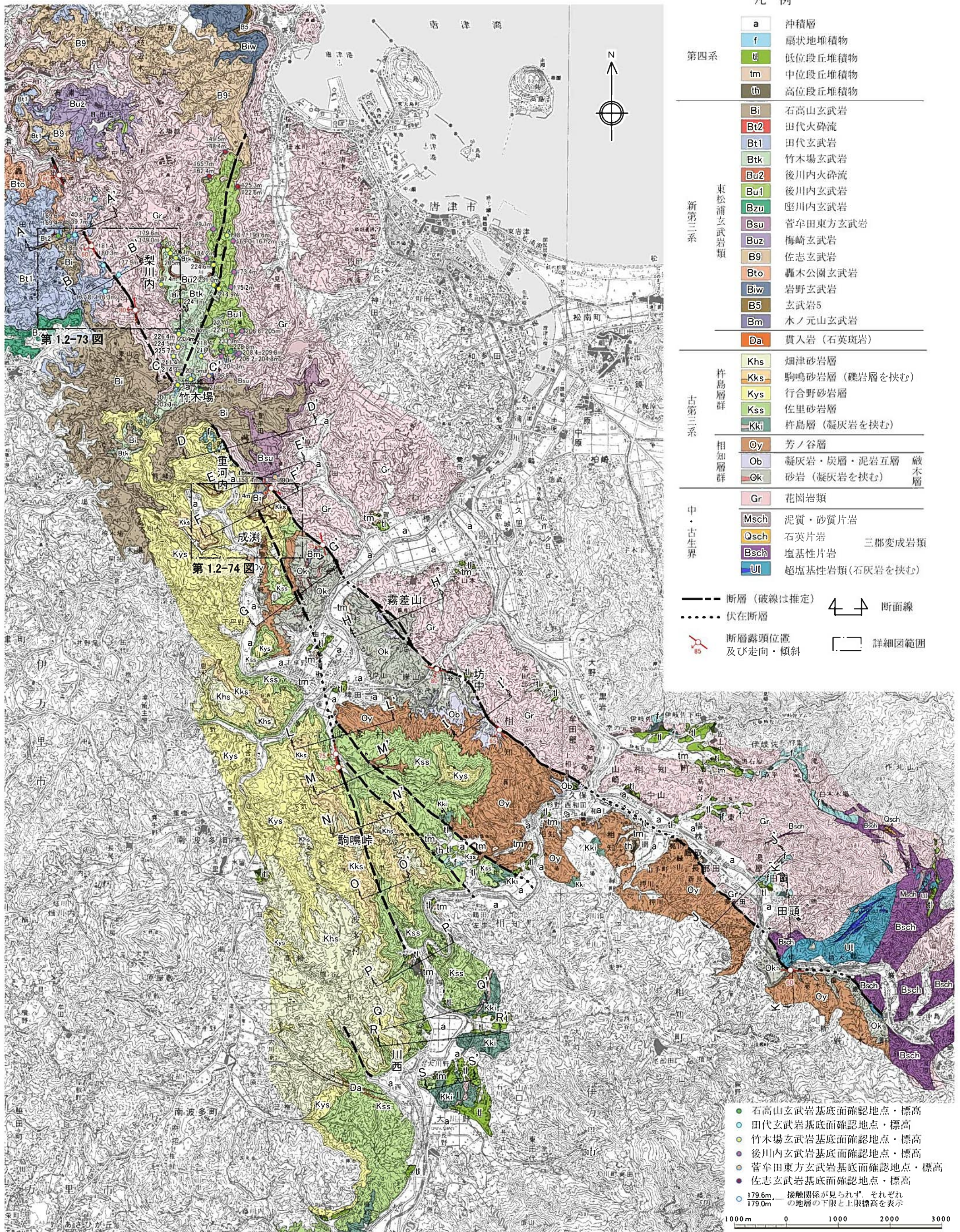


この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(浜崎・雷山)を使用したものである。

第1.2-69図(1) 唐津市七山滝川付近のルートマップ・地質断面図

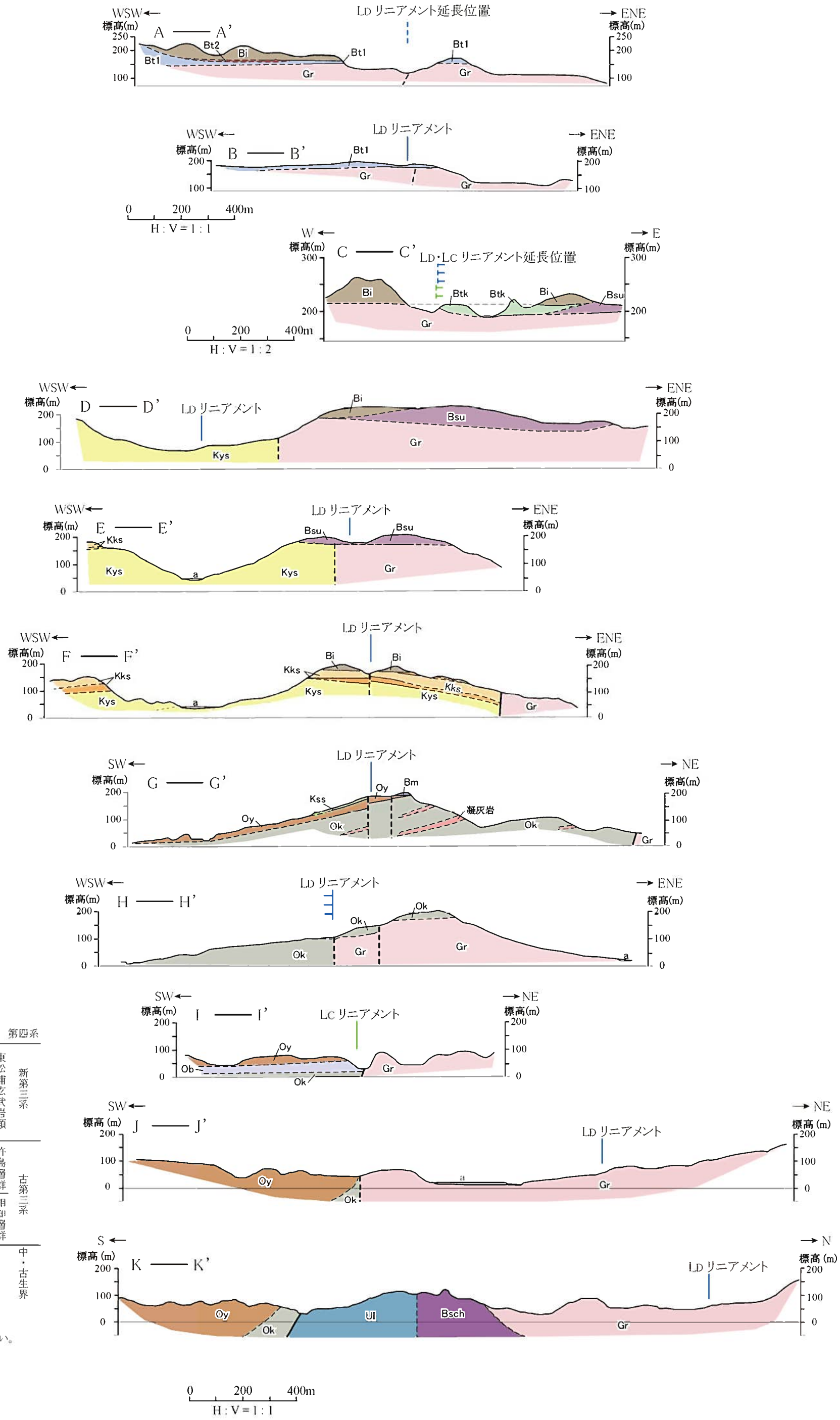


第1.2-69図(2) 唐津市七山池原付近のルートマップ・地質断面図

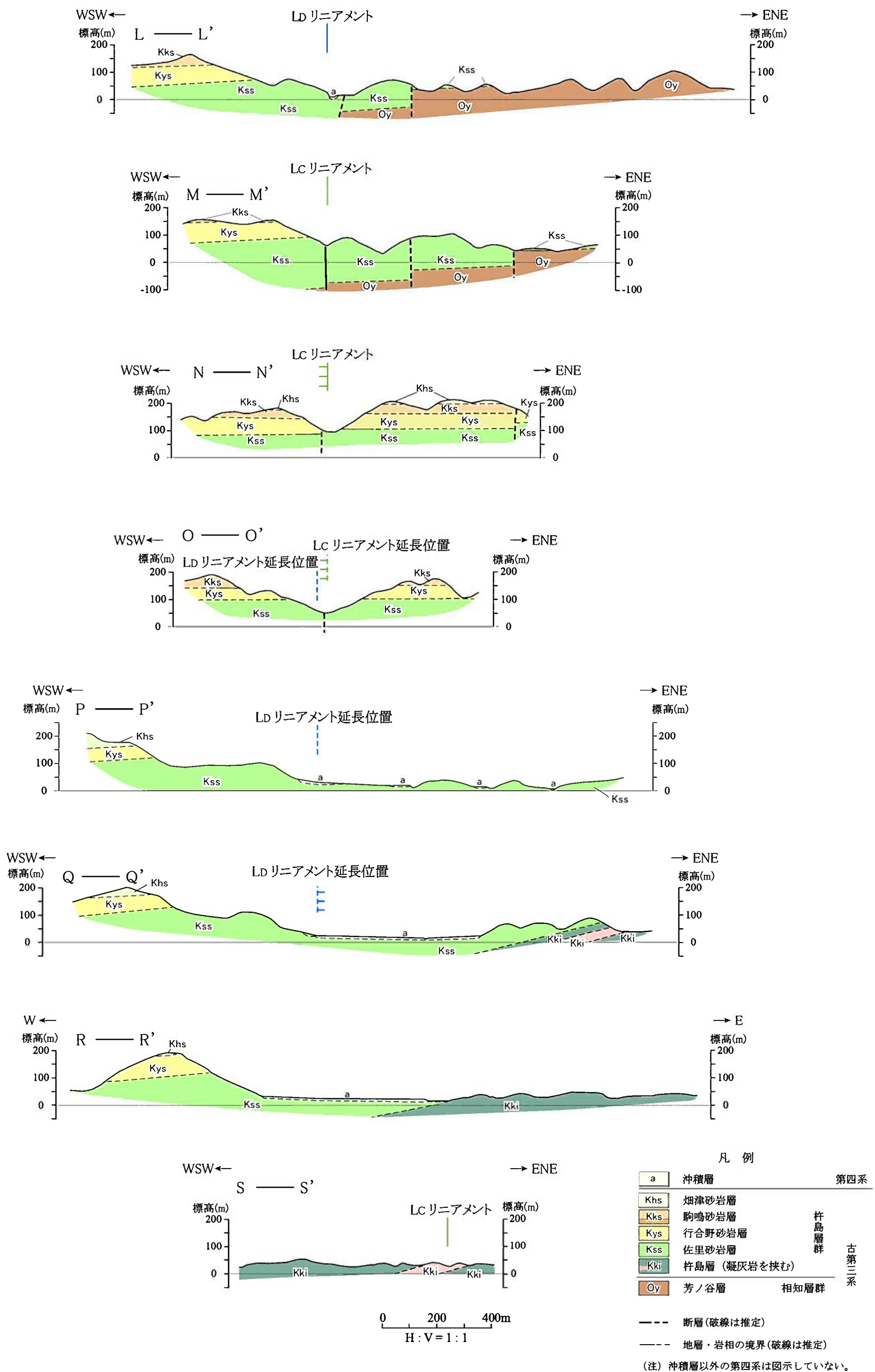


第1.2-71図 畑島リアメント・駒鳴峠リアメント周辺の地質図

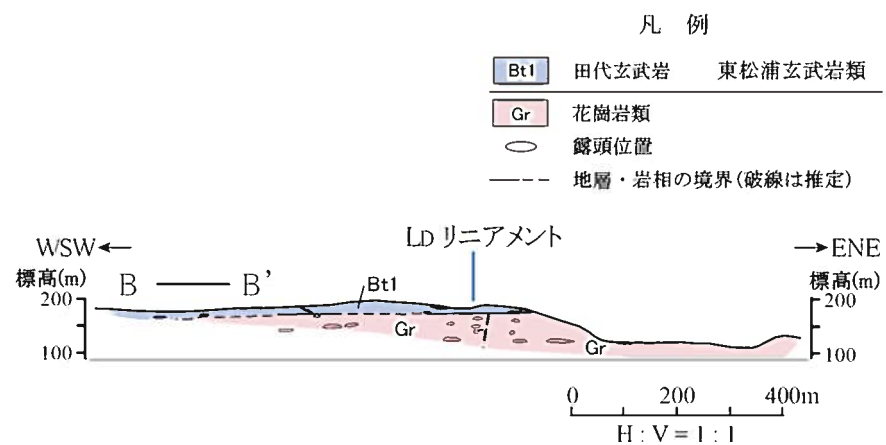
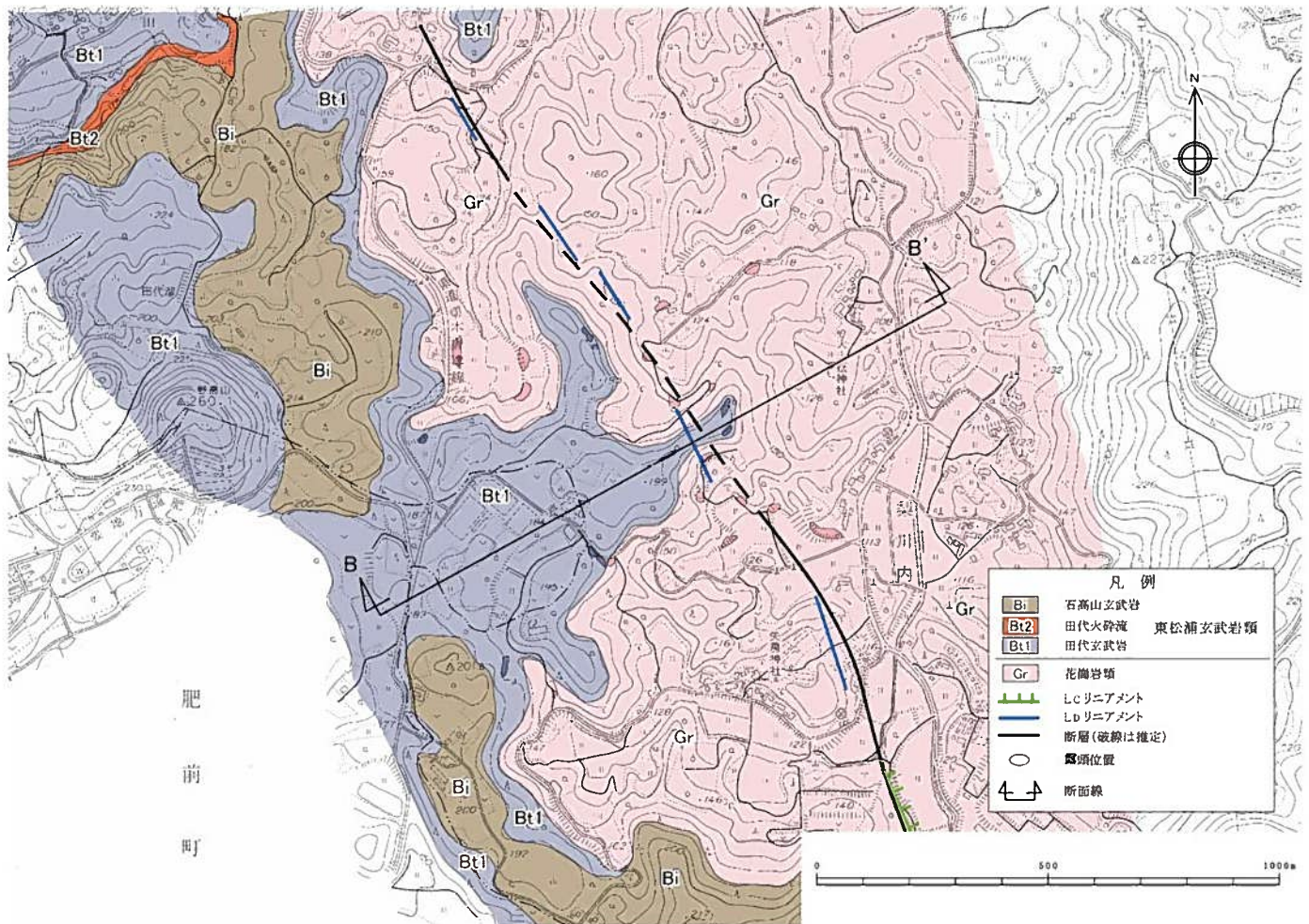
凡 例		
a	沖積層	第四系
Bi	石高山玄武岩	東松浦玄武岩類 新第三系
Bt2	田代火砕流	
Bt1	田代玄武岩	
Btk	竹木場玄武岩	
Bsu	菅牟田東方玄武岩	
Bm	水ノ元山玄武岩	
Kks	駒鳴砂岩層（礫岩層を挟む）	杵島層群 古第三系
Kys	行合野砂岩層	
Kss	佐里砂岩層	
Oy	芳ノ谷層	相知層群 礫木層
Ub	凝灰岩・炭層・泥岩互層	
Ok	砂岩（凝灰岩を挟む）	
Gr	花崗岩類	中・古生界 三郡変成岩類
Bsch	塩基性片岩	
Ul	超塩基性岩類	
—— 断層（破線は推定）		
----- 地層・岩相の境界（破線は推定）		
(注) 沖積層以外の第四系は図示していない。		



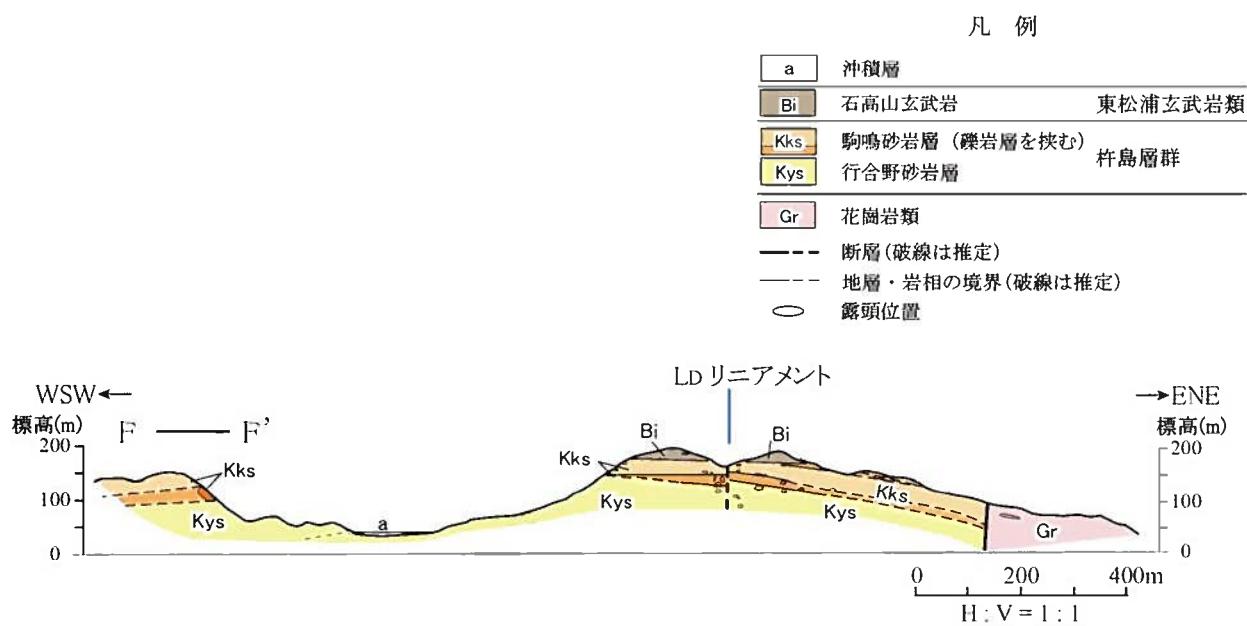
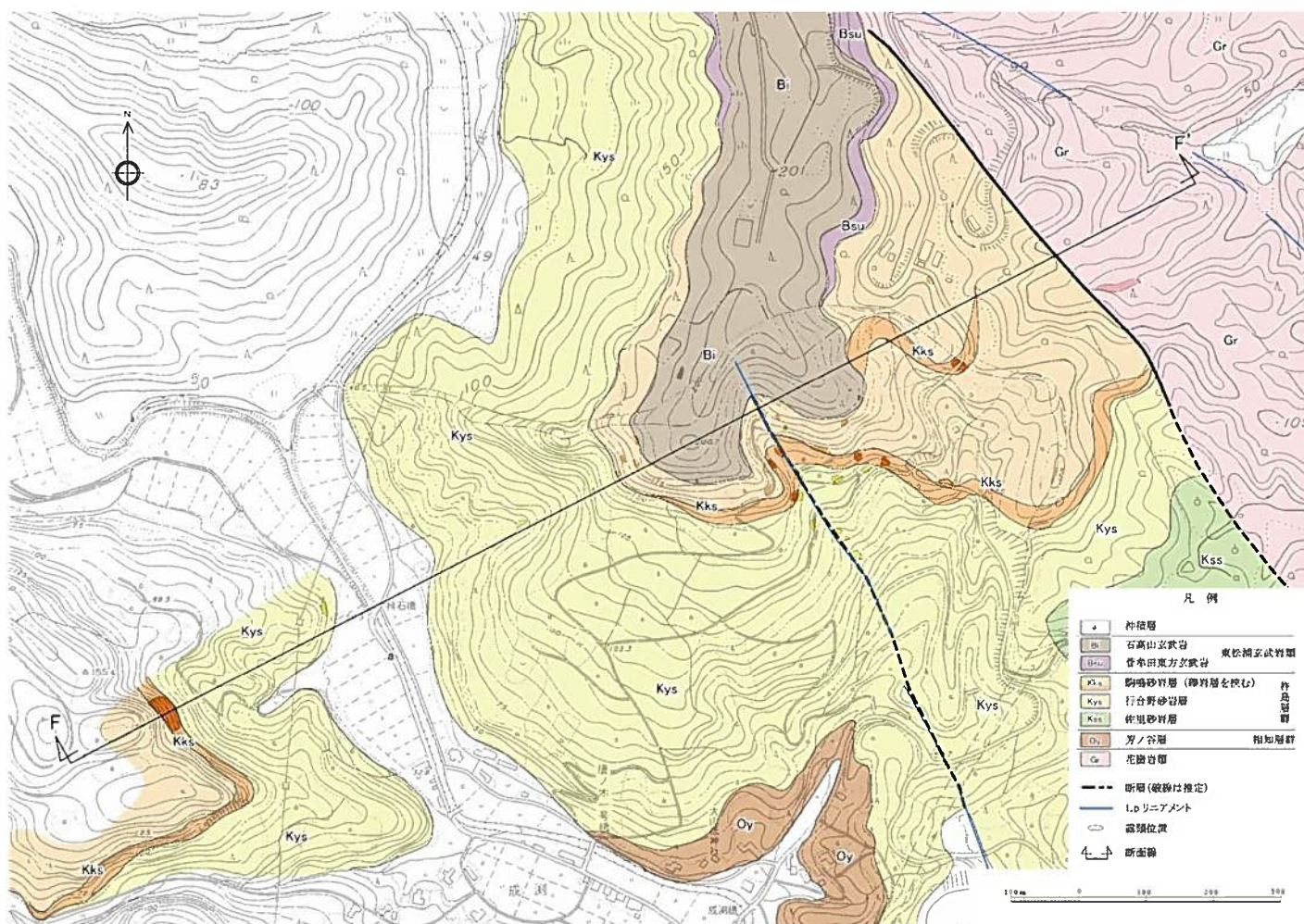
第1.2-72図(1) 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の地質断面図(畑島リニアメント)



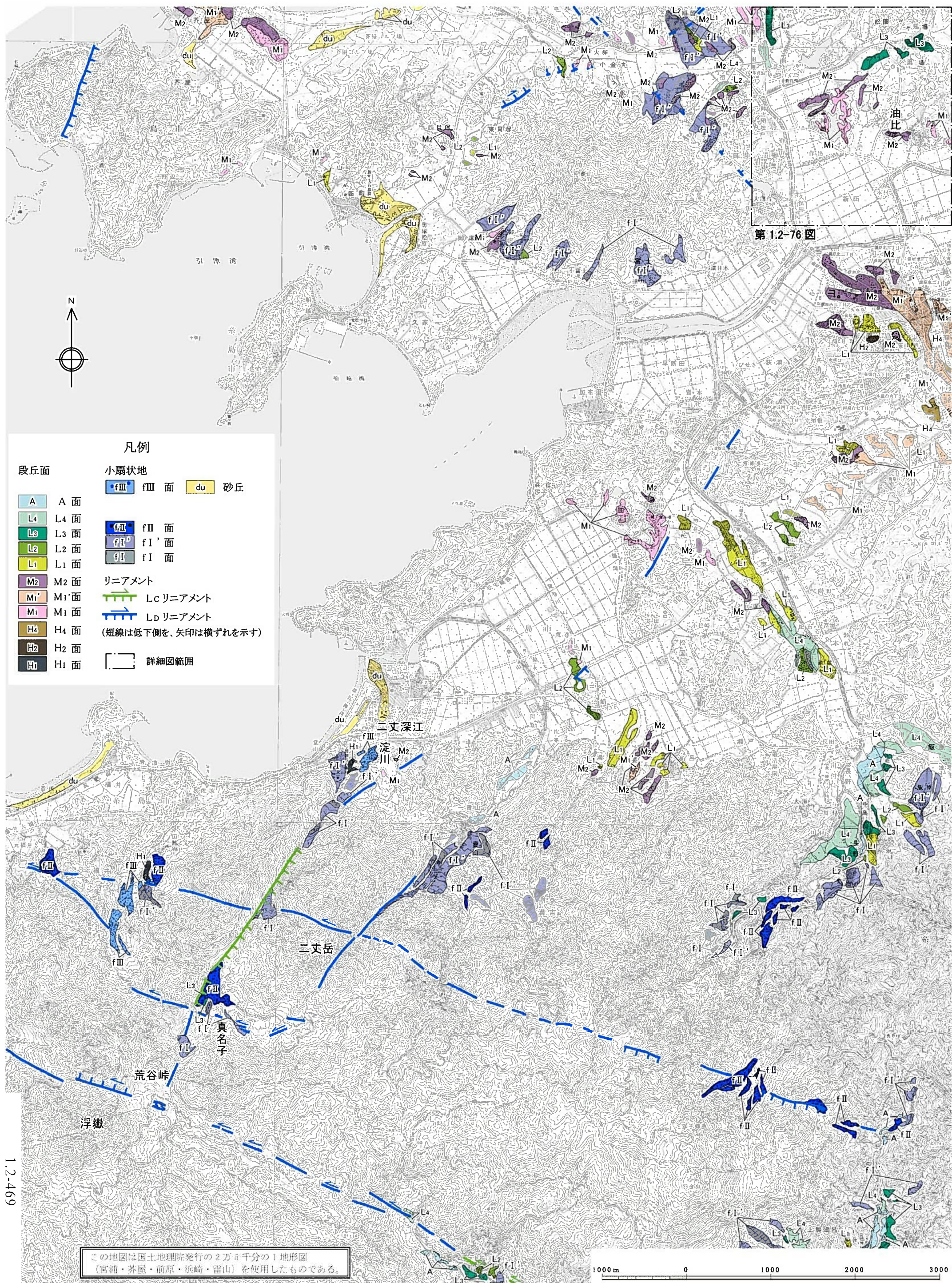
第1.2-72図(2) 畑島リニアメント・駒鳴峠リニアメント周辺の地質断面図(駒鳴峠リニアメント)



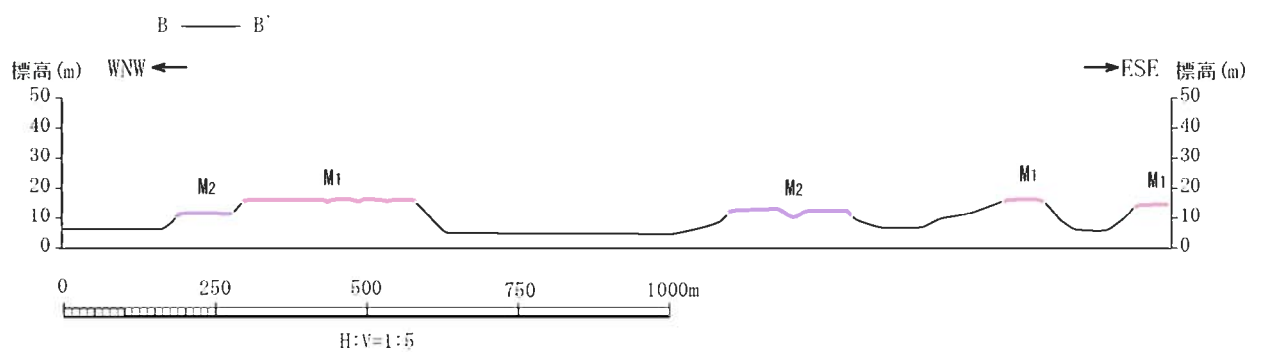
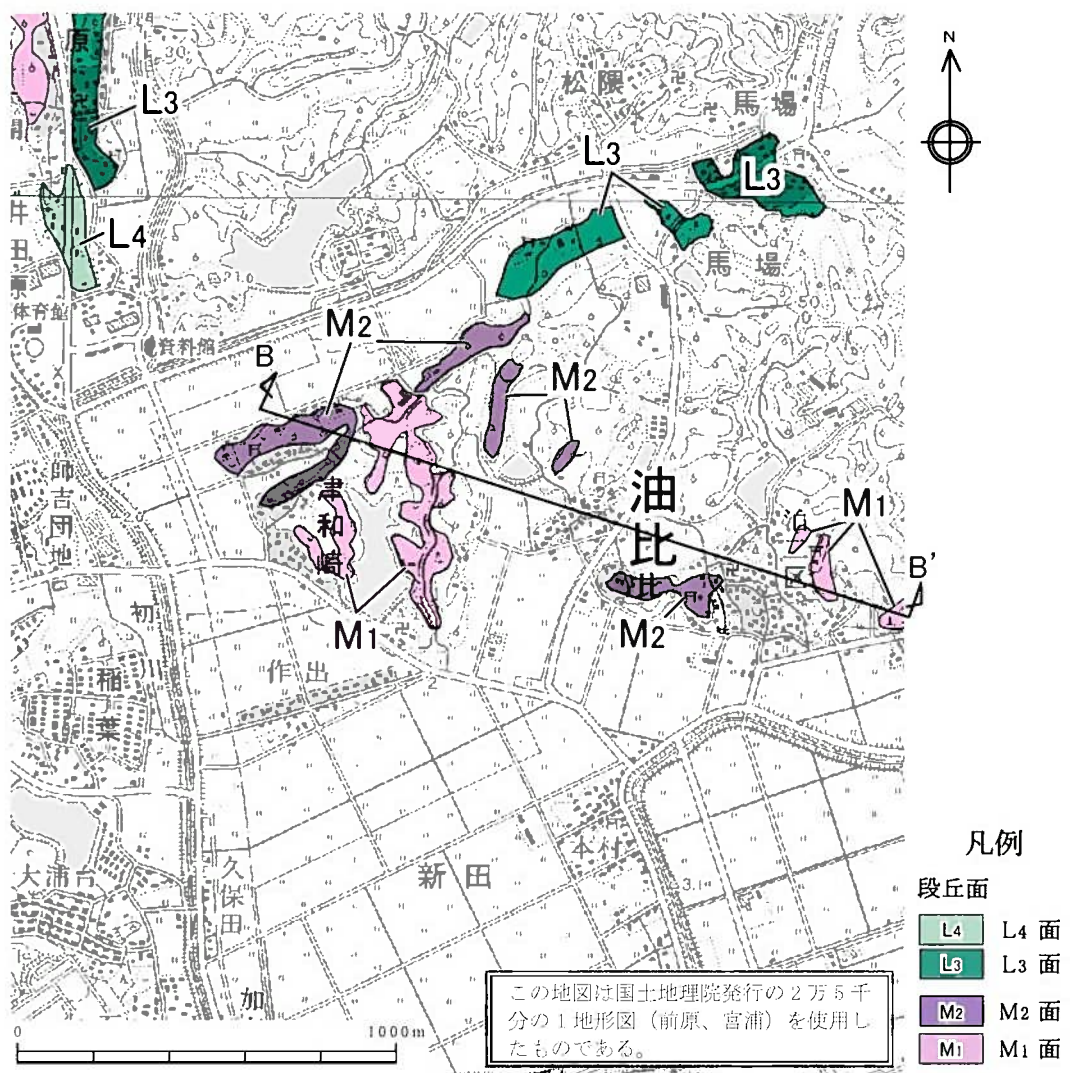
第1.2-73図 唐津市梨川内付近のルートマップ・地質断面図



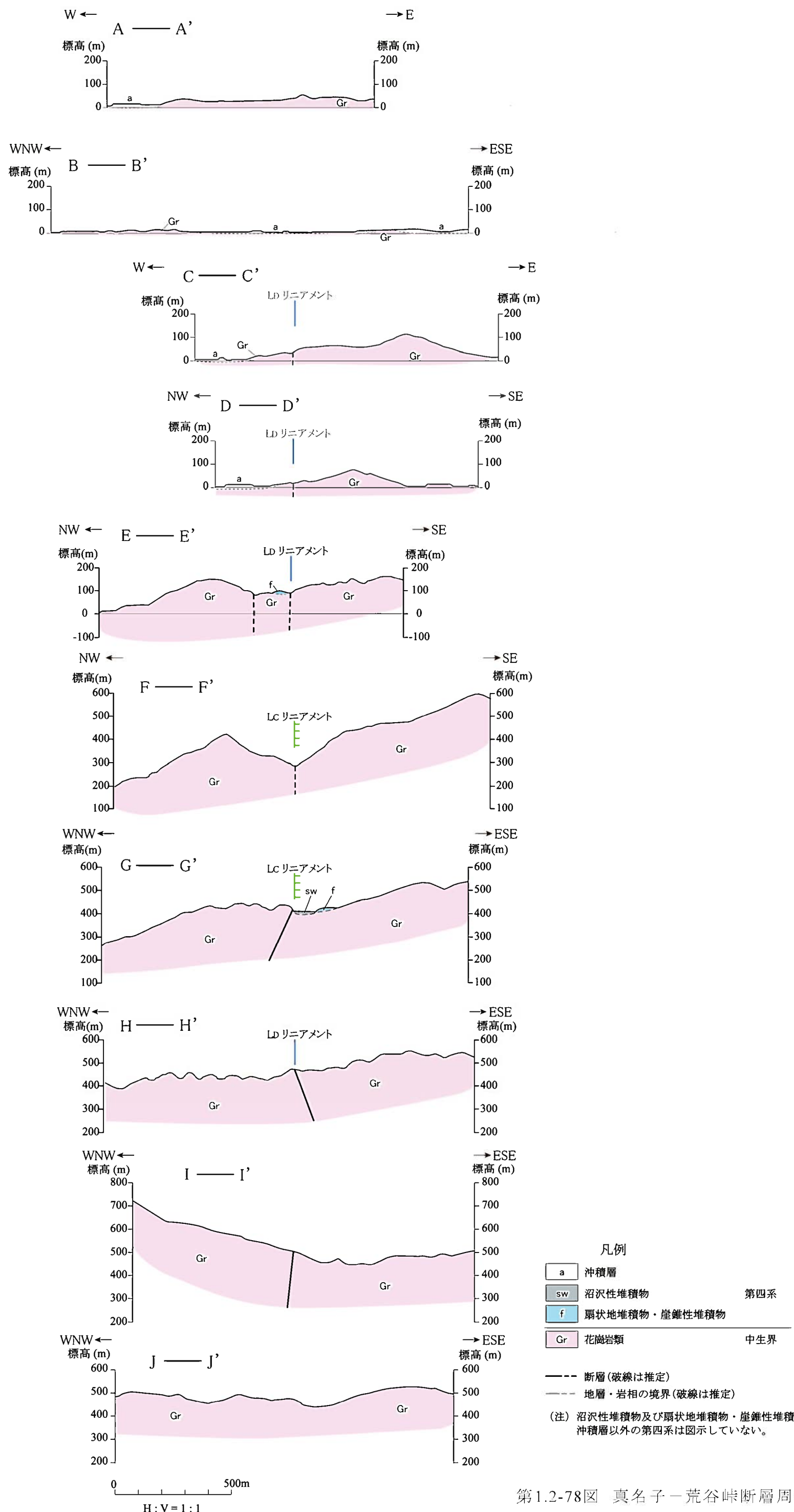
第1.2-74図 唐津市北波多成沢付近のルートマップ・地質断面図



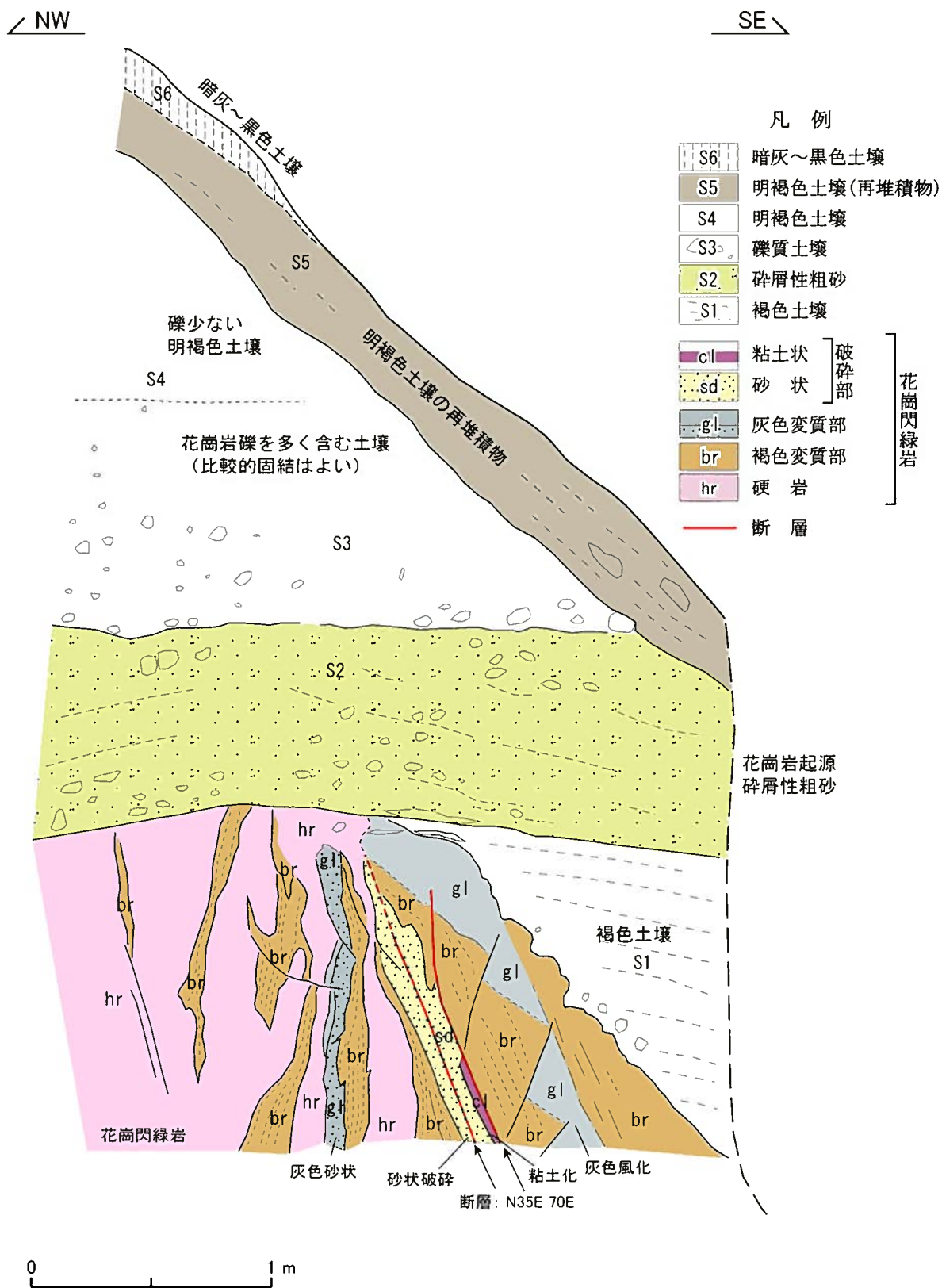
第1.2-75図 真名子－荒谷峠断層周辺の空中写真判読図



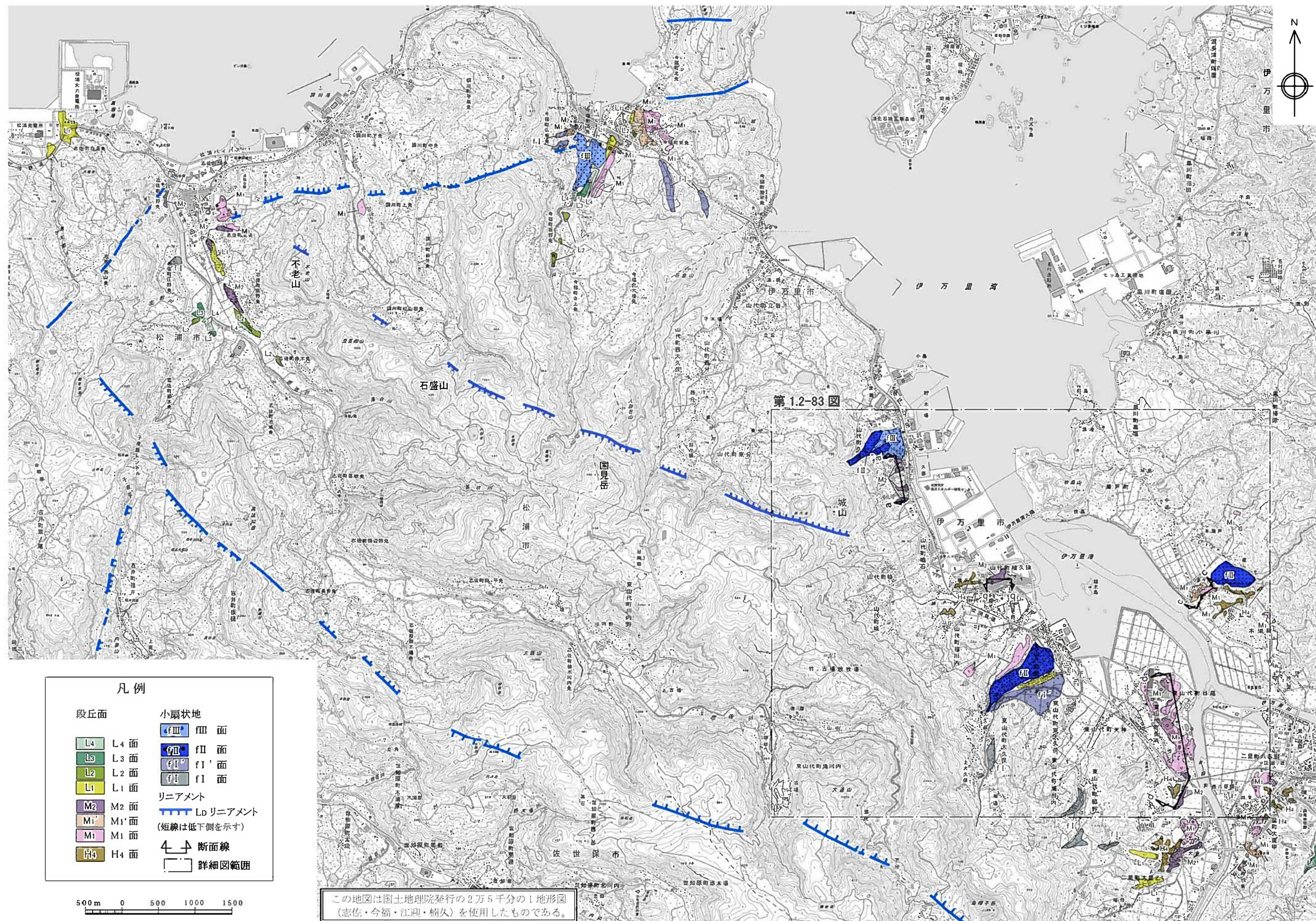
第1.2-76図 福岡県糸島市油比付近の地形断面図



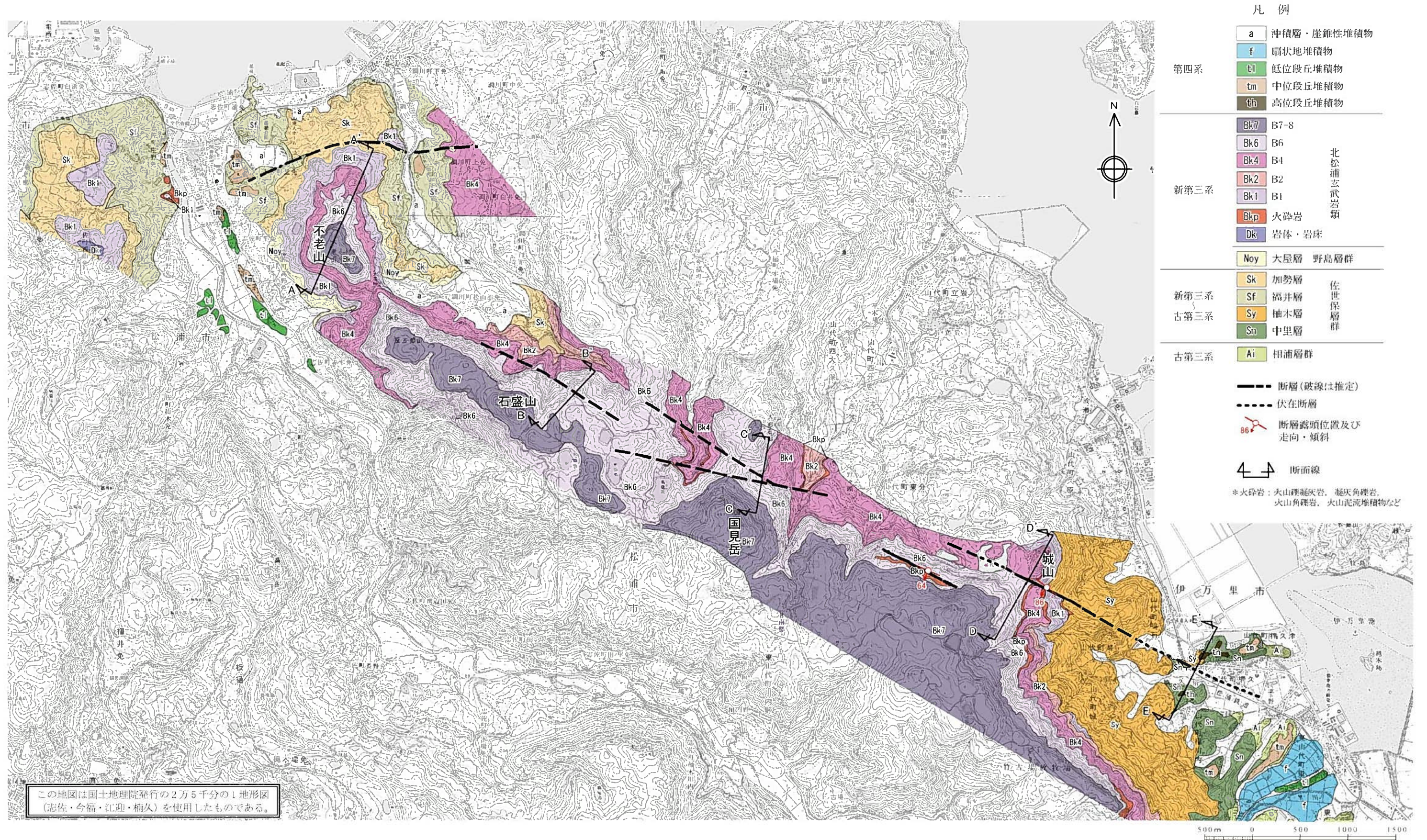
第1.2-78図 真名子ー荒谷峠断層周辺の地質断面図



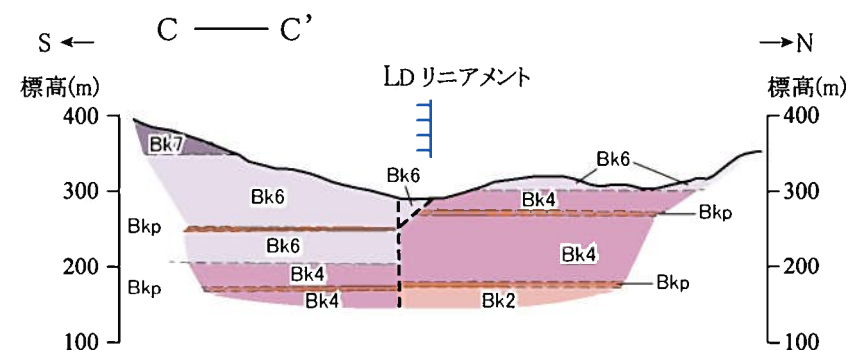
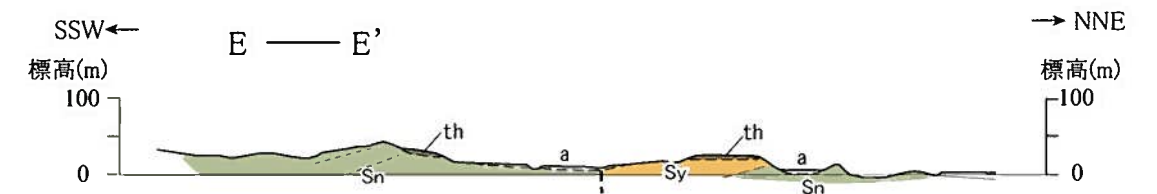
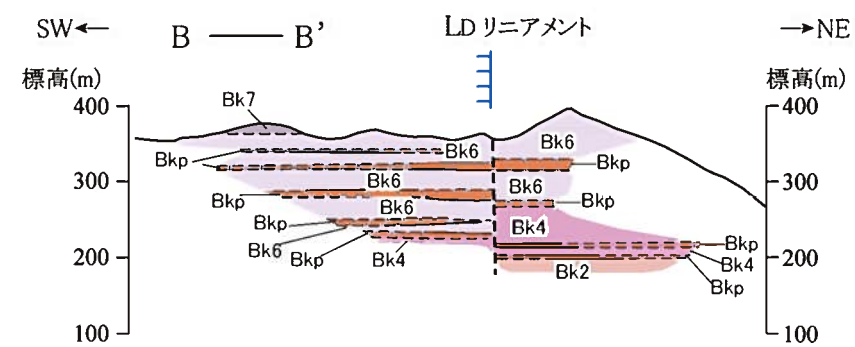
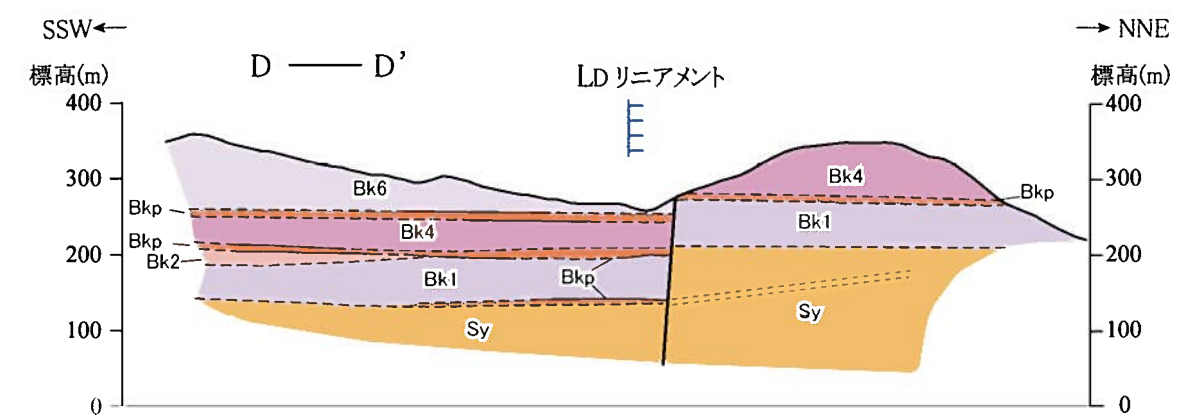
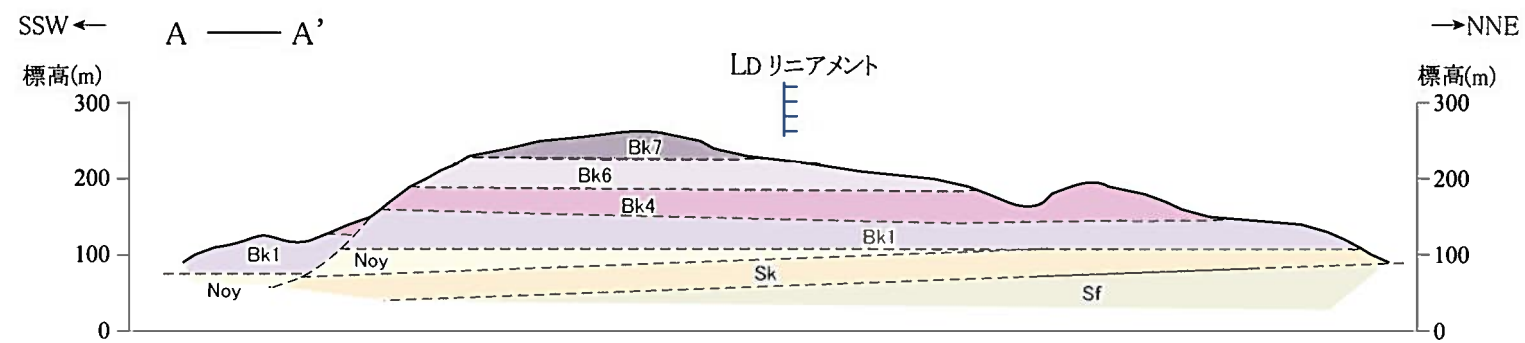
第1.2-79図 露頭スケッチ (Loc.T836、福岡県糸島市真名子南)



第1.2-80図 楠久断層周辺の空中写真判読図



第1.2-81図 桶久断層周辺の地質図



0 100 200 300 400m
H : V = 1 : 1

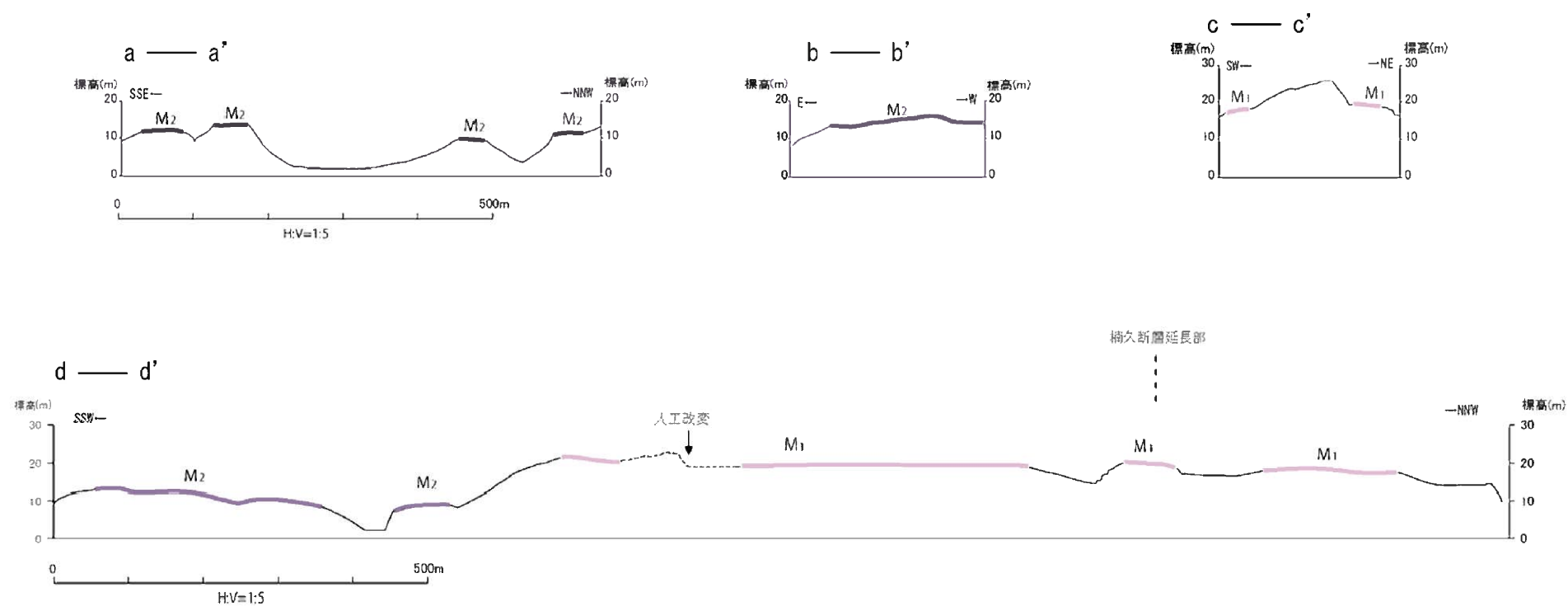
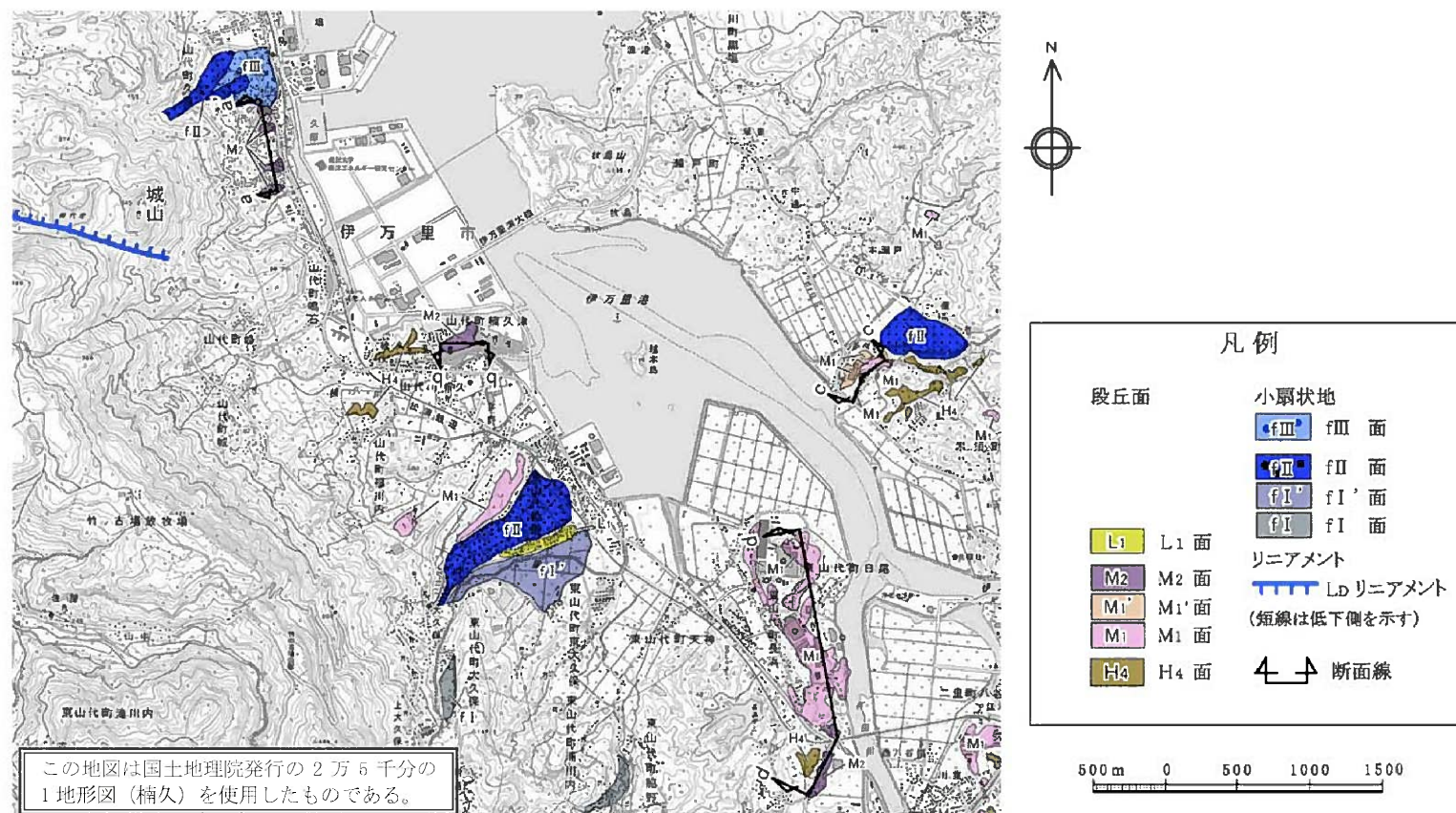
凡 例

a	沖積層・崖錐性堆積物	第四系
th	高位段丘堆積物	
Bk7	B7-8	新第三系
Bk6	B6	
Bk4	B4	
Bk2	B2	
Bk1	B1	
Bkp	火砕岩	
Noy	大屋層	野島層群
Sk	加勢層	新第三系 古第三系
Sf	福井層	
Sy	柚木層	
Sn	中里層	

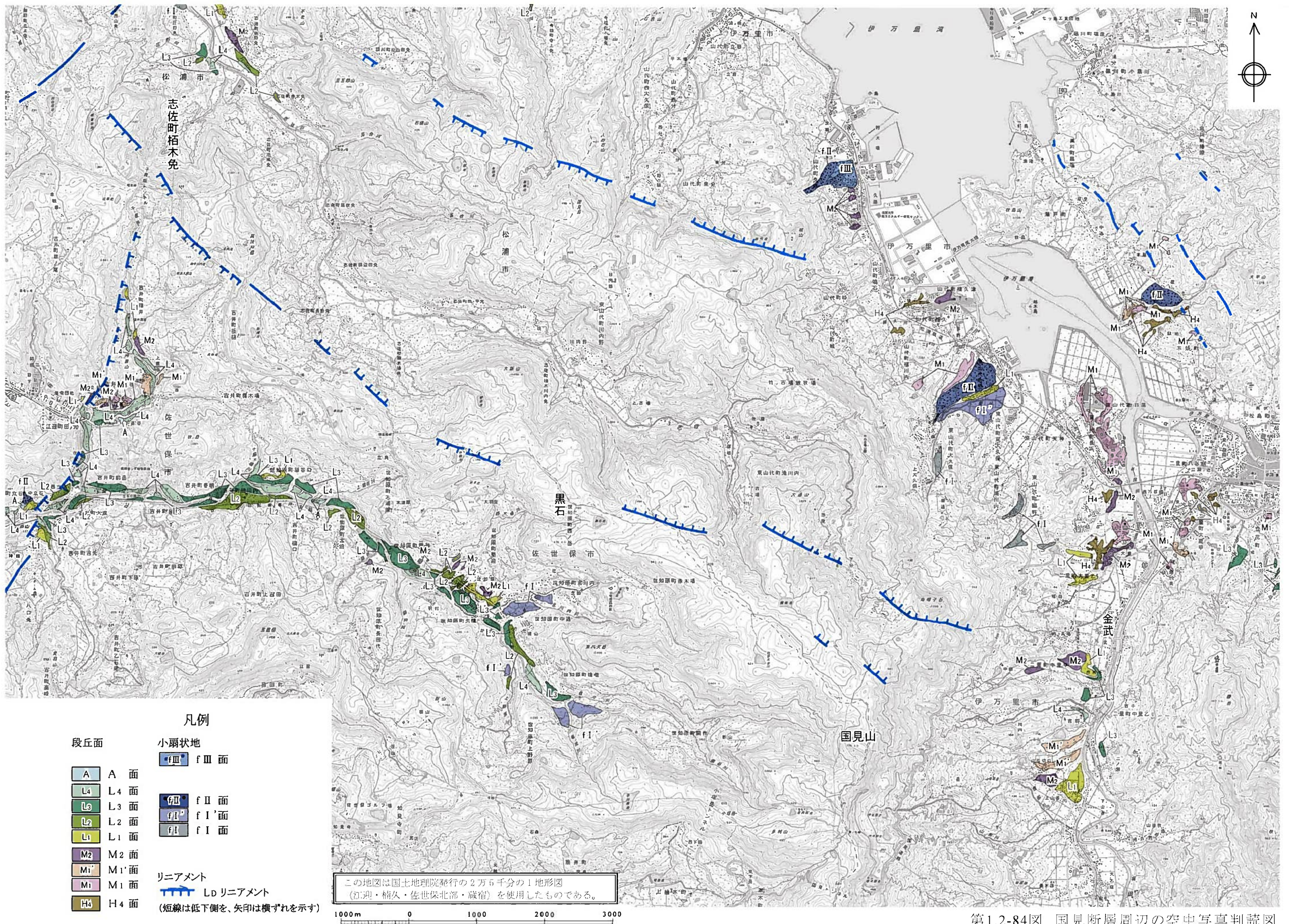
--- 断層(破線は推定)
--- 地層・岩相の境界(破線は推定)
--- 層理面

(注) 沖積層及び高位段丘堆積物以外の第四系は図示していない。
火砕岩：火山礫凝灰岩，凝灰角礫岩，
火山角礫岩，火山泥流堆積物など

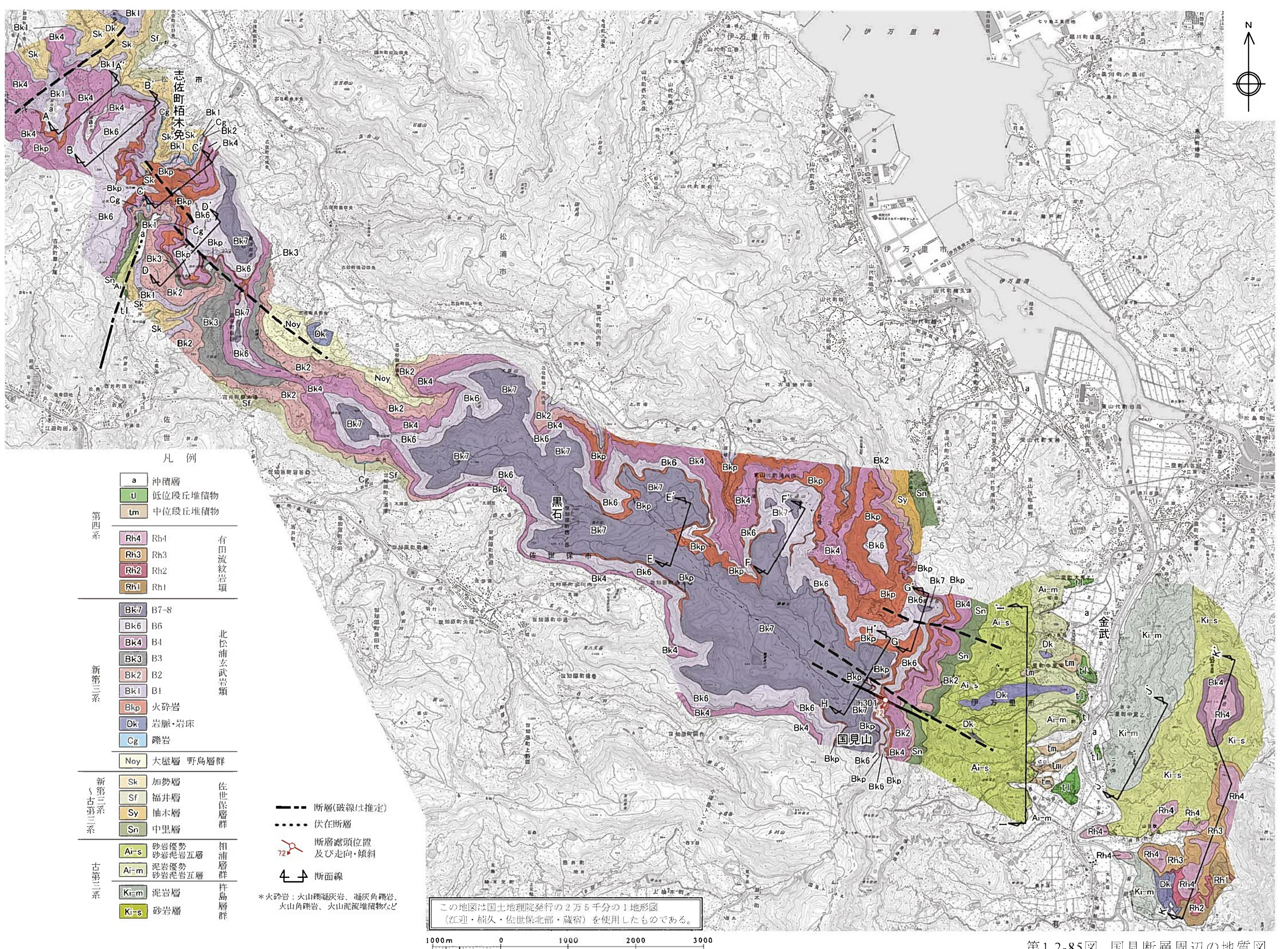
第1.2-82図 楠久断層周辺の地質断面図



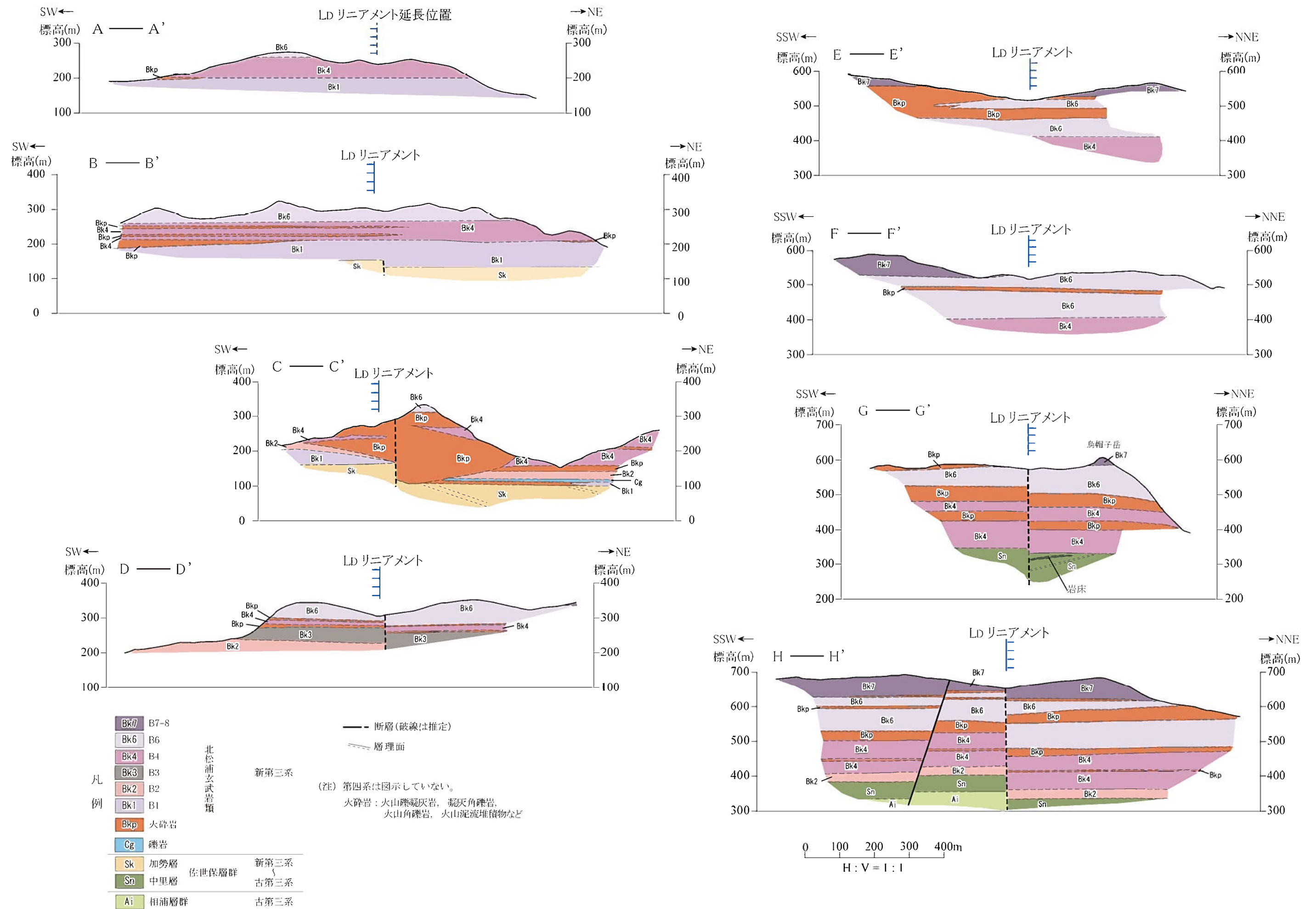
第1.2-83図 伊万里市山代町城山付近の地形断面図
1.2-477



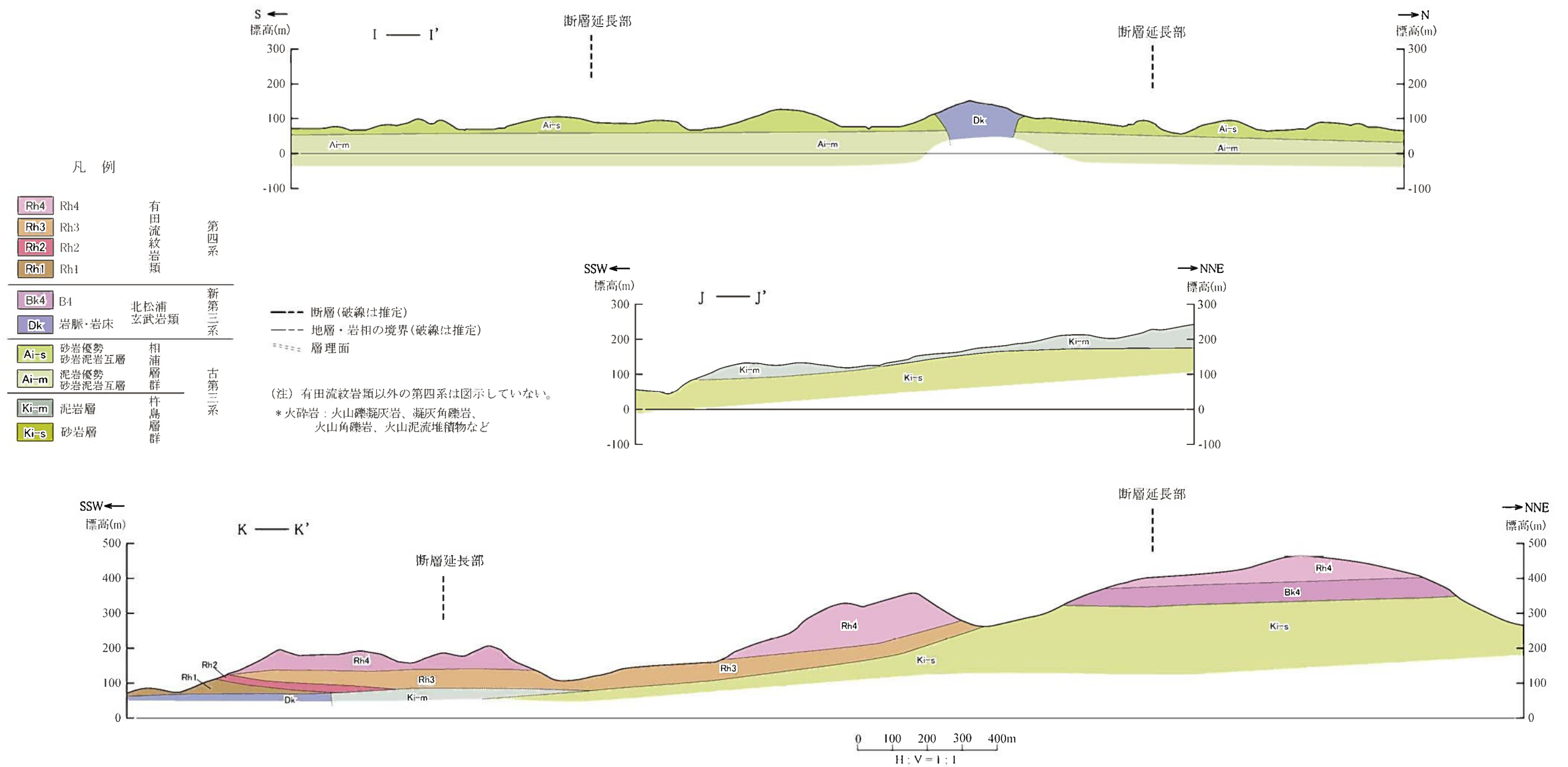
第1.2-84図 国見断層周辺の空中写真判読図



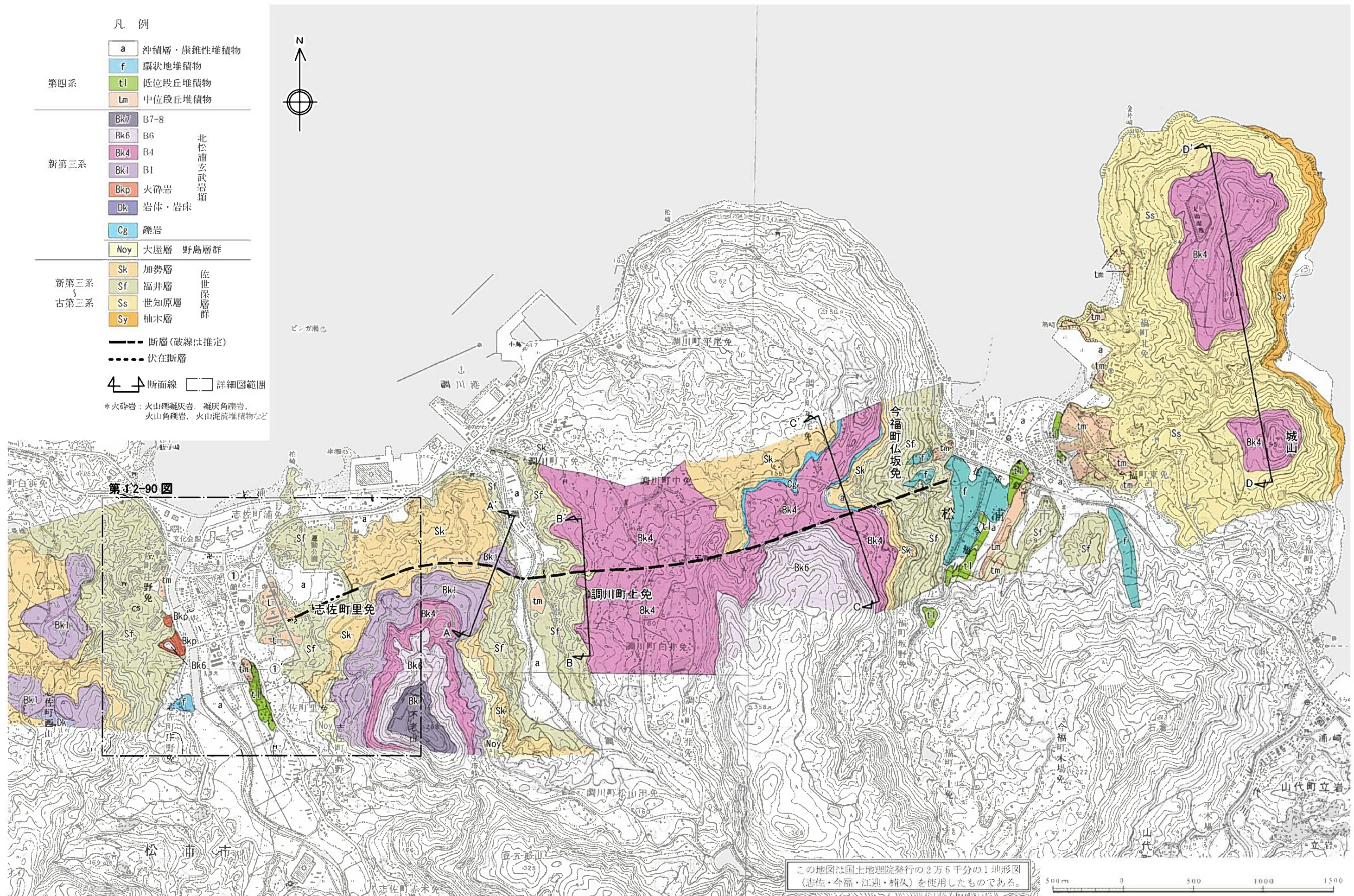
第1.2-85図 国見断層周辺の地質図
1.2-479



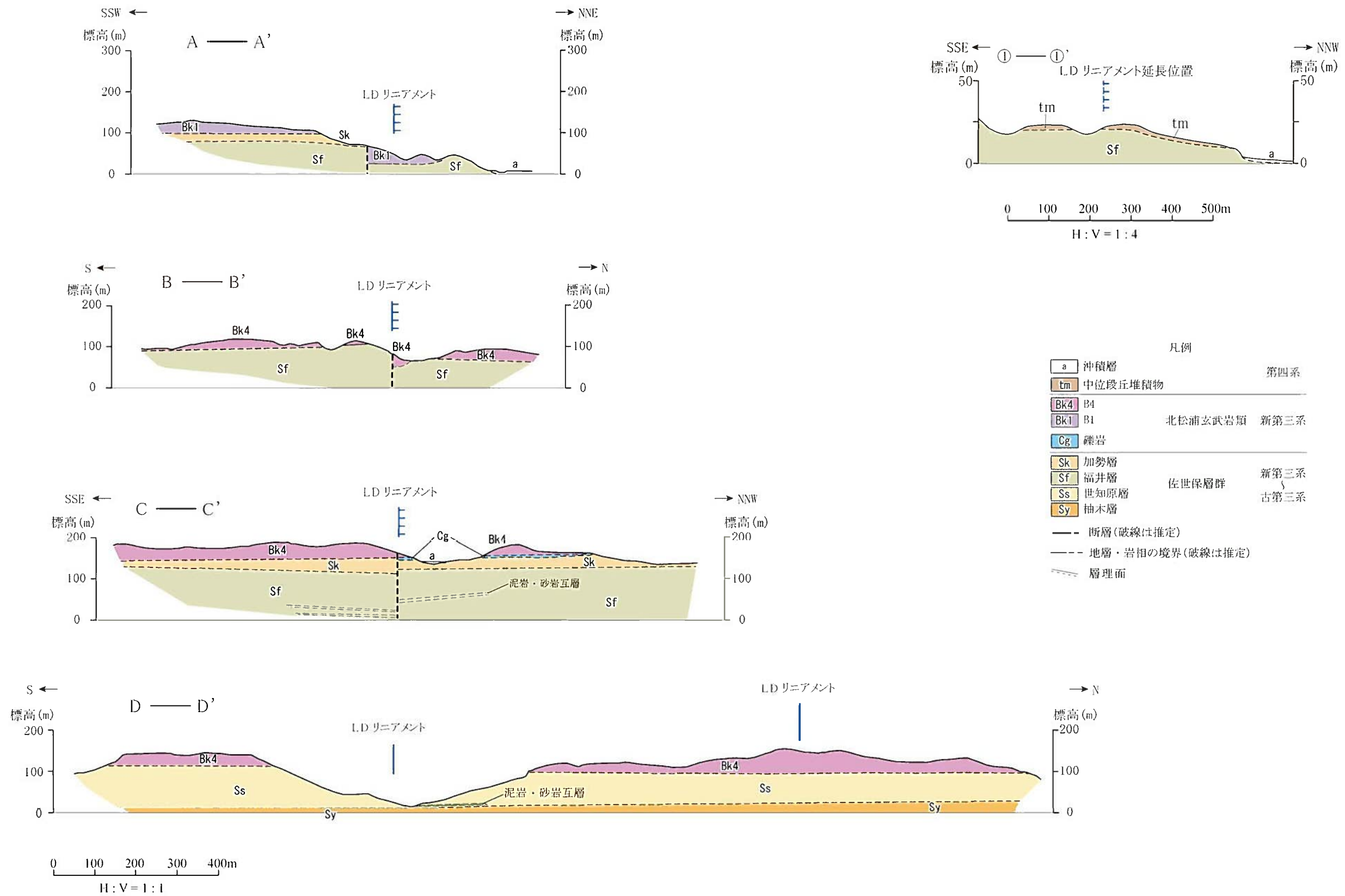
第1.2-86図(1) 国見断層周辺の地質断面図(その1)



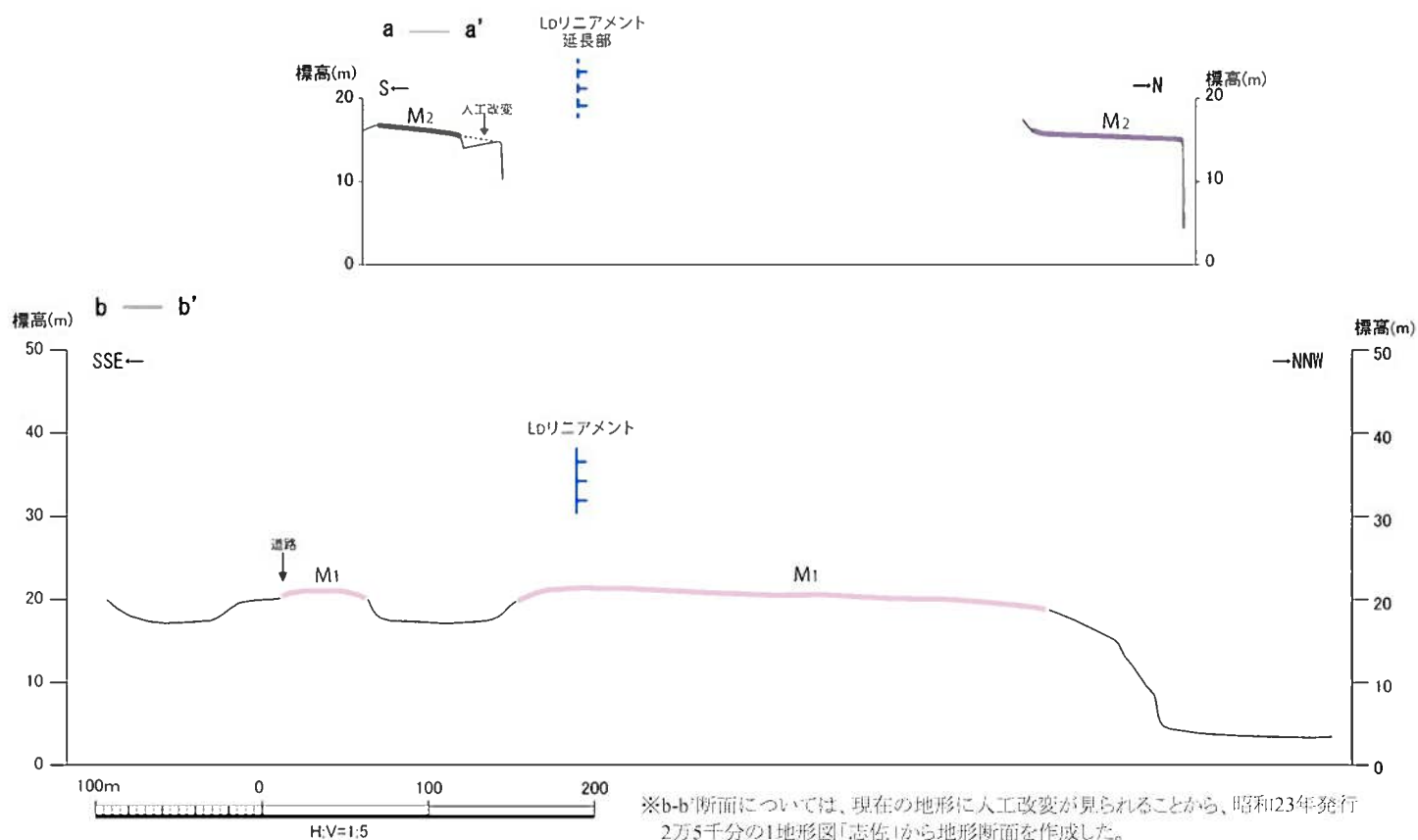
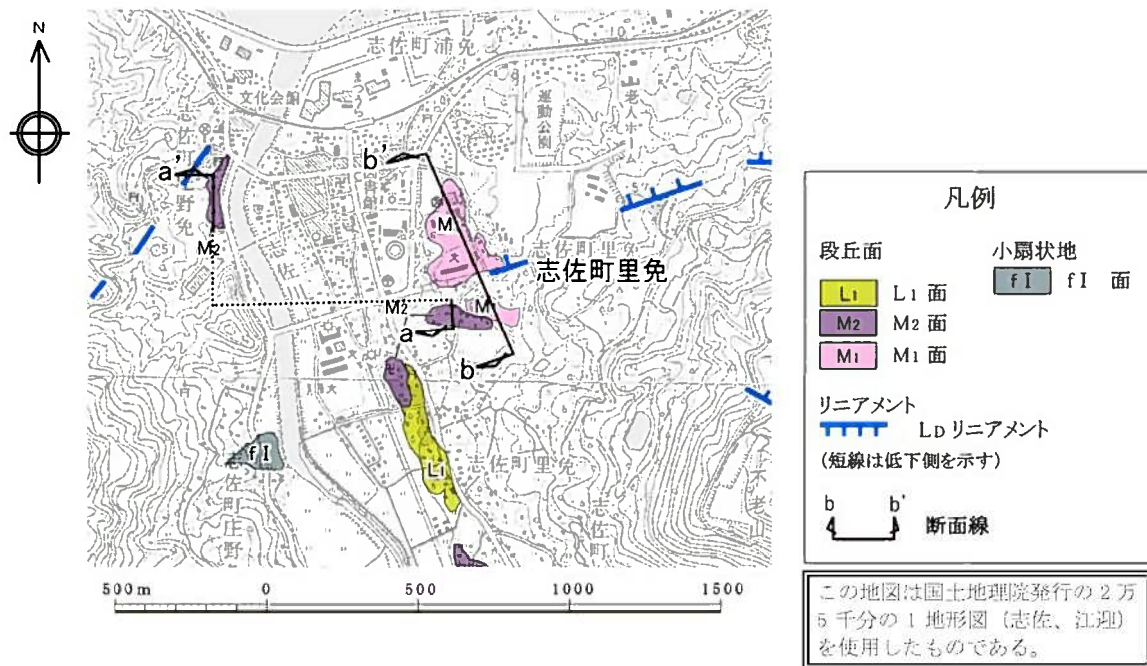
第1.2-86図(2) 国見断層周辺の地質断面図(その2)



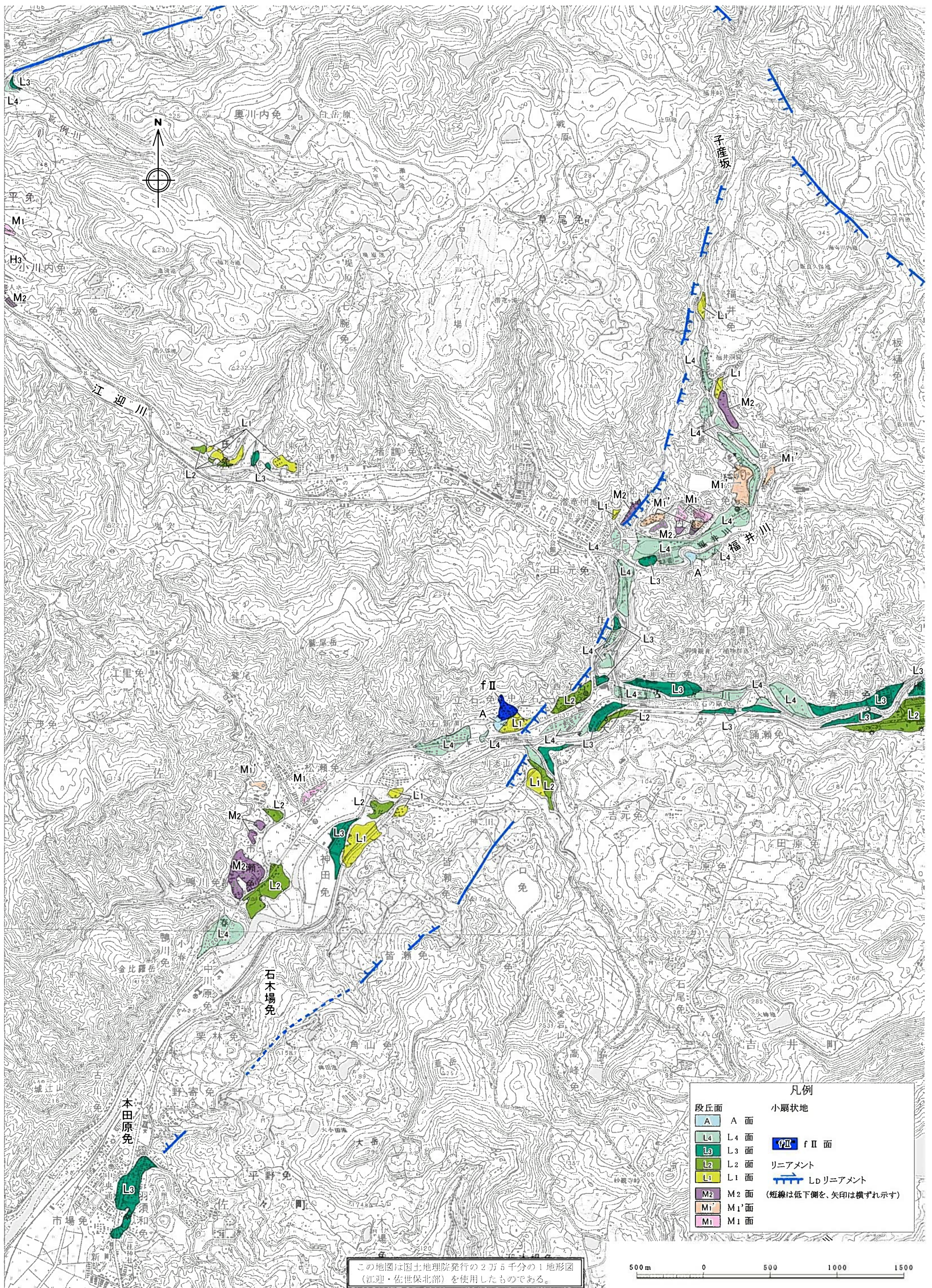
第1.2-88図 今福断層周辺の地質図
1.2-483



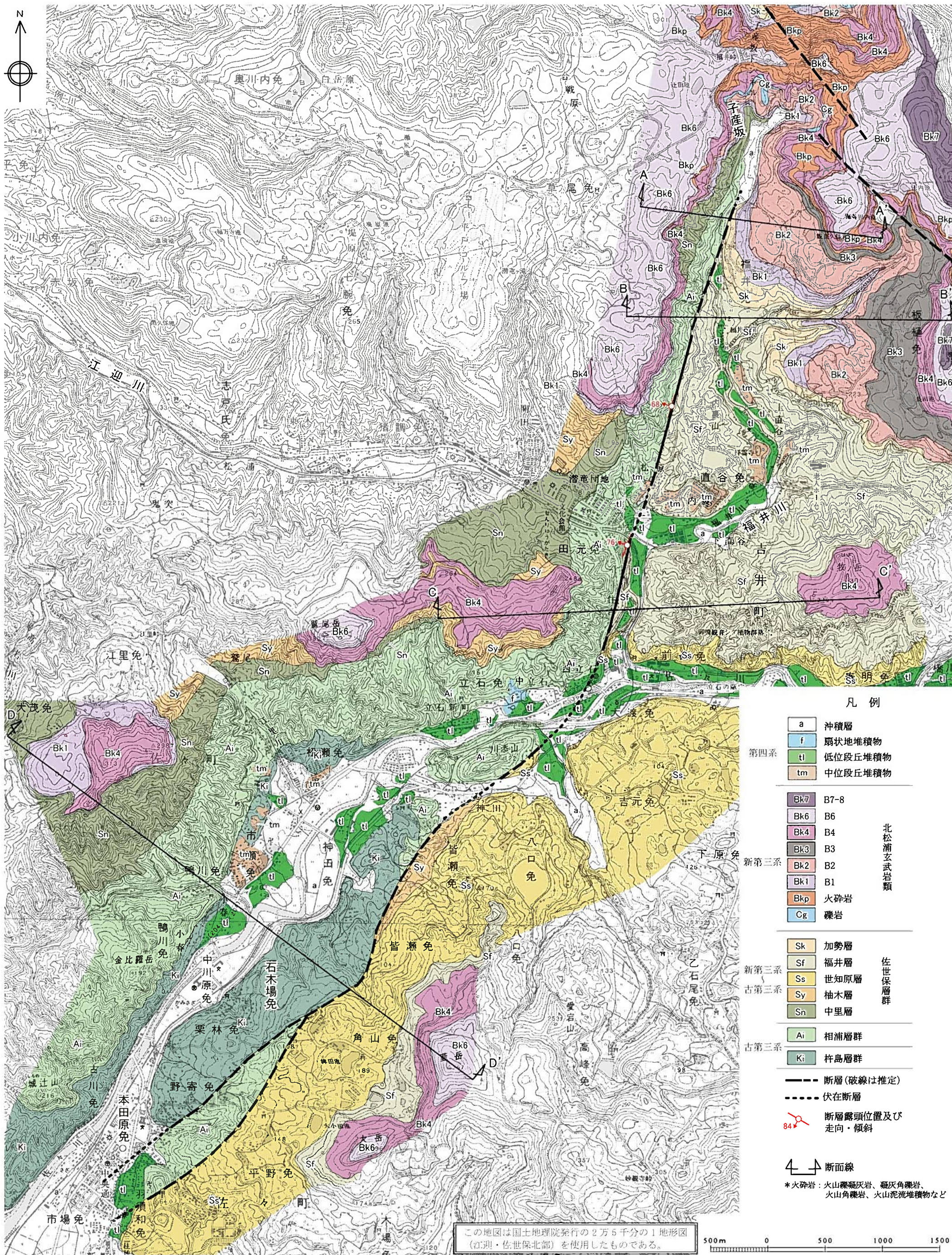
第1.2-89図 今福断層周辺の地質断面図



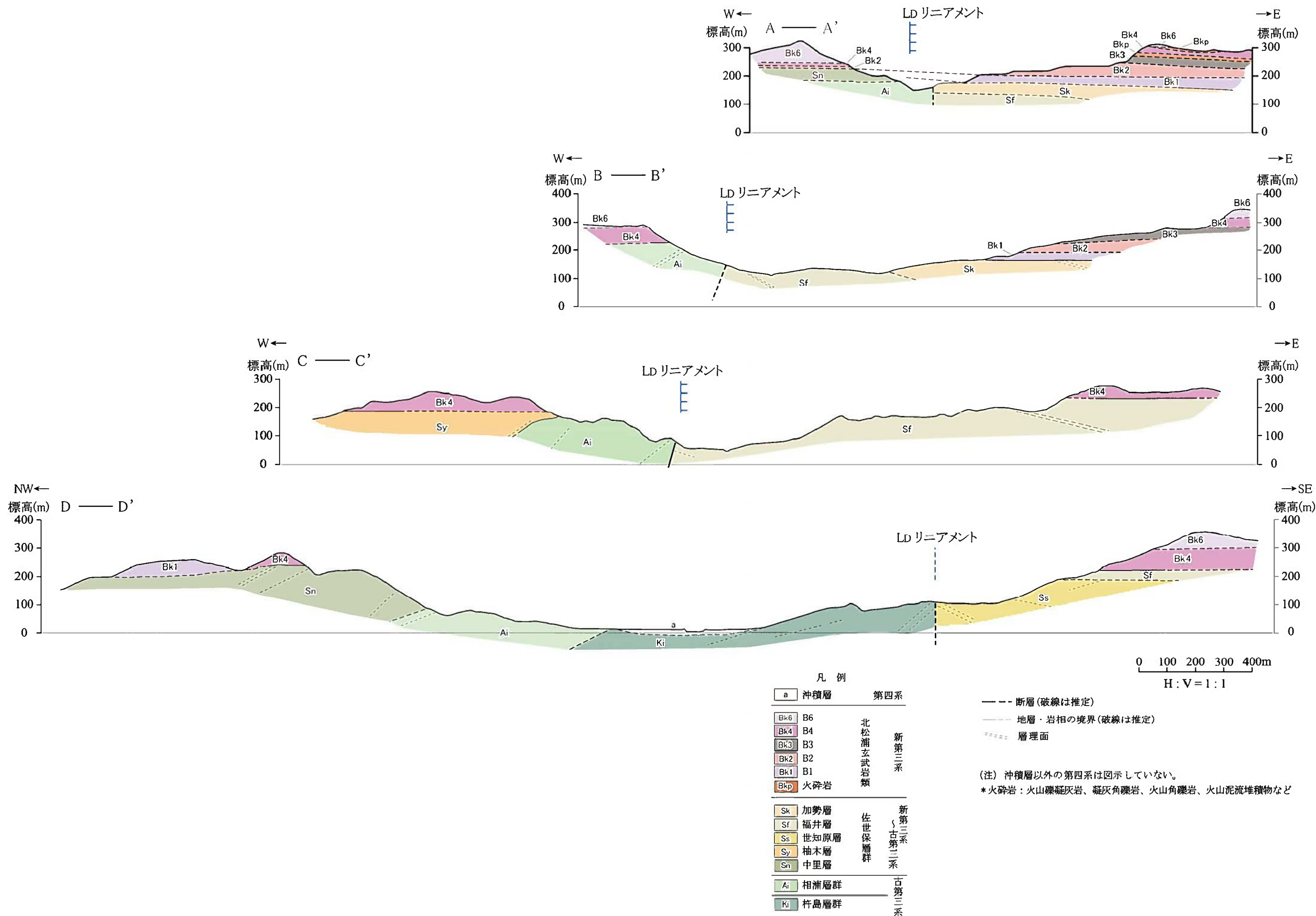
第1.2-90図 長崎県松浦市志佐町里免付近の地形断面図



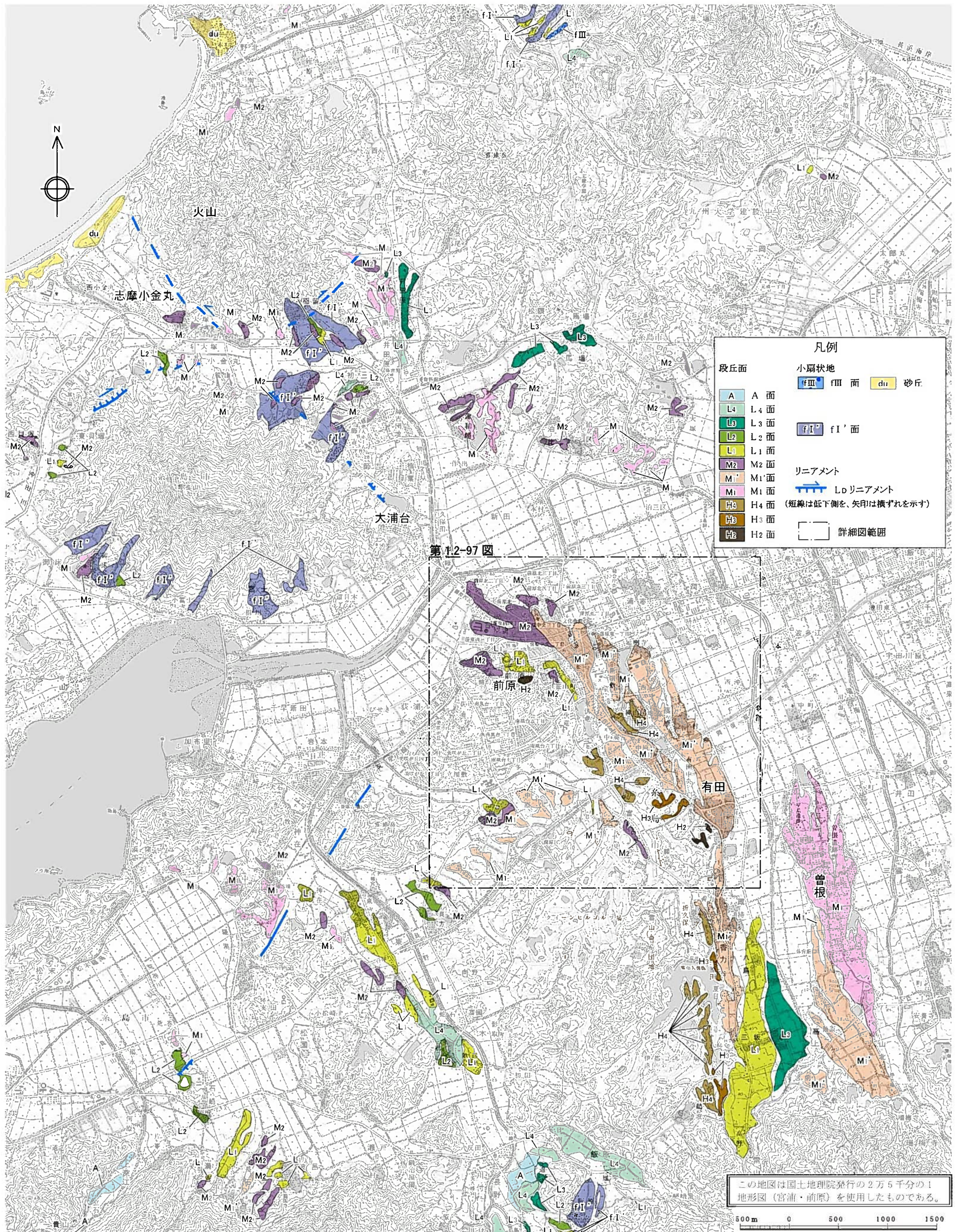
第1.2-91図 佐々川断層周辺の空中写真判読図



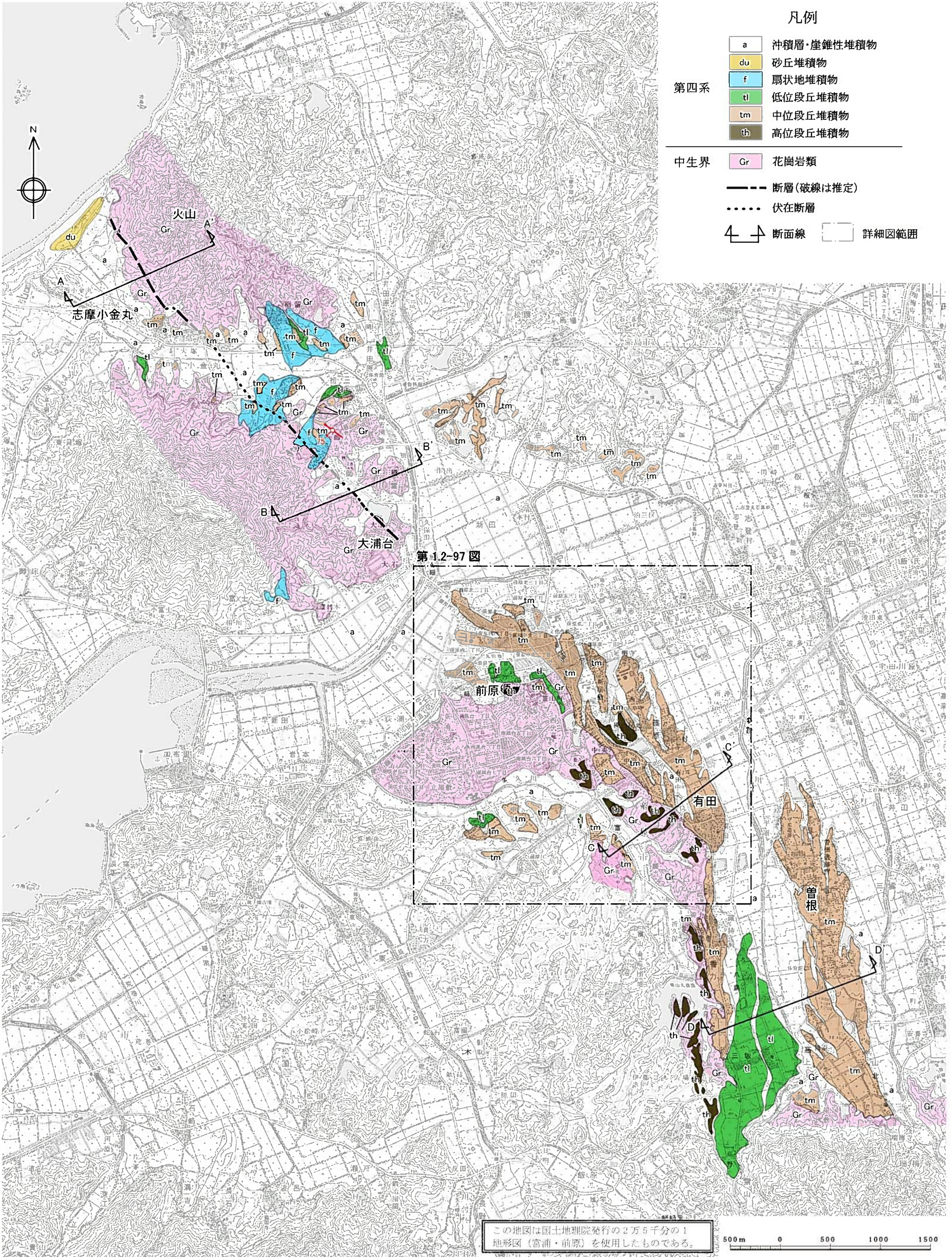
第1.2-92図 佐々川断層周辺の地質図



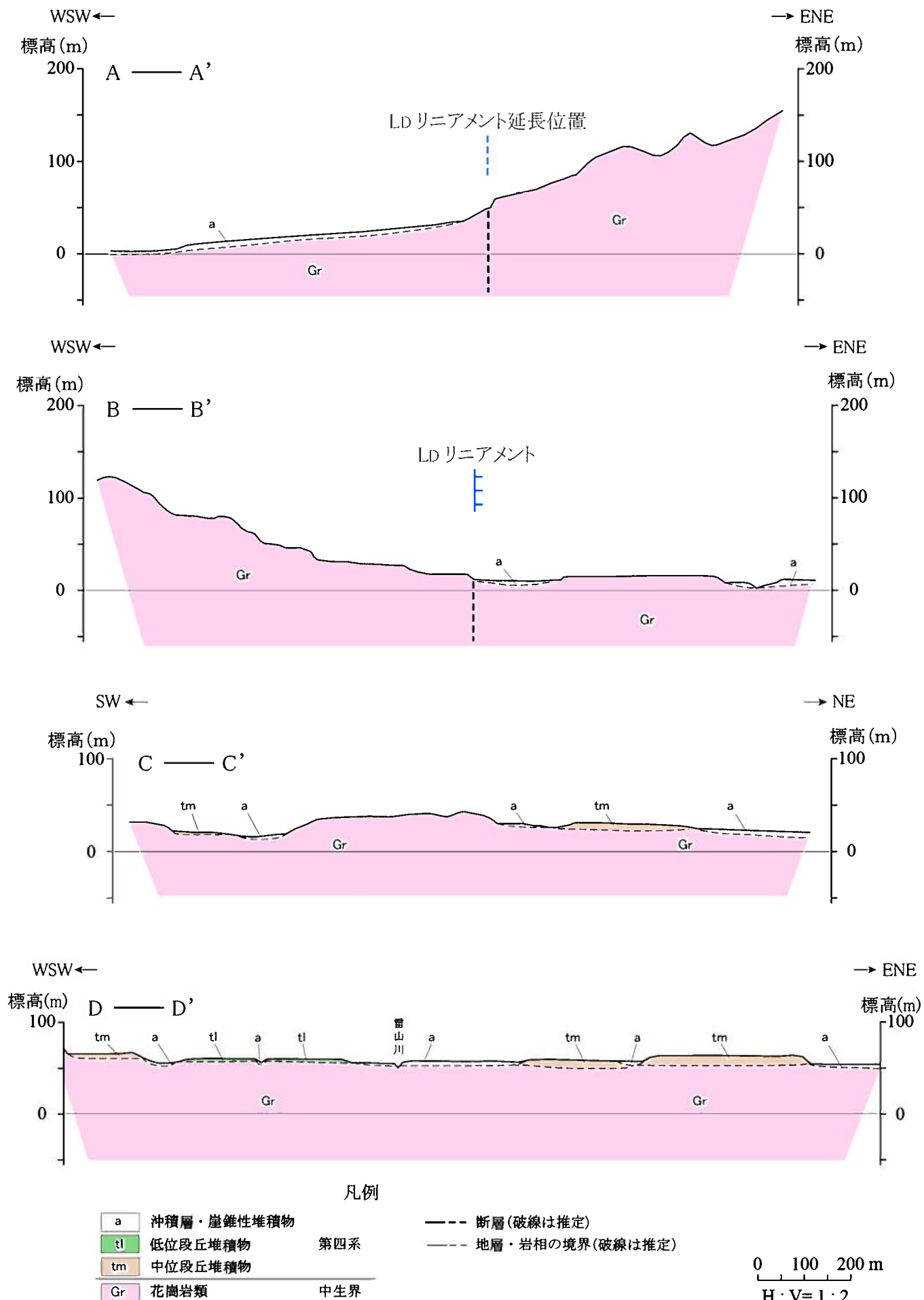
第1.2-93図 佐々川断層周辺の地質断面図



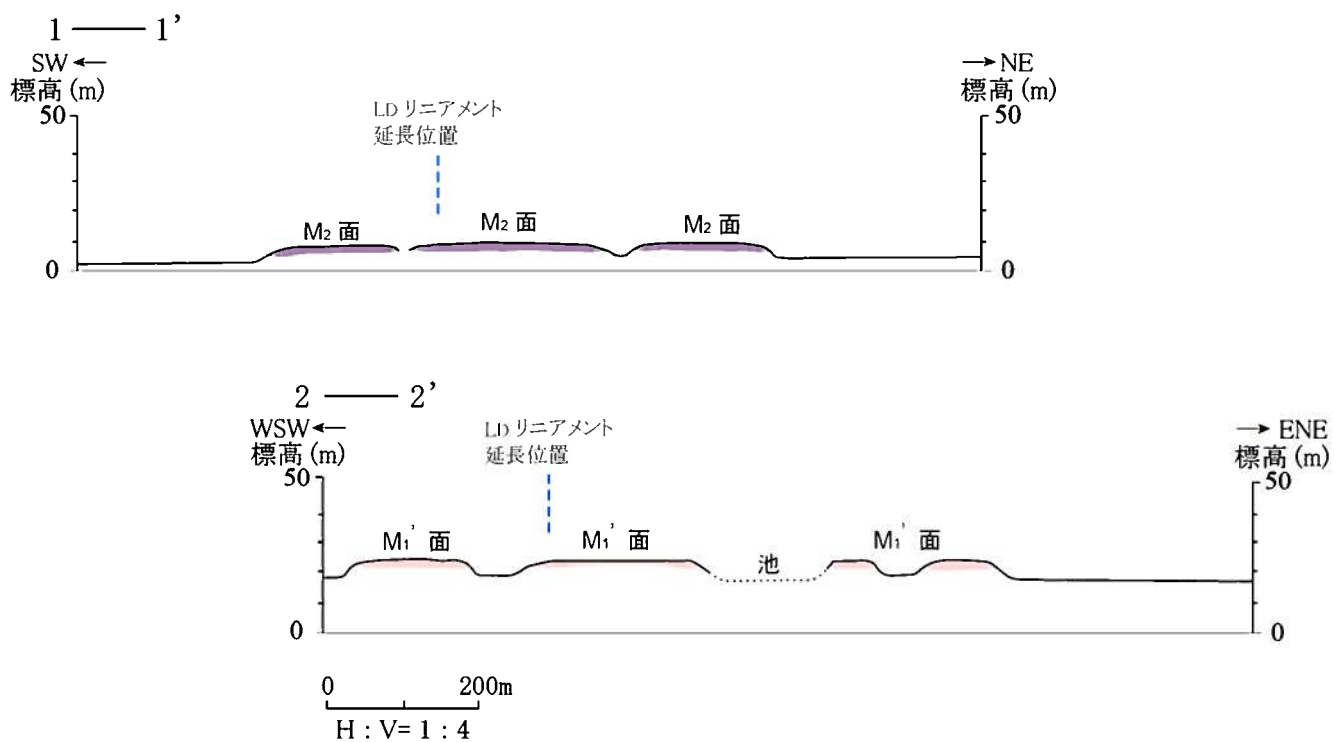
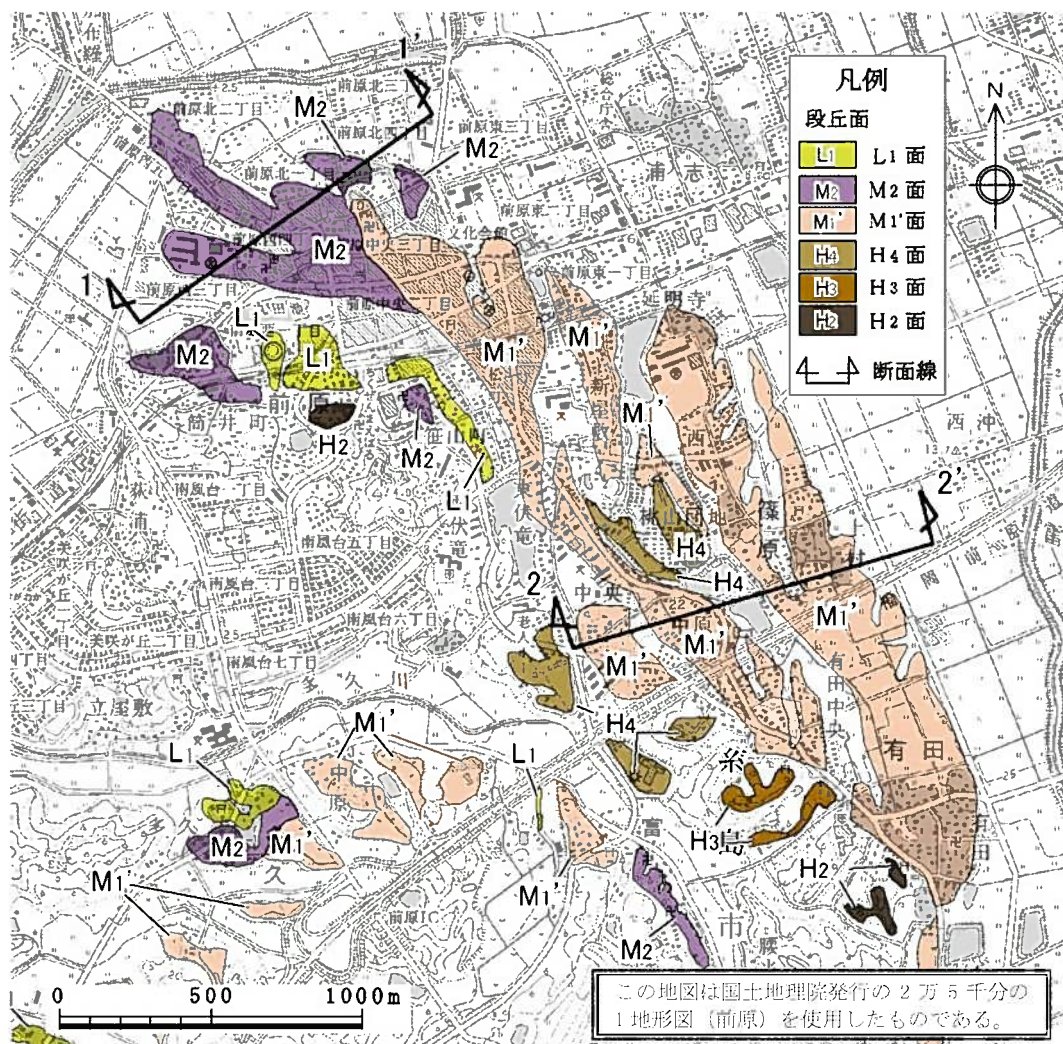
第1.2-94図 前原断層周辺の空中写真判読図



第1.2-95図 前原断層周辺の地質図



第1.2-96図 前原断層周辺の地質断面図



第1.2-97図 福岡県糸島市前原付近の地形断面図